

活用ガイド

- 本機だけでコピーする方法、ファックスの送受信方法（LP-M5500F のみ）と、スキャンしたデータをコンピュータや USB フラッシュメモリに保存する手順について説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

こんなことができます	1
各部の名称と役割	6
ソフトウェアのご案内	10

用紙のセット

11

印刷用紙のセット方法と、コピー / ファックス / スキャナの原稿のセット方法を説明しています。

コピー

29

コピー機能を説明しています。

ファックス機能（LP-M5500F のみ）

49

ファックス機能を説明しています。

スキャン

81

操作パネルからスキャンを実行する手順を説明しています。

オプションと消耗品

97

オプションと消耗品を説明しています。

メンテナンス

119

メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項を説明しています。

困ったときは

145

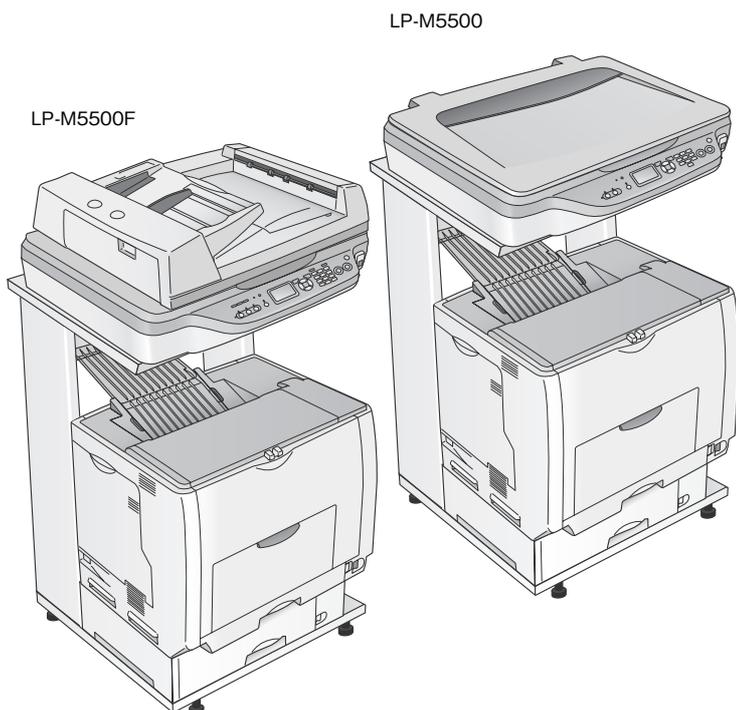
困ったときの対処方法を説明しています。

付録

185

操作パネルでの設定一覧やサービス・サポート、仕様を説明しています。

操作パネル設定項目一覧	233
-------------------	-----



オプションの専用スタンド（LPMRACK1）と増設カセットユニット1段（LPA3CZ1CU2）装着時

■ マーク

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷したり、製品本体やソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。必ず守ってお使いください。

 **参考** 補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

■ Windows の表記

本書では、Windows オペレーティングシステムの各バージョンを「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows 98/Me」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

■ Mac OS の表記

本製品が対応しているMac OSのバージョンは以下の通りです。

Mac OS 9.1 ~ 9.2.x

Mac OS X v10.2、v10.3

本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記していることがあります。またこれらを総称する場合は「Mac OS」と表記しています。

■ マニュアル構成

本製品には、以下の説明書が添付されています。

開梱作業を行われる方へ	本機を開梱する際に必ずお読みください。	
セットアップガイド	本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。 必ずお読みいただき、本機を正しくセットアップしてください。	
活用ガイド (本書)	コピー、ファックス、スキャンの方法とメンテナンスおよび困ったときの対処方法を説明しています。 必ずお読みいただき、本機を正しくご使用ください。	
C D I R O M	ソフトウェア機能ガイド for Windows (PDF)	Windows から印刷、スキャンする方法を説明しています。
	ソフトウェア機能ガイド for Mac OS (PDF)	Mac OS から印刷、スキャンする方法を説明しています。
	ネットワーク設定ガイド (PDF)	ネットワーク印刷時の詳細情報とネットワークユーティリティの情報を説明しています。

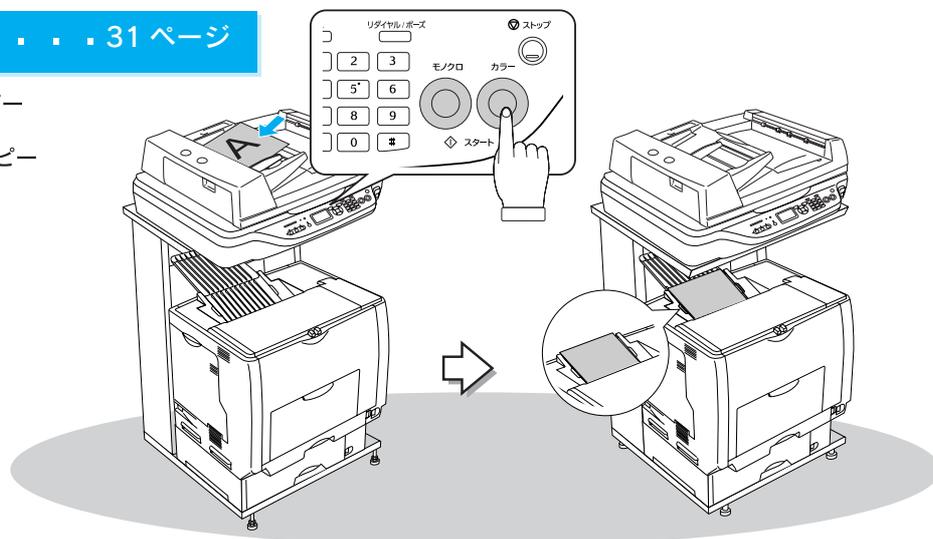
■ 説明で使用しているイラスト

本書では、LP-M5500F のイラストを使用して各種手順を説明しています。

こんなことができます

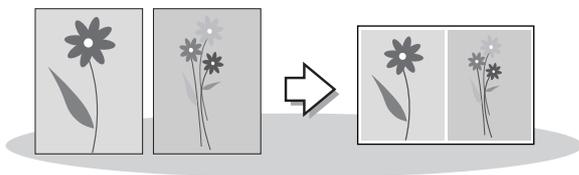
基本のコピー 31 ページ

最大A3サイズの印刷用紙にコピーできます。LP-M5500Fでは、最大100枚の原稿を連続してコピーできます。



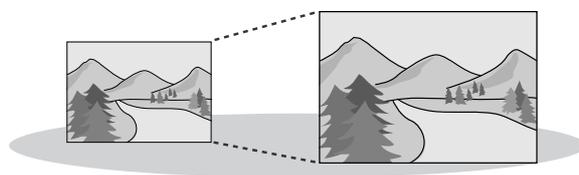
割り付けコピー 38 ページ

1枚の用紙に原稿2枚分を割り付けてコピーできます。



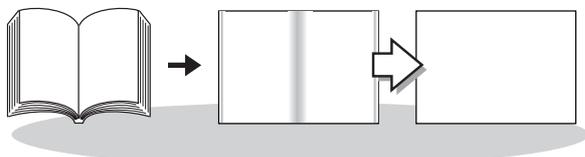
拡大/縮小コピー 33 ページ

原稿を拡大/縮小してコピーできます。



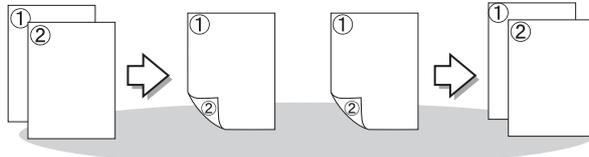
影消しコピー 40 ページ

厚い本をコピーしたときにできる影を白く消すことができます。



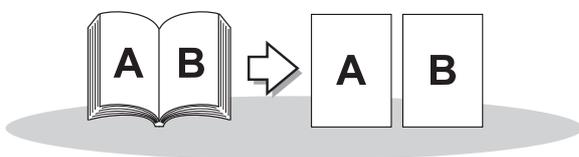
両面コピー 36 ページ

片面原稿→両面コピー、両面原稿→片面コピーなど読み取りも印刷も両面对応です。



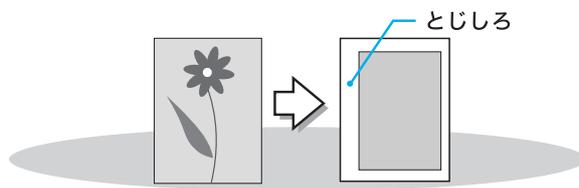
ページ連写コピー 44 ページ

見開きの左右のページを別々の印刷用紙にコピーできます。



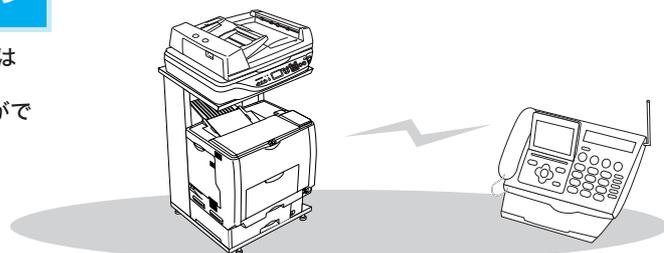
とじしろコピー 42 ページ

用紙を綴じるための余白を設定することができます。



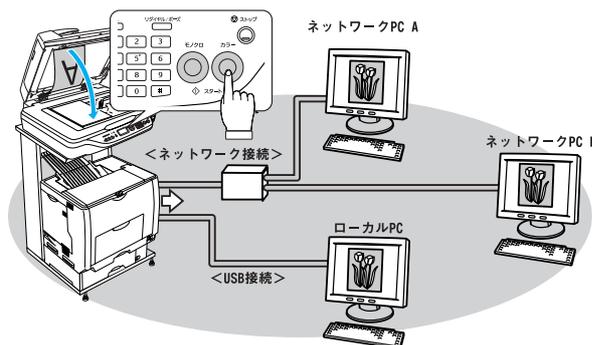
ファックス機能 (LP-M5500Fのみ) 49 ページ

カラー原稿、モノクロ原稿をファックス送信、または受信できます。
ワンタッチダイヤルに3件の送信先を登録することができます。



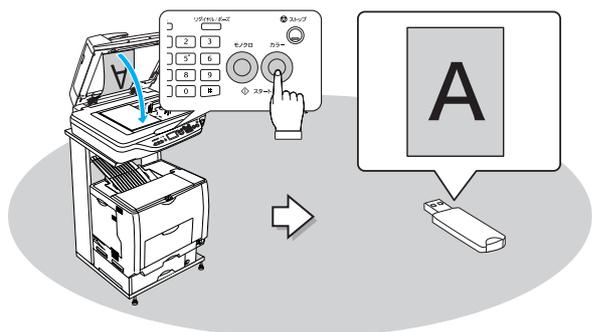
操作パネルからのスキャン 81 ページ

原稿をスキャンして電子データ化し、指定のコンピュータに指定の形式で保存することができます。



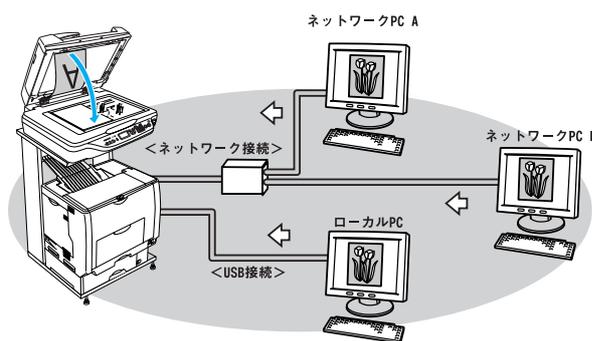
スキャンデータをメモリに保存 95 ページ

本機前面右には、USBフラッシュメモリをセットできるコネクタがあります。スキャンしたデータをセットしたUSBフラッシュメモリに保存することができます。



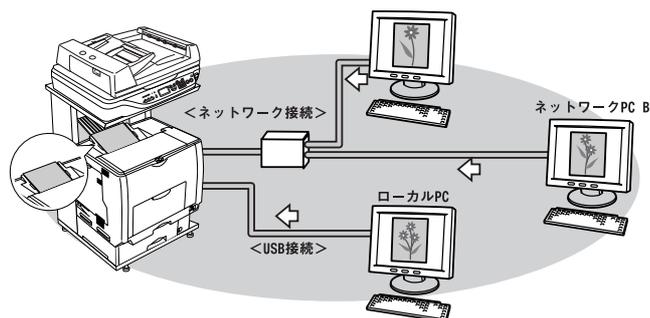
コンピュータからのスキャン

コンピュータからスキャンを実行して、データを保存することができます。コンピュータからのスキャンについては『ソフトウェア機能ガイド』(PDF)をご覧ください。



印刷

添付のプリンタドライバを使用して印刷すれば、割り付け印刷やスタンプマーク印刷などさまざまな機能をご利用いただけます。
コンピュータ上から印刷する手順やプリンタドライバの詳細な情報は、『ソフトウェア機能ガイド』(PDF)をご覧ください。



目次

■こんなことができます	1
■各部の名称と役割	6
■ソフトウェアのご案内	10

用紙のセット..... 11

■印刷用紙について	12
印刷用紙サイズと印刷保証領域	12
使用できる印刷用紙の種類	13
印刷できない用紙	14
■印刷用紙のセット	15
MPトレイに用紙をセットする	15
用紙カセット（標準カセット1） に用紙をセットする	17
用紙カセット（オプションカセット2～4） に用紙をセットする	20
操作パネルで用紙サイズを設定する （MPトレイのみ）	23
■原稿のセット	24
原稿台に原稿をセットする	24
オートドキュメントフィーダ（ADF） に原稿をセットする（LP-M5500Fのみ）	26

コピー..... 29

■コピーの前に	30
セットできる原稿	30
印刷保証領域	30
コピーに使用できる印刷用紙の種類	30
■基本コピー（カラー/モノクロ）	31
■拡張コピー	33
拡大・縮小してコピーする	33
用紙の両面にコピーする / 両面原稿をコピーする	36
割り付けコピーをする	38
影を消して（取り込まない範囲を指定して） コピーする	40
とじしろを設定してコピーする	42
見開きの原稿を左右別々にコピーする	44
原稿に合わせてコピーの品質を変更する	46

ファックス機能 （LP-M5500Fのみ）..... 49

■ファックスを使う前に	50
ファックスの設定を確認する	50
■ファックス送信	51
送信できる原稿サイズ	51
ファックス番号を入力して送信する	52
短縮ダイヤルで送信する	54
同じ宛先にもう一度送信（リダイヤル）する	59
送信を中止する	60
■ファックス受信	62
受信モードについて	62
FAXを受信して印刷する（自動受信）	63
受信できる原稿サイズ	63
ポーリング受信する	64
受信を中止する	65
■宛先の登録方法	66
EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する	66
操作パネルから宛先を登録する	70
操作パネルから宛先番号を変更する	74
操作パネルから宛先を削除する	78

スキャン..... 81

■操作パネルでスキャンする前に	82
操作パネルでスキャンするために	82
アプリケーションをインストールする	83
■操作パネルでスキャン	89
ネットワーク接続でスキャンする（Windows）	89
ローカル接続で スキャン用アプリケーションソフトを起動する	92
起動するアプリケーションソフトを変更する	94
スキャンデータを USBフラッシュメモリに保存する	95

オプションと消耗品..... 97

■ オプションと消耗品の紹介 98

USB インターフェイスクーブル.....	98
Ethernet (イーサネット)	
インターフェイスクーブル.....	98
増設メモリ.....	98
専用スタンド.....	98
増設カセットユニット.....	99
用紙カセット.....	99
オートドキュメントフィーダ.....	100
専用紙.....	100
トナーカートリッジ.....	101
感光体ユニット.....	101
廃トナーボックス.....	102

■ 使用済みトナーカートリッジの 回収について..... 103

資源の有効利用と地球環境保全のために.....	103
回収については、カートリッジの梱包箱と 添付の説明書をご確認ください.....	103
使用済みトナーカートリッジ回収による ベルマーク運動.....	103

■ 通信販売 (消耗品 / オプション品) のご案内 104

■ オプションの装着方法 105

増設メモリを取り付ける.....	105
増設カセットユニットを取り付ける.....	108
オートドキュメントフィーダを取り付ける (LP-M5500 のみ).....	114
装着オプションの確認 (簡易ステータスシートの確認).....	116

メンテナンス 119

■ トナーカートリッジの交換 120

トナーカートリッジについて.....	120
トナーカートリッジを交換する.....	122

■ 感光体ユニットの交換 125

感光体ユニットについて.....	125
感光体ユニットを交換する.....	127

■ 廃トナーボックスとフィルタの交換..... 129

廃トナーボックスとフィルタについて.....	129
廃トナーボックスとフィルタを交換する.....	131

■ 本機の清掃..... 134

外装をきれいにする.....	134
紙センサを清掃する (用紙の上または右横が汚れるとき).....	135
給紙ローラを清掃する (正常に給紙できないとき).....	137
帯電ワイヤを清掃する (筋状に印刷が抜けたり、線が印刷される時)...	139
センサと露光窓を清掃する.....	140
クリーニングテープを取り外す.....	141

■ 本機の輸送と移動 143

近くへの移動.....	143
運搬するときは.....	144

困ったときは..... 145

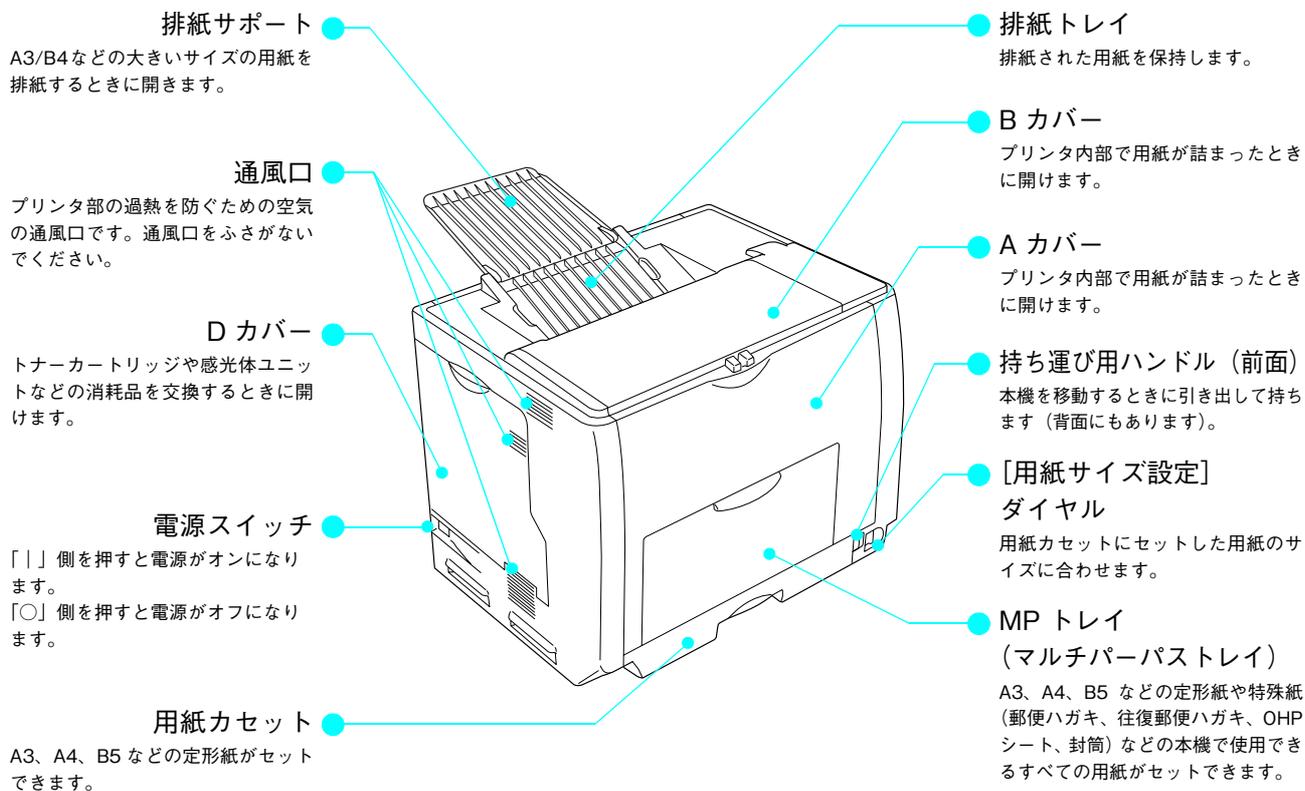
■ 操作パネルにメッセージが出る.....	146
ステータスメッセージ.....	146
エラーメッセージ一覧.....	147
ワーニングメッセージ.....	155
ワーニングメッセージを消す.....	158
■ 用紙が詰まったときは.....	159
紙詰まりの原因.....	160
用紙取り出し時の注意.....	160
プリンタ内部（A カバー）で 用紙が詰まった場合は.....	161
排紙口（B カバー）で用紙が詰まった場合は.....	163
給紙口で用紙が詰まった場合は.....	165
オートドキュメントフィーダで 原稿が詰まった場合は.....	170
■ 印刷 / コピーのトラブル.....	172
印刷 / コピーできない.....	172
思い通りにコピーできない.....	176
きれいにコピーできない.....	177
■ ファックスのトラブル.....	178
日付時刻の表示がおかしい / 発信元情報が印字されない.....	178
原稿通りにファックスが送信できない.....	178
ファックスが受信できない.....	179
ファックスが送信できない.....	179
EPSON Speed Dial Utility から 宛先が登録できない.....	180
■ スキャンのトラブル.....	181
操作パネルでスキャンできない.....	181
[カラー] または [モノクロ] ボタンを押しても スキャンが始まらない.....	182
スキャンしたデータを保存できない.....	183
■ どうしても解決しないときは.....	184

付録..... 185

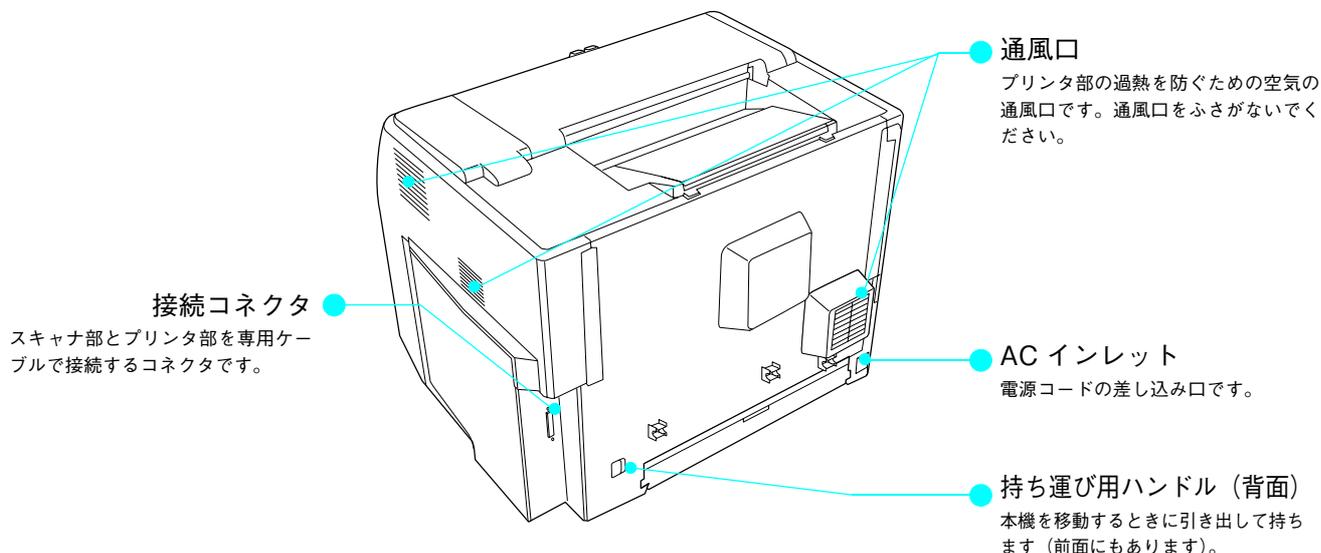
■ 操作パネルによる設定 / 確認.....	186
設定を変更する.....	186
プリンタ設定の項目一覧.....	187
ホスト I/F 設定.....	189
ファックス設定の項目一覧.....	191
コピー設定.....	193
■ IP アドレスを操作パネルから設定.....	194
標準ネットワークインターフェイスを設定する... 194	
■ 本機の状態や設定値を印刷するには.....	197
ステータスシート（簡易版）の印刷.....	197
ファックスのレポート機能を設定する.....	199
■ 設定のリセット方法.....	202
プリンタ設定をリセットする.....	202
ファックス設定をリセットする.....	203
コピー設定をリセットする.....	204
■ 電子マニュアルの見方.....	205
Windows での電子マニュアルの見方.....	206
Mac OS X 10.2 以降での電子マニュアルの見方.....	208
Mac OS 9 での電子マニュアルの見方.....	210
■ 電子マニュアルのもくじ.....	212
■ エコ印刷モードのご紹介.....	215
エコ印刷モードでの印刷には お客様のご理解が必要です.....	215
エコ印刷モードの使用方法.....	216
■ サービス・サポートのご案内.....	217
インターネットサービス.....	217
「MyEPSON」.....	217
エプソンインフォメーションセンター.....	217
ショールーム.....	218
コンピュータスクール.....	218
エプソンサービスパック.....	218
保守サービスのご案内.....	218
マニュアルデータのダウンロードサービス.....	219
■ 仕様.....	220
総合仕様.....	220
プリンタ仕様.....	224
スキャナ仕様.....	227
オートドキュメントフィーダ仕様.....	227
コピー仕様.....	228
ファックス仕様（LP-M5500F のみ）.....	228
■ 索引.....	229
■ 操作パネル設定項目一覧.....	233
コピーモード.....	233
ファックスモード.....	233
スキャンモード.....	234
設定モード.....	234

各部の名称と役割

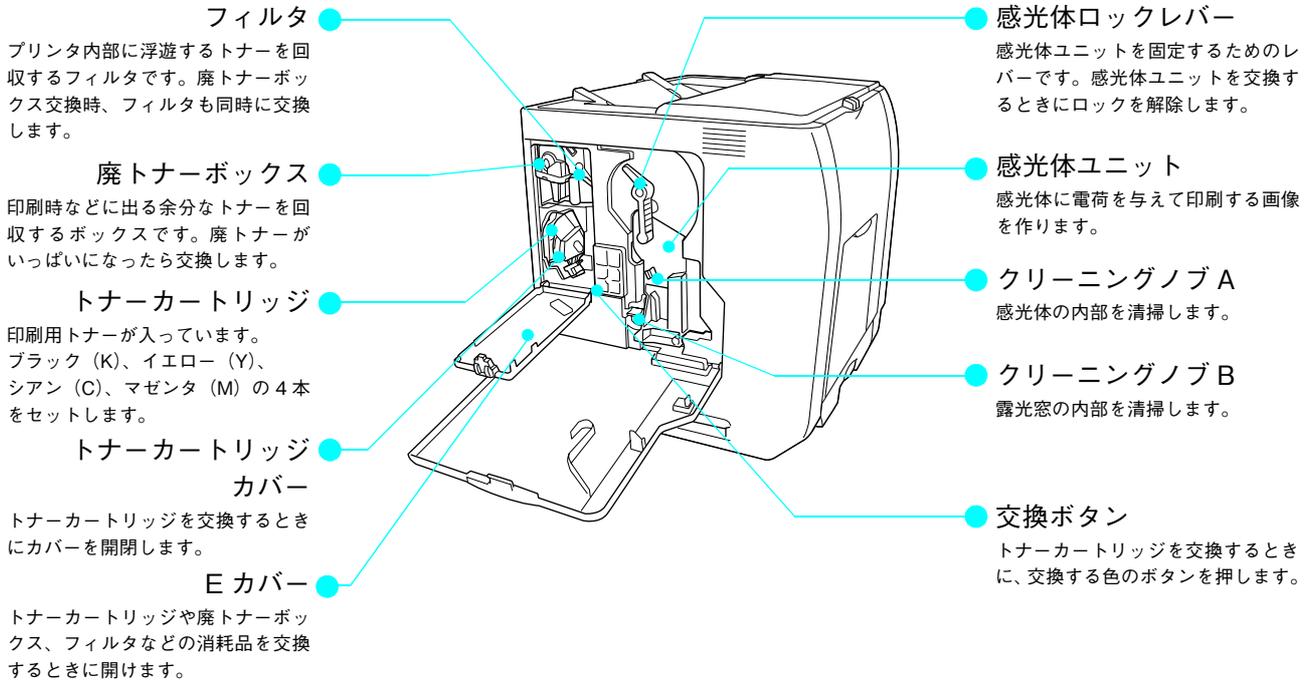
■ プリンタ部前面 / 左側面



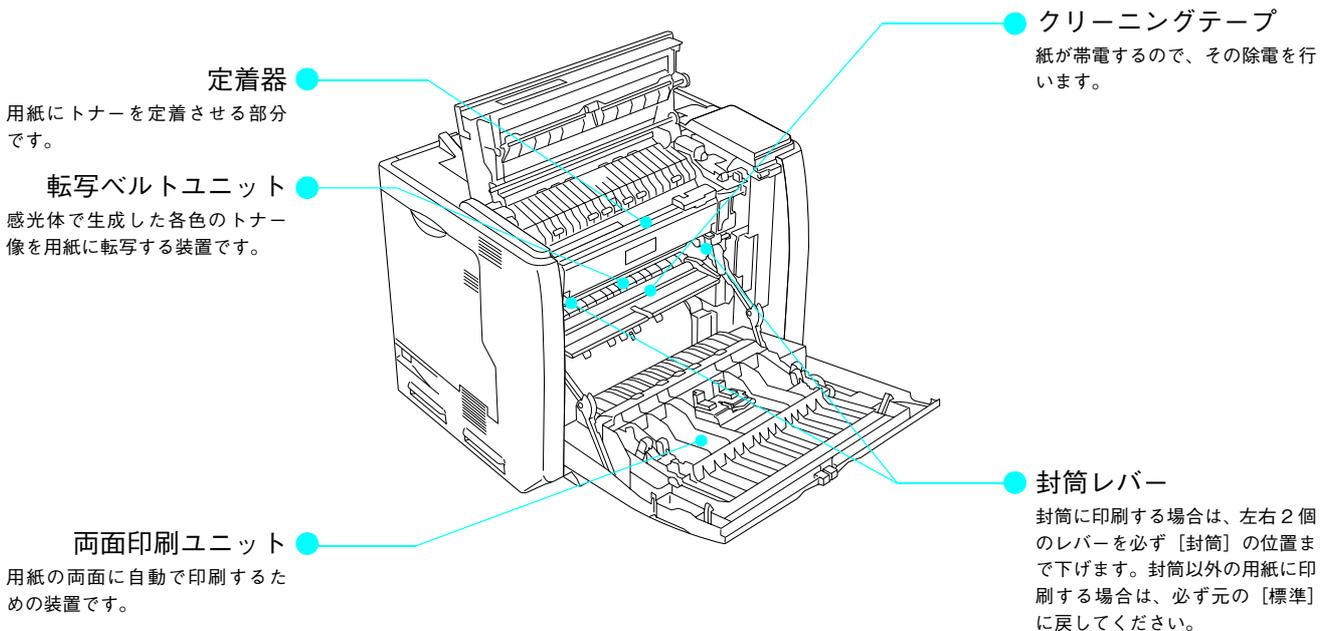
■ プリンタ部背面 / 右側面



■ プリンタ部側面 / 左側面



■ プリンタ部正面 / 内部

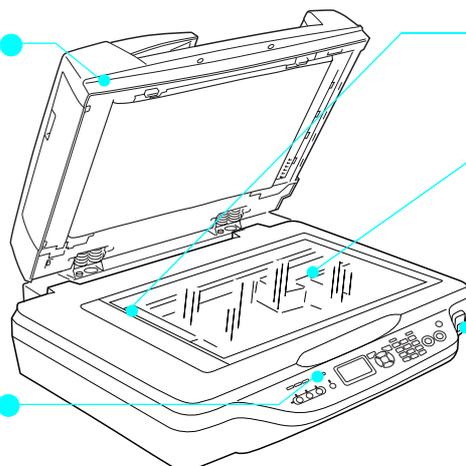


■ スキャナ部 / 前面

原稿カバー
冊子などオートドキュメントフィーダを使用しない原稿のときは、閉じて外部の光を遮ります。

操作パネル
本機の状態を示す液晶ディスプレイやランプ、本機の機能を設定するときなどに押すボタンがあります。

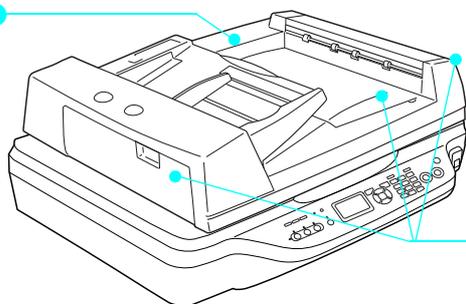
オートドキュメントフィーダ
連続して原稿を読み取るための装置です。



キャリッジ
原稿を照射する蛍光灯と、反射した光を読み取るセンサが付いています。読み取り時に移動します。

原稿台
原稿の取り込みたい面を下にして置きます。原稿のセット位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示す目盛りが付いています。

フラッシュメモリコネクタ
スキャンしたデータを保存するためのUSBフラッシュメモリを接続するためのコネクタです。



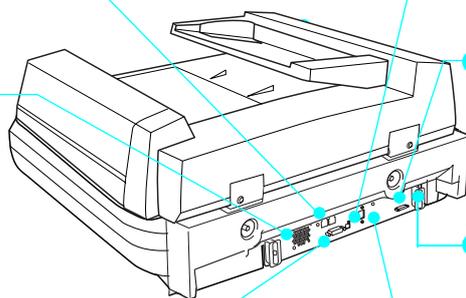
オートドキュメントフィーダカバー
オートドキュメントフィーダカバー内で用紙が詰まった場合に開けます。

■ スキャナユニット / 背面

電話機コード接続端子
[LINE] と刻印されている側に電話機コードを接続します。
[EXT.] と刻印されている側に外付け電話機を接続します。

背面カバー
オプションの増設メモリを装着する際に取り外します。

オートドキュメントフィーダコネクタ
オートドキュメントフィーダ (ADF) を接続するコネクタです。



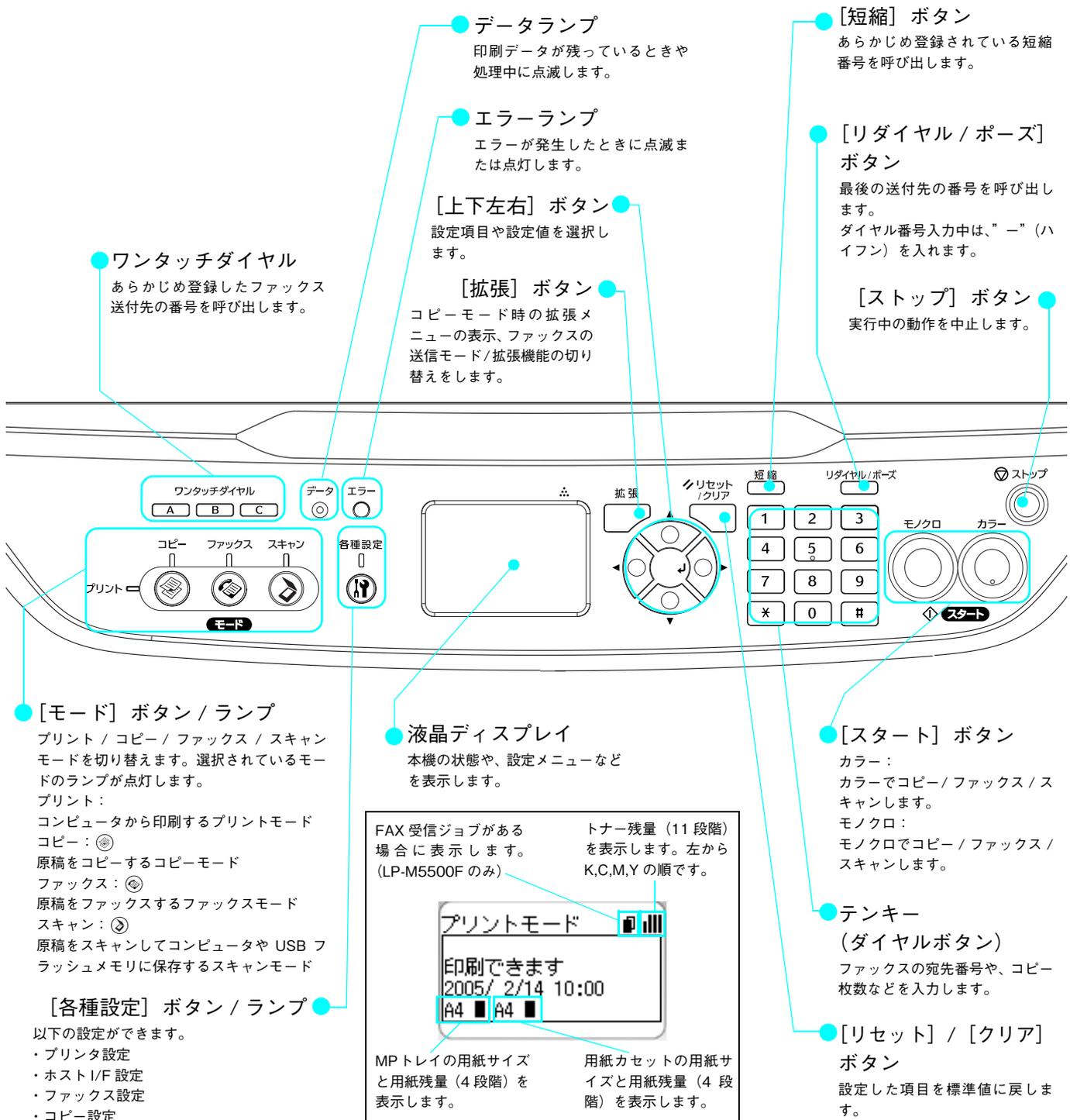
USB インターフェイスコネクタ
コンピュータと本機をUSBインターフェイスケーブルで接続するコネクタです。

接続コネクタ
スキャナ部とプリンタ部を専用ケーブルで接続するコネクタです。

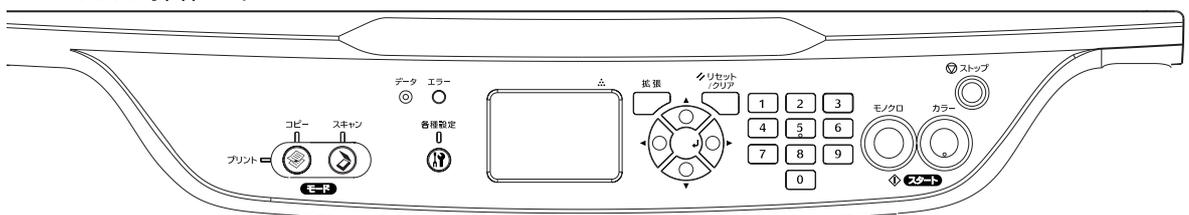
輸送用固定レバー
輸送時にキャリッジが動かないように固定するためのレバーです。スキャナ使用時はロックを解除してください。ロックされているとキャリッジが固定されるため、スキャナが動作しません。

ネットワークインターフェイスコネクタ
本機をネットワークインターフェイスケーブルで接続するコネクタです。

操作パネル



LP-M5500 操作パネル



ソフトウェアのご案内

本機に添付のいくつかのソフトウェアをご紹介します。

『EPSON ソフトウェア CD-ROM』収録のソフトウェア

ソフトウェア名称	説明
EPSON Scan	本機のスキャナを使用して、コンピュータに画像を取り込むためのソフトウェアです。
プリンタドライバ	コンピュータから本機に印刷するために必要なソフトウェアです。
EPSON ステータスマニタ	コンピュータから本機の状態を確認することができるソフトウェアです。
ソフトウェア機能ガイド for Windows/for Mac OS	本機をコンピュータ上からお使いいただくための情報とプリンタドライバ、EPSON Scan の機能を説明した PDF 形式の取扱説明書です。
ネットワーク設定ガイド	本機をネットワーク環境でお使いいただくための情報を説明した PDF 形式の取扱説明書です。
Fax 宛先登録ツール EPSON Speed Dial Utility (Windows のみ)	LP-M5500F のファックス送信用の短縮ボタンに送信先を登録するためのソフトウェアです。発信元情報の文字登録にも使用します。
EPSON Web-To-Page (Windows のみ)	ホームページを用紙の幅に納まるように自動的に縮小して印刷することができるソフトウェアです。インストールすると Microsoft Internet Explorer のツールバーに追加されます。
EPSON Creativity Suite	印刷機能、スキャン機能を活用するための機能を集めたソフトウェアです。
ユーザー登録「MyEPSON」 アシスタント	インターネットを通じてユーザー登録していただくためのソフトウェアです。



参考

上記以外にも各種ユーティリティなどが『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されています。収録されているソフトウェアの名称については、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』表面の記載をご覧ください。

『PageManager For EPSON CD-ROM』収録のソフトウェア

PageManager For EPSON (Windows のみ)	紙媒体の書類をデジタル化するなどして情報の整理と共有が簡単にできるソフトウェアです。また、本機の操作パネルを操作してスキャンしたデータをコンピュータに送信するためにも使用されます。
---------------------------------------	--

EPSON Web-To-Page について

システム条件

対象 OS : Windows 98/Me/2000/XP

対象ブラウザ : Microsoft Internet Explorer バージョン 5.5 以降

ネットワーク接続時のご注意

使用可能な接続形態は、LPR 接続、EpsonNet Print、Windows 共有接続のみです。ただし、Windows 共有接続で Windows 98/Me に直接接続されたプリンタを共有し、Windows 2000/XP から共有プリンタを使用したとき、印刷できない場合があります。

1

用紙のセット

印刷用紙のセット方法と、コピー/ファックス/スキャナの原稿のセット方法を説明します。

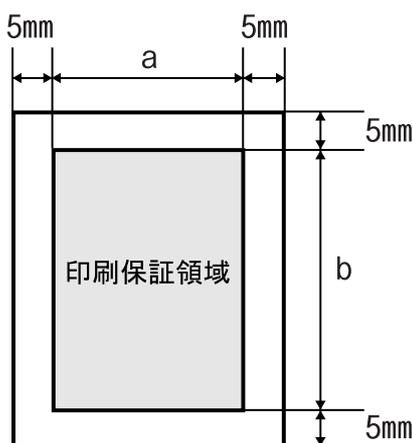
印刷用紙について	12
印刷用紙のセット	15
原稿のセット	24

印刷用紙について

本機を使用してコピーまたはファックス受信を行うときの印刷用紙について説明します。

印刷用紙サイズと印刷保証領域

印刷用紙サイズと印刷保証領域は次の通りです。印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から5mmを除く領域の印刷を保証します。



用紙サイズ	印刷保証領域サイズ [単位 mm]	
	a	b
B5 < 182 × 257mm >	172	247
A4 < 210 × 297mm >	200	287
B4 < 257 × 364mm >	247	354
A3 < 297 × 420mm >	287	410



コンピュータからの印刷時には、以下のサイズの内紙もセットできます。
A3、A4、A5、B4、B5、Letter、Half-Letter、Legal、Government Letter、Government Legal、Ledger、Executive、F4、ハガキ、往復ハガキ、封筒（洋形0号、長形3号）、
不定形紙 幅 98.5 ~ 297.0 × 長さ 148.0 ~ 431.9mm

使用できる印刷用紙の種類

■ EPSON 製の用紙

次の EPSON 製用紙が、コピーまたはファックス受信を行うときの印刷用紙として使用できます。

	使用可能な用紙	型番 (サイズ)	説明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA4 (A4) LPCPPB4 (B4) LPCPPA3 (A3)	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる上質普通紙です。 MP トレイまたは用紙カセットのどちらからでも給紙できます。

！注意

上記以外の EPSON 純正の用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

■ 一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、ここで紹介する用紙がコピーまたはファックス受信を行うときの印刷用紙として使用できます。これ以外の用紙は使用しないでください。

	使用可能な一般の用紙	説明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。紙厚は 64 ~ 105g/㎡の範囲内のものが使用可能です。MP トレイまたは用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
	上質紙	紙厚は 64 ~ 90g/㎡の範囲内のものが使用可能です。 MP トレイまたは用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
	再生紙*	紙厚は 64 ~ 90g/㎡の範囲内のものが使用可能です。 MP トレイまたは用紙カセットのどちらからでも給紙できます。

* 再生紙は、一般の室温環境下 (温度 15 ~ 25 度、湿度 40 ~ 60% の環境) 以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

参考

- 印刷面の指定がない用紙も、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。用紙がカールなどとしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

印刷できない用紙

■ 給紙ローラ、感光体、定着器の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙：スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、郵便ハガキ（インクジェット紙）など
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

■ 給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（ $63\text{g}/\text{m}^2$ 以下）、厚すぎる用紙（ $164\text{g}/\text{m}^2$ を超える）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スペースベシすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している

■ 耐熱温度約 200 度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

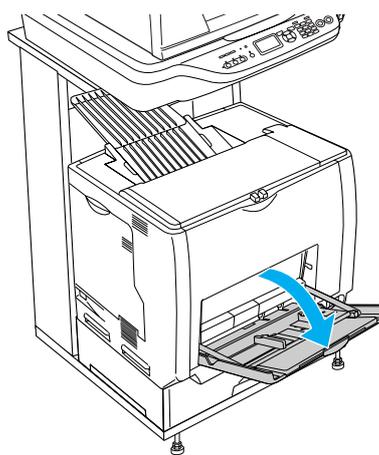
印刷用紙のセット

ここでは、印刷用紙を本機にセットする手順を説明します。

MP トレイに用紙をセットする

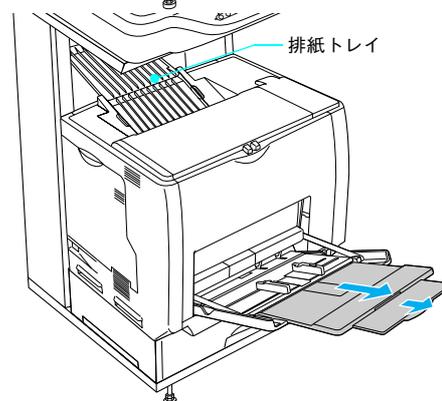
MP トレイは、本機で印刷可能なすべての用紙をセットできる MP トレイ（マルチパーパストレイ）です。

1 MP トレイを開きます。

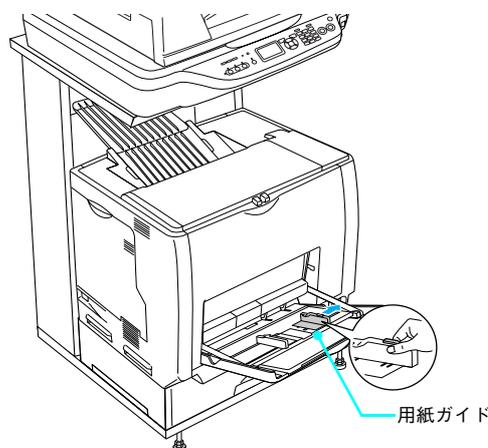


2 A3、B4 サイズの用紙をセットする場合は、MP トレイの先端を引き延ばします。

排紙トレイが開いていない場合は、開いてください。

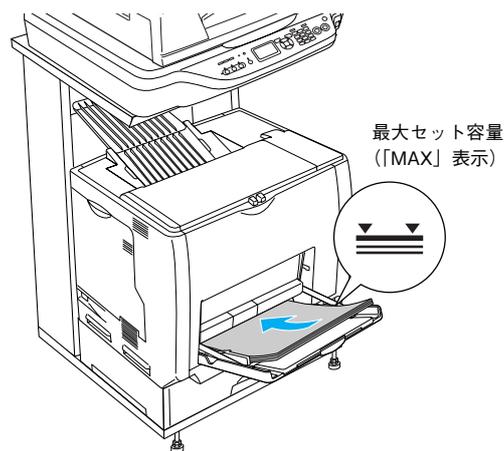


3 用紙ガイドのつまみ部分をつまんだまま外側へずらします。



4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして用紙をセットします。

- セットする方向は次表を参照してください。
- 用紙は最大 150 枚 (EPSON カラーレーザープリンタ用 上質普通紙 64g/㎡) までセットできます。用紙ガイド内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。



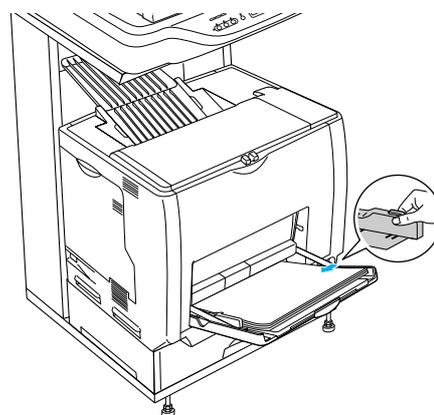
	MP トレイ通常時	MP トレイ引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5	－ (この組み合わせはありません)
用紙を縦長にセット	－ (この組み合わせはありません)	A3、B4

⚠注意 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙ガイドのツマミをつまんで用紙の端に合わせます。

！注意

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙サイズ関連のエラーが発生する可能性があります。

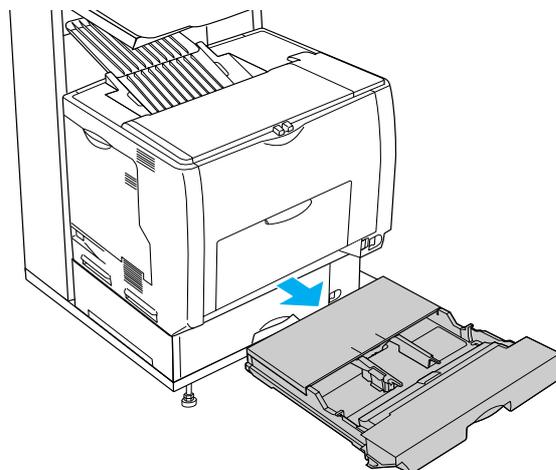


以上で MP トレイへの用紙のセットは終了です。

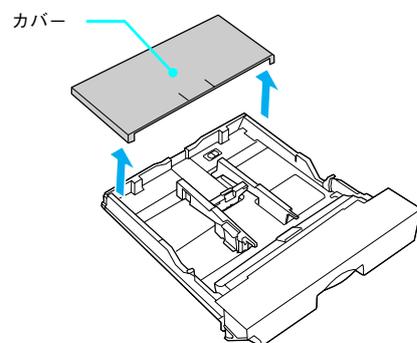
MP トレイにセットする用紙のサイズを変更した場合は、操作パネルで用紙サイズを設定してください。
 本書 23 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する (MP トレイのみ)」

用紙カセット(標準カセット 1)に用紙をセットする

1 用紙カセットを引き出します。

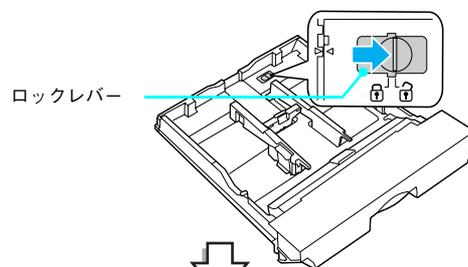


2 用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。

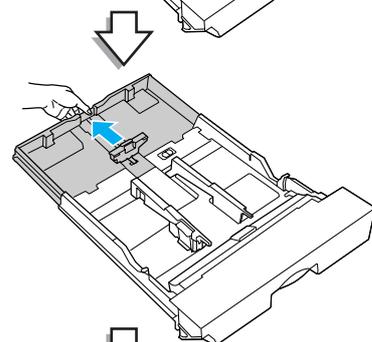


3 A3、B4 サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。

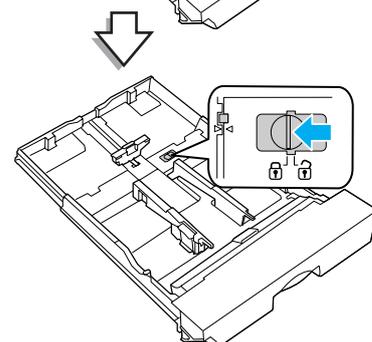
① 用紙カセットのロックレバーを図の位置まで移動し、ロックを解除します。



② 用紙カセットの後部を止まるまで引き出します。



③ ロックレバーを図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。



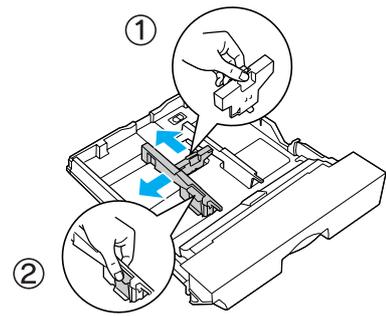
参考

ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦） / （横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

- ① 用紙ガイド（縦）のつまみをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。
- ② 用紙ガイド（横）のつまみ部分をつまんだまま外側へずらしします。

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦） / （横）を、用紙がセットできるように移動します。

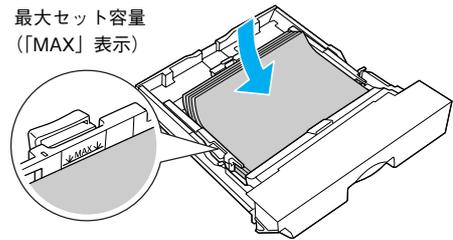


	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5	－（この組み合わせはありません）
用紙を縦長にセット	－（この組み合わせはありません）	A3、B4

⚠注意 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

- セットする方向は 4 の表を参照してください。
- 用紙は最大 250 枚（EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 64g/㎡）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

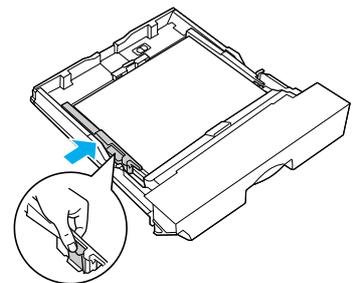


6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

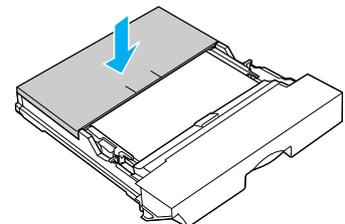
用紙ガイド（横）のつまみをつまんで、用紙サイズに合わせます。

！注意

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

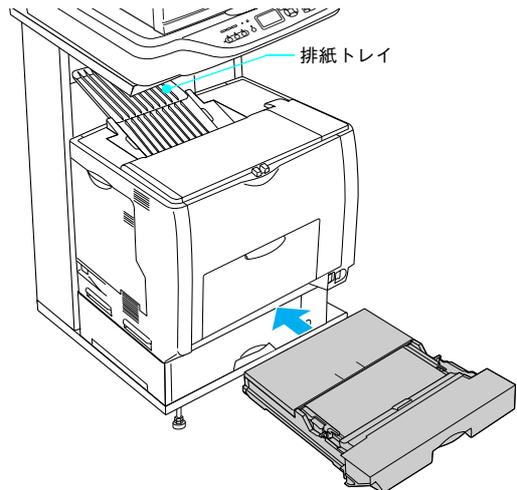


7 用紙カセットのカバーを取り付けます。

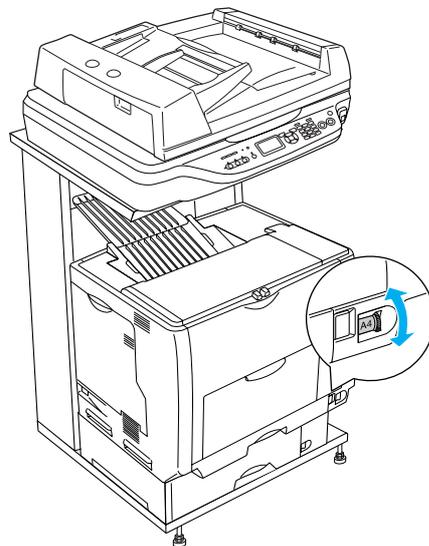


8**用紙カセットを本機にセットします。**

A3、B4 サイズをセットした場合は、排紙トレイが開いているか確認してください。

**9****〔用紙サイズ設定〕ダイヤルを、セットした用紙サイズに合わせます。****！注意**

- 〔用紙サイズ設定〕ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。
- コピーまたは印刷中は〔用紙サイズ設定〕ダイヤルを操作しないでください。



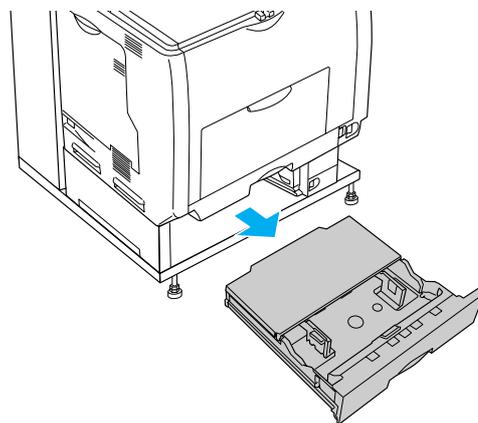
以上で標準用紙カセット 1 への用紙のセットは終了です。

用紙カセット(オプションカセット 2～4)に用紙をセットする

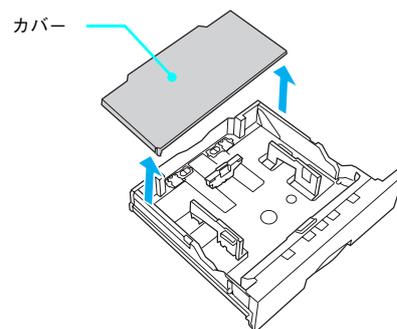
本機には標準装備されている用紙カセット 1 のほかに用紙カセットを 3 段まで増設できます。

ここでは、プリンタ部のすぐ下に装着した増設カセットユニット(用紙カセット 2)を図示して説明します。用紙カセット 3～4 の場合も、同様の手順で用紙をセットしてください。

- 1 用紙カセットを増設カセットユニットから引き出します。

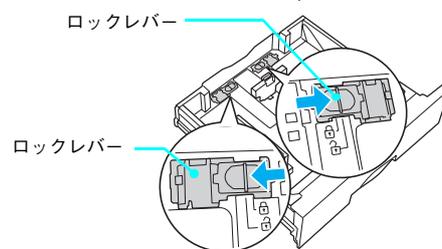


- 2 用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。

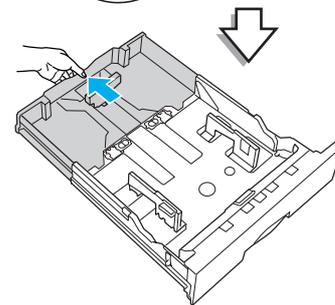


- 3 A3、B4 サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。

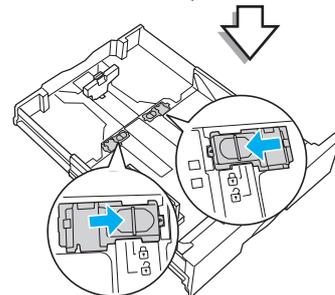
① 用紙カセットのロックレバー(2箇所)を図の位置まで移動し、ロックを解除します。



② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出します。



③ ロックレバー(2箇所)を図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。



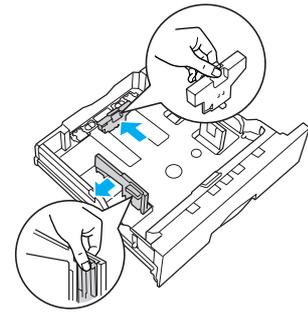
参考

ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦） / （横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

- ① 用紙ガイド（縦）のつまみをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。
- ② 用紙ガイド（横）のつまみをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦） / （横）を、用紙がセットできるように移動します。

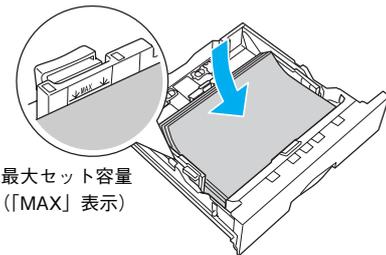


	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5	－（この組み合わせはありません）
用紙を縦長にセット	－（この組み合わせはありません）	A3、B4

△注意 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

- セットする方向は 4 の表を参照してください。
- 用紙は最大 500 枚（EPSON カラーレーザープリンタ用 上質普通紙 64g/㎡）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

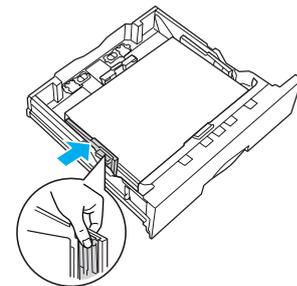


6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

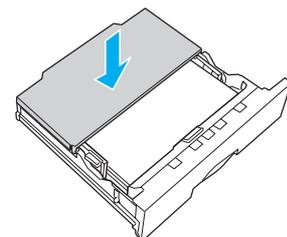
用紙ガイド（横）のつまみをつまんで、用紙サイズに合わせます。

！注意

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

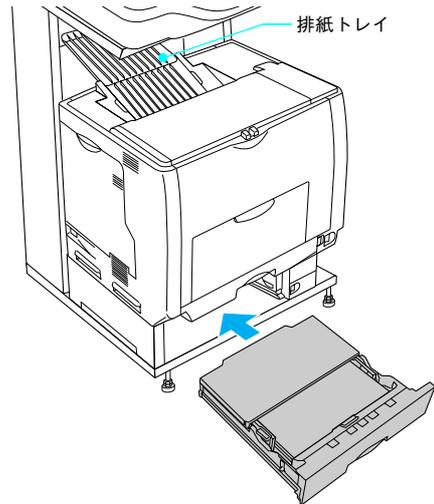


7 用紙カセットのカバーを取り付けます。



8 用紙カセットを増設カセットユニットにセットします。

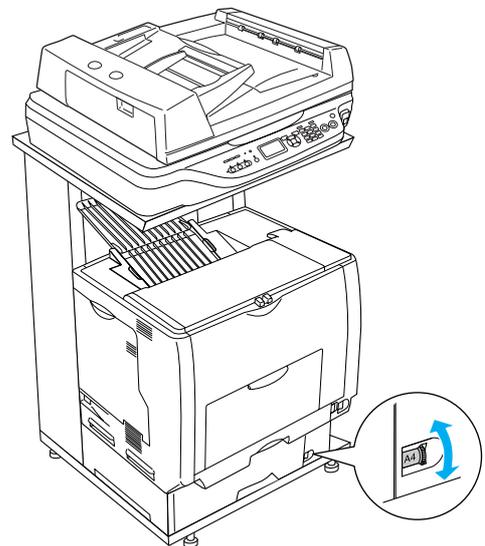
A3、B4 サイズの用紙をセットした場合は、排紙トレイが開いているか確認してください。



9 [用紙サイズ設定] ダイヤルを、セットした用紙サイズに合わせます。

！注意

- [用紙サイズ設定] ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。
- コピーまたは印刷中は [用紙サイズ設定] ダイヤルを操作しないでください。



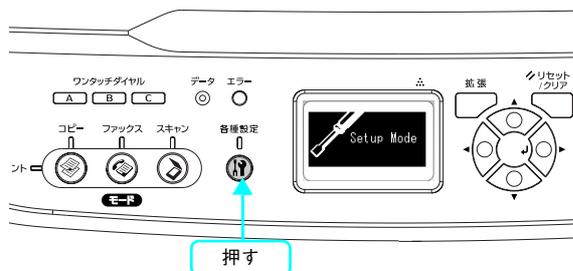
以上でオプション用紙カセット（2 ～ 4）への用紙のセットは終了です。

操作パネルで用紙サイズを設定する(MPトレイのみ)

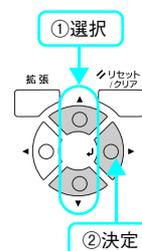
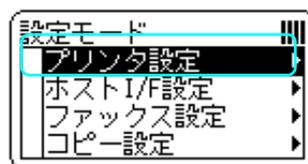
MPトレイにセットした用紙のサイズを変更した(初期設定はA4)場合は、次の手順に従って用紙サイズを設定してください。用紙サイズを正しく設定しないと、コピーや印刷ができなかったり、エラーが発生します。

1 本機の電源がオン(|)になっていることを確認します。

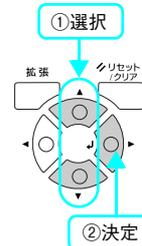
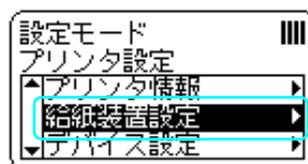
2 操作パネルの[各種設定]ボタンを押します。



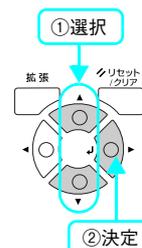
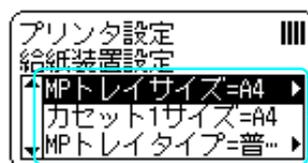
3 [▼][▲]ボタンを押して[プリンタ設定]を選択し、[▶]ボタンを押します。



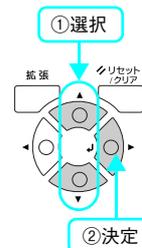
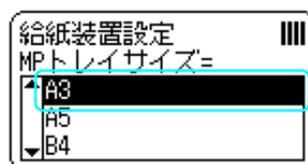
4 [▼][▲]ボタンを押して[給紙装置設定]を選択し、[▶]ボタンを押します。



5 [▼][▲]ボタンを押して[MPトレイサイズ]を選択し、[▶]ボタンを押します。



6 [▼][▲]ボタンを押して本機にセットしてある用紙のサイズを選択し、[▶]ボタンを押します。



7 操作パネルの[各種設定]ボタンを押します。
操作パネルの表示が[プリントモード]になります。

以上で用紙サイズ設定の手順は終了です。

原稿のセット

原稿台に原稿をセットする

■ セットできる原稿

原稿台には、最大 A3 サイズまでの原稿がセットできます。サイズ検知ができる用紙サイズは次の通りです。

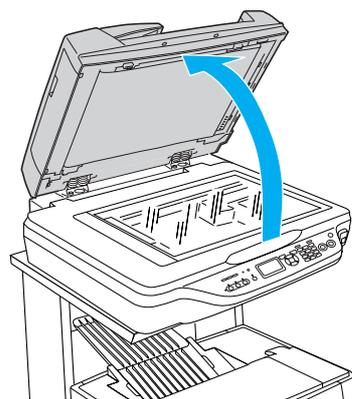
自動検知可能原稿サイズ	B5 縦 / 横、A4 縦 / 横、B4、A3
-------------	-------------------------

！注意

- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

■ 原稿のセット方法

1 原稿カバーを開けます。

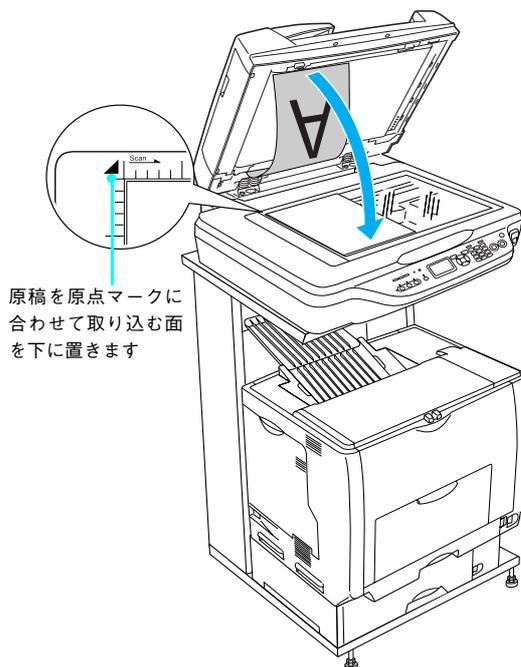
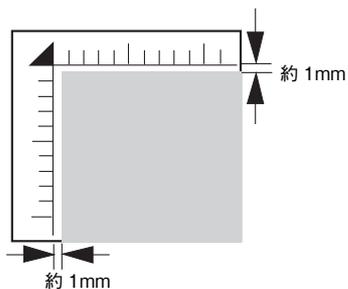


2 原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。

A4、B5 サイズは縦、横どちらでもセットできます。

参考

原稿台の上端から最大 1mm、右端から 1mm の範囲はスキャンできません。



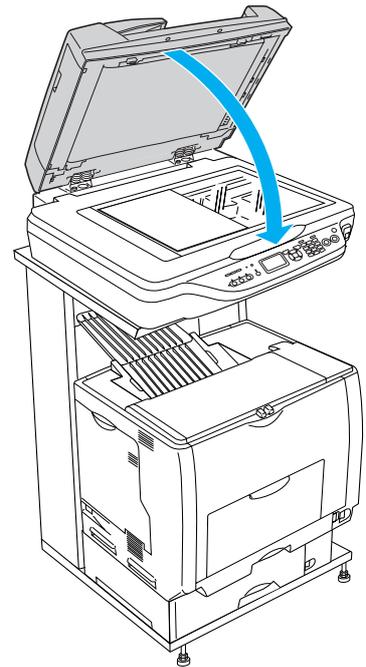
3 原稿カバーを閉じます。

原稿カバーに指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、ゆっくり閉じてください。

！注意

- 原稿カバーは、原稿台から 45° のところで一旦止まるようにできています。ただし、上から勢いよく閉じると 45° のところで止まらないことがあるのでご注意ください。
- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえ付けしないでください。強く押さえ付けると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

以上で原稿台への原稿のセットは終了です。



オートドキュメントフィーダ(ADF)に原稿をセットする(LP-M5500Fのみ)

■ セットできる原稿

オートドキュメントフィーダにセットできる用紙は次の通りです。

原稿サイズ	A3、Ledger (約 280 × 432mm)、B4、Legal (216 × 356mm)、A4、Letter (216 × 279mm)、B5
セット可能枚数	100 枚 (A4 : 80g/㎡) (用紙ガイドの目盛りを超えてセットしないこと)
紙質	普通紙、上質紙、リサイクル紙、レーザープリンタ専用紙、インクジェットプリンタ専用紙
紙厚 (連量)	50 ~ 127g/㎡

！注意

写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

■ セットできない原稿

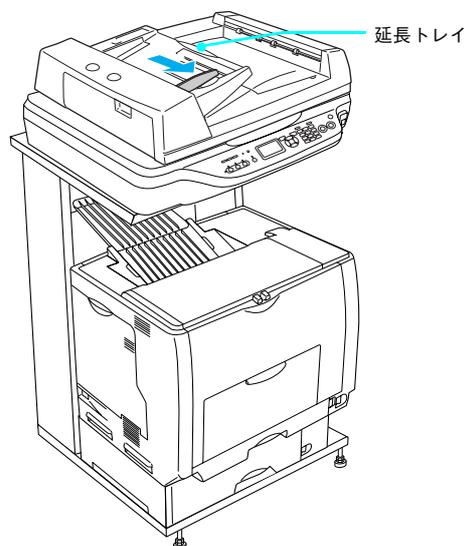
次の用紙は、オートドキュメントフィーダでは使用しないでください。給紙不良またはオートドキュメントフィーダの故障などの原因になります。

- 折り目、反り (カール)、しわ、破れのある用紙 (原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください)
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙 (裏面糊付)
- ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙 (製本物)
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙 (OHP シートなど)、半透明紙、光沢紙
- シールなどが貼ってある原稿
- 劣化した原稿

原稿のセット方法

1 用紙ガイドをセットする原稿サイズが目盛りの位置まで広げます。

B4以上のサイズをセットするときは、延長トレイを引き出します。



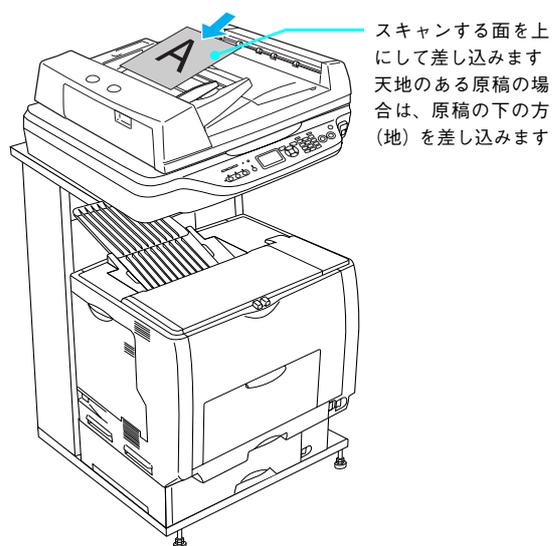
2 原稿をセットします。

原稿のスキャンする面を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。

A4、B5サイズは、縦、横どちらでもセットできます。

参考

両面原稿の場合は、表面を上に向けてセットしてください。1番上の原稿から給紙されます。

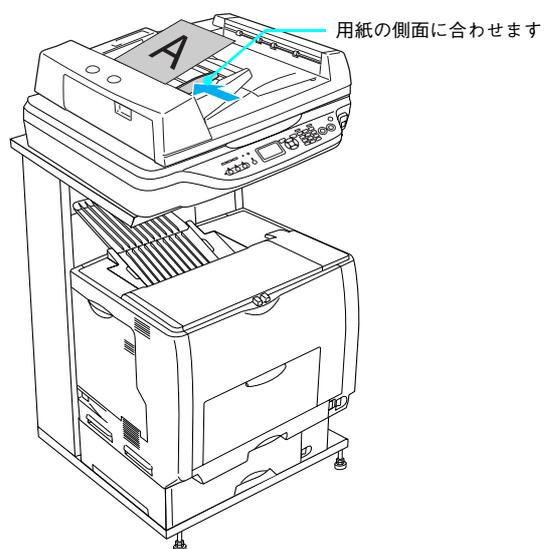


3 用紙ガイドを原稿の側面に合わせます。

以上でオートドキュメントフィーダへの原稿のセットは終了です。

参考

スキャンされた原稿は、下段の排紙トレイに排出されます。



Memo

2

コピー

コピー機能について説明します。

コピーの前に	30
基本コピー（カラー/モノクロ）	31
拡張コピー	33

コピーの前に

コピーをする前に、セットできる原稿サイズや印刷用紙サイズをご確認ください。

セットできる原稿

セットできる原稿サイズは、次の通りです。

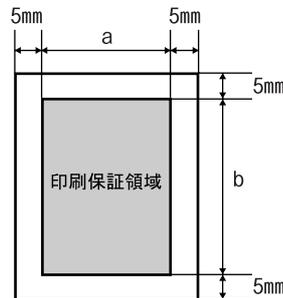
- A4 横 / 縦 < 210 × 297mm >
- A3 < 297 × 420mm >
- B5 横 / 縦 < 182 × 257mm >
- B4 < 257 × 364mm >

紙幣偽造防止装置

紙幣のコピーを防止する機能で、本機のカラーコピーのすべての機能に対して作動します。紙幣を読み取った場合、コピーは自動的にキャンセルされ、何も印刷されません。

印刷保証領域

印刷用紙サイズと印刷保証領域は次の通りです。印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。



参考

原稿の各端面から 5mm の範囲はコピーされません。ただし、[全面コピー] 機能を使用すると、原稿サイズ全体が保証領域内に納まるように、自動的に拡大・縮小してコピーします。

コピーに使用できる印刷用紙の種類

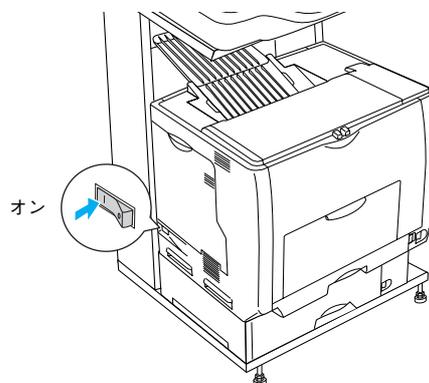
コピーに使用できる印刷用紙の種類は、以下のページを参照してください。

📖 本書 13 ページ「使用できる印刷用紙の種類」

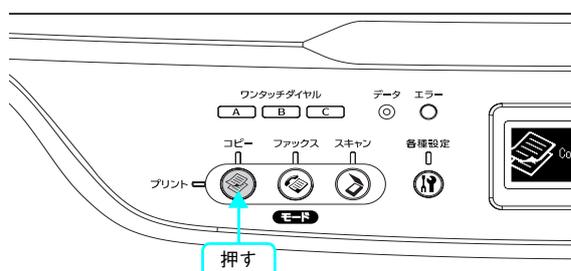
基本コピー(カラー/モノクロ)

コピーの基本操作を説明します。

1 電源をオン (1) にします。

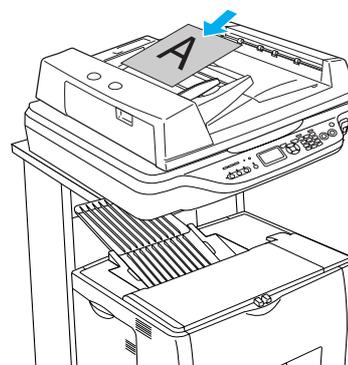


2 [コピー] ボタンを押します。 コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

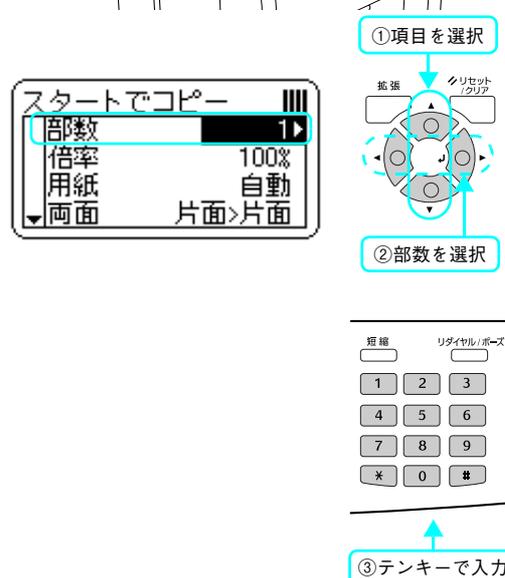


3 原稿をセットします。 原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
☞ 本書 24 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
☞ 本書 26 ページ「オートドキュメントフィーダ(ADF)に原稿をセットする (LP-M5500F のみ)」

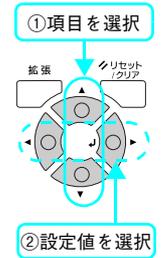
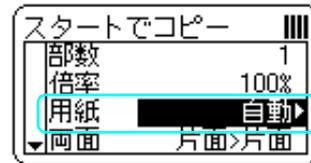


4 コピー枚数を設定します。 [▲] または [▼] ボタンを押して [部数] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンでコピーする枚数を設定します。 [部数] はテンキー (ダイヤルボタン) で入力することもできます。 設定できる [部数] は 1 ~ 99 です。



5 給紙装置を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [用紙] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで給紙装置を選択します。
[用紙] の選択が [自動] の場合は、読み取った原稿サイズと一致するサイズの内紙が、自動的に給紙装置から給紙されます。



設定	説明
[自動]	セットした原稿が A4 縦 / 横、B5 縦 / 横、B4、A3 のときに、読み取った原稿サイズと同じサイズの内紙がセットされている給紙装置から給紙します。
[MPトレイ XX]	MPトレイから給紙します。MPトレイにセットしている用紙サイズに合わせて選択してください。
[カセット X XX]	選択した用紙カセットから給紙します。

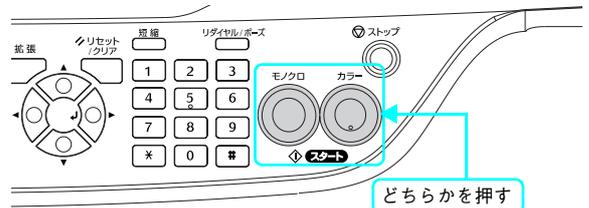
！注意

- 用紙カセットにコピーできないサイズの内紙がセットされている場合、操作パネルの [用紙] に「カセット X ー」が表示されます。「カセット X ー」を選択してコピーをすると、エラーが発生してコピーできません。A3/B4/A4/B5 サイズの内紙をセットしてください。
- 用紙カセットの [用紙サイズ設定] ダイアルの設定が間違っても上記のエラーが発生します。[用紙サイズ設定] ダイアルの設定も確認してください。

📖 本書 17 ページ「用紙カセット (標準カセット 1) に用紙をセットする」

6 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。



参考

コピーを中断したい場合

[ストップ] ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の内紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

拡張コピー

ここでは、本機の機能を利用した各種コピーの方法を説明します。

拡大・縮小してコピーする

拡大・縮小コピーには、原稿サイズと印刷用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小する [固定倍率] と、任意に倍率を設定できる [任意倍率] の2種類の方法があります。

[全面コピー] 機能を使用すると、原稿の全面を印刷用紙サイズの印刷保証領域に納めることができます。



印刷保障領域は、原稿の各端面から 5mm 内側に設定されます。

倍率

設定項目	設定値		拡大 / 縮小率
固定倍率	A3 → A4	A3サイズ of 原稿を A4サイズ に納まるように縮小コピーします。	70%
	B4 → B5	B4サイズ of 原稿を B5サイズ に納まるように縮小コピーします。	
	B4 → A4	B4サイズ of 原稿を A4サイズ に納まるように縮小コピーします。	81%
	A3 → B4	A3サイズ of 原稿を B4サイズ に納まるように縮小コピーします。	86%
	A4 → B5	A4サイズ of 原稿を B5サイズ に納まるように縮小コピーします。	
	100%	等倍でコピーします。	等倍
	B4 → A3	B4サイズ of 原稿を A3サイズ に納まるように拡大コピーします。	115%
B5 → A4	B5サイズ of 原稿を A4サイズ に納まるように拡大コピーします。		
任意倍率	A4 → B4	A4サイズ of 原稿を B4サイズ に納まるように拡大コピーします。	122%
	A4 → A3	A4サイズ of 原稿を A3サイズ に納まるように拡大コピーします。	141%
	B5 → B4	B5サイズ of 原稿を B4サイズ に納まるように拡大コピーします。	
	コピー倍率を任意で設定できます。1%単位で設定します		25 ~ 400%



用紙選択が自動のとき、任意倍率の組み合わせは選ぶことができません。
「用紙選択を自動以外に変更してください」のメッセージが表示され、コピーされません。

■ 全面コピー

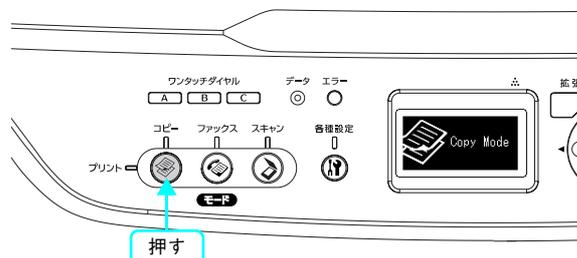
全面コピー	Off	On
仕上がりイメージ	<p>原稿サイズ 印刷用紙サイズ</p>	<p>原稿サイズ 印刷用紙サイズ</p>
	<p>[全面コピー] 機能を Off にすると、印刷保証領域を考慮せずコピーしますので、原稿の各端面から5mmの範囲はコピーされません。</p>	<p>[全面コピー] 機能を On にすると、原稿サイズ全体が保証領域内に納まるように、自動的に拡大・縮小してコピーします。</p>



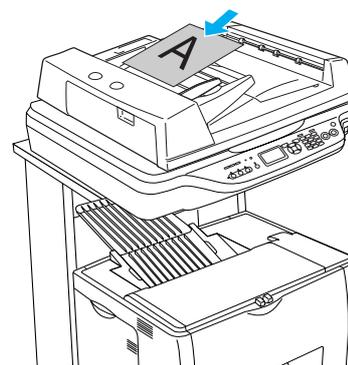
任意倍率の指定と全面コピーの組み合わせは、選ぶ事ができません。コピーは実行できますが、[全面コピー] 機能が Off で処理されます。

■ 設定方法

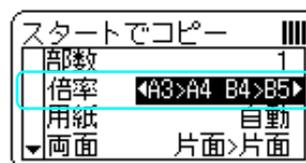
- 1 電源をオン (I) にします。
- 2 [コピー] ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。



- 3 原稿をセットします。
 - 原稿台に原稿をセットする場合
☞ 本書 24 ページ「原稿台に原稿をセットする」
 - オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
☞ 本書 26 ページ「オートドキュメントフィーダ(ADF)に原稿をセットする (LP-M5500F のみ)」



- 4 [倍率] を設定します。
[固定倍率] でコピーするとき
[▲] または [▼] ボタンを押して [倍率] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで固定倍率を選択します。



①項目を選択

②設定値を選択

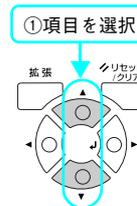
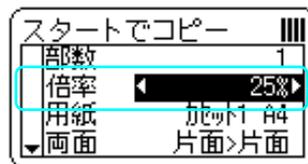
[任意倍率]でコピーするとき

[▲] または [▼] ボタンを押して [倍率] を選択してから、テンキー（ダイヤルボタン）を使って、任意の倍率を入力します。

任意で設定できる倍率は 25 ~ 400% です。

参考

[用紙] の選択が [自動] の場合、任意で倍率を設定することができません。

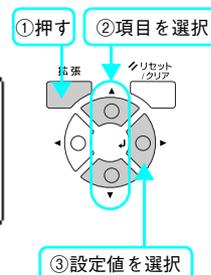


5 [全面コピー] 機能を使用する場合は、[全面コピー] を [On] にします。

- ① [拡張] ボタンを押します。
- ② [▲] または [▼] ボタンを押して [全面コピー] を選択します。
- ③ [▶] ボタンで [On] にします。

参考

[倍率] を任意で設定した場合、[全面コピー] 機能を使用することはできません。



6 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

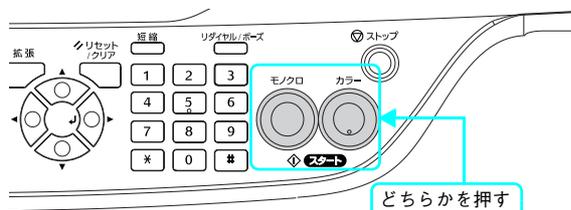
参考

「倍率の指定と原稿サイズが一致しません」とエラー表示された場合

[倍率] で選択した固定倍率と、本機にセットされている用紙サイズが一致しない場合に表示されます。セットされている用紙を固定倍率で選択したサイズ of 用紙に変更してください。

コピーを中断したい場合

[ストップ] ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

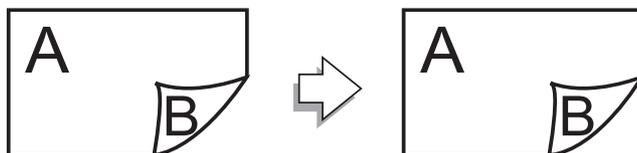


コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

用紙の両面にコピーする / 両面原稿をコピーする

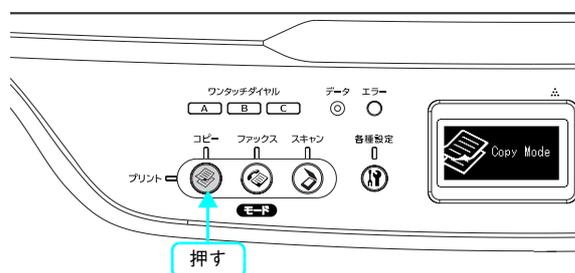
2枚の原稿を1枚の用紙の両面にコピーしたり、両面に印刷された1枚の原稿の裏表を2枚の用紙の片面にコピーすることができます。

両面コピーの種類と説明については、手順 4 を参照してください。



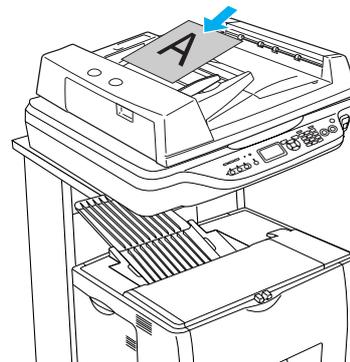
1 電源をオン（I）にします。

2 [コピー] ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。



3 原稿をセットします。

- 原稿台を使用する場合は、1枚目の原稿をセットします。
☞ 本書 24 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダを使用する場合は、コピーするすべて（最大 100 枚）の原稿をセットします。
☞ 本書 26 ページ「オートドキュメントフィーダ(ADF)に原稿をセットする (LP-M5500F のみ)」



4 両面コピーの種類を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [両面] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで両面印刷の種類を選択します。両面コピーには、以下の種類があります。



両面コピーの種類	説明	仕上がりイメージ
片面→片面	通常のコピー方法です。原稿の片面を用紙の片面にコピーします。	
片面→両面	2枚の原稿の片面を、1枚の用紙の表と裏にコピーします。	

両面コピーの種類	説明	仕上がりイメージ
両面→片面	両面印刷された原稿の表と裏を、用紙の片面にコピーします。	
両面→両面	両面印刷された原稿の表と裏を、用紙の両面にコピーします。	
片面→両面上	2枚の原稿の片面を、1枚の用紙の表と裏にコピーします。このとき、偶数ページは180度回転してコピーされます。	
両面上→片面	両面印刷された原稿の表と裏を、用紙の片面にコピーします。このとき、偶数ページは180度回転してコピーされます。	

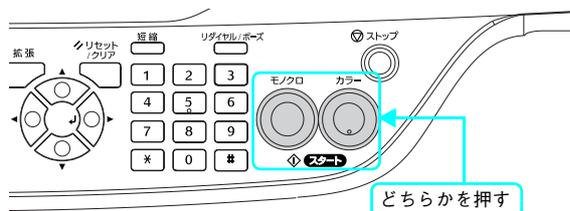
5 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したい場合

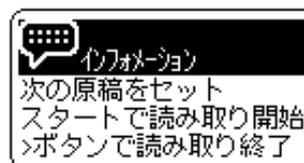
[ストップ] ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。



6 右のメッセージが表示されたら、原稿台に2枚目の原稿をセットします。

原稿台を使用した場合は、一枚ごとに原稿をセットする必要があります。

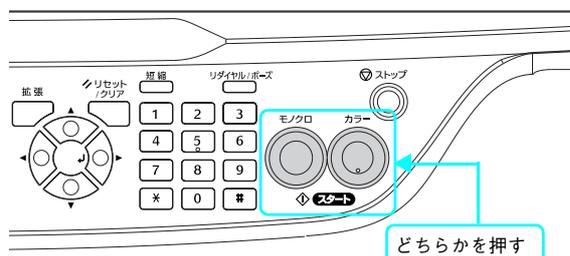
表示パネルに右の画面が表示されたら、次の原稿をセットして、[カラー] または、[モノクロ] ボタンを押してコピーを実行します。



参考

オートドキュメントフィーダを使用する場合 (LP-M5500F のみ)

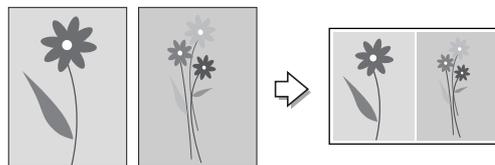
片面原稿、両面原稿とも自動的に原稿が取り込まれ、連続して読み取りと印刷が行われます。



コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

割り付けコピーをする

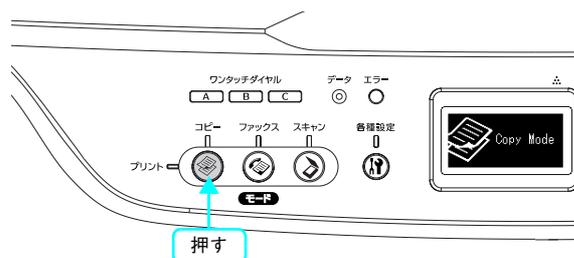
2枚の原稿を、1枚の用紙に割り付けてコピーします。
以下の原稿サイズと印刷用紙サイズの組み合わせができます。



原稿サイズ	印刷用紙サイズ			
	A4	B5	A3	B4
A4 横 / 縦	○	○	○	○
B5 横 / 縦	○	○	○	○
A3	○	○	○	○
B4	○	○	○	○

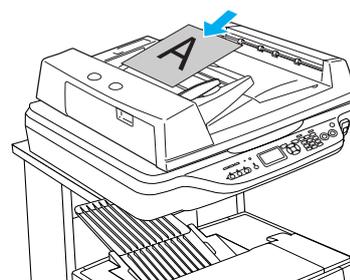
1 電源をオン（I）にします。

2 [コピー] ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。



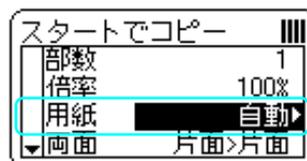
3 原稿をセットします。

- 原稿台を使用する場合は、1枚目の原稿をセットします。
☞ 本書24ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダを使用する場合は、コピーするすべて（最大100枚）の原稿をセットします。
☞ 本書26ページ「オートドキュメントフィーダ(ADF)に原稿をセットする (LP-M5500Fのみ)」



4 出力したいサイズの用紙がセットされた給紙装置を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [用紙] を選択してから、[◀] または [▶] で給紙装置を選択します。



①項目を選択

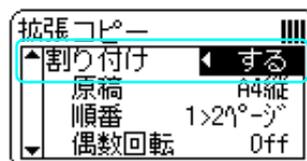
②設定値を選択

①押す ②選択

③決定

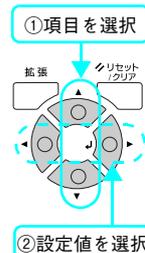
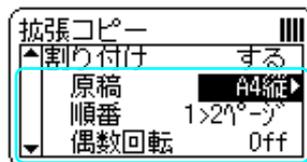
5 [割り付け] を選択します。

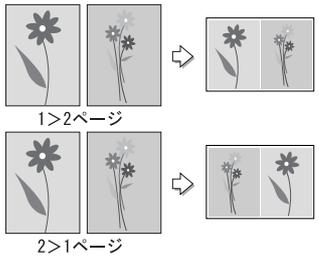
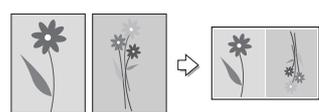
- [拡張] ボタンを押します。
- [▲] または [▼] ボタンを押して [割り付け] を選択します。
- [▶] ボタンで [する] にします。



6 必要に応じてその他の設定を行います。

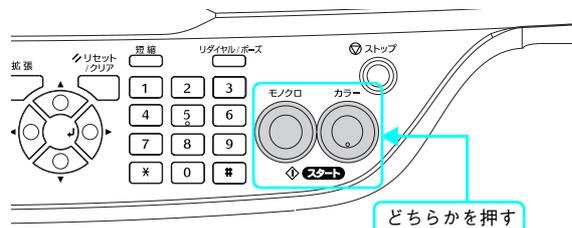
[▲] または [▼] ボタンを押して設定項目を選択してから
[◀] または [▶] ボタンで設定値を選択します。



設定項目	説明
原稿	セットした原稿のサイズと向きを選びます。(A3、B4、A4、B5、A4 縦、B5 縦)
順番	原稿の 1 枚目 (奇数ページ) と 2 枚目 (偶数ページ) を、1 枚の用紙に割り付ける順番を指定できます。 
偶数回転	[偶数回転] を [On] にすると、偶数ページが 180 度回転して印刷されます。 

7 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。



参考

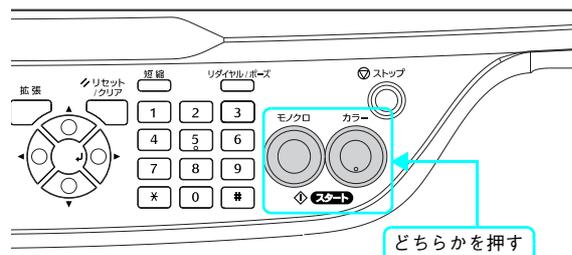
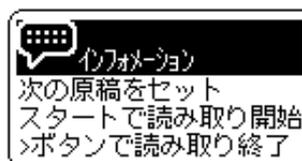
コピーを中断したい場合

[ストップ] ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

8 右のメッセージが表示されたら、原稿台に 2 枚目の原稿をセットします。

原稿台を使用した場合は、一枚ごとに原稿をセットする必要があります。

表示パネルに右のメッセージが表示されたら、次の原稿をセットして、[カラー] または、[モノクロ] ボタンを押してコピーを実行します。



参考

オートドキュメントフィーダを使用する場合 (LP-M5500F のみ)

- 片面原稿、両面原稿とも自動的に原稿が取り込まれ、連続して読み取りと印刷が行われます。
- セットされている原稿が奇数枚の場合は、最終ページを白ページとしてコピーします。

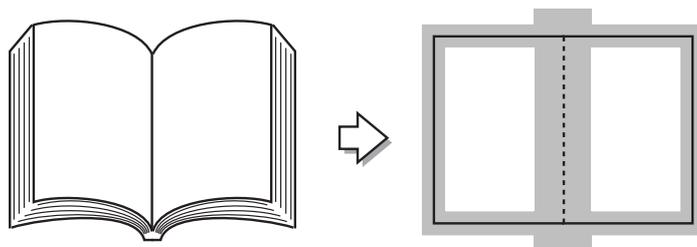
コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

影を消して(取り込まない範囲を指定して)コピーする

原稿の中央や周囲に読み込まない範囲を設定してコピーする機能です。

厚い本などを見開き状態でコピーすると、ページの中央や左右に影が生じたり、ページの周囲に他のページが枠のようにコピーされる場合があります。このような影・枠が生じないように、範囲を設定してコピーします。

原稿サイズ	A3/B4/A4/B5
-------	-------------

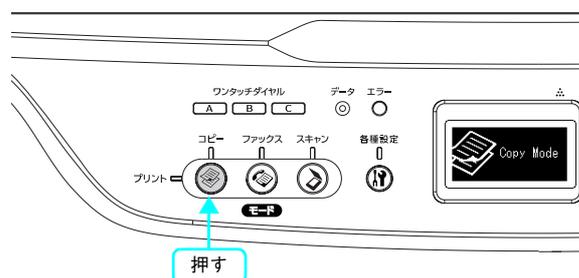


参考

用紙の中央や周囲に生じる影や枠は、原稿とする本の厚さや開くページで異なります。影消しコピーは、原稿の中央と周囲をコピーしないようにする機能のため、設定値を大きくするとコピーされない箇所が生じる場合があります。設定される場合は、少しずつ設定値を変更されることをお勧めします。

1 電源をオン (I) にします。

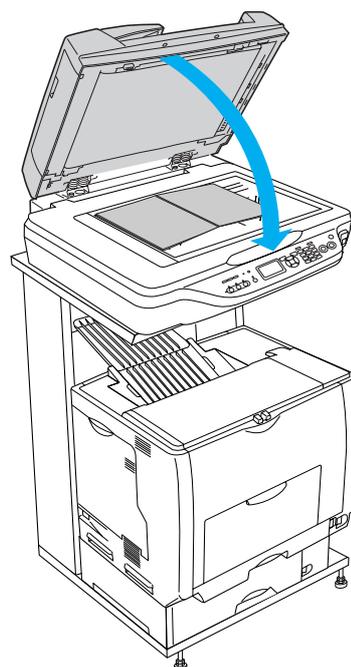
2 [コピー] ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。



3 原稿 (本など) をセットします。
原稿サイズを自動検知する場合は、原稿カバーをしっかりと閉じてください。
📖 本書 24 ページ「原稿台に原稿をセットする」

参考

原稿カバーをしっかりと閉じないと、原稿サイズを自動検知できません。厚みのある本などをセットするときは、手順 **4** の [用紙] で原稿のサイズを指定してください。

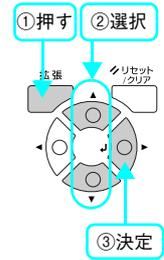


4 セットした原稿のサイズ用の紙がセットされた給紙装置を選択します。

- ① [拡張] ボタンを押します。
- ② [▲] または [▼] ボタンを押して [用紙] を選択します。
- ③ [◀] または [▶] ボタンで原稿サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置を選択します。

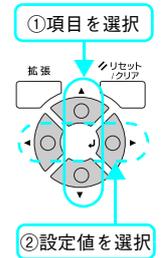
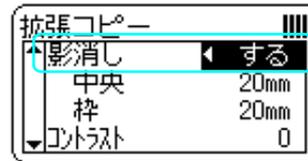
参考

[用紙] に [自動] を選択すると、A3、B4、A4、B5 サイズの原稿を自動検知して、原稿サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置から給紙されます。厚みのある本などで、自動検知されない場合は、[用紙] を選択してください。



5 [影消し] を選択します。

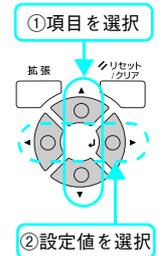
[▲] または [▼] ボタンで、[影消し] を選択して、[▶] ボタンで [する] にします。



6 中央と周囲枠の影消し幅の設定値を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [中央] または [枠] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで設定値を選択します。

- 影消し中央幅の設定値は 0 ~ 40mm です。
- 影消し周囲枠幅の設定値は 0 ~ 40mm です。



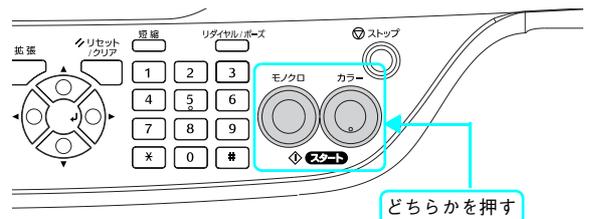
7 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したい場合

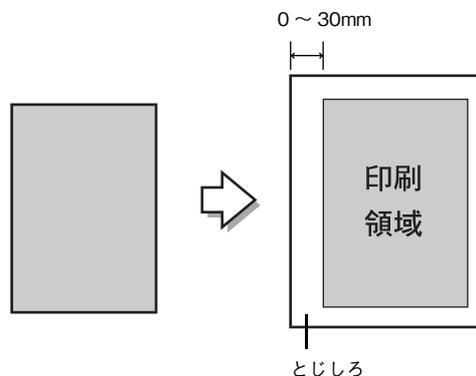
[ストップ] ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。



コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

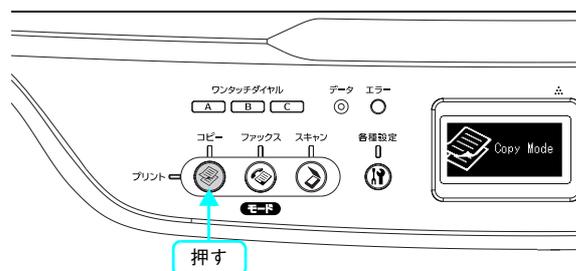
とじしろを設定してコピーする

用紙の端の上・下・左・右にとじしろ領域を設けてコピーします。



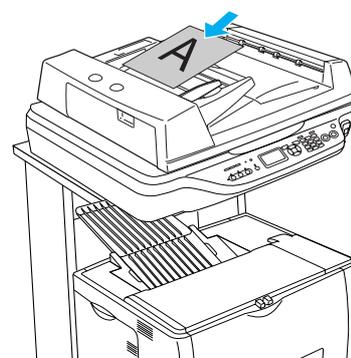
1 電源をオン (I) にします。

2 [コピー] ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。



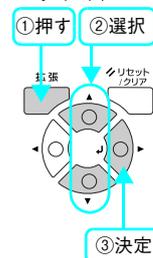
3 原稿をセットします。

- 原稿台に原稿をセットする場合
☞ 本書 24 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
☞ 本書 26 ページ「オートドキュメントフィーダ(ADF)に原稿をセットする (LP-M5500F のみ)」



4 [とじしろ] を選択します。

- ① [拡張] ボタンを押します。
- ② [▲] または [▼] ボタンを押して [とじしろ] を選択します。
- ③ [▶] ボタンで [する] にします。



5 とじしろの [方向] と [幅] の設定値を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [方向] または [幅] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで設定値を選択します。

設定項目	説明
方向	原稿の上、下、左、右のいずれかにとじしろ領域を設けます。
幅	とじしろ幅の設定値は、0～30mm です。

参考

本機の仕様により、用紙の端から 5mm 以内にコピーすることはできません。このため、とじしろを 5mm 以下に設定しても、実際には 5mm の余白が生じます。

6 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

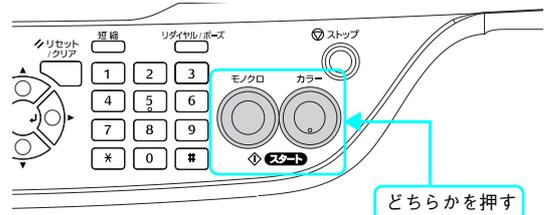
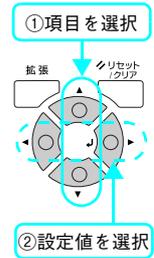
[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したい場合

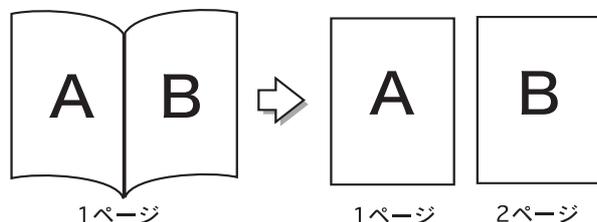
[ストップ] ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。



見開きの原稿を左右別々にコピーする

見開きの本や1枚の原稿を左右または上下に分けて、別々の用紙にコピーする機能です。
右開き / 左開きのどちらの本でもページ順にコピーができます。

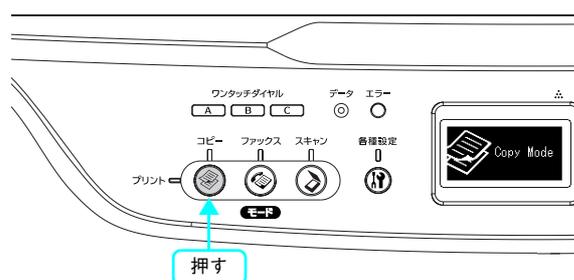


原稿サイズと出力用紙のサイズ / 方向は、次の組み合わせのみ可能です。

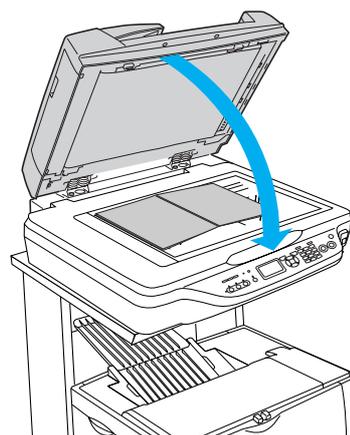
原稿サイズ（見開き）	出力用紙サイズ	コピー倍率
A3（横）	A4	A4 → A4
	B5	A4 → B5
B4（横）	A4	B5 → A4
	B5	B5 → B5
A4（横）	A4	A5 → A4
	B5	A5 → B5
B5（横）	A4	B6 → A4
	B5	B6 → B5

1 電源をオン（I）にします。

2 [コピー] ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。



3 原稿（本など）をセットします。
原稿台を使用するときは、原稿カバーをしっかりと閉じてください。
☞ 本書 24 ページ「原稿台に原稿をセットする」

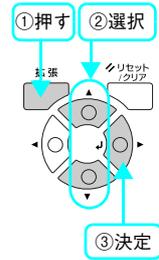


4 給紙装置を選択します。

- ① [拡張] ボタンを押します。
- ② [▲] または [▼] ボタンを押して [用紙] を選択します。
- ③ [◀] または [▶] ボタンで原稿サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置を選択します。

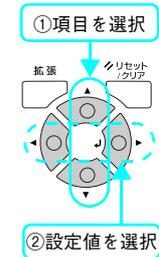
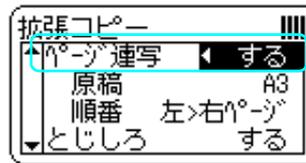
参考

[ページ連写] 機能を使用するときは、[用紙] に [A4] か [B5] サイズを選択してください。その他の給紙装置を選択すると、エラーメッセージが表示されコピーされません。



5 [ページ連写] を選択します。

- [▲] または [▼] で [ページ連写] を選択して、[▶] ボタンで [する] にします。

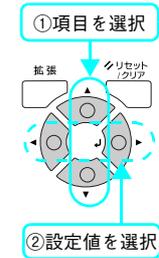
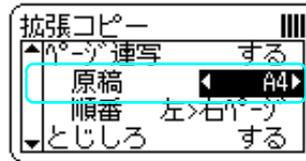


6 セットしている原稿のサイズを選択します。

- [▲] または [▼] ボタンを押して [原稿] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで設定値を選択します。

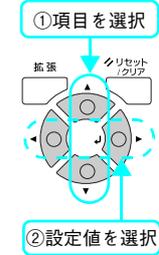
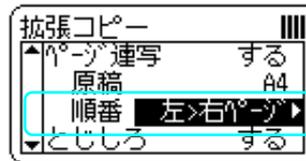
参考

原稿サイズは見開き状態のサイズです。



7 セットしている原稿に合わせて左開きか右開きを選択します。

- [▲] または [▼] ボタンで [順番] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで右開きか左開きを選択します。



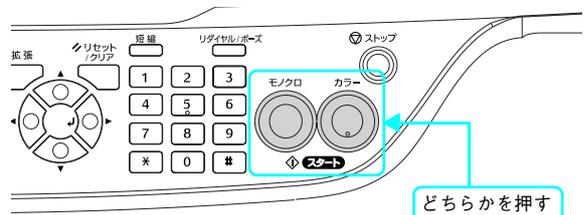
8 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

- [カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したい場合

[ストップ] ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。



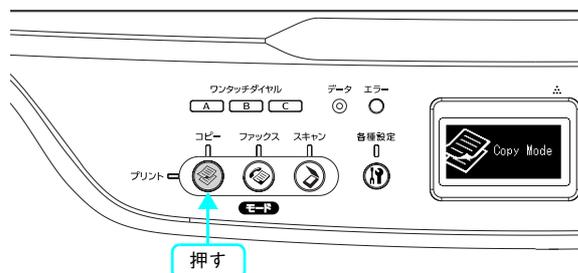
コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

原稿に合わせてコピーの品質を変更する

よりきれいにコピーをするために、原稿のタイプに合わせてコピーの設定を行います。

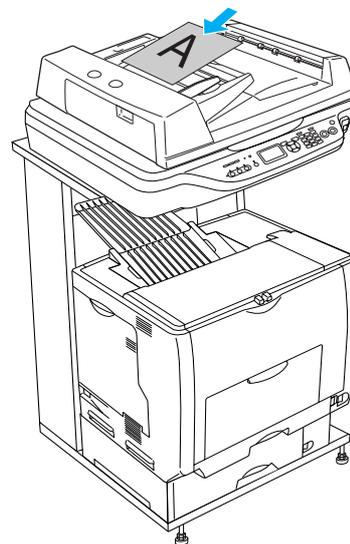
1 電源をオン（I）にします。

2 [コピー] ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。



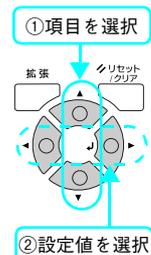
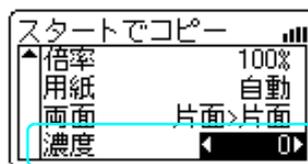
3 原稿をセットします。

- 原稿台に原稿をセットする場合
☞ 本書 24 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
☞ 本書 26 ページ「オートドキュメントフィーダ(ADF)に原稿をセットする (LP-M5500F のみ)」



4 [濃度] を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [濃度] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで、コピー濃度を設定します。
[濃度] は 7 段階あります。

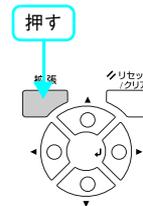
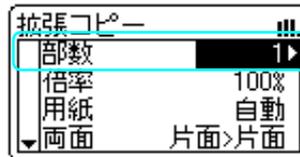


設定値	説明
-3 ~ 0 ~ 3	<ul style="list-style-type: none"> • 数値が小さくなる程（マイナス）、濃度の差がなくなり、全体的に薄い画像になります。 • 数値が大きくなる程（プラス）、濃度の差がはっきりして、全体的に濃い画像になります。

5

【拡張】 ボタンを押します。

【拡張】 コピーのメニューが表示されます。



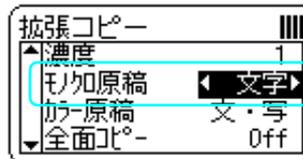
6

【モノクロ原稿】 または、【カラー原稿】 を選択して、原稿タイプを選びます。

[▲] または [▼] ボタンで [モノクロ原稿] または、[カラー原稿] を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで、原稿タイプを選択します。

- [モノクロ原稿]：黒トナーだけでコピーするときに設定します。
- [カラー原稿]：フルカラーでコピーするときに設定します。

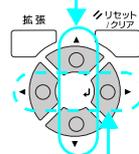
■モノクロ原稿



■カラー原稿



①項目を選択



②設定値を選択

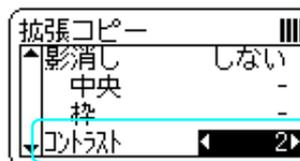
原稿タイプ	説明
文・写	モアレ（網目状の陰影）除去、輪郭の強調を有効にしてコピーします。雑誌やカタログなどで、モアレ除去をし、背景を白くしたい場合などに適しています。
文字	文字原稿に適しています。黒い文字をくっきりとコピーすることができます。背景除去（原稿の色）を除去したい場合にも有効です。
写真	銀塩写真（現像写真）をコピーするときに適しています。薄い色から濃い色まで忠実に再現し、同時にモアレ除去も行います。
高精細	小さい文字や図面、細線などが含まれる原稿に適しています。モアレ除去と背景除去を同時に行います。 コピー速度は遅くなりますが、より細密なコピーが得ることができます。

7

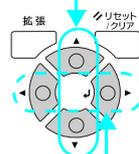
【コントラスト】 の調整をします。

[▲] または [▼] ボタンで [コントラスト] 選択してから、[◀] または [▶] ボタンで、コントラスト（明暗）を調整します。

【コントラスト】 は7段階あります。



①項目を選択



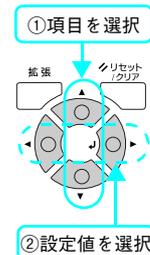
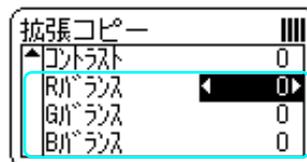
②設定値を選択

設定値	説明
-3 ~ 0 ~ 3	<ul style="list-style-type: none"> • 数値が小さくなる程（マイナス）、明暗の差がなくなり、全体的に暗い印象の画像になります。 • 数値が大きくなる程（プラス）、明暗の差がはっきりして、全体的に明るい印象の画像になります。

8

[RGB バランス] の調整をします。

[▲] または [▼] ボタンで R (赤)・G (緑)・B (青) バランス選択してから、[◀] または [▶] ボタンで各色の強弱を 7 段階で調整します。



設定項目	設定値	説明
R バランス	-3 ~ 0 ~ 3	R (赤) の強弱を調整します。数値が小さくなる程、赤が弱まり、青が強調されます。
G バランス	-3 ~ 0 ~ 3	G (緑) の強弱を調整します。数値が小さくなる程、緑が弱まり、赤紫が強調されます。
B バランス	-3 ~ 0 ~ 3	B (青) の強弱を調整します。数値が小さくなる程、青が弱まり、黄色が強調されます。

9

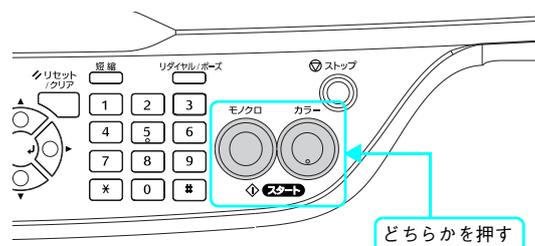
[カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したい場合

[ストップ] ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。



コピーが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

3

ファックス機能 (LP-M5500Fのみ)

ファックス機能について説明します。

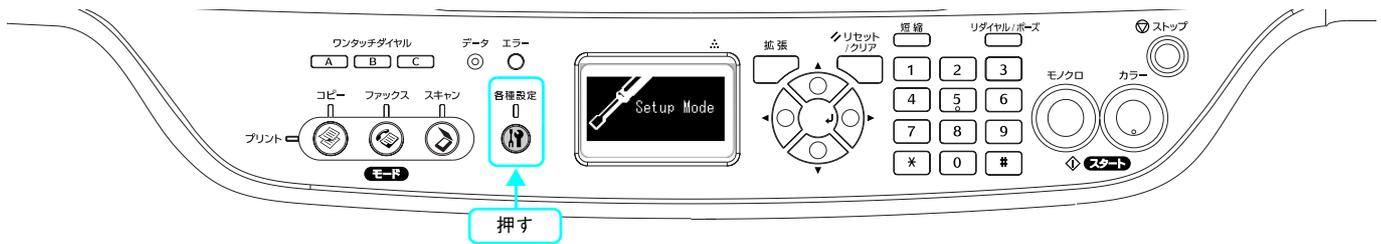
ファックスを使う前に	50
ファックス送信.....	51
ファックス受信.....	62
宛先の登録方法.....	66

ファックスを使う前に

ファックスを使う前に、ファックスに関する設定を確認します。

ファックスの設定を確認する

ファックスを送受信する際に必要となる項目が正しく設定されているか確認してください。
設定の内容は、操作パネルの [各種設定] ボタンを押して、[設定モード] で確認します。



ファックスを使用する際に、次の項目の設定を必ず行ってください。
[設定モード] - [ファックス設定] の [基本設定] で設定状況が確認できます。

設定項目		内容
回線種別		お使いの電話回線に合わせて設定してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）[ファックス機能の初期設定]
ダイヤル種別		お使いの電話回線に合わせて選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）[ファックス機能の初期設定]
自局番号	名称	添付の EPSON Speed Dial Utility（アプリケーションソフト）を使用して、[名前] を 2 バイト文字で 16 文字（1 バイト文字で 32 文字）を登録します。 設定方法については、以下を参照してください。 ☞本書 66 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」
	番号 < 20 桁 >	テンキー（ダイヤルボタン）で自局番号を入力します。 [*] キーを押すと「+」、[#] キーを押すとスペースを入力できます。 設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）[ファックス機能の初期設定]

その他の送受信に関する設定（オートリダイヤル回数、発信元印字、受信モードなど）については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 191 ページ「ファックス設定の項目一覧」

参考

発信元情報の印字について

- 発信元情報（送信したファックスに日付、時刻、送信者名、自局番号が印字される機能）は、原稿に対して上書きされるため、発信元情報が原稿に重なって印字される場合があります。このようなときは、原稿の上端に 3mm 以上（モノクロファックスで画質が標準の場合は、6mm 以上）の余白を設定してください。
- 発信元情報の印字をしたくない場合は、以下のページを参照して [発信元印字] を [Off] に設定してください。

☞ 本書 191 ページ「ファックス設定の項目一覧」 - [送信設定]

ファックス送信

送信できる原稿サイズ

送信できる原稿サイズ

- B5 < 182 × 257mm >
- A4 < 210 × 297mm >
- B4 < 257 × 364mm >
- A3 < 297 × 420mm >

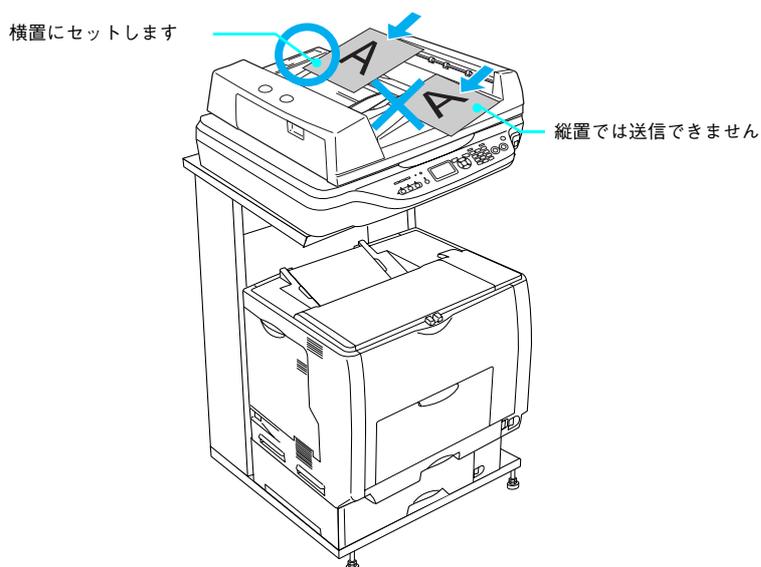
参考

- FAX 送信では、原稿が A4 以下の場合、A4 縦に変換して送信します。このように、送信側の処理によって出力結果が原稿のサイズと異なる場合があります。
- 原稿サイズが A3、B4 の場合は、読み取り時に A4 に縮小して送信します。
- B5 サイズの原稿を読み取ることは可能ですが、送信されると次のようになります。



A4、B5 サイズの原稿のセット方向について

A4、B5 サイズの原稿は、A3、B4 サイズ同様に横置きにしてセットしてください。縦置きでは、正常に送信されません。



ファックス番号を入力して送信する

操作パネル上のテンキー（ダイヤルボタン）で送付先の番号を入力してファックスを送信する方法を説明します。

1 電源をオン（I）にします。

2 [ファックス] ボタンを押します。

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。

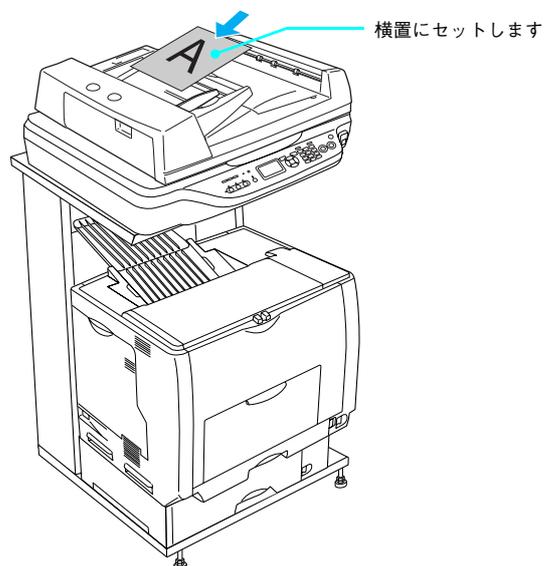


3 原稿をセットします。

A4、B5 サイズの原稿も、横置にセットしてください。

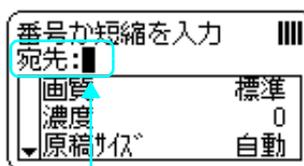
参考

原稿を原稿台にセットして送信することもできます。



4 [宛先] を入力します。

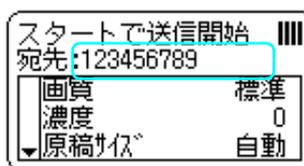
[宛先] の右横 "■" マークが点滅していることを確認します。点滅していない場合は、[▲] ボタンを押して [宛先] を選択します。



点滅していることを確認

5 送付先のファックス番号を入力します。

テンキー（ダイヤルボタン）を使って、番号を入力します。入力する番号を間違えた場合は、[◀] ボタンで戻るか、[リセット] ボタンで消去して戻ります。[*] キーを押すと「*」、[#] キーを押すと「#」を入力します。

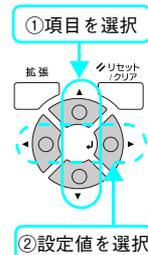
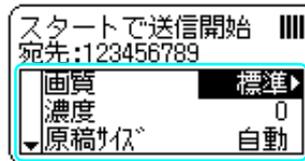


番号を入力

6

必要に応じて設定を行います。

設定する場合は、[▼]ボタンを押して設定項目に移ります。
[▲]または[▼]ボタンを押して設定する項目を選択してから、[◀]または[▶]ボタンで設定値を選択します。



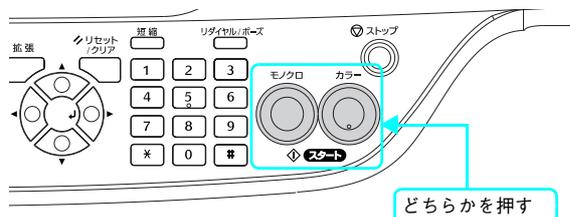
設定項目	説明 / 設定値
画質*	モノクロ原稿を送信する際の画質を指定します。
	標準 / 精細 / 高精細 / 写真
濃度	ファックスのコピー濃度を7段階で指定します。 文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。
	-3 ~ 0 ~ 3
原稿サイズ	送信する原稿サイズを指定します。
	自動 / A4 / A3 / B4 / B5
ADF 両面	オードドキュメントフィーダー (ADF) を使用して送信する場合に、原稿の読み取り面を片面、両面を設定できます。
	片面 / 両面
ポーリング受信	ポーリング受信する際 [On] にします。 ポーリング受信の詳細については、以下のページを参照してください。 本書 64 ページ「ポーリング受信する」
	Off, On
海外送信モード	海外に送信する際 [On] にします。 海外にデータを送付するのに必要な通信回線の確立時間を確保するため、送信開始を通常より遅くします。
	Off, On

* カラーで送信する場合、設定を変更しても画質は [標準] で送信されます。

7

[カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、原稿を送信します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロでファックスされます。
送付先の機器に合わせて選択してください。



ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

短縮ダイヤルで送信する

ここでは、「短縮ダイヤル」（最大 60 件）または「ワンタッチダイヤル」（最大 3 件）に登録されている宛先に送付する方法と、短縮ダイヤルに登録されている複数の宛先に、同報送信するグループダイヤルを説明します。

「短縮ダイヤル」、「ワンタッチダイヤル」、「グループダイヤル」を使用するには事前に登録が必要です。登録方法は、以下を参照してください。

- 操作パネルから「短縮ダイヤル」 / 「ワンタッチダイヤル」を登録する
📖 本書 66 ページ「宛先の登録方法」
- 添付のアプリケーションソフト「EPSON Speed Dial Utility」から「短縮ダイヤル」 / 「ワンタッチダイヤル」 / 「グループダイヤル」を登録する
📖 本書 66 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」

短縮ダイヤル

1 電源をオン（I）にします。

2 [ファックス] ボタンを押します。

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。

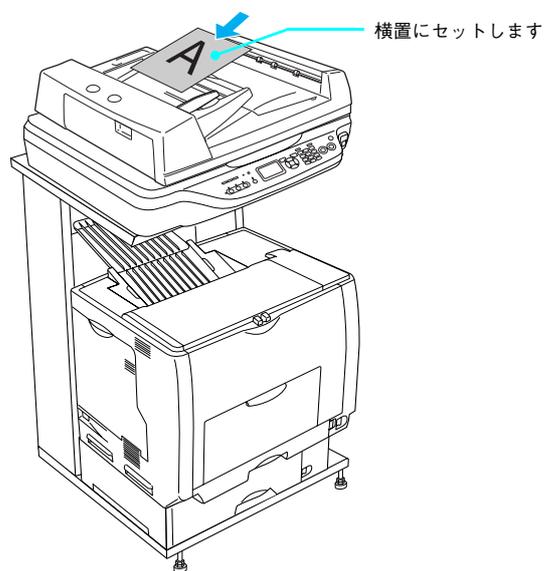


3 原稿をセットします。

A4、B5 サイズの原稿も、横置にセットしてください。

参考

原稿を原稿台にセットして送信することもできます。



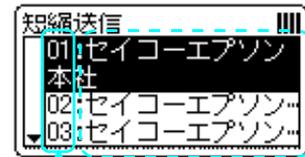
4 短縮番号を入力します。

[短縮] ボタンを押して、テンキー（ダイヤルボタン）を使って短縮番号を入力するか、[▲] または [▼] ボタンで登録されている短縮番号を選択して [▶] ボタンで設定します。

参考

登録名称（文字）を表示するには、コンピュータから EPSON Speed Dial Utility（アプリケーションソフト）を使って登録が必要です。操作パネルから登録した場合、宛先の番号が表示されます。

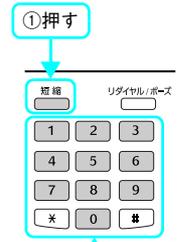
☞ 本書 66 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」



短縮番号

登録名称（文字）を表示するには、EPSON Speed Dial Utility で登録する必要があります。

☞ 本書 66 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」



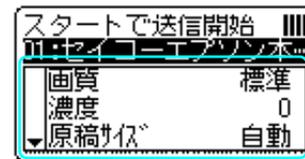
② 番号を入力

5 必要に応じて品質の設定を行います。

[▲] または [▼] ボタンを押して設定する項目を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで設定値を選択します。

各設定の詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 52 ページ「ファックス番号を入力して送信する」の手順 6

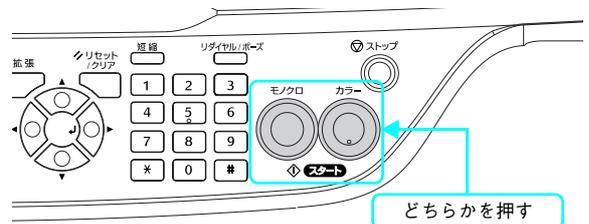


② 設定値を選択

6 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、原稿を送信します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロでファックスされます。

送付先の機器に合わせて選択してください。



ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

■ ワンタッチダイヤル

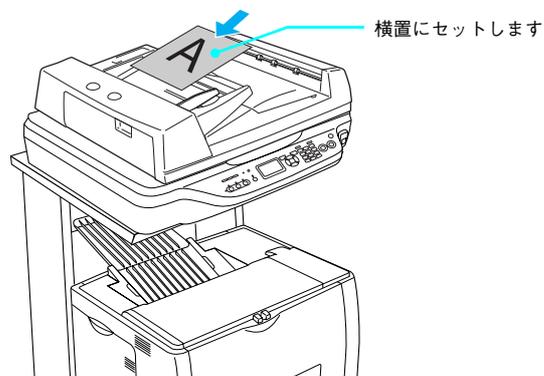
ワンタッチダイヤルの場合、モノクロで原稿を送信します。

1 電源をオン（I）にします。

2 原稿をセットします。
A4、B5 サイズの原稿も、横置にセットしてください。

参考

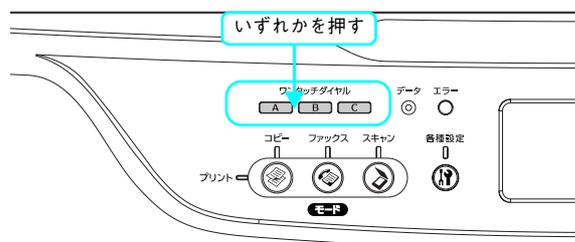
原稿を原稿台にセットして送信することもできます。



3 「ワンタッチダイヤル」 ボタンを押します。

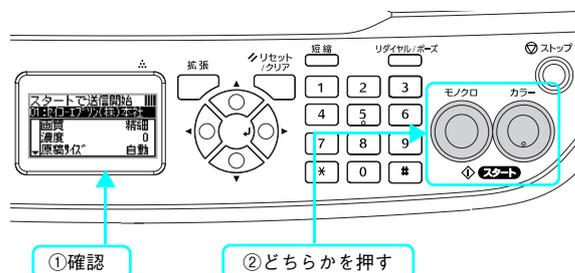
参考

コピー中やスキャン中に、「ワンタッチダイヤル」 ボタンを押しても設定が有効になりません。



4 登録した宛先が操作パネルに表示されていることを確認して、「カラー」または「モノクロ」 ボタンを押して原稿を送信します。

「カラー」 ボタンを押すとカラーで、「モノクロ」 ボタンを押すとモノクロでファックスされます。送付先の機器に合わせて選択してください。



ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

■ グループダイヤル

ここでは、あらかじめ登録されているグループダイヤルを使って送付する方法を説明します。

グループダイヤルの登録は、添付のアプリケーションソフト「EPSON Speed Dial Utility」を使用します。詳細については、以下のページを参照してください。

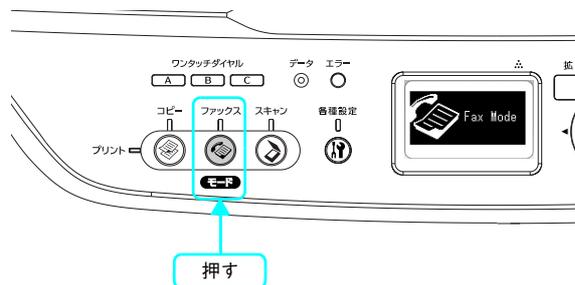
☞ 本書 66 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」

グループダイヤルの場合、モノクロで原稿を送信します。

1 電源をオン（I）にします。

2 [ファックス] ボタンを押します。

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。

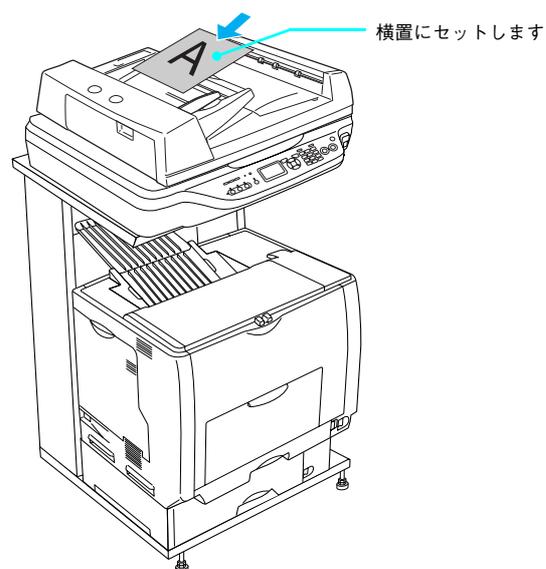


3 原稿をセットします。

A4、B5 サイズの原稿も、横置にセットしてください。

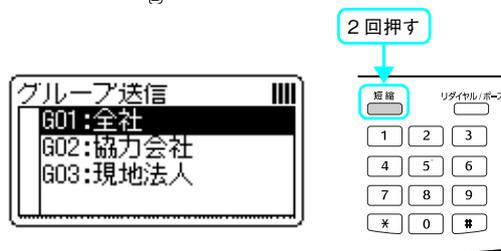
参考

原稿を原稿台にセットして送信することもできます。



4 [短縮] ボタンを 2 回押します。

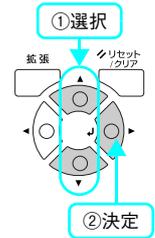
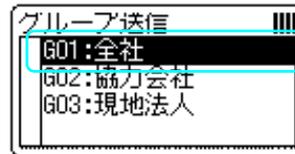
[グループ送信] 画面が表示されます。



5

送信先を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して送付先を選択してから、
[▶] ボタンを2回押して決定します。

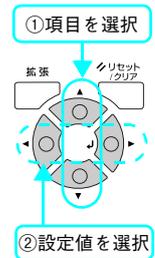
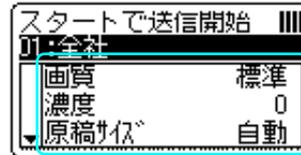


6

必要に応じて品質の設定を行います。

[▲] または [▼] ボタンを押して設定する項目を選択してから、
[▶] または [◀] ボタンで設定値を選択します。
各設定の詳細については、以下のページを参照してください。

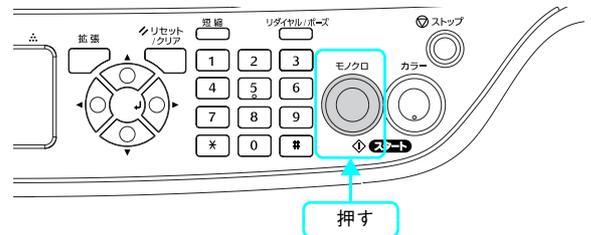
本書 52 ページ「ファックス番号を入力して送信する」
の手順 5



7

[モノクロ] ボタンを押して、原稿を送信します。

モノクロで原稿を送信します。



ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

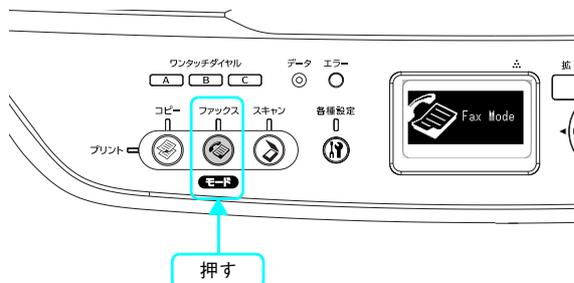
同じ宛先にもう一度送信(リダイヤル)する

最後に送信した同じ宛先に、もう一度送信する方法(リダイヤル)を説明します。

1 電源をオン(1)にします。

2 [ファックス] ボタンを押します。

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。

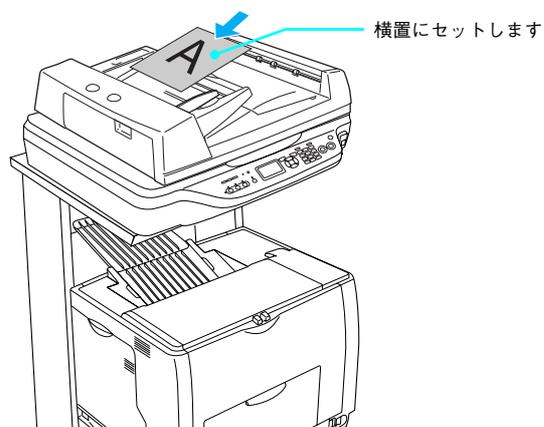


3 原稿をセットします。

A4、B5 サイズの原稿も、横置にセットしてください。

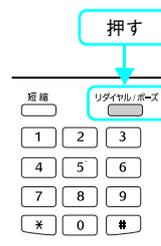
参考

原稿を原稿台にセットして送信することもできます。



4 [リダイヤル / ポーズ] ボタンを押します。

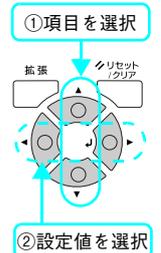
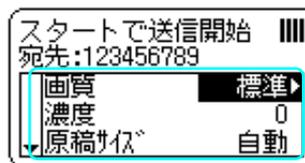
前回ファックスを送付した宛先が表示されます。



5 必要に応じて品質の設定を行います。

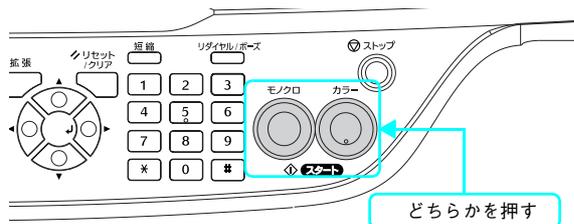
[▲] または [▼] ボタンを押して設定する項目を選択してから、[◀] または [▶] ボタンで設定値を選択します。各設定の詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 52 ページ「ファックス番号を入力して送信する」の手順 6



6 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、原稿を送信します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロでファックスされます。送付先の機器に合わせて選択してください。



ファックスが終了したら、セットした原稿を本機から取り除いてください。

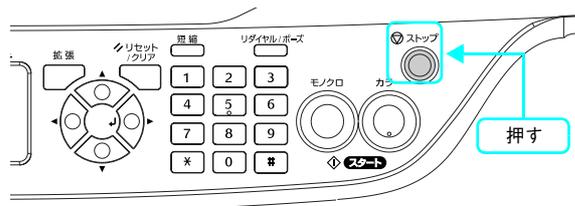
送信を中止する

送信を中止する方法と、本機に蓄積されている送信ジョブをキャンセルする方法について説明します。

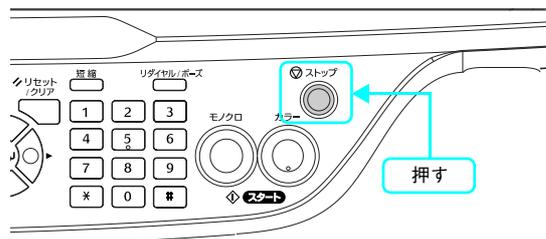
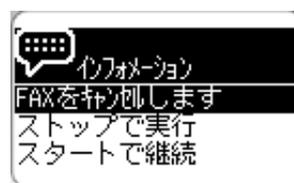
■ 読み取り中に中止する

原稿の読み取り中には、[ストップ] ボタンを押して中止します。

1 [ストップ] ボタンを押します。



2 表示されるメッセージを確認して、もう一度 [ストップ] ボタンを押します。

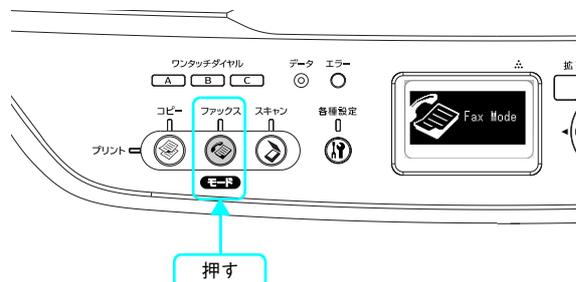


以上で送信が中止されました。

送信待ちのジョブを削除する

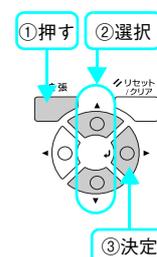
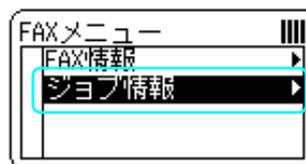
本機に蓄積されている送信待ちジョブを確認してから、削除します。

- 1 **【ファックス】 ボタンを押します。**
ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。

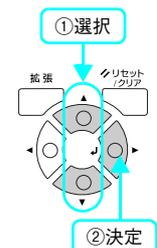
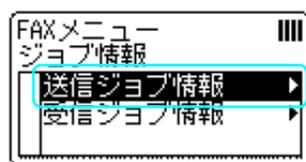


- 2 **【拡張】 ボタンを押してから、【ジョブ情報】 を選択します。**

【▲】 または 【▼】 ボタンを押して【ジョブ情報】 を選択してから、【▶】 ボタンを押します。

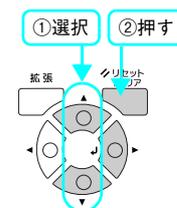
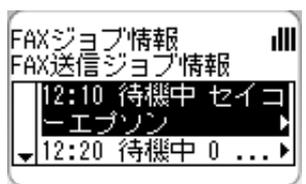


- 3 **【送信ジョブ情報】 を選択します。**
【▲】 または 【▼】 ボタンを押して【FAX 送信ジョブ情報】 を選択してから、【▶】 ボタンを押します。

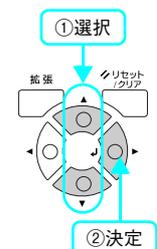
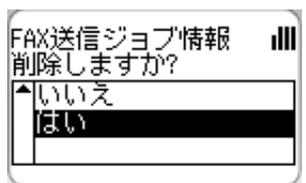


- 4 **一覧の中から削除する項目を選択してから、【リセット】 ボタンを押します。**

【▲】 または 【▼】 ボタンを押して削除する項目を選択してから、【リセット】 ボタンを押します。



- 5 **【はい】 を選択します。**
【▲】 または 【▼】 ボタンを押して【はい】 を選択してから、【▶】 ボタンを押して決定します。



以上で送信ジョブの削除は終了です。

ファックス受信

ここでは、ファックス受信の方法を説明します。

受信モードについて

本機には、ファックスを受信する際の受信モードが3種類用意されています。受信モードは、[各種設定] ボタン - [ファックス設定] - [受信設定] - [受信モード] で変更できます。

☞ 本書 191 ページ「ファックス設定の項目一覧」

受信モード	説明
自動切替 (初期設定)	<p>受信すると、外付け電話機の呼び出し音を指定秒数鳴らした後、本機が応答して送付されてきたファックスデータを受信します。</p> <p>* コピー中、スキャン中は、 [ファックス] ボタンが 有効になりません。</p>
FAX 専用	<p>本機が自動的に応答して、送付されてきたファックスデータを受信します。 外付け電話機が接続されている場合は、呼び出し音が1~2回鳴った後にファックス受信を開始します。</p>
電話専用	<p>受信すると、外付け電話機の呼び出し音を鳴らします。</p> <p>* コピー中、スキャン中は、 [ファックス] ボタンが 有効になりません。</p>
TAM	留守番電話の応答中にファックス信号を検出した場合、ファックス受信に切り替わる機能です。

FAX を受信して印刷する(自動受信)

本機の電源がオンの時、FAX データを受信すると FAX ユニットの内蔵メモリにデータが蓄積され、受信が終わると自動的に印刷されます。

自動受信の時、以下の優先順位で給紙用紙の選択が行われます。

- 1) 用紙がある給紙装置から選択します。
- 2) 給紙装置の用紙のサイズが A4 > B4 > A3 > B5 の順。
- 3) カセット 1 > カセット 2 > カセット 3 > カセット 4 > MP トレイの順。



FAX 送信中に受信したデータは、すべての送信終了後に受信を開始します。

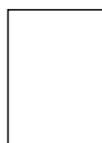
受信できる原稿サイズ

FAX 受信データのサイズが、本機にセットしている用紙と異なる場合、自動的に分割・縮小して印刷されます。受信データの分割・縮小は、以下の表を参照してください。

		受信データの原稿サイズ	
		A4	
印刷用紙 サイズ	A3		
	A4	※回転	
	B5	※分割	
	B4		

※回転：90度回転して印刷する

※分割：2ページに分割して印刷する



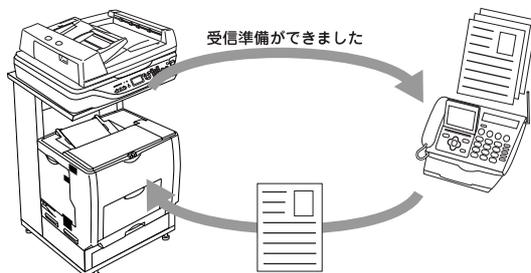
は印刷用紙サイズです。



は受信データの原稿サイズです。

ポーリング受信する

ポーリング受信とは相手側のファックスにあらかじめ蓄積された原稿を、受信側のファックスの操作によって取り出す機能です。ファックス情報サービスなどによく使われています。



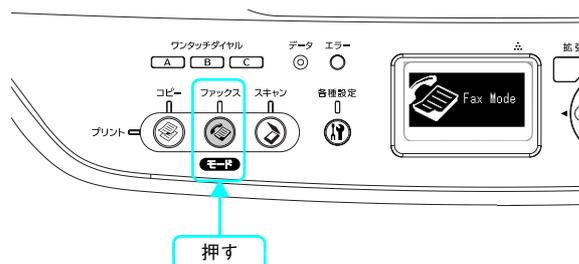
参考 ダイヤルボタンを押して取得する情報を選択するタイプのファックス情報サービスは利用できません。

ここでは、ポーリング受信方法を説明します。

1 電源をオン（I）にします。

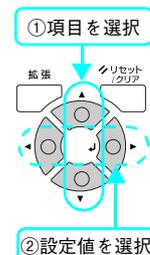
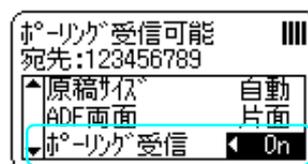
2 [ファックス] ボタンを押します。

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。



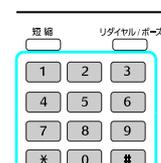
3 [ポーリング受信] 項目を [On] にします。

[▲] または [▼] ボタンを押して [ポーリング受信] 項目を選択してから、[▶] ボタンで [On] にします。

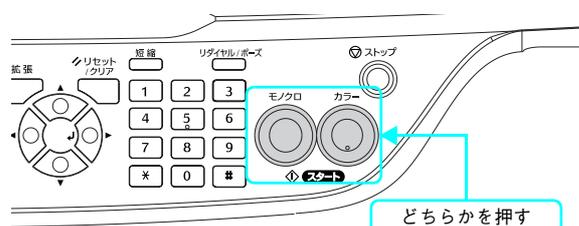


4 送付先のファックス番号を入力します。

テンキー（ダイヤルボタン）を使って、番号を入力します。



5 発信音または音声ガイダンスに従って、[カラー] または [モノクロ] ボタンを押します。



以上でポーリング受信は終了です。

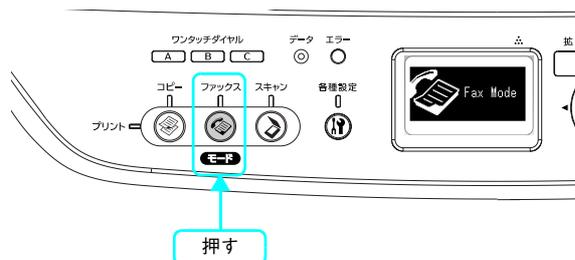
受信を中止する

受信を中止したり、本機に蓄積されている受信ジョブをキャンセルする方法を説明します。

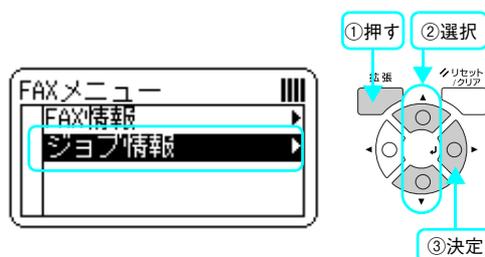
受信ジョブを削除する

本機に蓄積されている受信ジョブ（印刷待ちジョブ）を確認してから、削除します。

- 1 **【ファックス】 ボタンを押します。**
ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。



- 2 **【拡張】 ボタンを押してから、【ジョブ情報】 を選択します。**
[▲] または [▼] ボタンを押して【ジョブ情報】 を選択してから、[▶] ボタンを押します。



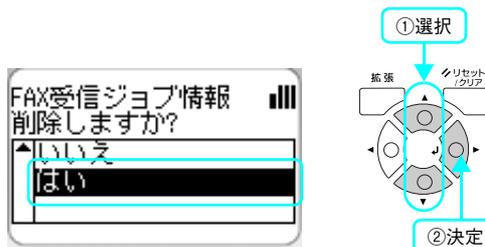
- 3 **【受信ジョブ情報】 を選択します。**
[▲] または [▼] ボタンを押して【受信ジョブ情報】 を選択してから、[▶] ボタンを押します。



- 4 **一覧の中から削除する項目を選択してから、【リセット】 ボタンを押します。**
[▲] または [▼] ボタンを押して削除する項目を選択してから、【リセット】 ボタンを押します。



- 5 **【はい】 を選択し、ジョブを削除します。**
[▲] または [▼] ボタンを押して【はい】 を選択してから、[▶] ボタンを押して決定します。



以上で受信ジョブの削除は終了です。

宛先の登録方法

[個別短縮ダイヤル]、[グループダイヤル]、[ワンタッチダイヤル] の宛先の番号登録には、コンピュータ（Windows 環境のみ）のアプリケーションソフト「EPSON Speed Dial Utility」から登録する方法と、操作パネルから登録する方法があります。EPSON Speed Dial Utility では、自局の名前や宛先の名前を登録することもできます。

！注意 ファックス操作中（ファックスモード、各種設定モード）は、宛先を変更しないでください。

EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する

「EPSON Speed Dial Utility」は、[発信元情報]、[個別短縮ダイヤル]、[ワンタッチダイヤル]、[グループダイヤル] の宛先の登録ができるアプリケーションソフトです。通常は、プリンタドライバなどと一緒にコンピュータにインストールされます。ここでは、アプリケーションソフトのインストール方法と自局（発信元）の名前を登録する方法を説明します。個別短縮ダイヤル、グループダイヤル、ワンタッチダイヤルの名前の登録方法については、[EPSON Speed Dial Utility] のヘルプを参照してください。

システム条件

使用可能なコンピュータ	<ul style="list-style-type: none">Windows 98 Second Edition (SE) /98/Me/2000/XPWindows 98 以降の OS がインストールされていて、Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ
CPU	Pentium II 233Mhz 以上
メモリ	128MB 以上
表示	800 × 600 ドット以上 256 色以上

インストール方法

Windows 2000/XP の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

- 1 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。
- 2 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。
- 3 しばらくして右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックして、手順 1 からやり直します。

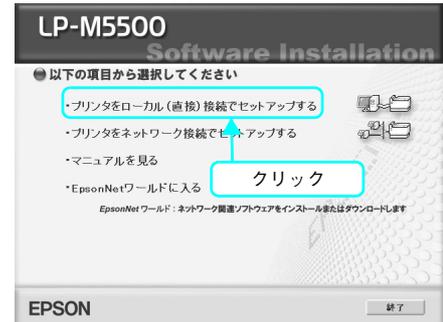
参考

右の画面が表示されないときは
[マイコンピュータ] 内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。



4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して、[同意する] をクリックします。

5 [プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする] をクリックします。



6 [選択画面] をクリックします。



7 [Fax 宛先登録ツール] のみにチェックを付け、[インストール] をクリックします。



8 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

9 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、[終了] をクリックします。



以上で EPSON Speed Dial Utility のインストールは終了です。

■ 起動の仕方

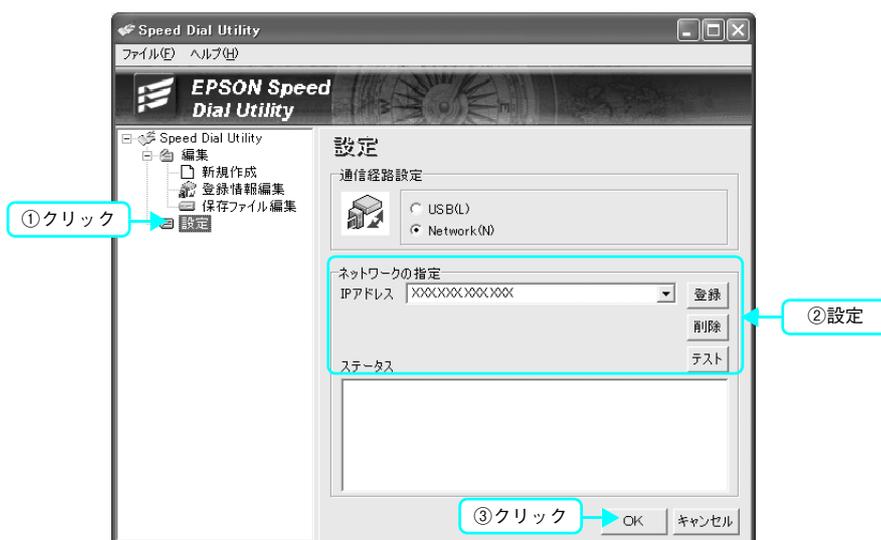
「EPSON Speed Dial Utility」は以下のように起動します。

[スタート] – [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – [EPSON Speed Dial Utility] – [Speed Dial Utility] をクリックします。



■ 設定の確認

ネットワーク接続で使用する場合は、[設定] 項目の [通信経路設定] を「Network」に変更してから、[IP アドレス] を指定してください。



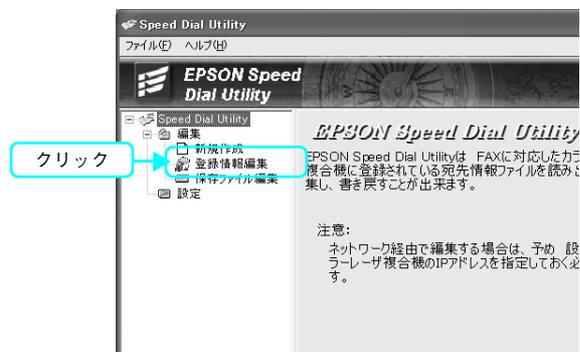
■ 使用上の注意

- ファックス操作中（ファックスモード、各種設定モード）は、EPSON Speed Dial Utility を使って宛先を変更しないでください。
- 通信中（データのアップロード / ダウンロード）は、コンピュータから印刷を行わないでください。
- EPSON ステータスマニタが起動している場合は、EPSON ステータスマニタを終了してください。

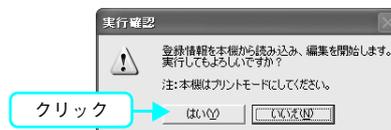
■ 発信元名の登録方法

送信ファックスに印字される発信元名を登録します。

- 1 [登録情報編集] をクリックします。
[ファイル]メニュー - [編集] - [登録情報編集] をクリックしても編集領域が表示されます。



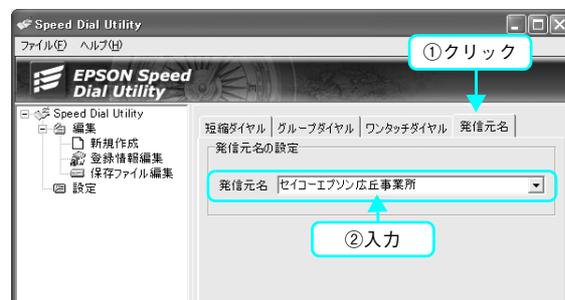
- 2 [はい] をクリックします。
本機に登録されているデータを、コンピュータにダウンロードします。



- 3 [OK] をクリックします。



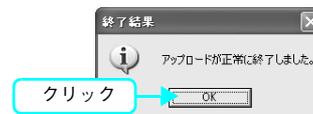
- 4 [発信元名] タブをクリックして、発信元名を入力します。



- 5 内容を確認して [登録情報送信] をクリックし、[はい] をクリックします。



- 6 [OK] をクリックします。



以上で、発信元名の登録は終了です。[各種設定] ボタン - [ファックス設定] - [基本設定] - [自局番号] で発信元名が登録されているか確認してください。

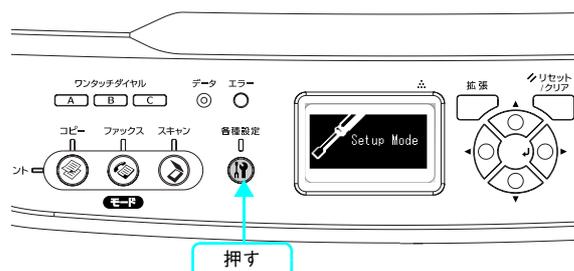
操作パネルから宛先を登録する

操作パネルから [個別短縮ダイヤル]、[ワンタッチダイヤル] を登録する方法を説明します。

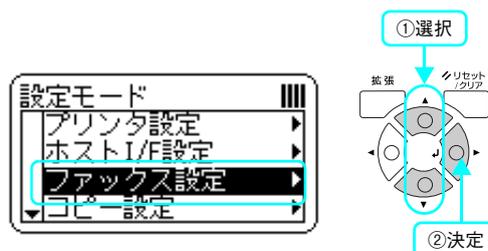
個別短縮ダイヤルの登録

短縮ダイヤルは、最大 60 件登録することができます。

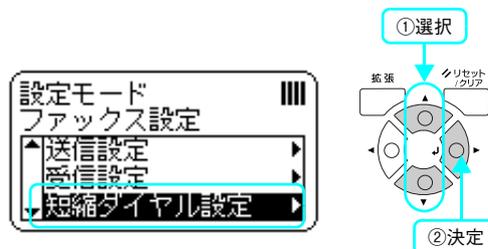
- 1 電源をオン (I) にします。
- 2 [各種設定] ボタンを押します。
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。



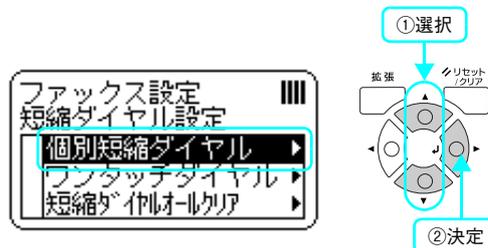
- 3 [ファックス設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ファックス設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



- 4 [短縮ダイヤル設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [短縮ダイヤル設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



- 5 [個別短縮ダイヤル] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [個別短縮ダイヤル] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



6 [未登録] と表示されている番号を選択します。

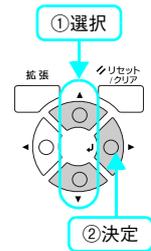
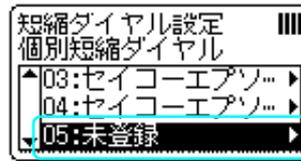
[▲] または [▼] ボタンを押して [未登録] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

[未登録] と表示されない場合は、すべての短縮ダイヤルが登録済みです。不要な短縮ダイヤルを削除してください。

☞ 本書 78 ページ「選択して削除」

登録済みの短縮ダイヤルを変更することができます。

☞ 本書 74 ページ「個別短縮ダイヤルの変更」



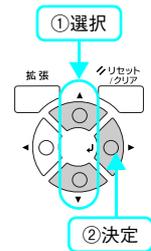
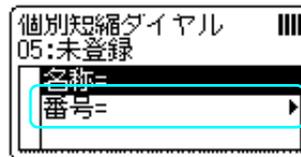
7 [番号] を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [番号] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

参考

[名称] に文字を表示するには、コンピュータからEPSON Speed Dial Utility (アプリケーションソフト) を使って登録してください。

☞ 本書 66 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」



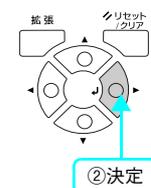
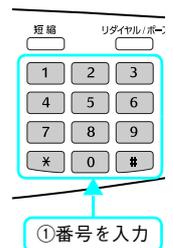
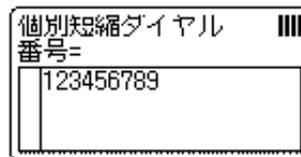
8 登録する電話番号を入力します。

テンキー (ダイヤルボタン) で番号を入力します。

入力が終了したら、[▶] ボタンを押します。

入力する番号を間違えた場合は、[◀] ボタンを押して戻るか、[リセット] を押して消去して戻ります。

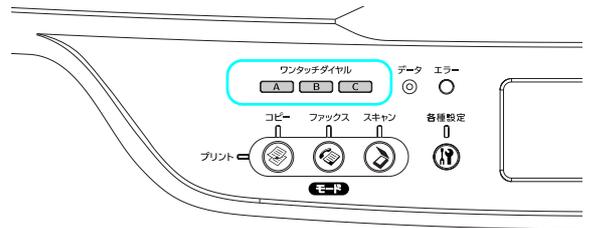
[*] キーを押すと「*」、[#] キーを押すと「#」を入力します。



設定が終了すると個別短縮ダイヤルの一覧画面に戻ります。

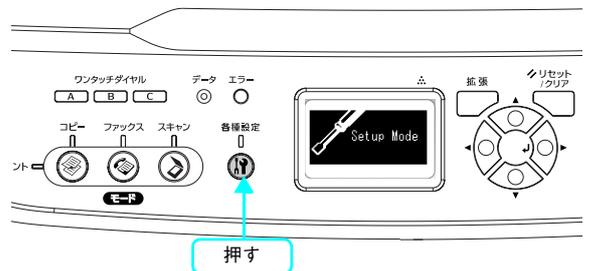
■ ワンタッチダイヤルの登録

ワンタッチダイヤルは、操作パネル上の [A]、[B]、[C] ボタンにすでに登録されている短縮ダイヤルを割り当てることができます。



1 電源をオン (I) にします。

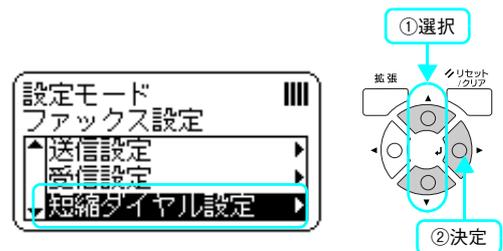
2 [各種設定] ボタンを押します。
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。



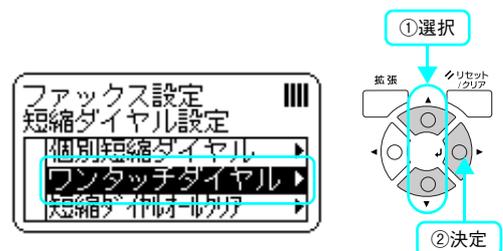
3 [ファックス設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ファックス設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



4 [短縮ダイヤル設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [短縮ダイヤル設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



5 [ワンタッチダイヤル] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ワンタッチダイヤル] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



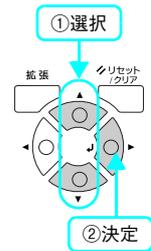
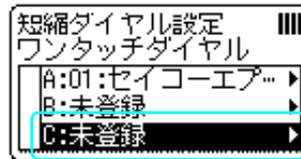
6

【未登録】のワンタッチダイヤルを選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して【未登録】を選択してから、[▶] ボタンを押します。

登録済みのワンタッチダイヤルを変更することができます。

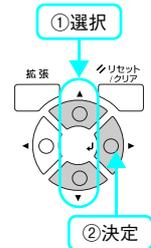
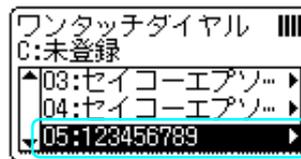
📖 本書 76 ページ「ワンタッチダイヤルの変更」



7

短縮ダイヤル一覧から、ワンタッチダイヤルに登録する番号を選択します。

登録する番号を選択して、[▶] ボタンを押します。



設定が終了するとワンタッチダイヤルの一覧画面に戻ります。

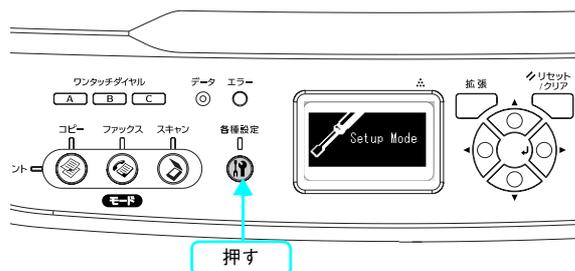
操作パネルから宛先番号を変更する

操作パネルから [個別短縮ダイヤル] の登録番号を変更する方法を説明します。

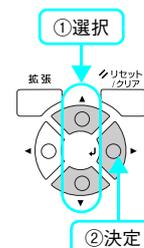
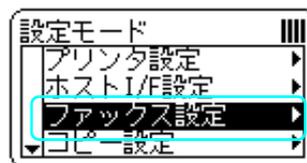
個別短縮ダイヤルの変更

1 電源をオン (I) にします。

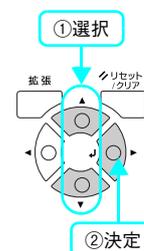
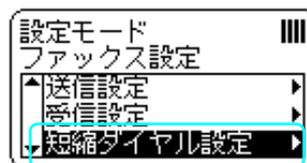
2 [各種設定] ボタンを押します。
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。



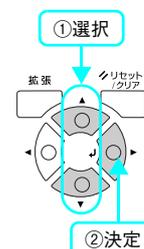
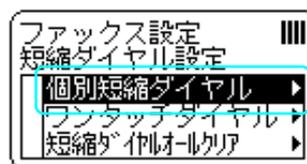
3 [ファックス設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ファックス設定] を選
択してから、[▶] ボタンを押します。



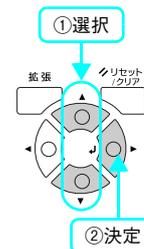
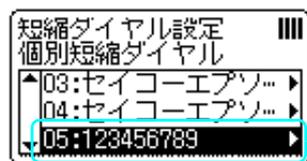
4 [短縮ダイヤル設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [短縮ダイヤル設定] を
選択してから、[▶] ボタンを押します。



5 [個別短縮ダイヤル] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ワンタッチダイヤル]
を選択してから、[▶] ボタンを押します。

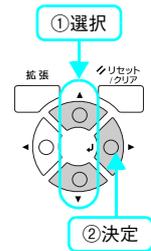
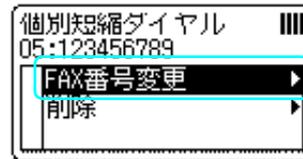


6 変更する登録を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して変更する登録を選択して
から、[▶] ボタンを押します。



7 [FAX 番号変更] を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [FAX 番号変更] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



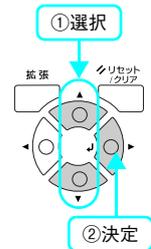
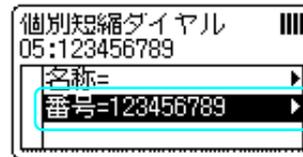
8 [番号] を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [番号] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

参考

[名称] の文字列は操作パネルから変更できません。変更するには、コンピュータから EPSON Speed Dial Utility (アプリケーションソフト) を使って変更してください。

本書 66 ページ「EPSON Speed Dial Utility から宛先を登録する」

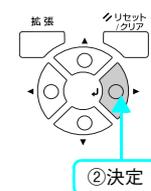
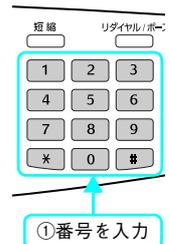
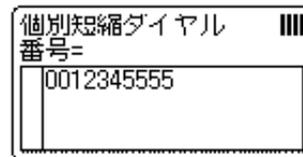


9 変更する電話番号を入力します。

[◀] ボタンを押して変更する番号まで戻るか、[リセット] を押して番号を消去して戻り、テンキー (ダイヤルボタン) で番号を入力します。

[*] キーを押すと「*」、[#] キーを押すと「#」を入力します。

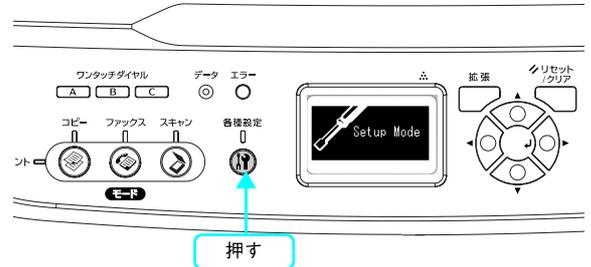
入力が終了したら、[▶] ボタンを押します。



設定が終了すると個別短縮ダイヤルの一覧画面に戻ります。

ワンタッチダイヤルの変更

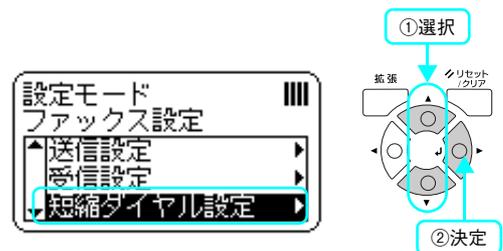
- 1 電源をオン (I) にします。
- 2 [各種設定] ボタンを押します。
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。



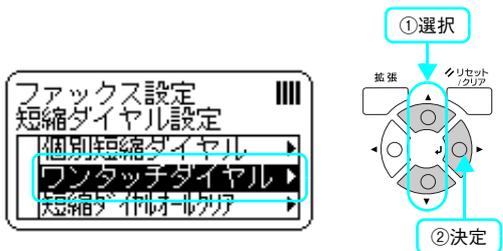
- 3 [ファックス設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ファックス設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



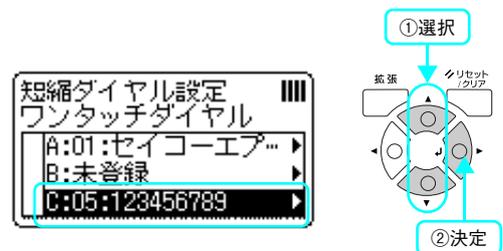
- 4 [短縮ダイヤル設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [短縮ダイヤル設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



- 5 [ワンタッチダイヤル] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ワンタッチダイヤル] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

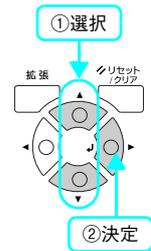
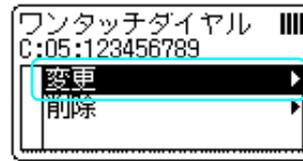


- 6 変更するワンタッチダイヤル ([A]、[B]、[C]) を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [A]、[B]、[C] のいずれかを選択してから、[▶] ボタンを押します。

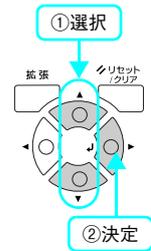
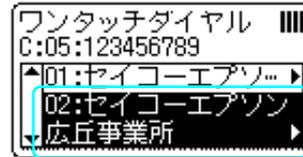


7**[変更] を選択します。**

[▲] または [▼] ボタンを押して選択してから、[▶] ボタンを押します。

**8****短縮ダイヤル一覧から、ワンタッチダイヤルに登録する番号を選択します。**

登録する番号を選択して、[▶] ボタンを押します。



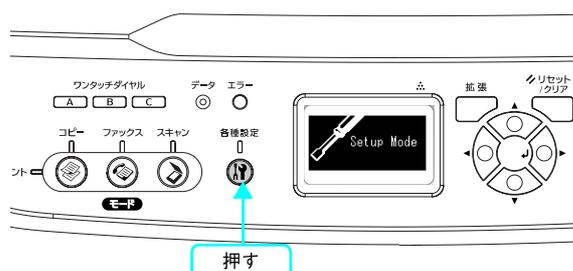
変更が終了するとワンタッチダイヤルの一覧画面に戻ります。

操作パネルから宛先を削除する

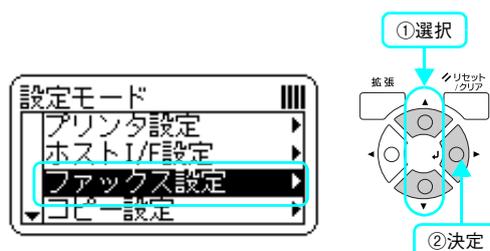
操作パネルから [個別短縮ダイヤル]、[グループダイヤル]、[ワンタッチダイヤル] を削除する方法を説明します。削除方法には、宛先を選択して削除する方法と、登録されているファックス宛先をすべて削除する方法があります。

■ 選択して削除

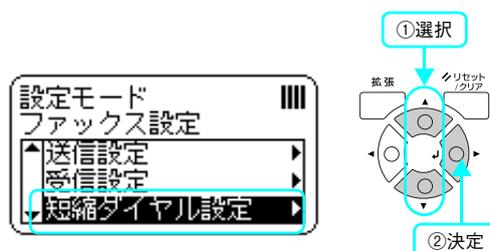
- 1 電源をオン (I) にします。
- 2 [各種設定] ボタンを押します。
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。



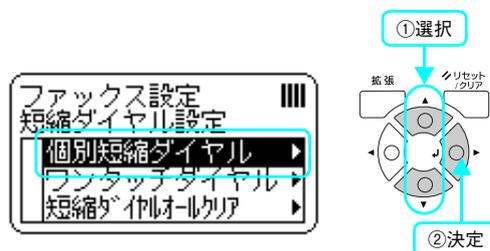
- 3 [ファックス設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ファックス設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



- 4 [短縮ダイヤル設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [短縮ダイヤル設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

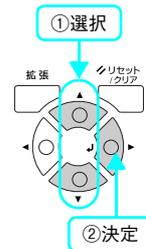
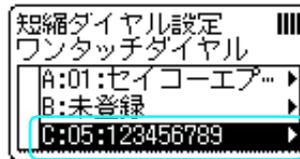


- 5 [個別短縮ダイヤル]、[ワンタッチダイヤル] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ワンタッチダイヤル] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

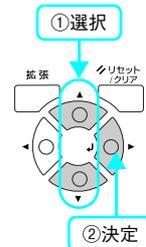
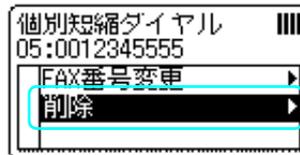


6**削除する宛先を選択します。**

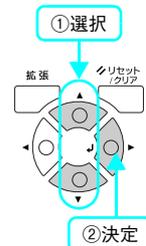
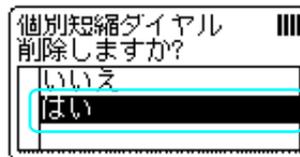
[▲] または [▼] ボタンを押して削除する宛先を選択してから、[▶] ボタンを押します。

**7****[削除] を選択します。**

[▲] または [▼] ボタンを押して [削除] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

**8****[はい] を選択し、削除します。**

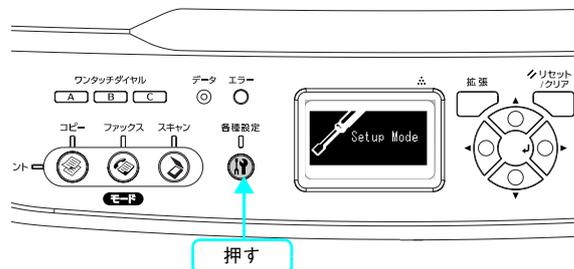
[▲] または [▼] ボタンを押して [はい] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



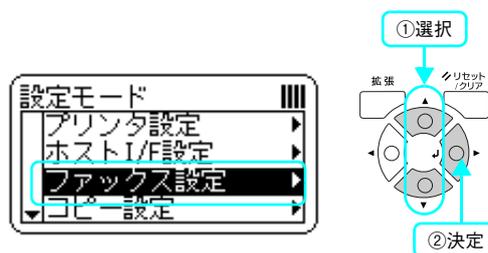
以上で削除は終了です。

すべて削除

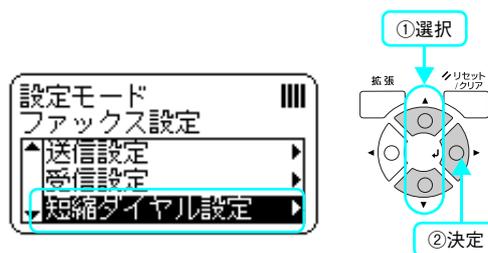
- 1 電源をオン（1）にします。
- 2 [各種設定] ボタンを押します。
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。



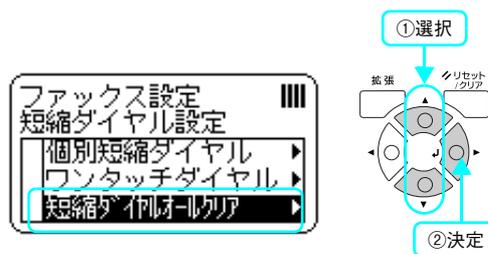
- 3 [ファックス設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [ファックス設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



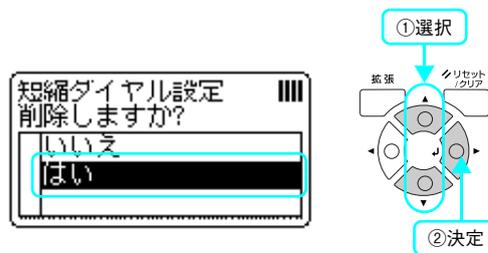
- 4 [短縮ダイヤル設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [短縮ダイヤル設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



- 5 [短縮ダイヤルオールクリア] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [短縮ダイヤルオールクリア] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



- 6 [はい] を選択し、短縮ダイヤルに登録されているすべての番号を削除します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [はい] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



以上で削除は終了です。

4

スキャン

スキャン機能について説明します。

操作パネルでスキャンする前に	82
操作パネルでスキャン	89

操作パネルでスキャンする前に

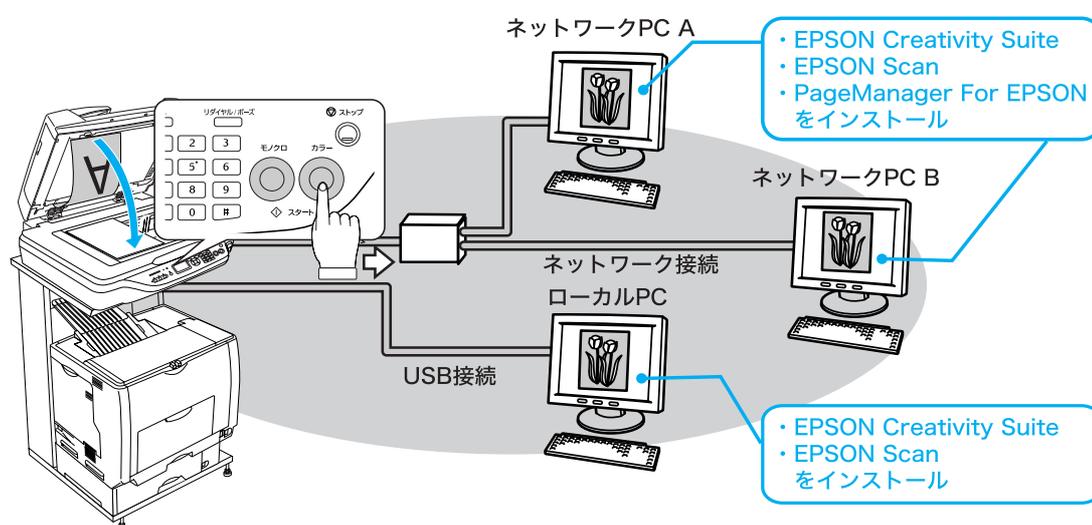
本機では、操作パネルの操作でスキャンする方法と、コンピュータ上の EPSON Scan (TWAIN 規格のスキャナドライバ) からスキャンする 2 通りの方法があります。本書では、操作パネルからスキャンする方法を説明します。

コンピュータからスキャンする方法については、以下を参照してください。

☞ 『ソフトウェア機能ガイド』 (for Windows) / (for Mac OS)

操作パネルでスキャンするために

本機の原稿台またはオートドキュメントフィーダにセットされた原稿を、Windows 環境または Mac OS X 環境のコンピュータへデータとして保存できます。



操作パネルで、スキャンデータを保存するコンピュータを選択します。

操作パネルからスキャンするためには、Windows 環境または Mac OS X 環境のコンピュータに必ずアプリケーションソフト「EPSON Creativity Suite」と「EPSON Scan (スキャナドライバ)」がインストールされている必要があります。また、ネットワーク (Windows 環境のみ) で使用する場合は、上記の他に「PageManager For EPSON」が必要となります。

アプリケーションをインストールする

通常「EPSON Creativity Suite」は、EPSON Scan（スキャナドライバ）やプリンタドライバなどと一緒にコンピュータにインストールされます。ただし、ネットワーク（Windows 環境のみ）で使用する場合に必要な「PageManager For EPSON」は、専用の CD-ROM からインストールする必要があります。

ここでは、「EPSON Creativity Suite」のみを選択してインストールする方法と、ネットワーク（Windows 環境のみ）で使用するための「PageManager For EPSON」のインストール方法を説明します。

📖 本書 83 ページ 「「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Windows）」

📖 本書 85 ページ 「「EPSON Creativity Suite」のインストール方法（Mac OS X）」

📖 本書 87 ページ 「「PageManager For EPSON」のインストール方法（Windows）」

システム条件

Windows	<ul style="list-style-type: none">Windows 98 Second Edition (SE) /98/Me/2000/XP がインストールされているコンピュータWindows 98以降のOSがインストールされていて、Windows Me/2000/XPにアップグレードしたコンピュータ
Mac OS X	Mac OS X v10.2/v10.3 がインストールされているコンピュータ

「EPSON Creativity Suite」のインストール方法(Windows)

Windows 2000/XP の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

- 1 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。
- 2 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。
- 3 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックして、手順 1 からやり直します。

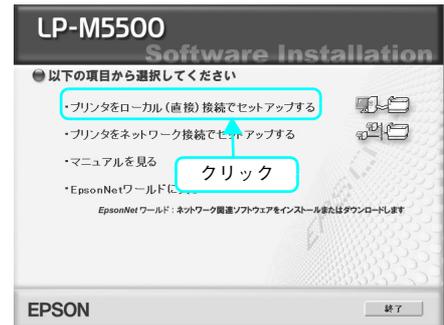
参考

右の画面が表示されないときは
[マイコンピュータ] 内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。



- 4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認してから、[同意する] をクリックします。

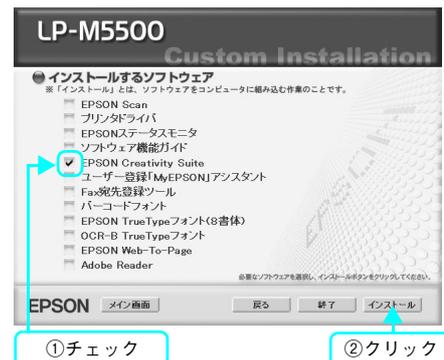
5 [プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする] をクリックします。



6 [選択画面] をクリックします。

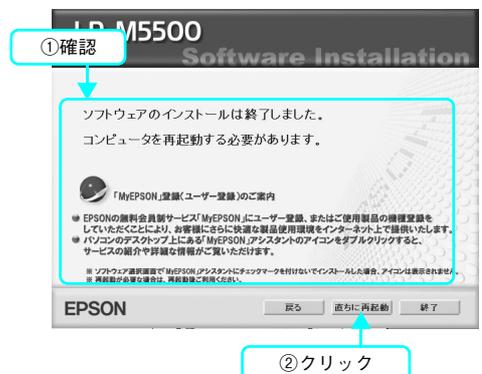


7 [EPSON Creativity Suite] にチェックを付け、[インストール] をクリックします。



8 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

9 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、[直ちに再起動] をクリックします。
[直ちに再起動] が表示されない場合は、[終了] をクリックしてください。



以上で EPSON Creativity Suite のインストールは終了です。

■ 「EPSON Creativity Suite」のインストール方法 (Mac OS X)

管理者権限をお持ちの方がインストールを行ってください。

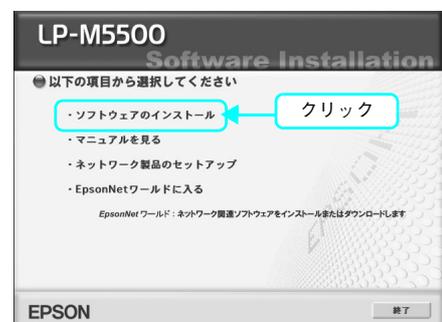
- 1 インストールするドライブが HFS+ 形式でフォーマットされたドライブが確認します。
UNIX ファイルシステム (UFS) 形式のドライブにはインストールできません。
- 2 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。
- 3 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。
- 4 インストーラ (Mac OS X 用) を起動します。



- 5 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。
ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックして、手順 3 からやり直します。



- 6 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認してから、[同意する] をクリックします。
- 7 [ソフトウェアのインストール] をクリックします。



8 [選択画面] をクリックします。

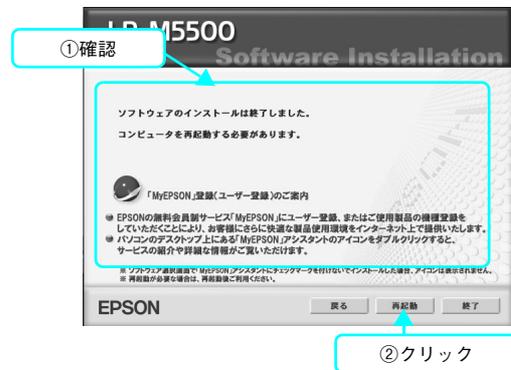


9 [EPSON Creativity Suite] にチェックを付け、[インストール] をクリックします。



10 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

11 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、[再起動] をクリックします。
[再起動] が表示されない場合は、[終了] をクリックしてください。



以上で EPSON Creativity Suite のインストールは終了です。

「PageManager For EPSON」のインストール方法(Windows)

「PageManager For EPSON」は、ネットワーク接続（Windows 環境のみ）で使用するために必要なアプリケーションです。

Windows 2000/XP の場合、管理者権限をお持ちの方がインストールしてください。

- 1 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。
- 2 コンピュータに『PageManager For EPSON』が収録された CD-ROM をセットします。
- 3 自動的に使用許諾契約書が表示されます。内容を確認して、[はい] をクリックします。

参考

インストールが自動で始まらないときは
[マイコンピュータ] 内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックして、[SETUP.EXE] をダブルクリックしてください。

[PageManager For EPSON セットアップ] 画面が閉じたら、インストール終了です。

- 4 PageManager For EPSON を起動します。
デスクトップの [PageManager For EPSON] アイコンをダブルクリックします。

- 5 右の画面が表示されたら、ライセンスシリアル番号を入力して、[OK] をクリックします。

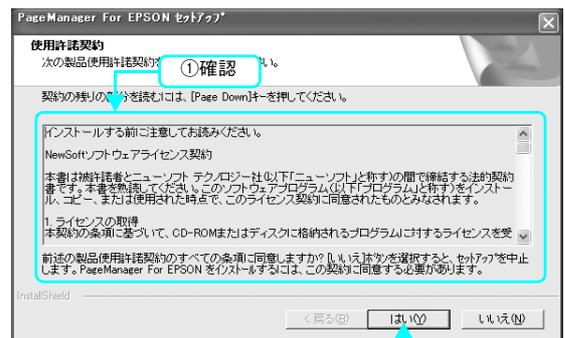
ライセンスシリアル番号は、PageManager をインストールするコンピュータごとにそれぞれ異なった番号を入力する必要があります。

ライセンスシリアル番号は、同梱されている『PageManager 7 For EPSON』のシートに記載されています。

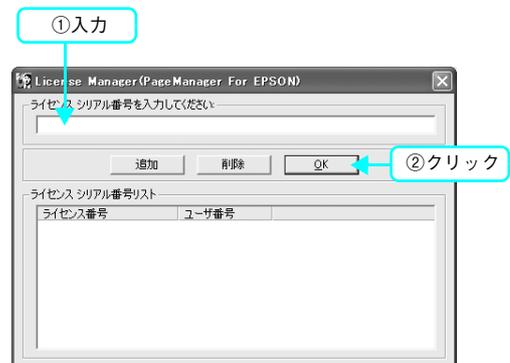
参考

購入時では、3 ライセンスが付与されています。4 台以上のコンピュータに PageManager をインストールする場合は、シリアルライセンス番号が記入されているシートの連絡先を参照して、追加分のライセンスを購入してください。

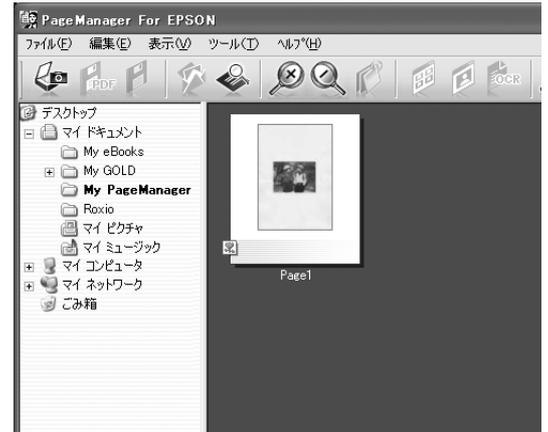
「Windows XP Service Pack2 セキュリティ強化機能搭載」をインストールしている環境で、右の画面が表示された場合は、[ブロックを解除する] をクリックします。



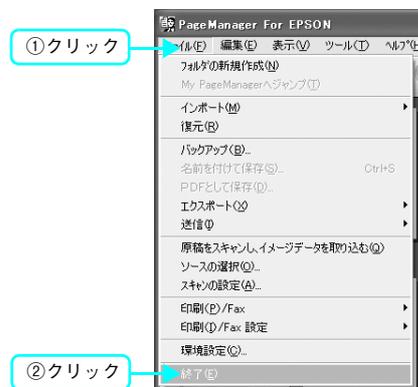
②クリック



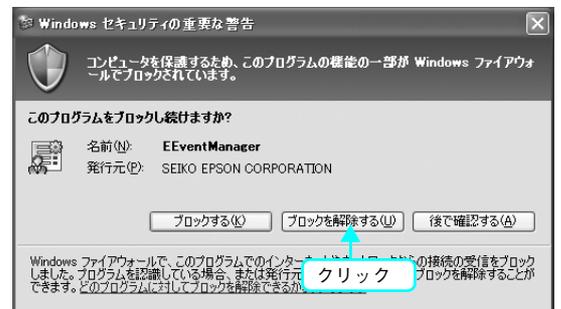
6 PageManager For EPSON が起動したことを確認します。



7 PageManager For EPSON を終了させ、コンピュータを再起動させます。



8 再起動後、「Windows XP Service Pack2 セキュリティ強化機能搭載」をインストールしている環境の場合右の画面が表示されます。「ブロックを解除する」をクリックします。



以上で PageManager For EPSON のインストールは終了です。

操作パネルでスキャン

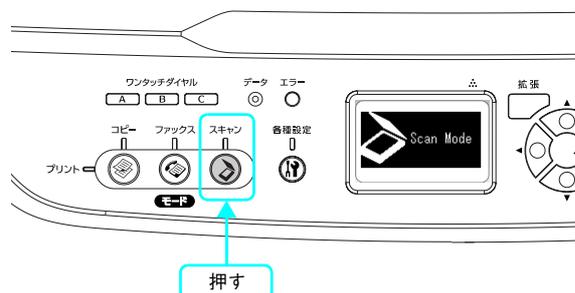
ネットワーク接続の場合は、操作パネルで設定するだけでコンピュータへ画像をスキャンすることができます。
ローカル接続の場合は、スキャンするためのアプリケーションソフトを起動できます。

ネットワーク接続でスキャンする(Windows)

1 電源をオン (I) にします。

2 [スキャン] ボタンを押します。

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

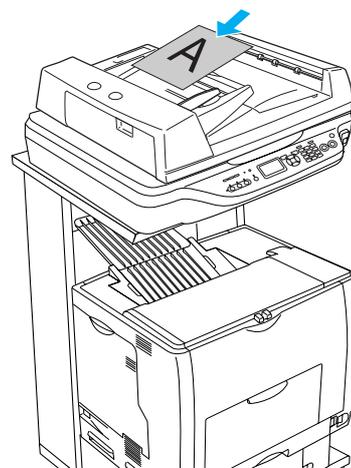


3 原稿をセットします。

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
☞ 本書 24 ページ「原稿台に原稿をセットする」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
☞ 本書 26 ページ「オートドキュメントフィーダ(ADF)に原稿をセットする (LP-M5500F のみ)」

A4 以下の原稿をセットするとき、原稿の「天 / 地」が、原稿台とオートドキュメントフィーダ (ADF) で異なります。以下の表を参照してください。



	説明	原稿をセットする向き
原稿台	左側に「天」がくるように原稿台に原稿をセットしてください。	
ADF (LP-M5500F のみ)	左側に「地」がくるようにオートドキュメントフィーダに原稿をセットしてください。	

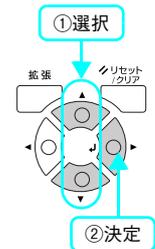
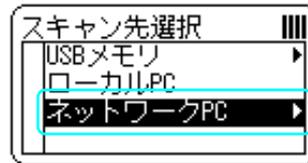


A4 以上の原稿で「天 / 地」を合わせられない場合は、一旦、TIFF もしくは JPEG 形式でスキャンしてから PageManager For EPSON で回転させてください。

4

[ネットワーク PC] を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [ネットワーク PC] を選択してから、[▶] ボタンで決定します。

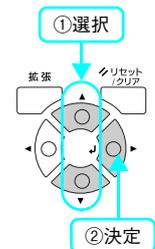
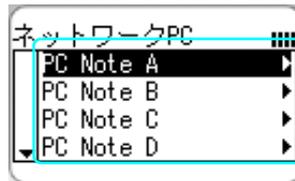


5

保存先のネットワーク上のコンピュータを選択します。

一覧には、スキャンデータを保存できる条件を満たした、同一セグメント* 内のコンピュータを最大 10 台まで表示します。表示名は、各コンピュータで設定されているコンピュータ名を表示します。

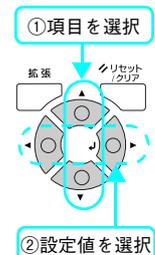
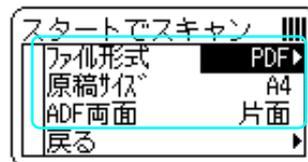
* セグメント：Ethernet ケーブルで接続された機器のまとまり。セグメントとセグメントを接続するためには、ルータやブリッジなどの機器が必要。



6

スキャン設定を行います。

[▲] または [▼] ボタンを押して項目を選択してから、[▶] ボタンで設定します。項目は以下の通りです。

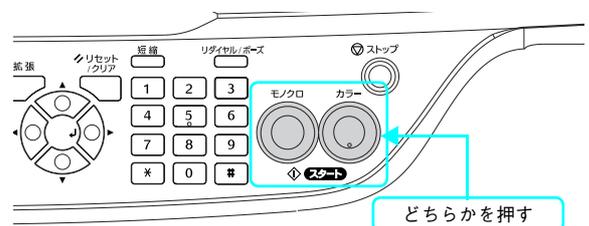


項目	選択 / 設定値	説明
ファイル形式	PDF	PDF 形式：文書原稿などに適しています。
	TIFF	TIFF 形式：高画質の取り込みに適しています。
	JPEG	JPEG 形式：取り込みデータのサイズを小さくしたい場合に適しています。
原稿サイズ	A4、A4 縦、A3、B4、B5、B5 縦	原稿のサイズを選択します。
ADF 両面	片面、両面	オートドキュメントフィーダ (ADF) が装着されている時、原稿の読み取りの片面、両面が選べます。(LP-M5500F のみ)

7

[カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、原稿をスキャンします。

[カラー] ボタンはカラー、[モノクロ] ボタンはモノクロでスキャンします。

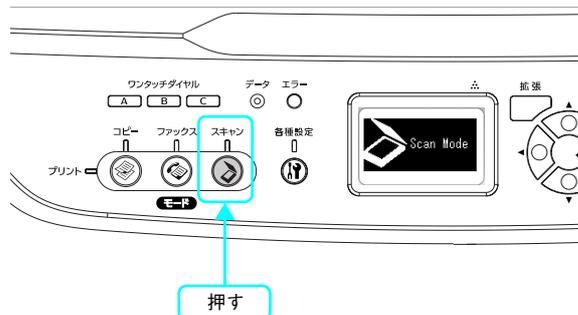


ローカル接続でスキャン用アプリケーションソフトを起動する

本機をコンピュータとローカル接続している場合、操作パネルのボタンを押すことにより、コンピュータ上のアプリケーションソフトを起動することができます。

1 電源をオン（I）にします。

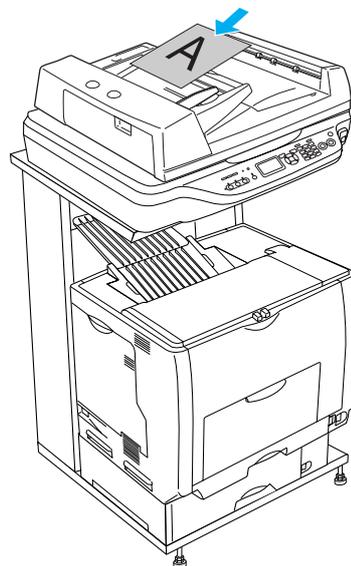
2 [スキャン] ボタンを押します。
スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。



3 原稿をセットします。

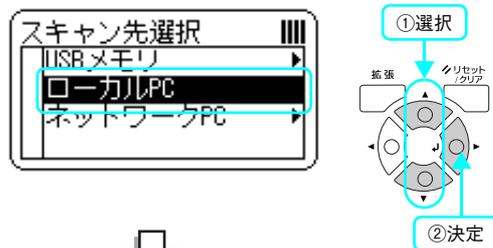
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

本書 89 ページ「ネットワーク接続でスキャンする (Windows)」の手順 **3**

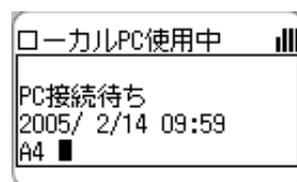


4 [ローカル PC] を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [ローカル PC] を選択してから、[▶] ボタンで決定します。



[PC 接続待ち] のメッセージが表示されます。



5 「EPSON File Manager」が起動します。

「EPSON File Manager」は「EPSON Creativity Suite」に含まれているアプリケーションソフトです。

参考

Windows 環境で以下の画面が表示された場合は、[EPSON Creativity Suite] を選択して、[OK] をクリックしてください。



この後、EPSON File Manager からスキャンを実行する方法については、[ヘルプ] メニュー - [チュートリアル] または [ヘルプ] をクリックして、オンラインヘルプを参照してください。

参考

「EPSON Scan が起動できません。」エラーが発生する場合

原稿を読み取る際、EPSON Scan (スキャナドライバ) を使用します。[EPSON Scan の設定] で接続方法が「ネットワーク接続」になっている場合は、「ローカル接続」に変更してください。

📄 『セットアップガイド』(紙マニュアル)「スキャン機能の接続先を設定します」

起動するアプリケーションソフトを変更する

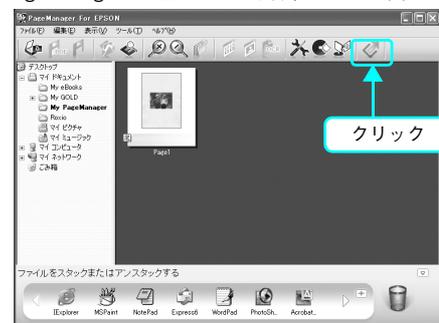
操作パネルのボタンを押したときに起動するアプリケーションを変更するには、次の手順で変更してください。

1 [スキャナビ設定] ボタンをクリックします。

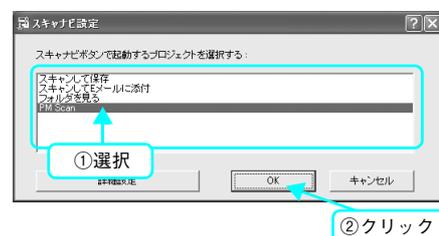
EPSON File Manager の場合



PageManager For EPSON の場合 (Windows 環境のみ)



2 操作パネルのボタンを押したときの動作を選択して、[OK] をクリックします。



項目	説明
スキャンして保存	EPSON Scan が起動します。スキャンを実行すると EPSON File Manager が起動して画像が保存されます。
スキャンして E メールに添付	EPSON Scan が起動します。スキャンを実行すると EPSON Attach To Email が起動します。
フォルダを見る	EPSON File Manager が起動します。
PM Scan (Windows のみ)	PageManager For EPSON が起動して、自動的に画像を保存します。

次回操作パネルの操作時から、上記で選択したアプリケーションが起動します。

スキャンデータを USB フラッシュメモリに保存する

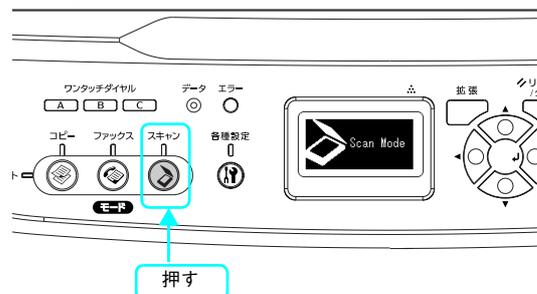
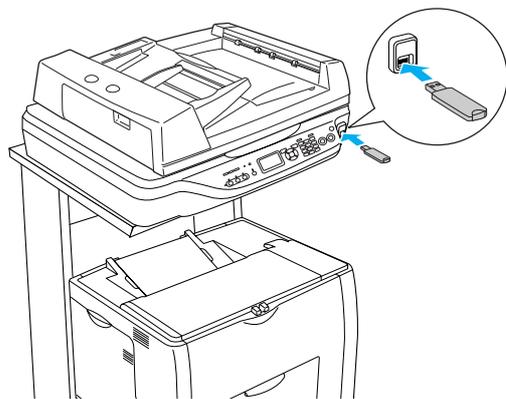
本機正面右側のコネクタに接続した USB フラッシュメモリにスキャンしたデータを保存する手順を説明します。

- 1 電源をオン（I）にします。
- 2 USB フラッシュメモリを本機のコネクタに取り付けます。

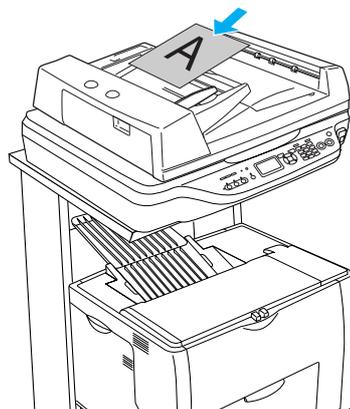
参考

使用できる USB フラッシュメモリについては、エプソンのホームページをご覧ください（<http://www.i-love-epson.co.jp>）。

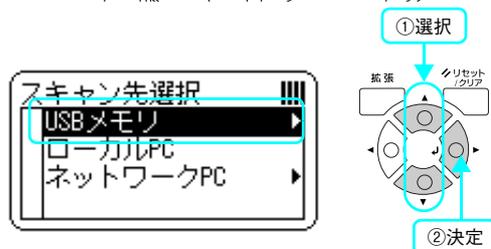
- 3 [スキャン] ボタンを押します。
スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。



- 4 原稿をセットします。
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。
本書 89 ページ「ネットワーク接続でスキャンする (Windows)」の手順 3



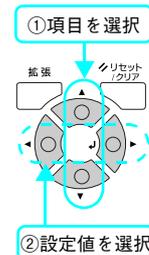
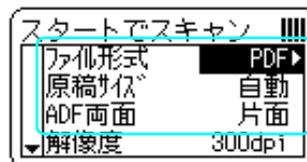
- 5 [USB メモリ] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [USB メモリ] を選択してから、[▶] ボタンで決定します。



6

スキャン設定を行います。

[▲] または [▼] ボタンを押して項目を選択してから、
[▶] ボタンで設定します。
項目は以下の通りです。

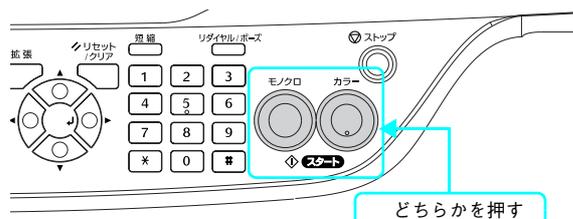


項目	選択 / 設定値	説明
ファイル形式	PDF	PDF 形式：文書原稿などに適しています。
	TIFF	TIFF 形式：高画質の取り込みに適しています。
	JPEG	JPEG 形式：取り込みデータのサイズを小さくしたい場合に適しています。
原稿サイズ	自動、A4、A4 縦、A3、B4、B5、B5 縦	原稿のサイズを選択します。
ADF 両面	片面、両面	オートドキュメントフィーダ (ADF) が装着されている時、原稿の読み取りの片面、両面が選べます。(LP-M5500F のみ)
解像度	96dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi	解像度が高いほど精妙なスキャン結果が得られますが、読み取りに時間がかかったり、ファイルサイズが重くなります。
原稿タイプ	文・写 (文字・写真)	オフィスなどで通常使用されるカラー画像や文字が混在する書類を原稿にする場合に選択します。
	文字	黒文字を多く含む書類を原稿にする場合に選択します。
	写真	カラー写真 (銀塩写真、印刷物写真) を原稿にする場合に選択します。
濃度	-3 ~ 0 ~ 3	読み取り濃度を調整します。-3 (低) から 3 (高) の範囲で設定でき、数値を上げると、濃い部分はより濃く、薄い部分はより薄くなります。

7

[カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、原稿をスキャンします。

- [カラー] ボタンはカラー、[モノクロ] ボタンはモノクロでスキャンします。
- 取り込まれた原稿は、USB フラッシュメモリ内の以下のフォルダに保存されます。
LP-M55000_XXXXXXXXXX
(XXXXXXXXXX はシリアル番号)
- ファイル名は、取り込んだ順に Epson_xxxx_y. 拡張子で保存されます (xxxx は 0001 からの連番、y は JPEG のみ 1 からの連番)。



参考

[モノクロ] ボタンを押した場合、通常はグレー (8bit) でスキャンしますが、[ファイル形式] が [TIFF] で [原稿] が [文字] の場合は、モノクロ (白黒 2 値) でスキャンします。

スキャンが終了したら、セットした原稿と USB フラッシュメモリを本機から取り除いてください。

5

オプションと消耗品

オプションと消耗品を説明します。

オプションと消耗品の紹介	98
使用済みトナーカートリッジの回収について	103
通信販売（消耗品 / オプション品）のご案内	104
オプションの装着方法	105

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は 2005 年 6 月現在のものです。

USB インターフェイスクーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

型番	商品名
USBCB2	EPSON USB ケーブル

接続方法は『セットアップガイド』（紙マニュアル）を参照してください。

Ethernet(イーサネット)インターフェイスクーブル

本機のネットワークインターフェイスを使用する場合は、市販の Ethernet インターフェイスクーブル（ストレートケーブル）を使用してください。Ethernet ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

増設メモリ

内部メモリ（標準搭載メモリ容量 128MB）を最大 576MB まで増設することができます。メモリを増設することにより、高解像度でコピー / 印刷できるようになります。

使用できるメモリの詳細については、下記エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください。

<http://www.i-love-epson.co.jp>

取り付け方法については、以下のページを参照してください。

📖 本書 105 ページ「増設メモリを取り付ける」

専用スタンド

本機のプリンタ部とスキャナ部をすっきり収納することのできる専用スタンドです。

型番	商品名	備考
LPMRACK1	専用スタンド	オプションの増設カセットユニットなし、または増設1段カセットユニット装着時にご使用いただけるスタンドです。
CSCBN8A	専用スキャナスタンド	オプションの増設カセットユニット2段以上を装着されている時にご使用いただけるスタンドです。
LPMPD1	プリンタ台	専用スタンド（LPMRACK1）と、増設カセットユニットなしの組み合わせでお使いの場合に、プリンタ部の下に設置することで排紙された用紙などを取りやすくします。

増設カセットユニット

用紙カセットが1段装備されたユニットです。本機の下に最大3段まで増設することができます。これにより、標準搭載されている用紙カセットを含めて最大で4段にすることができます。

型番	商品名	備考
LPA3CZ1CU2	増設カセットユニット 用紙カセット（容量500枚）×1段	使用できる用紙サイズ： A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger
LPA3CZ1CT2	増設1段カセットユニット* ¹ （転倒防止付/2段目用）	
LPA3CZ1CC2	増設カセットユニットキャスター付き* ² 用紙カセット（容量500枚）×1段	

*¹ 転倒防止用の脚付きの増設カセットユニットは、1段目または2段目（最下段のみ）に1機しか取り付けることができません。

*² キャスター付きの増設カセットユニットは、1～3段目の最下段に1機しか取り付けることができません。

増設カセットユニットを増設する場合の組み合わせは以下の通りです。

増設	型番					
	増設1段			増設2段		増設3段
1段目	LPA3CZ1CU2	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2		LPA3CZ1CU2
2段目	—	—	—	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2
3段目	—	—	—	—	—	LPA3CZ1CC2

取り付け方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書108ページ「増設カセットユニットを取り付ける」

用紙カセット

標準用紙カセットの代わりにプリンタセットすることのできる用紙カセットと、増設カセットユニットにセットすることのできる用紙カセットです。

型番	商品名	備考
LPA3CYC3	本体用用紙カセット	使用できる用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger 容量：250枚
LPA3CYC2	増設カセットユニット用 用紙カセット	使用できる用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger 容量：500枚

用紙カセット1への用紙セット方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書17ページ「用紙カセット（標準カセット1）に用紙をセットする」

増設カセットユニット（用紙カセット2～4）への用紙セット方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書20ページ「用紙カセット（オプションカセット2～4）に用紙をセットする」

オートドキュメントフィーダ

原稿連続取り込み装置です。スキャナ部に取り付けることにより、原稿を連続して取り込むことができます。大量の文書のコピーや取り込みに威力を発揮します。両面取り込みも可能です。

📖 本書 114 ページ「オートドキュメントフィーダを取り付ける (LP-M5500 のみ)」

型番	商品名	備考
ESA3ADF2	オートドキュメントフィーダ	使用できる原稿サイズ：最大 A3

専用紙

本機では、以下の EPSON 製専用紙を使用できます。

型番 (サイズ)	商品名	備考
LPCPPA3 (A3)	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。MP トレイ、用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
LPCPPA4 (A4)		
LPCPPB4 (B4)		
LPCOHPS1 (A4)	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。コンピュータからの印刷時、MP トレイからのみ給紙できません。

！注意

上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。内部での紙詰まりや故障の原因となります。

参考

EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

トナーカートリッジ

トナーカートリッジは、トナーの色によって 4 種類あり、最大印刷可能枚数によって型番が異なります。本機で使用可能なトナーカートリッジは次の通りです。

型番	商品名 (色)	寿命
LPCA3ETC5K*	ET カートリッジ (ブラック)	各色約 6,000 ページ (A4、画占率 5%)
LPCA3ETC5C	ET カートリッジ (シアン)	
LPCA3ETC5M	ET カートリッジ (マゼンタ)	
LPCA3ETC5Y	ET カートリッジ (イエロー)	
LPCA3ETC4C	ET カートリッジ (シアン)	各色約 2,000 ページ (A4、画占率 5%)
LPCA3ETC4M	ET カートリッジ (マゼンタ)	
LPCA3ETC4Y	ET カートリッジ (イエロー)	

* LPCA3ETC5K の 2 本セット品 (LPCA3ETC5P) もあります。

1 つのトナーカートリッジで 2,000 ページまたは 6,000 ページ (A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *¹) まで印刷できます。ただし、使用状況 (電源オン/オフの回数や紙詰まり処理の回数など) や印刷の仕方 (連続印刷 / 間欠印刷 *²) によりトナー消費量は異なります。

*¹ 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

*² 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。アプリケーションから 1 ページのドキュメントをコピー / 部単位機能を使用せず複数回印刷を行う場合、コピー / 部単位機能を使用した場合と比較してトナー消費量が異なります

交換方法については以下のページを参照してください。

📖 本書 122 ページ「トナーカートリッジを交換する」

感光体ユニット

感光体ユニットには、感光体ユニット (感光体、感光体クリーナ、帯電器) と廃トナーボックス、フィルタが同梱されています。

型番	商品名	感光体ユニットの寿命
LPCA3KUT5	感光体ユニット	モノクロ印刷 約 40,000 ページ カラー印刷 約 10,000 ページ

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ (A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *¹) まで使用できます。ただし、使用状況 (電源オン/オフの回数や紙詰まり処理の回数など) や印刷の仕方 (連続印刷 / 間欠印刷 *²) により異なります。

*¹ 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。また、使用環境によっては印刷可能ページ数は半分以下になる場合があります。

*² 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

交換方法については以下のページを参照してください。

📖 本書 127 ページ「感光体ユニットを交換する」

廃トナーボックス

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。フィルタも廃トナーボックスに同梱されています。

型番	商品名	寿命
LPCA3HTB3	廃トナーボックス	モノクロ印刷 約 40,000 ページ カラー印刷 約 10,000 ページ

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合^{*1}）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン/オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷^{*2}）により廃トナーの回収状況は異なります。

^{*1} 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合があります。

^{*2} 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

交換方法については以下のページを参照してください。

📖 本書 131 ページ「廃トナーボックスとフィルタを交換する」

使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効利用と地球環境保全のために



エプソン純正トナーカートリッジは、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。

回収については、カートリッジの梱包箱と添付の説明書をご確認ください

■ 使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法は、カートリッジの梱包箱をご覧ください。

■ 回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。



回収方法の詳細は、エプソン純正トナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。また、エプソンのホームページ「I Love EPSON」でもご確認ください。

<http://www.i-love-epson.co.jp/>

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

使用済みトナーカートリッジ回収によるベルマーク運動

弊社は使用済みのトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。

学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。

この活動により資源の有効活動と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っています。

詳細についてはエプソンのホームページ（<http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/>）をご覧ください。

通信販売(消耗品/オプション品)のご案内

エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライの通信販売をご利用ください (2005 年 6 月現在)。

インターネットでのご注文	ホームページ	http://www.epson-supply.jp
お電話でのご注文	電話番号。	0120 - 251 - 528 (フリーダイヤル) ※電話番号をよくお確かめの上おかけください
	受付時間)	月～金曜日 9:00 ~ 18:15 土曜日 9:00 ~ 17:00 (祝祭日、弊社指定休日を除く)

お届け方法、お支払い方法など詳細につきましては、上記のホームページまたはお電話でご確認ください。

オプションの装着方法

ここではオプションの増設メモリと増設カセットユニットの取り付け作業を説明します。

⚠警告 指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

増設メモリを取り付ける

⚠注意 増設メモリの取り付けは、電源コードを取り外した状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

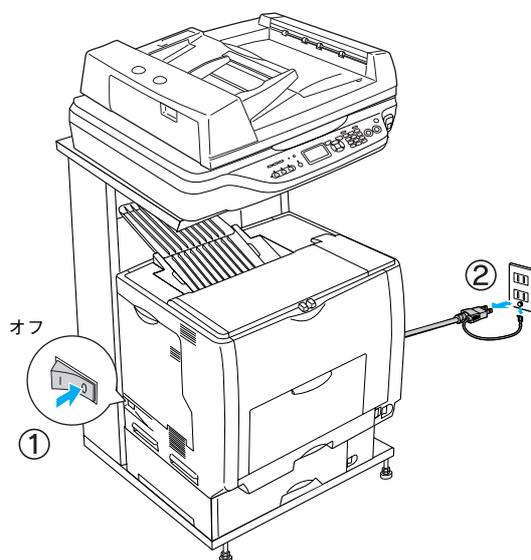
内部メモリ（標準搭載メモリ容量 128MB）を最大 576MB まで増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。

参考 使用できるメモリの詳細は、下記エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください (<http://www.i-love-epson.co.jp/>)。

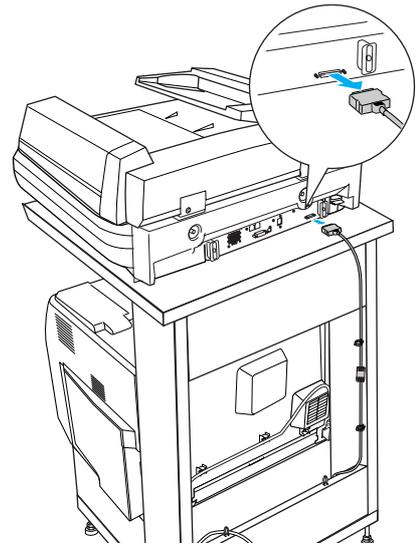
取り付けは次の手順に従って行ってください。取り付け作業にはプラスドライバーが必要です。

！注意 増設メモリの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

- ①本機の電源をオフ（○）にし、②電源コードをコンセントから抜きます。

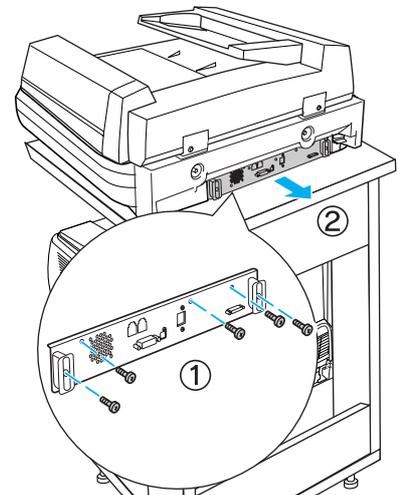


- 2** 接続されている専用ケーブルやインターフェースケーブルを取り外します。



- 3** 背面カバーのネジ（5本）を外して、背面カバーを取り外します。

- ① ネジ（5本）を外します。
- ② カバー両端の取っ手を持って手前に引き抜きます。

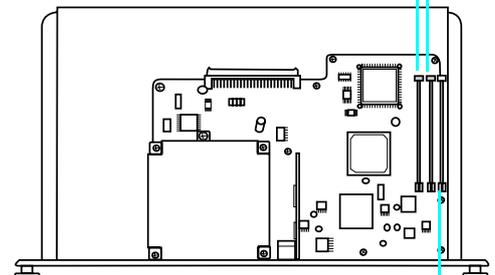


⚠注意 作業に必要な場所には触れないようにしてください。感電や火傷の原因となります。

- 4** 増設メモリ用ソケットの位置を確認します。

増設メモリ 64MB
(256MB に交換可)

増設メモリ用ソケット
(最大 256MB 装着可)



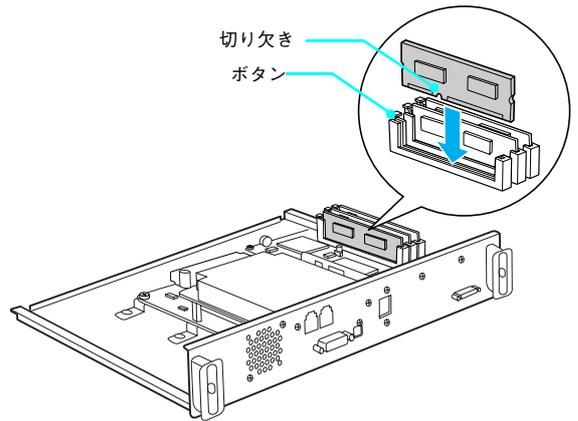
右のソケットに取り付けられているモジュール（64MB メモリ内蔵）は取り外さないでください。本機が動作しなくなります。

5 増設メモリを取り付けます。

- ① 増設メモリの切り欠きがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、ソケットの外枠にメモリを差し込みます。
- ② ソケット端のボタンが飛び出すまで増設メモリの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。

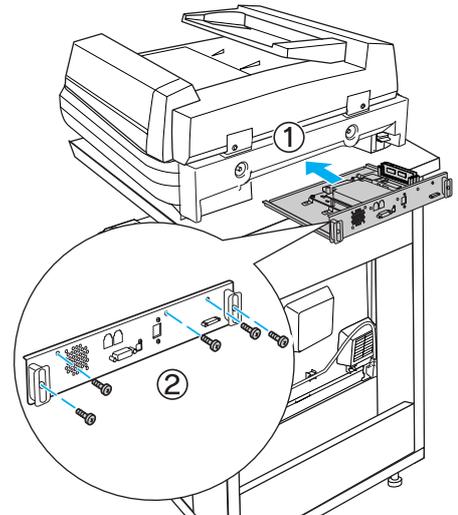
！注意

- 取り付ける際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。

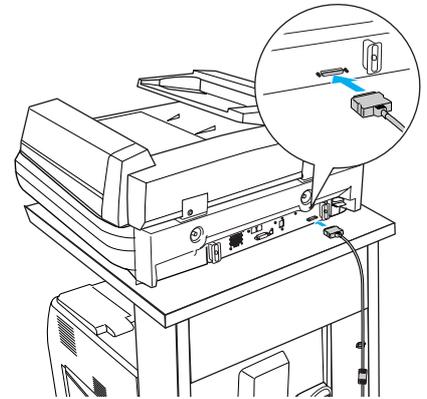


6 背面カバーをスキャナ部に取り付けてから、ネジ（5本）で固定します。

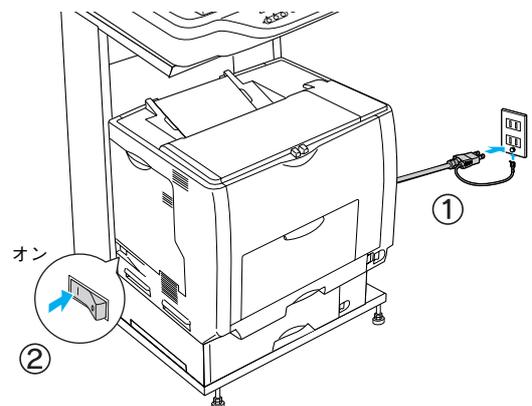
- ① スキャナ部側のレールに合わせ、静かに差し込みます。
- ② ネジ（5本）を取り付けます。



7 取り外したケーブル類を接続します。



8 ①取り外した電源コードを元通りに取り付けて、②本機の電源をオン（|）にします。



以上で増設メモリの取り付けは終了です。

増設カセットユニットを取り付ける

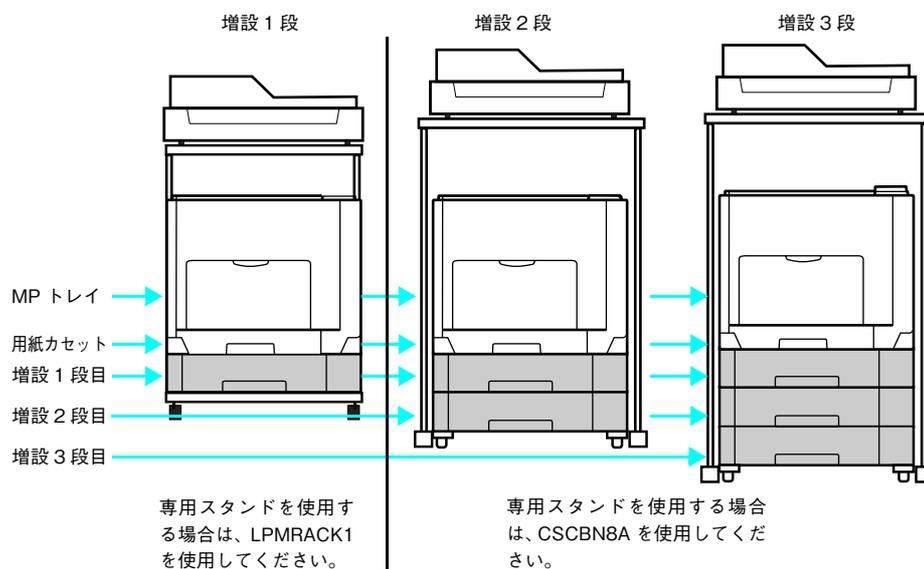
ここでは1段目の増設カセットユニットを装着する手順を説明します。2、3段目の増設カセットユニットを取り付ける手順も同様の手順としてお読みください。

⚠注意

- 本機を持ち上げる際は必ず2人以上で作業を行ってください。プリンタ部の質量は、約46kg（標準用紙カセット1および消耗品を含み、オプションを除く）です。プリンタ部を持ち上げる場合は、必ずプリンタ部正面 / 背面にある持ち運び用ハンドルと左側下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタ部の落下によるけがの原因となります。また本体に無理な力がかかるため、損傷の原因となります。
- プリンタ部を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタ部の破損の原因となります。
- プリンタ部に増設カセットユニットを2段増設する場合は、一番下に必ず増設1段カセットユニット（転倒防止付 / 2段目用）（型番：LPA3CZ1CT2）または増設カセットユニットキャスター付き（型番：LPA3CZ1CC2）を取り付けてください。移動に便利であり、転倒防止機能が付いているので安全です。
- プリンタ部に増設カセットユニットを3段増設する場合は、一番下に必ず増設カセットユニットキャスター付き（型番：LPA3CZ1CC2）を取り付けてください。移動に便利であり、転倒防止機能が付いているので安全です。
- プリンタ部を移動する場合は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ部を増設カセットユニットキャスター付き（型番：LPA3CZ1CC2）やキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがやプリンタ部の損傷の原因となります。

■ 増設カセットの組み合わせ図

増設カセットユニットは以下の組み合わせで取り付けてください。



増設	型番					
	増設 1 段			増設 2 段		増設 3 段
1 段目	LPA3CZ1CU2	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2		LPA3CZ1CU2
2 段目	—	—	—	LPA3CZ1CT2	LPA3CZ1CC2	LPA3CZ1CU2
3 段目	—	—	—	—	—	LPA3CZ1CC2

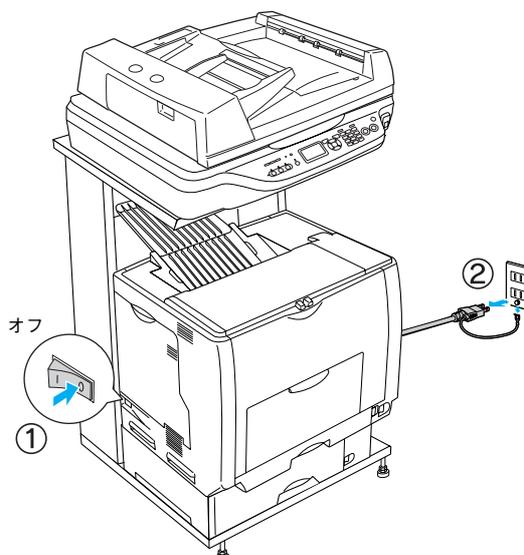
- 増設 1 段カセットユニット（転倒防止付 /2 段目用）（型番：LPA3CZ1CT2）は上記の組み合わせで増設してください。
- 増設カセットユニットキャスター付き（型番：LPA3CZ1CC2）は最下段に 1 台しか装着できません。
- 増設 1 段カセットユニット（転倒防止付 /2 段目用）（型番：LPA3CZ1CT2）と増設カセットユニットキャスター付き（型番：LPA3CZ1CC2）を組み合わせることはできません。

ここでは、専用スタンド（LPMRACK1）と専用プリンタ台（LPMPD1）を使用している場合の手順を説明します。取り付けは以下の手順に従って行ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

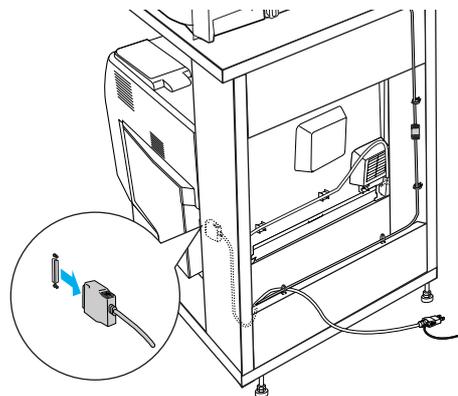
1 増設するオプションを用意します。

取り付け前に、損傷のないことを確認してください。また増設カセットに添付されている取扱説明書を参照して、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

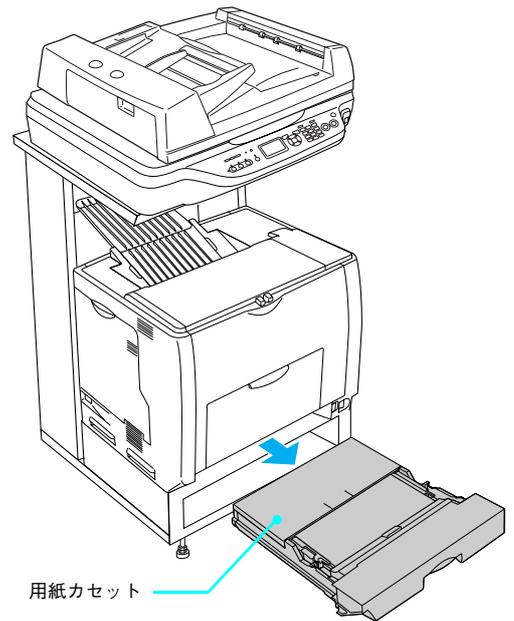
2 ①本機の電源をオフ（○）にし、②電源コードをコンセントから抜きます。



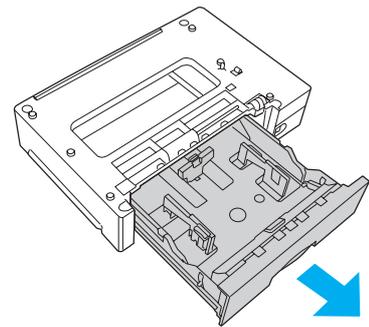
3 接続されている専用ケーブルを取り外します。



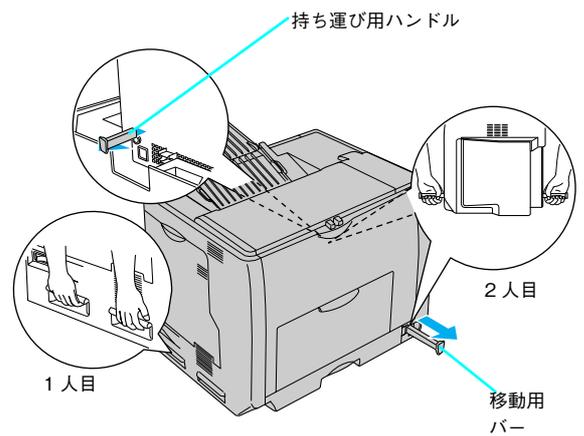
4 用紙カセットを引き出して取り外します。



5 増設するカセットユニットを水平な場所に置き、用紙カセットを引き出して取り外します。

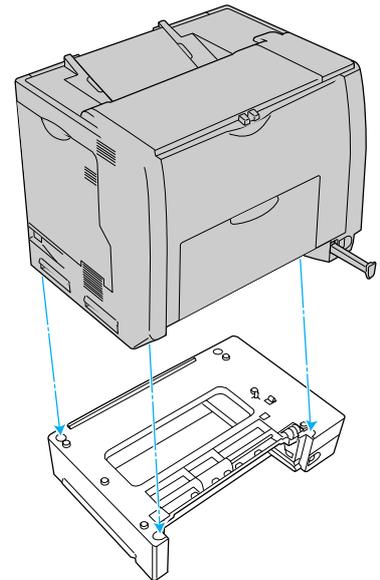


6 図のように2人で本機を持ち上げ、水平に保ちます。
プリンタ部前面と背面にある持ち運び用ハンドルを引き出します。



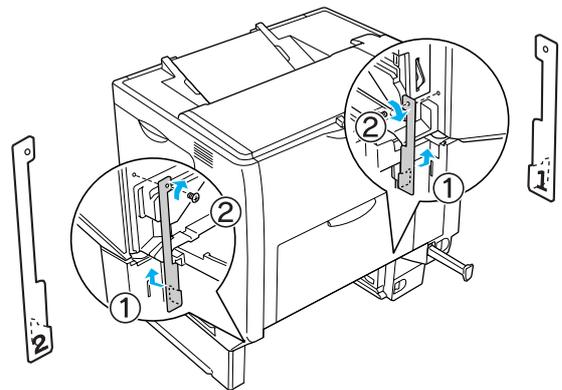
7 増設カセットユニットの上にプリンタ部を置きます。

プリンタ部の前面と増設カセットユニットの前面を図のように合わせ、増設カセットユニットのピンとプリンタ部底面の穴が合うようにします。



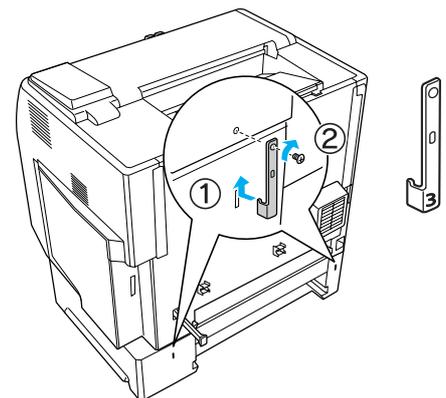
8 プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの前面（2箇所）を固定板とネジで固定します。

固定板を取り付けてネジ穴に合わせてから、ネジで固定します。前面（2箇所）の固定板の形状が異なりますので、形状を確認してから取り付けてください。

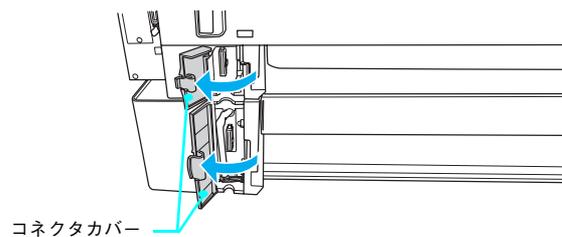


9 プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの背面（2箇所）を固定板とネジで固定します。

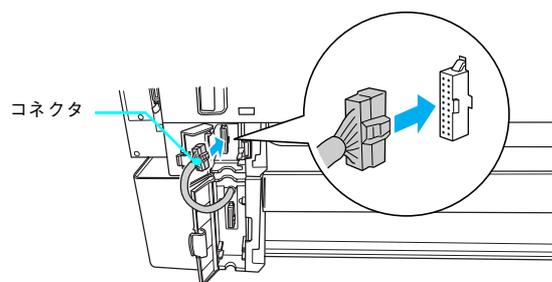
①固定板を取り付けてネジ穴に合わせてから②ネジで固定します。



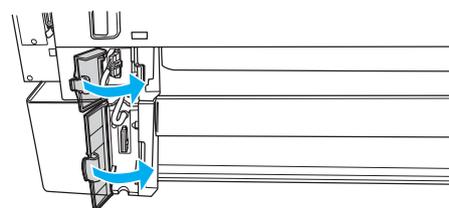
- 10** プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニット背面のコネクタカバーを開きます。



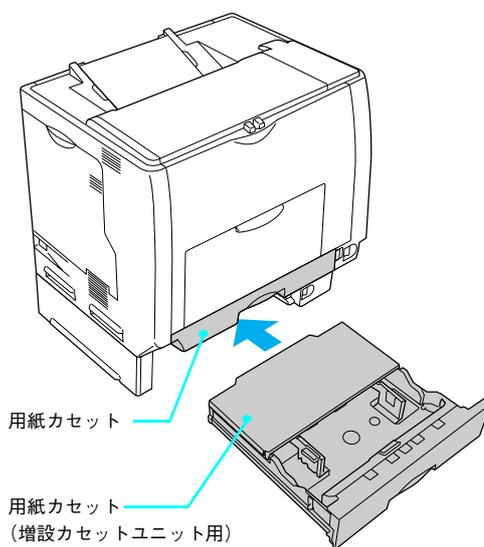
- 11** コネクタの向きを確認して、プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）のソケットにしっかりと接続します。



- 12** プリンタ部（または一段上の増設カセットユニット）と増設カセットユニットの背面のコネクタカバーを閉じます。



- 13** 取り外した用紙カセットをセットします。

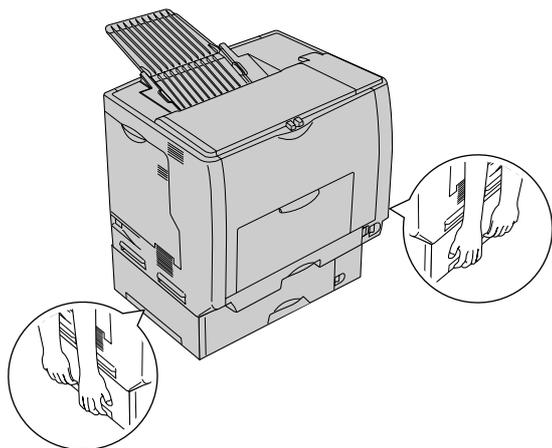


14 プリンタ部を設置します。

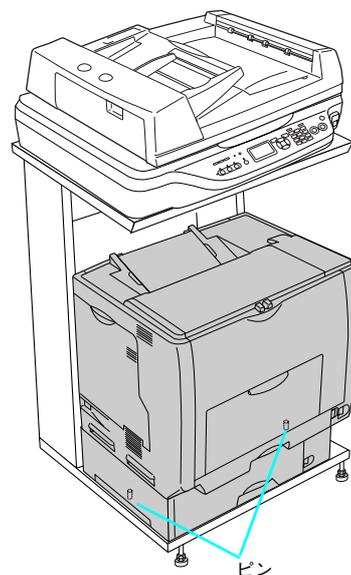
- プリンタ台 (LPMPD1) を使用している場合は、取り外します。
- 専用スタンド (LPMRACK1) を使用する場合は、専用スタンド上のピンと増設カセットユニット (1 段) 下部の穴が合うように設置します。

! 注意

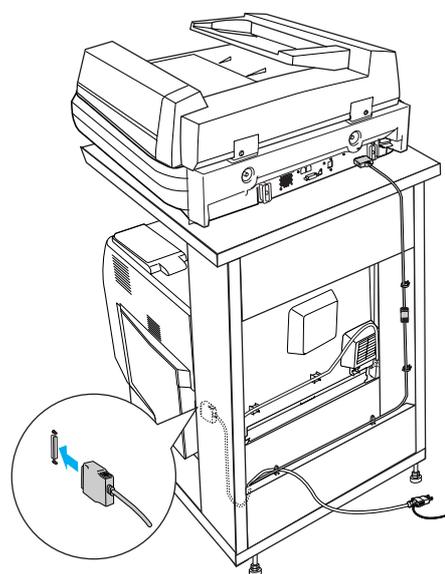
- 増設カセットごとプリンタ部を移動する場合は、プリンタ部をぐらつかせたり、傾けないよう静かに持ち上げてください。



- 電源コードを踏んだり、プリンタ部の下にはさまないように注意してください。



15 取り外した専用ケーブルを接続します。



16 取り外した電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源をオン (|) にします。

以上で増設カセットユニットの取り付けは終了です。

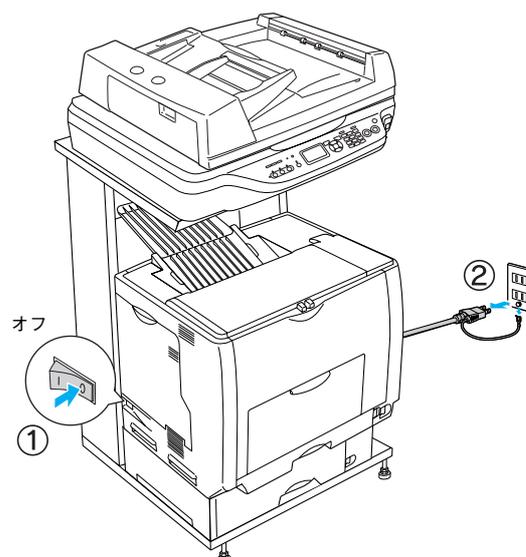
オートドキュメントフィーダを取り付ける (LP-M5500 のみ)

ここでは、オートドキュメントフィーダの取り付け方を説明します。

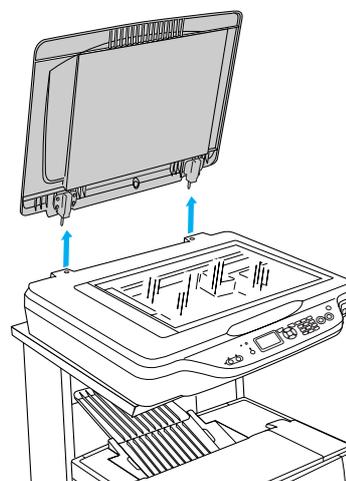
！注意

オートドキュメントフィーダは重く (約 14kg)、取り付け前は不安定ですので、取り付け作業は必ず2人以上で行ってください。1人で行うと、落下によりけがをしたり、オートドキュメントフィーダが破損するおそれがあります。

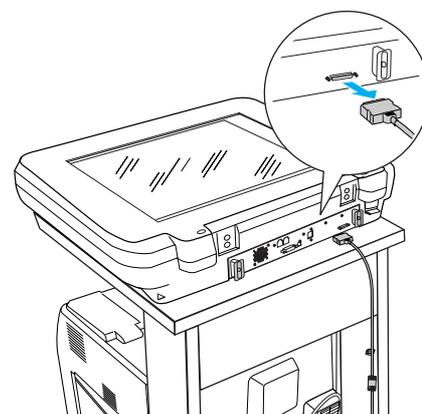
- 1 ①本機の電源をオフ (○) にし、②電源コードをコンセントから抜きます。



- 2 原稿カバーを取り外します。



- 3 接続されている専用ケーブルおよびインターフェイスケーブルを取り外します。



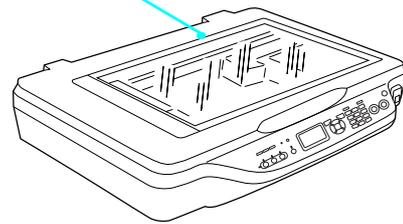
4 スキャナ部の周囲に人が作業できるスペースを確保します。また、できるだけ低い位置に置きます。

オートドキュメントフィーダは、スキャナの背面側から取り付けますので、背面側に、オートドキュメントフィーダを取り付けるための作業スペースを確保してください。

！注意

オートドキュメントフィーダを取り付けるときは、作業を容易にするため、腰よりも低い安定した位置にスキャナを置き、落下によるけがやオートドキュメントフィーダの破損が起きないように注意して作業してください。

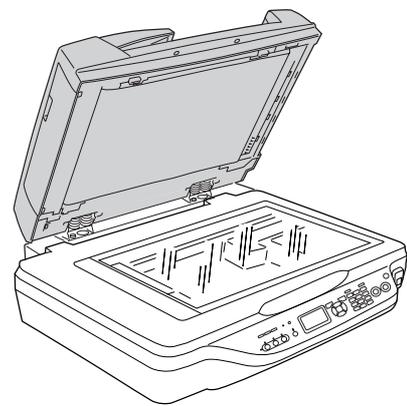
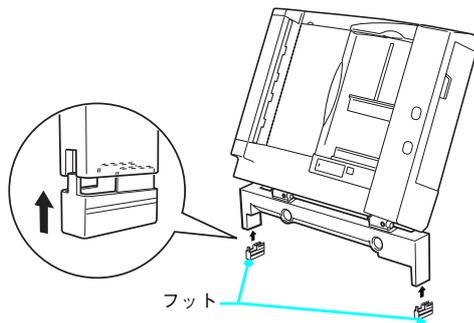
スキャナ部



5 この後は、『セットアップガイド』（紙マニュアル）を参照して、オートドキュメントフィーダを取り付けます。

参考

組み立ての途中で使用する「フット」は、LP-M5500 に同梱されていたものを使用します。オートドキュメントフィーダに同梱されているものは使用しないでください。



6 スキャナ部を設置して、専用ケーブルを接続します。

7 取り外した電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源をオン（|）にします。

以上でオートドキュメントフィーダの取り付けは終了です。

装着オプションの確認(簡易ステータスシートの確認)

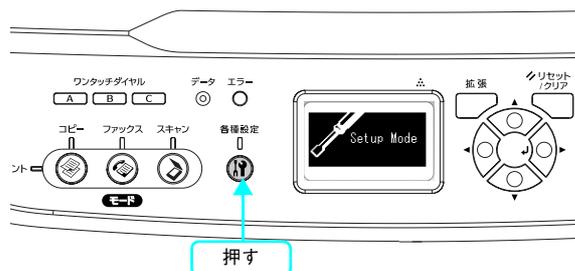
ここでは、本機に取り付けたオプションが認識されているかどうかを確認するために、ステータスシート（簡易版）の印刷と確認方法について説明します。

参考

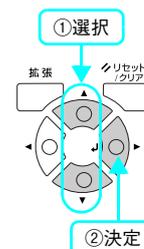
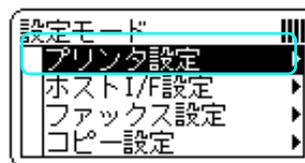
オートドキュメントフィーダを取り付けてもステータスシートには印字されません。基本的なコピーを実行して給紙されることをご確認ください。

1 本機の電源がオン（|）になっていることを確認します。

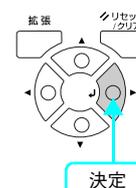
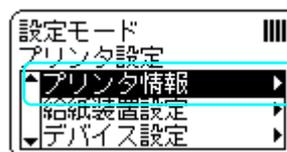
2 操作パネルの〔各種設定〕ボタンを押します。



3 [設定モード] で [プリンタ設定] が選択されていることを確認して、[▶] ボタンを押します。

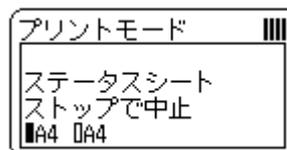
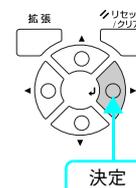
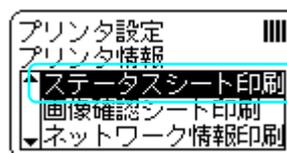


4 [プリンタ情報] が選択されていることを確認して、[▶] ボタンを押します。



5 [ステータスシート印刷] が選択されていることを確認して、[▶] ボタンを押します。

- データランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が〔プリントモード〕に戻り、〔印刷できます〕と表示されます。

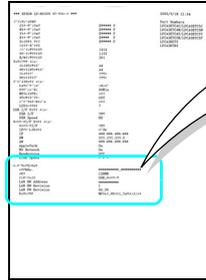


6

ステータシートが印刷されたか確認します。

次のようなステータシートが印刷できれば、本機の印刷機能は正常に機能しています。

ステータシート（簡易版）



Rendezvous Link Speed	Off シトウ
ハードウェアカンキョウ	
シリアルNo.	*****, *****
メモリ	128MB
インターフェイス	USB, ネットワーク
LAN HW Address	*****
LAN HW Revision	1
LAN FW Revision	02.30
キューシソウチ	MPトレイ, カセット1, リョウメンユニット

オプションの情報を表示します

増設メモリを装着している場合

- [ハードウェアカンキョウ] の [メモリ] の項目に、標準搭載メモリ 128MB と増設したメモリ容量の合計値が表示されていれば、正しく認識されています。

増設カセットを装着している場合

- [ハードウェアカンキョウ] の [キューシソウチ] の項目に、[カセット] が表示されていれば、正しく認識されています。

Memo

6

メンテナンス

メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項を説明します。

トナーカートリッジの交換	120
感光体ユニットの交換	125
廃トナーボックスとフィルタの交換	129
本機の清掃	134
本機の輸送と移動	143

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジについて

トナーカートリッジは印刷画像を用紙上に形成するトナーの入った装置です。

型番	商品名 (色)	寿命
LPCA3ETC5K* ¹	ET カートリッジ (ブラック)	各色約 6,000 ページ * ²
LPCA3ETC5C	ET カートリッジ (シアン)	
LPCA3ETC5M	ET カートリッジ (マゼンタ)	
LPCA3ETC5Y	ET カートリッジ (イエロー)	
LPCA3ETC4C	ET カートリッジ (シアン)	各色約 2,000 ページ * ²
LPCA3ETC4M	ET カートリッジ (マゼンタ)	
LPCA3ETC4Y	ET カートリッジ (イエロー)	

*¹ LPCA3ETC5K の 2 本セット品 (LPCA3ETC5P) もあります。

*² 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によってトナーの消費量は異なります。お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

！注意

本機は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。純正品以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

トナーカートリッジの交換時期

1 つのトナーカートリッジで 2,000 ページまたは 6,000 ページ (A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *¹) まで印刷できます。ただし、使用状況 (電源オン/オフの回数や紙詰まり処理の回数など) や印刷の仕方 (連続印刷 / 間欠印刷 *²) によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。

*¹ 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*² 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

参考

操作パネルでトナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

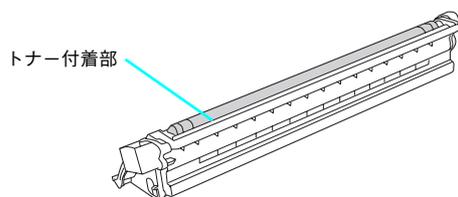
📖 本書 187 ページ「プリンタ設定の項目一覧」

トナーカートリッジ交換時の注意

⚠警告 トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れてください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

⚠注意 交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- トナーカートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できないなどの原因となるおそれがあります。
- トナーカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のトナーカートリッジを装着してください。
- トナーのなくなったトナーカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま1時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- トナーカートリッジのトナー付着部には絶対に手を触れないでください。



トナーカートリッジ保管上の注意

⚠注意 子供の手の届かないところに保管してください。

- トナーカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲 0 ~ 35 °C、湿度範囲 15 ~ 85% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

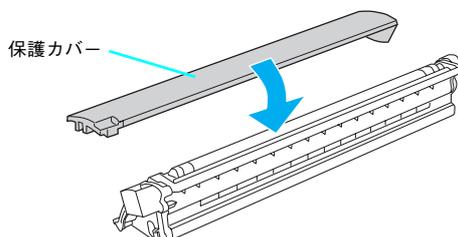
使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シート、または以下のページを参照してください。
📖 本書 103 ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」

やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告 トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れてください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

トナーカートリッジは、購入時に取り付けられていたカバーを取り付けて回収または廃棄してください。



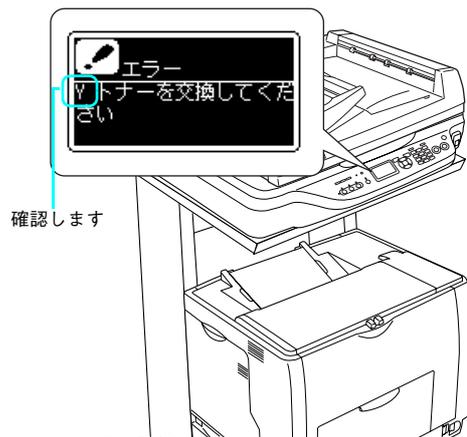
トナーカートリッジを交換する

トナーのなくなったトナーカートリッジ（色）は、操作パネルに表示されるメッセージで確認できます。

トナーカートリッジの交換は以下の手順に従ってください。交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

☞ 本書 121 ページ「トナーカートリッジ交換時の注意」

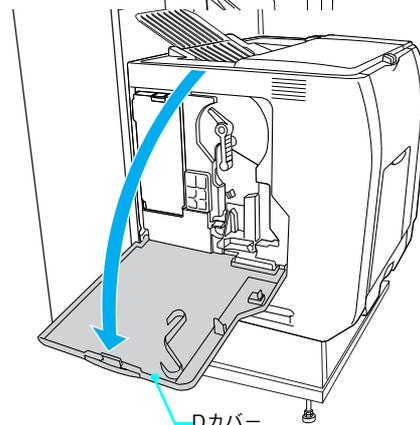
- 1 本機の電源をオン（|）にします。
- 2 操作パネルのメッセージを参照して、交換するトナーカートリッジの色を確認します。



- 3 D カバーを開けます。

！注意

電源をオン（|）にした直後は、プリンタが停止するまで D カバーを開けないでください。プリンタ部の内部機構が動作していないこと（動作音が聞こえないこと）を確認してから D カバーを開けてください。



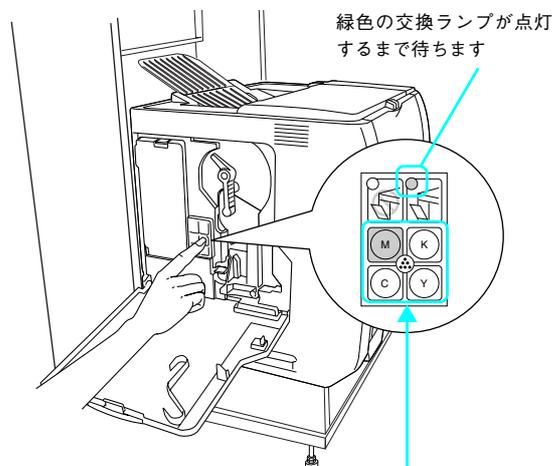
- 4 交換するトナーカートリッジの色のボタンを押し、緑色の交換ランプが点灯するまで待ちます。
取り付け色の装着口が移動します。

！注意

- 赤色の交換ランプが点滅している間は、E カバーを開けないでください。
- 赤色の交換ランプが点滅している間は、感光体ユニットを抜かないでください。

参考

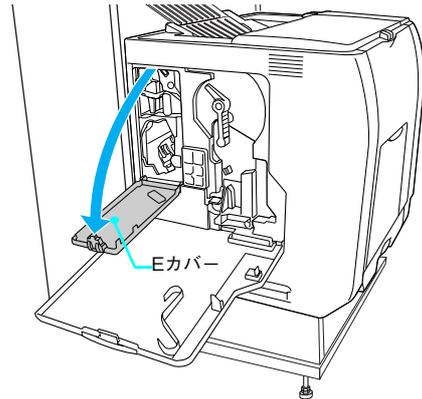
交換ランプが点灯しない場合は、電源がオン（|）になっているか、感光体ユニットが取り付けられているかを確認してください。



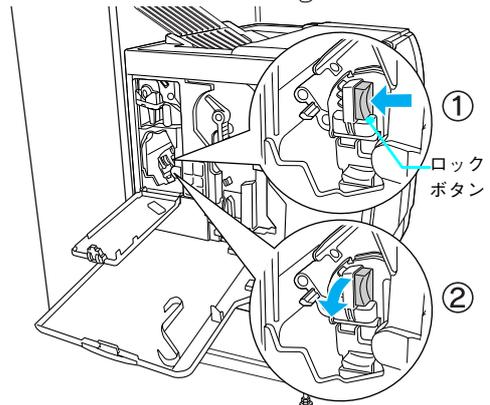
交換する色に合わせてボタンを押します。

M：マゼンタ K：ブラック
C：シアン Y：イエロー

5 Eカバーを開けます。



6 ①ロックボタン（灰色）をつまんで、②トナーカートリッジのセットカバーを手前に開けます。

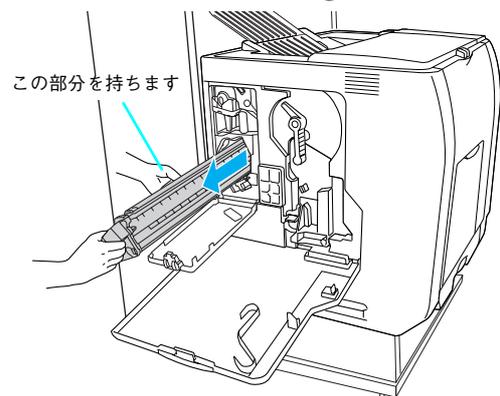


7 トナーカートリッジ先端のつまみ部分を持って、手前にゆっくり引き抜きます。

！注意

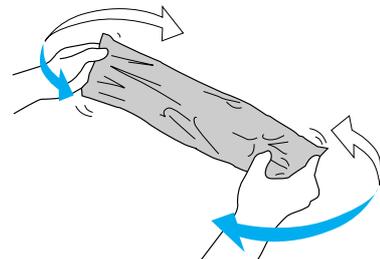
使用済みのトナーカートリッジについては、以下のページを参照してください。

本書 121 ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」



8 新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出し、袋のまま図のように左右に傾けて7～8回振ります。

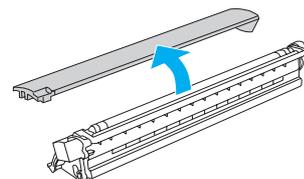
トナーカートリッジ内のトナーが均一な状態になります。



9 新しいトナーカートリッジを袋から取り出し、保護カバーを取り外します。

参考

- トナーカートリッジの入っていた梱包箱や袋は、使用済みのトナーカートリッジを回収する際に必要となります。梱包箱や袋は、次回の交換時まで大切に保管してください。
- 取り外したカバーは、トナーカートリッジを回収する際に取り付けますので捨てないでください。

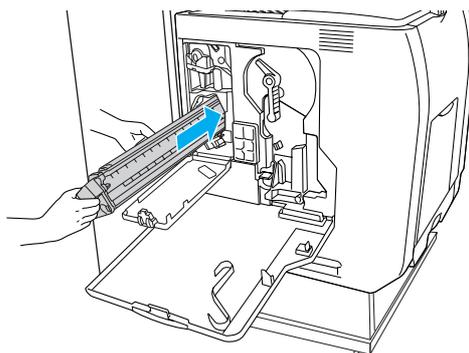


10 トナーカートリッジを図のように、装着口にまっすぐ差し込みます。

トナーカートリッジの先端を装着口に合わせ、ゆっくり奥まで差し込みます。

参考

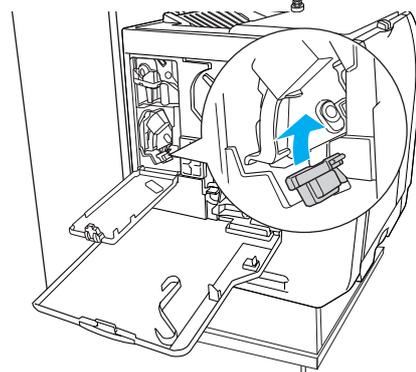
トナーカートリッジの保護カバーが取り外されていることを確認してから、プリンタ部に取り付けてください。



11 トナーカートリッジのセットカバーを起こしてカチッと音がするまで閉じます。

！注意

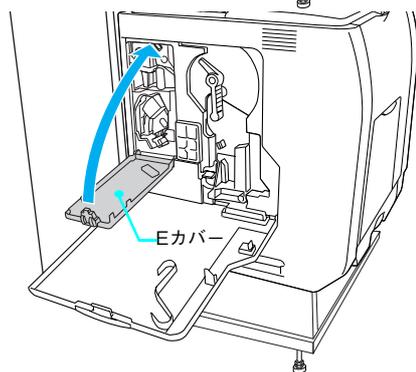
トナーカートリッジセットカバーはカチッと音がするまでしっかりと固定してください。正しく固定されていないと、EカバーやDカバーが閉じないため、トナー供給不足やトナー漏れなどの原因となります。



12 Eカバーを閉じます。

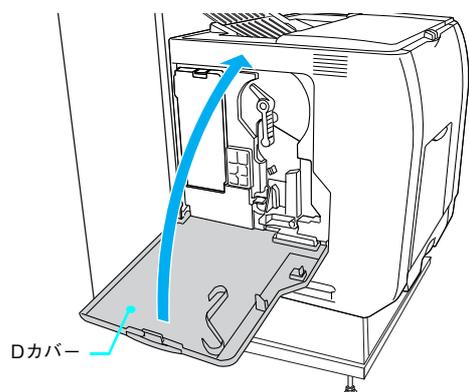
参考

トナーカートリッジをセットしたら、必ずEカバーを閉じてください。



13 同時に他の色のトナーカートリッジを交換する場合は、**4** から **13** の手順を繰り返します。

14 交換が終了したら、Dカバーを閉じます。



15 印刷可能な状態になるまで待機します。

16 操作パネルに「印刷できます」と表示されたら、電源をオフ（○）にします。

参考

操作パネルに「紙をセットしてください xxxxx yyyy」と表示された場合は、用紙をセットしてから「印刷できます」と表示されることを確認し、電源をオフ（○）にしてください。

以上でトナーカートリッジの交換は終了です。

感光体ユニットの交換

ここでは、感光体ユニットの交換方法を説明しています。

感光体ユニットについて

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置です。感光体ユニットには、感光体ユニット（感光体、感光体クリーナ、帯電器）、廃トナーボックス、フィルタが同梱されています。

型番	商品名	感光体ユニットの寿命
LPCA3KUT5	感光体ユニット	モノクロ印刷 約 40,000 ページ* カラー印刷 約 10,000 ページ*

* 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によって感光体ライフ（寿命）は異なります。また、使用環境によっては印刷可能ページ数は半分以下になる場合があります。

！注意

本機は純正感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。純正品以外のものご使用になると、プリンタ部の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。

感光体ユニットの交換時期

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合*¹）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷*²）により異なります。

*¹ 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*² 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

参考

操作パネルの [プリンタ情報] メニューで、感光体の寿命の目安を表示することができます。また、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

☞ 本書 187 ページ「プリンタ設定の項目一覧」

感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなりますが、トナーカートリッジの劣化やトナーの消耗などによっても同様に印刷品質が低下し、以下のような現象が発生します。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明になる。
- 周期的に汚れが発生する。
- 黒点または黒線が印刷される。

そのため、感光体ユニットを交換する前にまず以下の点をチェックし、その上で感光体ユニットを交換してください。

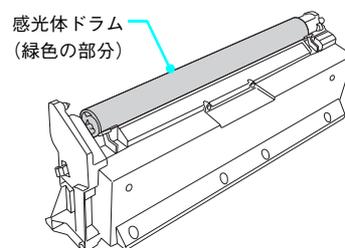
- トナーが十分残っているか確認してください。
操作パネルの [プリンタ情報] メニューでトナーカートリッジのトナーが十分残っているか確認してください。
☞ 本書 187 ページ「プリンタ設定の項目一覧」

■ 感光体ユニット交換時の注意

⚠警告 感光体ユニットは、絶対に火の中に入れてください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

⚠注意 交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- 感光体ユニットの感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面にものをぶつかけたり、こすったりしないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタに装着せずに放置する場合は、保護カバーを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。
- 感光体ユニットを置く場合は、感光体の表面に傷が付かないよう、平らな机の上に置いてください。
- 感光体ユニットの感光体ドラム（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。



■ 保管上の注意

⚠注意 子供の手の届かないところに保管してください。

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
温度範囲：0～35 度
湿度範囲：15～85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

■ 使用済み感光体ユニットについて

使用済み感光体ユニットを処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告 感光体ユニットは、絶対に火の中に入れてください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

感光体ユニットを交換する

感光体ユニットの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

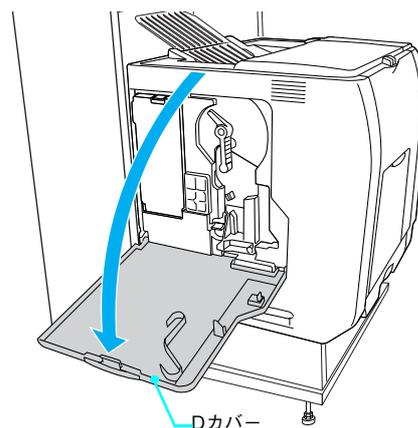
☞ 本書 126 ページ「感光体ユニット交換時の注意」

参考

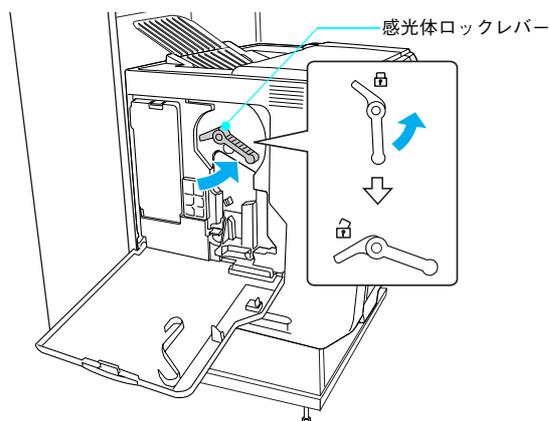
感光体ユニットの交換後は、廃トナーボックスとフィルタも合わせて交換します。廃トナーボックスとフィルタの交換方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 131 ページ「廃トナーボックスとフィルタを交換する」

1 Dカバーを開けます。



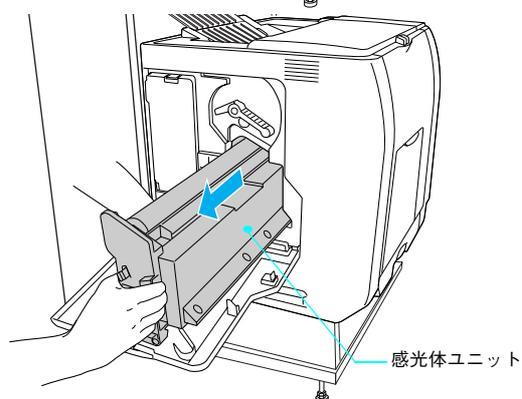
2 感光体ロックレバーを図の位置まで回して、ロックを解除します。



3 感光体ユニットを手前に少し引き出してから、感光体ユニット下部に手を添え、ゆっくりと引き抜きます。

参考

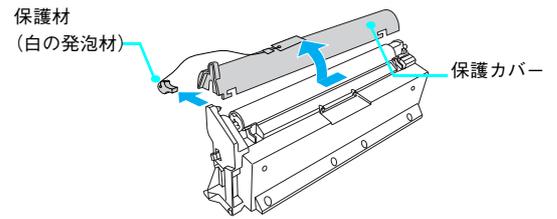
使用済みの感光体ユニットは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。



4 新しい感光体ユニットを梱包箱から取り出し、保護材（白の発泡材）と保護カバーを取り外します。

！注意

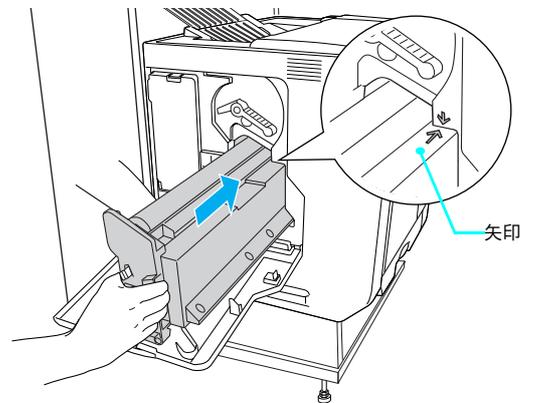
- 感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面に物をぶついたり、こすったりしないでください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタに装着せずに放置する場合は、保護カバーを取り付け、光が当たらないように専用の遮光袋に入れてください。



5 感光体ユニット下部に手を添え、感光体ユニット上の矢印をプリンタ内部の矢印と合わせて、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

！注意

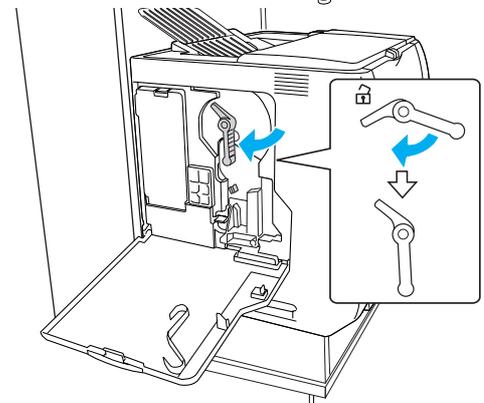
感光体（緑色の部分）を他の部品に接触させないように注意してください。



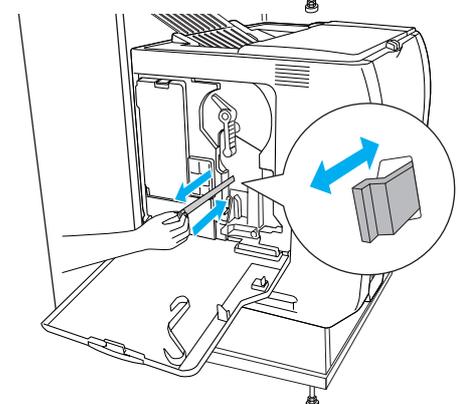
6 感光体ロックレバーを図の位置まで回して、固定します。

！注意

ロックレバーが正しくロックされていることを確認してください。



7 クリーニングノブ A をゆっくり2、3回手前にいっぱいまで引き出して、元の位置に戻します。



以上で感光体ユニットの交換は終了です。続いて、廃トナーボックスとフィルタを交換してください。
☞ 本書 131 ページ「廃トナーボックスとフィルタを交換する」

廃トナーボックスとフィルタの交換

廃トナーボックスとフィルタについて

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。廃トナーボックスの交換時は、フィルタも合わせて交換してください。フィルタは廃トナーボックスと同梱されています。

型番	商品名	寿命
LPCA3HTB3	廃トナーボックス	モノクロ印刷 約 40,000 ページ* カラー印刷 約 10,000 ページ*

* 印刷可能ページ数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によって感光体ライフ（寿命）は異なります。

！注意

本製品は純正廃トナーボックス使用時に最良の状態で使用できるように設計されています。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ部の故障の原因となったり、本機の性能が発揮できない場合があります。

参考

廃トナーボックスとフィルタは、感光体ユニット（型番：LPCA3KUT5）にも同梱されています。感光体ユニット交換時に、同時に交換してください。

■ 廃トナーボックスとフィルタの交換時期

モノクロ印刷時で約 40,000 ページ、カラー印刷時で約 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合*¹）まで使用できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷*²）により廃トナーの回収状況は異なります。

*¹ 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。

*² 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

参考

空き容量が残り少なくなると、操作パネルに交換を促すメッセージが表示されます。すみやかに新しい廃トナーボックスと交換することをお勧めします。

■ 廃トナーボックスとフィルタの交換時の注意

⚠ 警告 使用済みの廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れてください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

⚠ 注意 交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- 使用済みの廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- 使用済みの廃トナーボックスは、回収した廃トナーがこぼれないように、キャップを確実に取り付けてください。
- トナーがこぼれないよう、注意して作業してください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

■ 廃トナーボックスとフィルタの保管上の注意

- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
温度範囲：0～35度
湿度範囲：15～85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 使用済み廃トナーボックスとフィルタについて

使用済みの廃トナーボックスやフィルタを処分される場合は、ポリ袋などに入れ、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

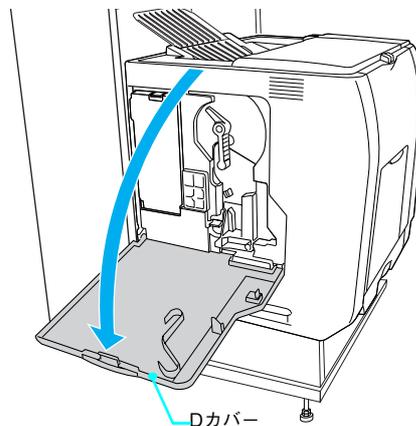
⚠ 警告 使用済みの廃トナーボックスやフィルタは、絶対に火の中に入れてください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

廃トナーボックスとフィルタを交換する

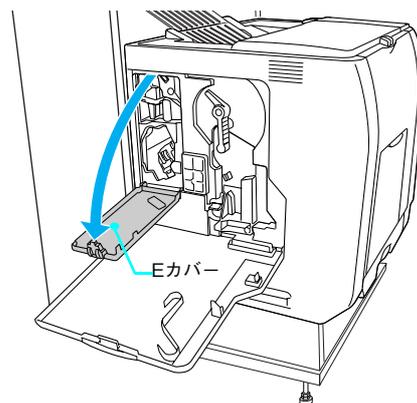
廃トナーボックスの交換時は、フィルタも合わせて交換します。交換の前に必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

☞ 本書 130 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換時の注意」

1 D カバーを開けます。



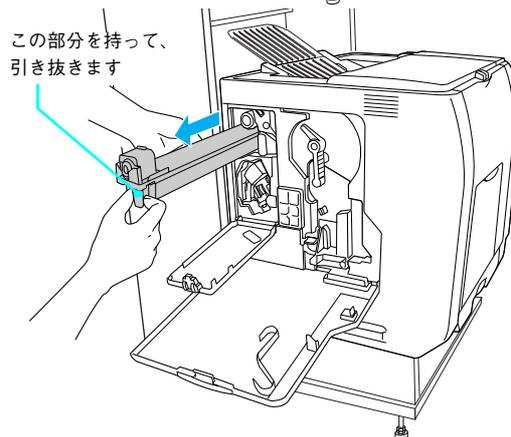
2 E カバーを開けます。



3 廃トナーボックスを、図のように手前に引き抜きます。

参考

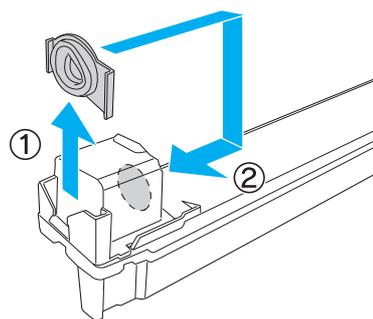
使用済みの廃トナーボックスは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。



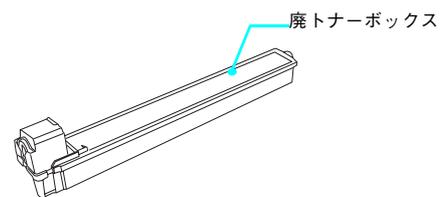
4 使用済みの廃トナーボックスにキャップを付けます。

参考

廃トナーボックスにキャップを付けたら、キャップが確実に取り付けられていることを確認してください。

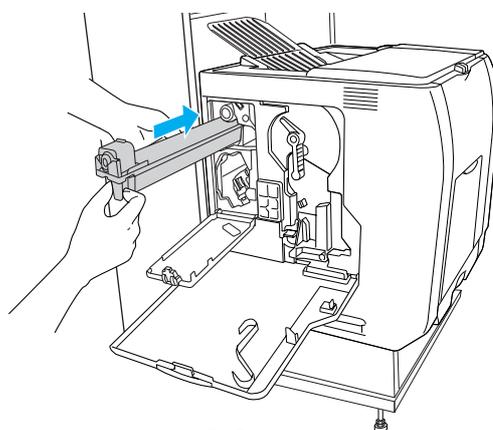


5 新しい廃トナーボックスを梱包箱から取り出します。



6 廃トナーボックスを図のように、装着口にまっすぐ差し込みます。

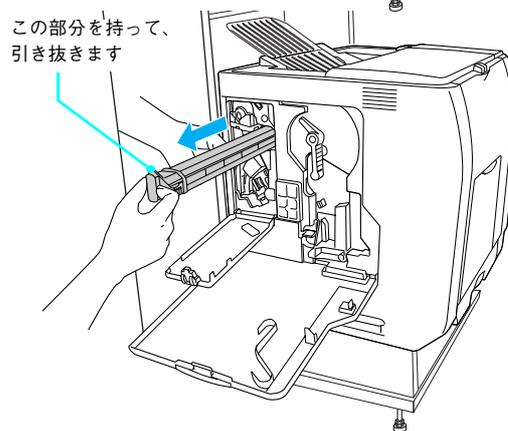
廃トナーボックスが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなるまで差し込みます。
続いてフィルタを交換します。



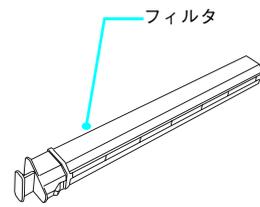
7 フィルタを図のように、手前に引き抜きます。

参考

使用済みのフィルタは水平に持ってください。逆さに持ったり振ったりすると、トナーがこぼれます。

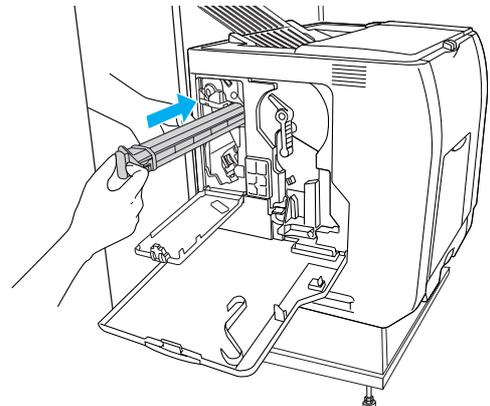


8 新しいフィルタを梱包箱から取り出します。



9 フィルタを図のように、装着口にまっすぐ差し込みます。

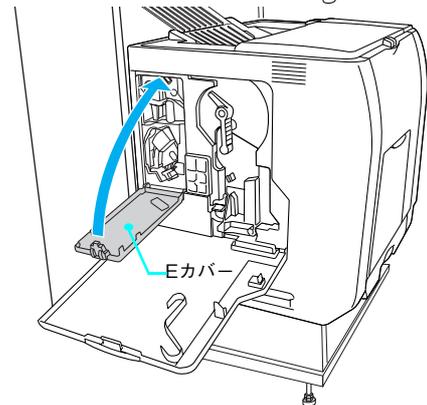
フィルタが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなるまで差し込みます。



10 Eカバーを閉じます。

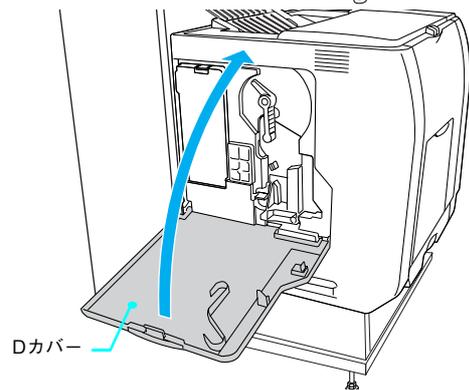
参考

フィルタが正しく装着されていないとEカバーを閉じることができません。正しく装着してください。



11 Dカバーを閉じます。

廃トナーボックスとフィルタを新しい物に交換し、Dカバーを閉じると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。



以上で廃トナーボックスとフィルタの交換は終了です。

本機の清掃

本機を良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

外装をきれいにする

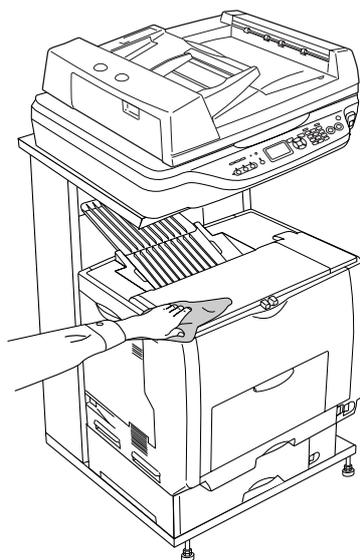
本機の表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

⚠注意

清掃作業は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

📖参考

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。ケースが変色、変形するおそれがあります。
- 本機を水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

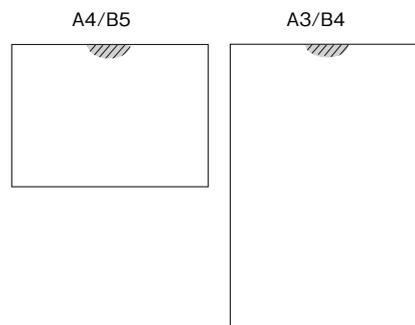


■ 蛍光ランプ

スキャナ部キャリッジの蛍光ランプが切れた時は、交換修理が必要です。お買い求めの販売店か、エプソンの修理窓口にお問い合わせください。エプソンの修理窓口の連絡先は本書巻末にあります。

紙センサを清掃する(用紙の上または右横が汚れるとき)

用紙の以下の部分が汚れる場合は、紙センサを清掃してください。



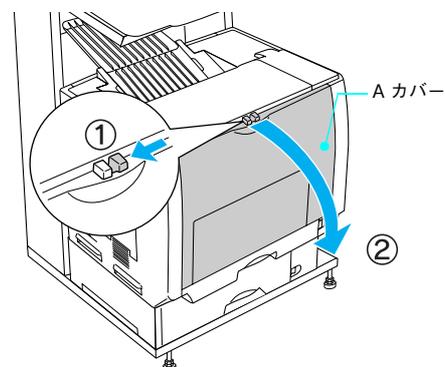
⚠注意

清掃作業は、電源をオフ(○)にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

!注意

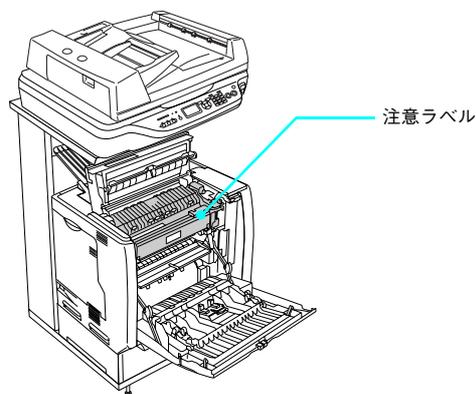
- プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。
- MPトレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いてMPトレイを閉めてからAカバーを開けてください。

1 Aカバーを図のように開けます。



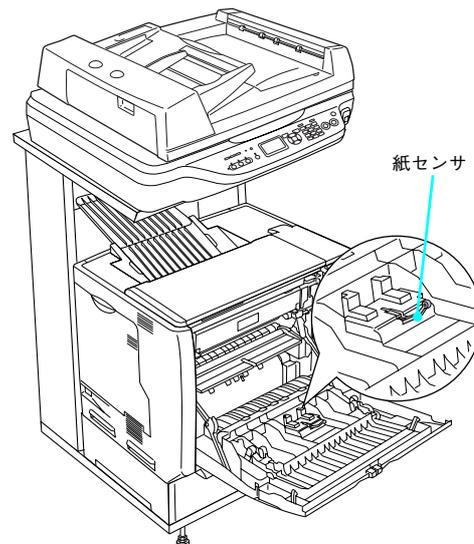
⚠注意

- Aカバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温(約200度以下)になっているため、火傷のおそれがあります。

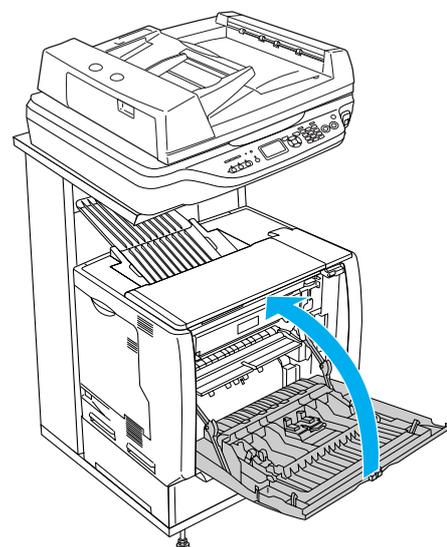


- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

2 紙センサを乾いた布で拭きます。



3 A カバーを閉じます。



以上で紙センサの清掃は終了です。

給紙ローラを清掃する(正常に給紙できないとき)

用紙が頻繁に詰まる場合や正常に給紙できない場合は、MP トレイおよび用紙カセットの給紙ローラをクリーニングしてください。

⚠注意

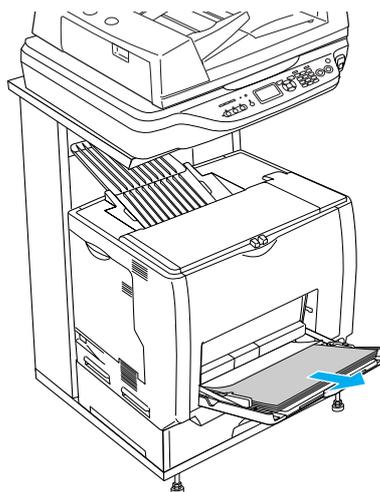
- 作業中は、指示以外の部分に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。
- 清掃作業は、電源をオフ (○) にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

!注意

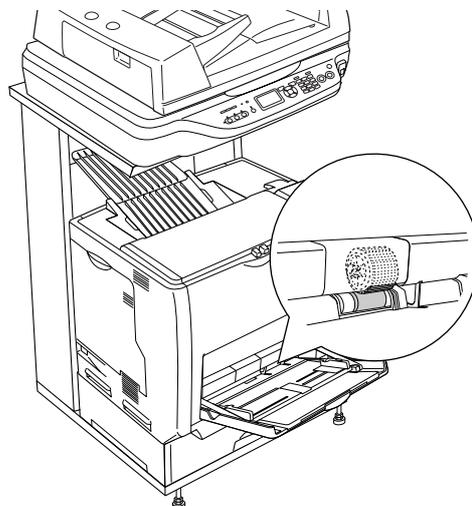
- 指示以外のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

MP トレイの給紙ローラを清掃する

- 1 MP トレイにセットしてある用紙を取り除きます。



- 2 給紙ローラのゴム部分 (2箇所) を、乾いた布で丁寧に拭きます。

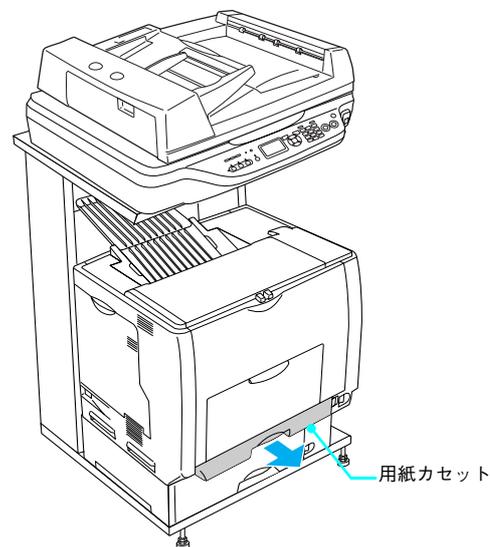


- 3 MP トレイに用紙をセットします。
以上で MP トレイの給紙ローラの清掃は終了です。

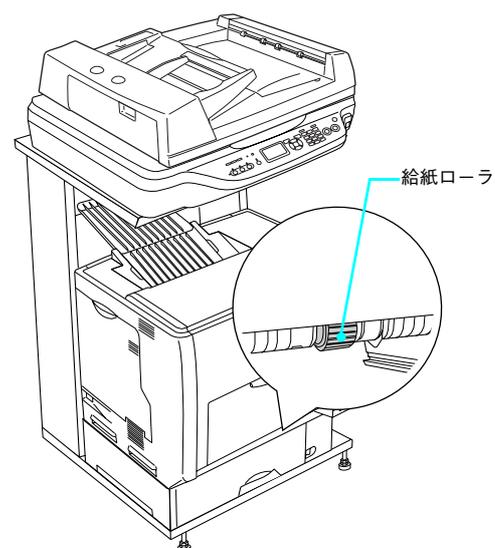
■ 用紙カセットの給紙ローラを清掃する

ここでは、標準用紙カセットの給紙ローラを例に説明します。オプションの増設カセットユニットの場合も、同様の手順で清掃してください。

- 1 用紙カセットをプリンタから引き出します。



- 2 プリンタ部（または増設カセットユニット）に付いている給紙ローラのゴム部分を、乾いた布で丁寧に拭きます。



- 3 用紙カセットをプリンタ部にセットします。
以上で用紙カセットの給紙ローラの清掃は終了です。

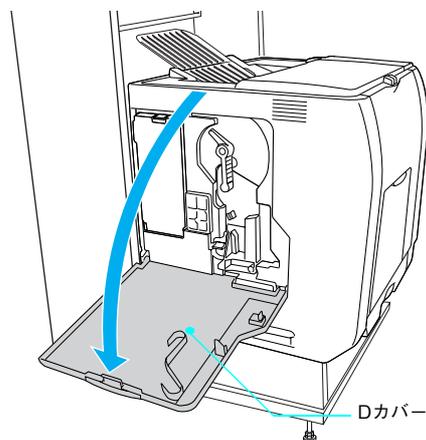
帯電ワイヤを清掃する(筋状に印刷が抜けたり、線が印刷されるとき)

感光体ユニット内部の帯電ワイヤにトナーが落ちて付着していると、白く筋状に印刷が抜けたり、黒く筋状の線が印刷されて、きれいに印刷できないことがあります。操作パネルに「清掃してください D」と表示された場合は、帯電ワイヤの清掃をしてください。

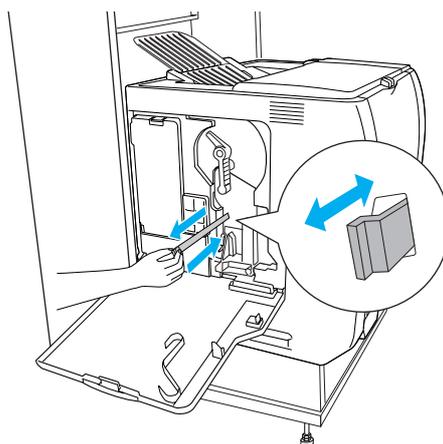
1 Dカバーを開けます。

！注意

帯電ワイヤの清掃中は、[トナーカートリッジ交換] ボタンを押さないでください。帯電ワイヤの清掃時期を管理するカウンタが正しくリセットされません。

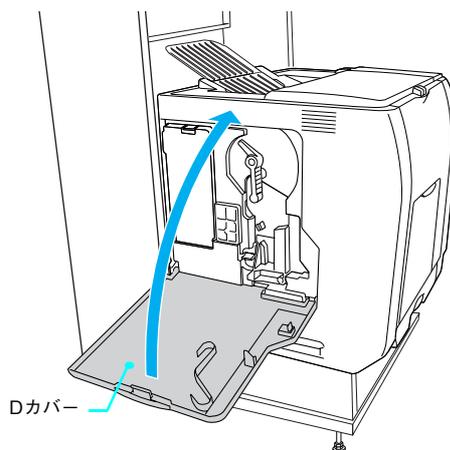


2 クリーニングノブ A をゆっくり2、3回手前いっぱいまで引き出して、元の位置に戻します。



3 Dカバーを閉じます。

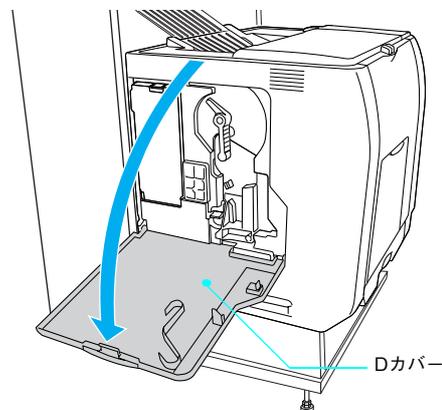
以上で帯電ワイヤの清掃は終了です。



センサと露光窓を清掃する

良好な印刷品質を保持するため、センサと露光窓の清掃をしてください。操作パネルに「プリンタ調整用センサを清掃してください」と表示された場合は、以下の手順で清掃をしてください。

1 Dカバーを開けます。



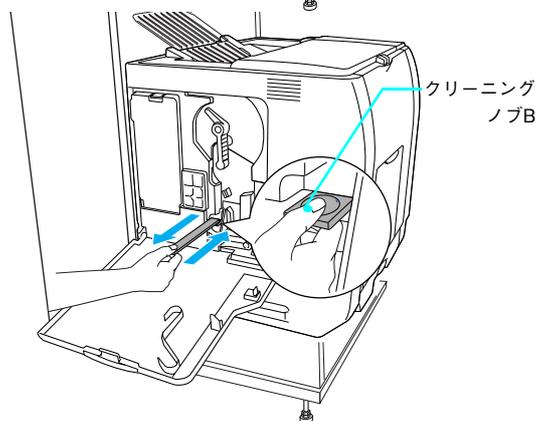
2 クリーニングノブ B を、ゆっくりと2、3回前後に動かします。

露光窓が清掃されます。

終了したらクリーニングノブ B を元の位置に戻します。

！注意

クリーニングノブ B を押し込みすぎないように注意してください。

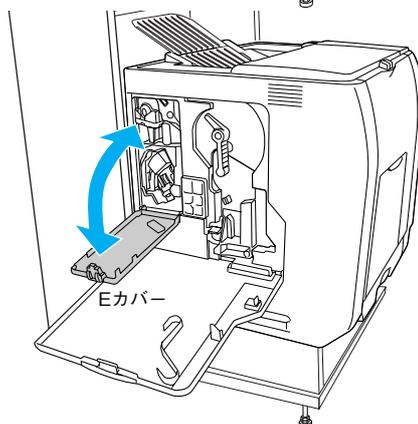


3 Eカバーをゆっくりと数回、開け閉めします。

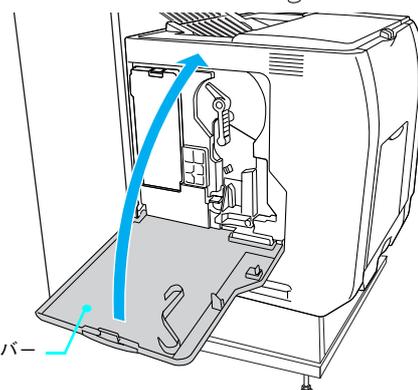
センサが清掃されます。

！注意

Eカバーを開閉する際、一度確実に押し込んで閉めてから開けてください。最後までしっかりと閉めないでEカバーを上下に動かすだけでは、センサは清掃されません。



4 Dカバーを閉じます。

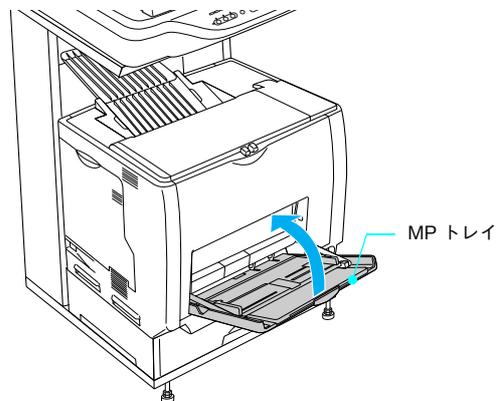


以上でセンサと露光窓の清掃は終了です。

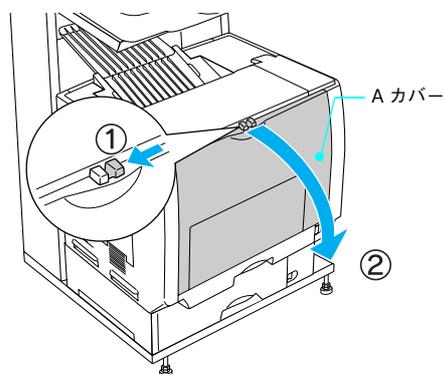
クリーニングテープを取り外す

操作パネルに「清掃してください A」と表示された場合は、クリーニングテープを取り外してください。

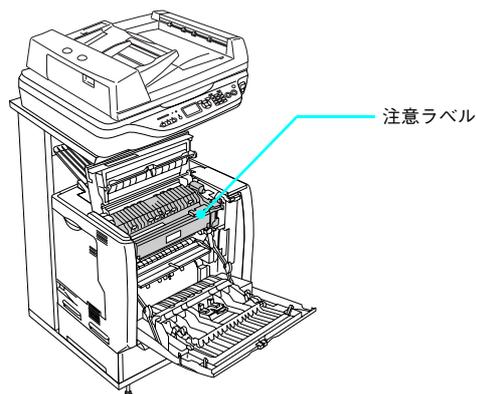
- 1 MPトレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MPトレイを閉じます。



- 2 Aカバーを図のように開けます。



- ⚠注意**
- Aカバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温(約200度以下)になっているため、火傷のおそれがあります。

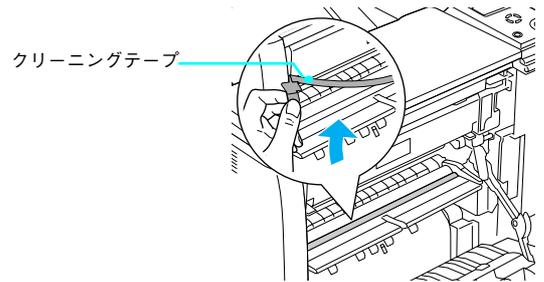


- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

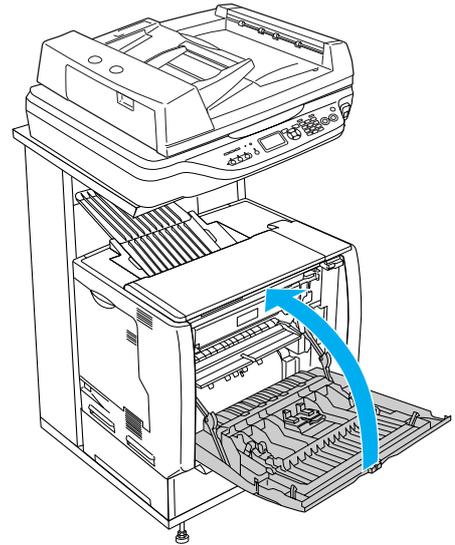
3 クリーニングテープをゆっくり1枚はがします。

！注意

クリーニングテープは2枚貼付されています。上の1枚だけをゆっくりはがしてください。



4 Aカバーを閉じます。



5 操作パネルで [プリンタリセット] メニューの [全ワーニングクリア] を実行し、一旦本機の電源をオフ (○) にして、再度オン (|) にしてください。

☞ 本書 158 ページ「ワーニングメッセージを消す」

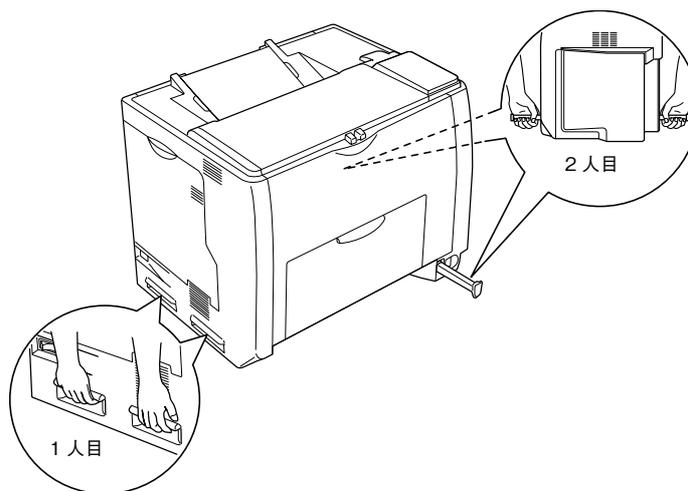
以上でクリーニングテープの取り外しは終了です。

本機の輸送と移動

本機を運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

⚠注意

- プリンタ部およびオートドキュメントフィーダを装着したスキャナ部を持ち上げる際は必ず2人以上で作業を行ってください。各部の質量は、約46kg（標準用紙カセット1および消耗品を含み、オプションを除く）/スキャナ部 LP-M5500F 約27kg/LP-M5500 約15kgです。プリンタ部を持ち上げる場合は、必ずプリンタ部正面 / 背面にある持ち運び用ハンドルと左側下部のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタ部の落下によるけがの原因となります。またプリンタ部に無理な力がかかるため、プリンタ部の損傷の原因となります。



- プリンタ部を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタ部の破損の原因となります。
- プリンタ部を移動する場合は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ部を増設カセットユニットキャスター付き（型番：LPA3CZ1CC2）やキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合は、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。固定しないと作業中に思わぬ方向に動いて、けがやプリンタ部の損傷の原因となります。

近くへの移動

はじめに本機の電源をオフ（○）にして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平に置いていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェースケーブル
- 専用ケーブル
- MPトレイ内の用紙（必ずMPトレイを閉じてください。）
- 用紙カセット（標準 / オプション）内の用紙

■ 増設カセットユニットキャスター付きおよび専用スタンドを使用している場合

オプションの増設カセットユニットキャスター付き（型番：LPA3CZ1CC2）と専用スタンドにはキャスターが付いているため、持ち上げずに移動することができます。ただし、機器に衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。また、移動する前に必ずキャスターの固定を解除してください。

運搬するときは

本機を輸送する場合は以下の手順で準備してください。

1 取り付けてあるすべての付属品(ただし廃トナーボックスとフィルタを除く)およびオプション品を取り外します。

2 スキャナ部の輸送用固定レバーを Lock の位置に下げます。

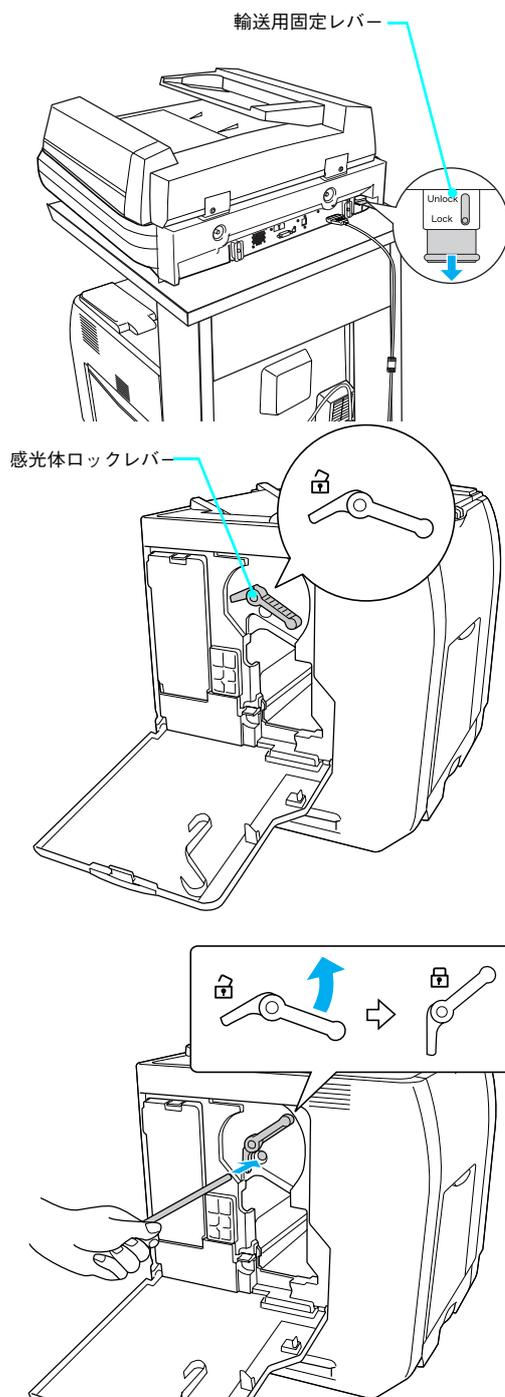
3 感光体ロックレバーが図の位置にあることを確認します。

図の位置にない場合は、感光体ロックレバーを図の位置まで回してください。

4 図の位置を先の細いもので押したまま、感光体ロックレバーを図の位置まで回します。

5 保護材や梱包材を使用して梱包します。

震動や衝撃から本機を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。本機を輸送する場合は、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。



7 困ったときは

困ったときの対処方法について説明しています。

操作パネルにメッセージが出る	146
用紙が詰まったときは	159
印刷 / コピーのトラブル	172
ファックスのトラブル	178
スキャンのトラブル	181
どうしても解決しないときは	184

操作パネルにメッセージが出る

操作パネルには、ステータスメッセージ、エラーメッセージ、ワーニングメッセージの3種類のメッセージが表示されます。トナー残量（11段階表示）、各給紙装置の用紙サイズと用紙残量（4段階表示）、FAX受信ジョブ（LP-M5500Fのみ）も表示されます。

📖 本書9ページ「操作パネル」



ここでは、コンピュータから本機を使用する際に表示されるメッセージについても併せて記載していません。

ステータスメッセージ

本機が正常に動作している場合は、ステータスメッセージ（現在の状態）を表示します。

メッセージ	説明
FAX スキャン中	ファックスモードで原稿をスキャンしています。
FAX 送信中	カラーでファックスを送付しています。
FAX ツール使用中	本機に接続されたコンピュータで [EPSON Speed Dial Utility] を使用しています。
PC 接続待ち	コンピュータとの接続を待っています。
印刷できます	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォーミングアップ中	ウォーミングアップ中です。
コピーしています	コピー中です。
スキャンしています	スキャン中です。
スキャンロック中	本機にネットワーク接続されたコンピュータからスキャナを使用しています。
節電中	操作パネルで指定した時間が経過し、節電状態になっています。データの受信、またはリセットで解除されます。
ステータスシート	ステータスシート、ネットワークステータスシートを印刷中です。
プリンタ調整中	良好な印刷品質を保つために、プリンタが印刷機能の自動調整を行っています。しばらくお待ちください。なお、印刷実行中にこのメッセージが表示された場合は、印刷処理を一時中断します。自動調整が完了すると操作パネル表示が消え、自動的に印刷を再開します。
プリンタ冷却中	連続印刷などで定着器の温度が高くなりました。温度が下がると自動的に印刷を再開します。
プリントしています	本機の内部に残っている印刷データを印刷中です。
リセット	現在使用中のインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。
リセットオール	印刷を中止後、本機の電源をオンにした直後の状態まで初期化し、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。

エラーメッセージ一覧

トラブルが発生した場合に、エラーメッセージを表示して印刷を停止します。印刷を再開するには、以下の説明を参照して、エラー状態の解除に必要な処置を行ってください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。



- 用紙が詰まったときの対処については、以下のページを参照してください。
 本書 159 ページ「用紙が詰まったときは」
- 消耗品の交換については、消耗品に添付の取扱説明書または以下のページを参照してください。
 本書 119 ページ「メンテナンス」

メッセージ	説明
FAX エラー	ファックスユニットにエラーが発生しました。一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。ファックス以外のモードで使用する場合は、[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すと、操作が続行できます。
FAX 通信エラー	ファックスの送受信中にエラーが発生しました。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すことでエラーは解除されます。
FAX メモリ 2 を交換してください	ファックスユニットにエラーが発生しました。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押して受信中のファックスデータを印刷後、電源を一旦オフにします。電源をオンにしても再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
N/W モジュールエラー	ネットワークプログラムが正しくありません。お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
Optional RAM Error	メモリを認識できません。一旦電源をオフにし、正しいメモリを取り付けてください。
ROM A ライトエラー	書き込み不可の ROM モジュールに書き込みもうとしたが、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケットに ROM モジュールが装着されていません。
USB メモリエラー	USB フラッシュメモリが故障しています。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリが装着されていません	USB フラッシュメモリが接続されていません。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。
USBメモリファイル名重複で書き込みません	USBフラッシュメモリ内に保存しようとしたファイル名と同一名のファイルが存在します。USB フラッシュメモリのファイルを移動または削除してください。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。
USBメモリ容量不足で書き込みません	USBフラッシュメモリにデータを保存するための空き容量がありません。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリライトエラー	USB フラッシュメモリへのデータの保存に失敗しました。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリライトプロテクト	USB フラッシュメモリが書き込み禁止状態になっています。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。
エラーの原因が解消されていません	本機で発生したエラーを解除できませんでした。一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。

メッセージ	説明
オーバーランエラー	印刷の途中でプリンタドライバのスプールファイルを削除して、次に別の印刷を実行しました。または、通信エラーで受信したデータに異常があります。プリンタドライバからスプールファイルを削除してから、[ストップ] ボタンを押して本機に残っているデータを削除してください。
カセット*に用紙を横長に入れてください	用紙カセットから給紙する場合に、給紙方向に対して横長の状態でセットすべき用紙が縦長にセットされます。 次のいずれかの処置を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンタドライバで指定した用紙サイズが正しい場合は、用紙カセットから用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定したサイズの用紙を給紙方向に対して正しく横長の状態でセットすると、エラーが解除されて印刷を再開します。 • 用紙カセットにセットしてある用紙サイズが正しい場合は、印刷を中止して、プリンタドライバで正しい用紙サイズを指定し直して印刷します。
カバーを閉じてください	「」に表示されるカバーが開いています。または確実に閉じていません。「***」には開いているカバーが表示されます。 A：A カバー（本体前側） D：D カバー（本体左側面） E：E カバー（カバー D の内側） 表示されているカバーを閉じると、エラー状態が解除されます。
紙をセットしてください ssss tttt	以下のような場合に表示されます。 (1)印刷のために給紙しようとした給紙装置「sss」に、「ttt」サイズの用紙がセットされていません。 給紙装置「sss」にサイズ「ttt」の用紙をセットすると、エラー状態が解除されて印刷されます。 ☞本書 15 ページ「印刷用紙のセット」 (2)すべての給紙装置に用紙がセットされていません。 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態が解除されて印刷されます。
紙を取り除いてください*****	「*****」の部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、「*****」の部分にはパネルに表示可能な範囲まで表示されます。 以下のページを参照して、「*****」の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 MP：MP トレイ ☞本書 165 ページ「MP トレイの確認」 C1：標準カセットユニット 1（プリンタ下部） ☞本書 167 ページ「用紙カセット（標準カセット C1）の確認」 C2：標準カセットユニット 2（上段：増設 1 段目） ☞本書 168 ページ「用紙カセット（オプション C2～C4）の確認」 C3：標準カセットユニット 3（中段：増設 3 段目） ☞本書 168 ページ「用紙カセット（オプション C2～C4）の確認」 A：プリンタ内部（A カバー） ☞本書 161 ページ「プリンタ内部（A カバー）で用紙が詰まった場合は」 B：排紙口（B カバー） ☞本書 163 ページ「排紙口（B カバー）で用紙が詰まった場合は」 詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。

メッセージ	説明
カラー FAX は送信できません	<p>以下のような場合に表示されます。</p> <p>(1) グループダイヤルを使ったファックス送信で、[カラー] が押された。 グループダイヤルを使ったファックス送信では、カラーでの送信ができません。 [モノクロ] ボタンを押してファックスを送信してください。</p> <p>(2) ファックス受信中にカラーファックスを送信しようとした。 ファックスの受信中はファックス送信ができません。受信終了後に送信してください。</p>
感光体ユニットを交換してください	<p>感光体ユニットの寿命です。</p> <ul style="list-style-type: none"> エラーランプが点灯している場合は、感光体ユニットの交換を行います。取り付け後、D カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 ☞本書 127 ページ「感光体ユニットを交換する」 エラーランプが点滅している場合は、[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すことで一時的にエラーを解除できます（「感光体交換間近」に表示が変わります）。この状態でも印刷できますが、できるだけ速やかに感光体ユニットを交換してください（寿命が切れると、印刷できなくなります）。
感光体ユニットを取り付けてください	<p>感光体ユニットがセットされていません。または正しくセットされていません。</p> <p>感光体ユニットの取り付けを行います。取り付け後、D カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 ☞本書 127 ページ「感光体ユニットを交換する」</p>
原稿が異常です	<p>セットされている読み取り原稿が異常です。原稿を確認してセットし直してください。 ☞本書 24 ページ「原稿のセット」</p>
原稿サイズが検知できませんでした	<p>[用紙サイズ] を [自動] に設定してある場合に、セットしてある原稿が B5 縦 / 横、A4 縦 / 横、B4、A3 のいずれでもありませんでした。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。LP-M5500F の場合は、オートドキュメントフィーダ上の原稿を排紙します。</p>
原稿台の原稿を取り除いてください	<p>原稿台とオートドキュメントフィーダの両方に原稿があります。原稿台の原稿を取り除いてください。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。</p>
原稿の向きを横置きでセットしてください	<p>[用紙サイズ] を [自動]、[倍率] を [A4 > B4] または [A4 > A3 B5 > B4] に設定してある場合に、A4 または B5 の縦置きの原稿を検出しました。 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。LP-M5500F の場合は、オートドキュメントフィーダ上の原稿を排紙します。</p>
サービスへ連絡してください E * * * * Service Req C * * * *	<p>サービスコールエラーが発生しました。「* * * *」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。</p> <p>一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。</p>

メッセージ	説明
指定された用紙は両面印刷できません	<p>両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能なため、両面印刷の実行を中止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [プリンタ設定] メニューの [自動エラー解除] が [しない] (初期設定) に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) [カラー] または [モノクロ] ボタンを押すと、セットされている用紙に片面印刷します。 (2) 印刷を中止する場合は、[ストップ] ボタンを押します。 • [プリンタ設定] メニューの [自動エラー解除] が [する] に設定されている場合は、一定時間 (5 秒) 後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に片面印刷します。
受信中は送信不可	ファックスの受信中はファックス送信ができません。受信終了後に送信を行ってください。
スキャナエラー	<p>スキャナユニットにエラーが発生しました。</p> <p>一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。</p> <p>スキャナ以外のモードで使用する場合は [カラー] または [モノクロ] ボタンを押すと、操作が続行できます。</p>
スキャナ ADF エラー	<p>オートドキュメントフィーダとスキャナ部の接続に異常が発生しました。スキャナ部背面のコネクタにオートドキュメントフィーダのケーブルが接続されているか確認して、電源を一旦オフ (○) にしてから再度オン () にします。再度エラーが発生する場合は、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。</p>
スキャナのカバーを閉じてスタートボタンを押してください	<p>オートドキュメントフィーダのカバーが開いています。オートドキュメントフィーダのカバーを閉じてください。</p> <p>☞本書 170 ページ「オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は」</p>
スキャナのロックを解除してください	<p>輸送用固定レバーがロックの位置になっています。輸送用固定レバーを解除の位置に合わせてから、本機の電源を入れ直すか、[カラー] または [モノクロ] ボタンを押してください。</p> <p>☞本書 8 ページ「スキャナユニット / 背面」</p>
スキャナランプエラー	<p>キャリッジに異常が発生しました。電源を一旦オフ (○) にしてから再度オン () にします。再度エラーが発生する場合は、本機を購入された販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。</p>
詰まった原稿を取り除いてスタートボタンを押してください	<p>オートドキュメントフィーダで読み取る原稿が詰まりました。</p> <p>☞本書 170 ページ「オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は」</p>
データに異常があるため印刷できません	<p>印刷データの異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 操作パネルの [各種設定] ボタンを押し、[プリンタ設定] - [デバイス設定] の [自動エラー解除] が [しない] (初期設定) に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) [カラー] または [モノクロ] ボタンを押します。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。 (2) [ストップ] ボタンを押します。印刷を終了します。 • 操作パネルの [各種設定] ボタンを押し、[プリンタ設定] - [デバイス設定] の [自動エラー解除] が [する] に設定されている場合は、一定時間 (5 秒) 後に、エラー状態が解除されます。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。

メッセージ	説明
定着ユニットを交換してください	定着ユニットの寿命です。 交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。
転写ユニットを交換してください	転写ベルトの寿命です。 交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。
****トナーが故障です	「****」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、故障しているトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー K：ブラック 表示された色のトナーカートリッジを正常なものに交換してください。交換後に電源を入れ直してください。 ☞本書 122 ページ「トナーカートリッジを交換する」
****トナーを交換してください	<ul style="list-style-type: none"> • 「****」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、交換が必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー K：ブラック • エラーランプが点灯している場合は、表示される色のトナーカートリッジの交換を行います。取り付け後、D カバーを閉じるとエラーが解除されます。 ☞本書 122 ページ「トナーカートリッジを交換する」 • エラーランプが点滅している場合は、[カラー] ボタンまたは [モノクロ] ボタンを押すと一時的にエラーを解除できます（[****トナーが交換時期（エコ印刷モード）] とワーニングメッセージに変わります）。この状態でも 100 枚程度印刷できますが、できるだけ速やかにトナーカートリッジを交換してください。
****トナーを取り付けてください	「**」に表示される色のトナーカートリッジがセットされていません。 「**」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、取り付けが必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー K：ブラック 表示される色のトナーカートリッジの取り付けを行います。取り付け後、D カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 ☞本書 122 ページ「トナーカートリッジを交換する」
ネットワーク接続に失敗しました	ネットワークに接続されていないか、必要なアプリケーションがインストールされていません。
廃トナーボックスを交換してください	廃トナーボックスの空き容量がなくなりました。 廃トナーボックスを交換してください。取り付け後、D カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 ☞本書 129 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」 操作パネルの表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご確認ください。

メッセージ	説明
廃トナーボックスを取り付けてください	<p>廃トナーボックスがセットされていません。または正しくセットされていません。</p> <p>廃トナーボックスを正しく取り付けてください。取り付け後、D カバーを開けるとエラー状態が解除されます。</p> <p>☞本書 129 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」</p> <p>操作パネルの表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。</p>
倍率の指定と原稿サイズが一致しません	<p>[用紙] が [自動]、[倍率] が固定倍率のときに、固定倍率で指定したサイズ of 原稿がセットされていません。</p> <p>[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。LPM5500F の場合は、オートドキュメントフィーダ上の原稿を排紙します。</p>
パワーオフレポートがあるため FAX 不可	<p>パワーオフレポートの出力中のため、ファックスの送信ができません。</p> <p>パワーオフレポートが出力された後にファックス送信を行ってください。</p> <p>☞本書 199 ページ「ファックスのレポート機能を設定する」</p>
***非純正品トナー	<p>非純正品のトナーカートリッジが取り付けられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dカバーを開けて正しいトナーカートリッジに交換し、Dカバーを閉じるとエラーは解除されます。 • [カラー] または [モノクロ] ボタンを押すと、[非純正品トナーカートリッジ] というワーニング表示に替わります。
非サポート USB デバイス	<p>USB フラッシュメモリ以外の機器が本機前面のコネクタに接続されました。接続している機器を取り外して、[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーが解除されます。本機に接続可能な USB メモリの詳細については、エプソンのホームページ(http://www.i-love-epson.co.jp)をご覧ください。</p>
プリンタ調整用センサを清掃してください	<p>センサおよび露光窓が汚れているため、プリンタ調整を中止しました。</p> <p>D カバーを開けて、センサおよび露光窓の清掃をしてください。清掃後、D カバーを閉じるとエラー状態が解除され、プリンタ部の調整が行われます。</p> <p>☞本書 140 ページ「センサと露光窓を清掃する」</p>
メモリ不足で印刷できません	<p>処理中にメモリ不足、メモリに対する不正な処理が発生し、動作が続行できなくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 操作パネルの [各種設定] ボタンを押し、[プリンタ設定] - [デバイス設定] の [自動エラー解除] が [しない] (初期設定) に設定されている場合は、以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) [カラー] または [モノクロ] ボタンを押します。 (2) [ストップ] ボタンを押します。 • 操作パネルの [各種設定] ボタンを押し、[プリンタ設定] - [デバイス設定] の [自動エラー解除] が [する] に設定されている場合は、一定時間 (5 秒) 後に、エラー状態が解除されます。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存 (圧縮) 形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで [印刷品質] を [標準] に設定する。 (3) メモリを増設する (4) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。

メッセージ	説明
メモリ不足で両面印刷できませんでした	<p>両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面側が印刷できません。この場合、表面側のみ印刷して排紙します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 表面側のみ印刷された用紙を裏返してもう一度セットし、[カラー]または[モノクロ] ボタンを押すと片面印刷で印刷を再開します。 (2) [ストップ] ボタンを押して、印刷を中止します。 • 再度改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) プリンタドライバで [印刷品質] と [標準] に設定する。 (2) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存 (圧縮) 形式を変更してデータ容量を減らす。 (3) メモリを増設する。 (4) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
有効な画像領域が設定されていません	<p>[倍率]、[用紙]、[とじしろ]、[影消し] の設定値が正しくないため、スキャンできません。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。</p>
用紙カセット*をセットしてください	<p>標準またはオプションの用紙カセットがセットされていません。「*」の部分に表示される以下の番号の用紙カセットをセットしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 標準カセットユニット 1 2: 増設カセットユニット 2 (上段: 増設 1 段目) 3: 増設カセットユニット 3 (中段: 増設 2 段目) 4: 増設カセットユニット 4 (下段: 増設 3 段目) <p>表示されている番号の用紙カセットをセットするとエラー状態は解除されます。</p>
用紙サイズ設定エラー 紙を取り除いてください	<p>印刷時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされたため、用紙詰まりが発生しました。</p> <p>以下のページを参照して、詰まった用紙を取り除いてください。  本書 159 ページ「用紙が詰まったときは」</p> <p>正しいサイズの用紙をセットし、カバーを閉じるとエラーが解除され、印刷を再開します。</p>
用紙の選択を変更してください	<p>給紙装置の用紙サイズと操作パネルの設定が一致しません。セットされている用紙サイズと操作パネルの設定を確認してください。</p> <p>[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。</p>
用紙の選択を A4 か B5 に変更してください	<p>[ページ連写] コピーを実行する際に [用紙] の指定が [自動] または A3、B4 のセットされた給紙口になっています。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。</p> <p> 本書 44 ページ「見開きの原稿を左右別々にコピーする」</p>
用紙の選択を自動以外に変更してください	<p>[用紙] の指定が [自動] の状態で [任意倍率] コピーまたは [割り付け] コピーが実行されました。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。</p> <p> 本書 33 ページ「拡大・縮小してコピーする」  本書 38 ページ「割り付けコピーをする」</p>

メッセージ	説明
用紙を交換してください ssss tttt	給紙をしようとした給紙装置 (ssss) にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ (tttt) が異なっています。 <ul style="list-style-type: none"> 操作パネルの [各種設定] ボタンを押し、[プリンタ設定] - [デバイス設定] の [自動エラー解除] が [しない] (初期設定) に設定されている場合は、以下の3つのうち、いずれかの操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 給紙装置 (ssss) にサイズ (tttt) の用紙をセットし、[カラー] または [モノクロ] ボタンを押して印刷します。 📖 本書 15 ページ「印刷用紙のセット」 用紙を交換しないで [カラー] または [モノクロ] ボタンを押します。セットされている用紙に印刷します。 印刷を中止する場合は、[ストップ] ボタンを押します。 操作パネルの [各種設定] ボタンを押し、[プリンタ設定] - [デバイス設定] の [自動エラー解除] を [する] に設定されている場合は、一定時間 (5 秒) 後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に印刷します。
用紙を交換してください MPトレイ tttt	MPトレイにセットされている用紙サイズ (tttt) と、操作パネルの設定が異なっています。 <ol style="list-style-type: none"> MPトレイにサイズ (tttt) の用紙をセットし、[カラー] または [モノクロ] ボタンを押して印刷します。 📖 本書 15 ページ「印刷用紙のセット」 印刷を中止する場合は、[ストップ] ボタンを押します。
用紙をセットしてください	コピーモードで [用紙] の設定が [自動] の状態で、[カラー] または [モノクロ] ボタンを押した際に、コピー可能なサイズの用紙 (A4/B5/A3/B4) がどの給紙装置にもセットされていません。コピー可能なサイズの用紙をセットしてください。[カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。
用紙を横長にセットしてください	MPトレイから給紙する場合に、給紙方向に対して横長の状態でセットすべき用紙が縦長にセットされます。 例 A4、B5、Letter (LT)、Government Letter (GLT)、Executive (EXE) サイズの用紙は横長にセットする必要があります。 次のいずれかの処置を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> プリンタドライバで指定した用紙サイズが正しい場合は、MPトレイから用紙を一旦取り除き、プリンタドライバで指定したサイズの用紙を給紙方向に対して正しく横長の状態でセットすると、エラーが解除されて印刷を再開します。 MPトレイにセットしてある用紙サイズが正しい場合は、印刷を中止して、プリンタドライバで正しい用紙サイズを指定し直して印刷します。
読取領域を横長に変更してください	縦長の読取領域ではコピーできない設定になっています。原稿の向きを 90 度回転させて、[読取領域] を横長に変更してください。 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押すとエラーを解除します。
レポート印刷情報なし	通信管理レポートの印刷を実行しましたが、送受信ファックスの記録がないため通信管理レポートの印刷はできません。
ローカル PC 接続に失敗しました	直接接続されていないか、必要なアプリケーションがインストールされていないか。

ワーニングメッセージ

本機に何らかの問題が発生すると、注意を促すワーニングメッセージを表示します。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。メッセージはアイウエオ順に掲載してあります。



パネルに表示されるワーニングメッセージは、操作パネルの [各種設定] ボタンを押し、[プリンタ設定] - [プリンタリセット] から [ワーニングクリア] または [全ワーニングクリア] を実行して消すことができます。[ワーニングクリア] は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。[全ワーニングクリア] は、すべてのワーニングメッセージを消します。

☞ 本書 158 ページ「ワーニングメッセージを消す」

メッセージ	説明・処置
FAX 印刷紙サイズ確認	給紙装置に FAX 印刷可能なサイズの用紙 (A3/B4/A4/B5) がセットされていないため、未印刷の受信データがあります。 給紙装置に FAX 印刷可能なサイズの用紙 (A3/B4/A4/B5) をセットするとメッセージは自動的に消え、受信データの印刷を開始します。 このワーニングは、[全ワーニングクリア] を実行してもメッセージを消すことはできません。
印刷できませんでした	印刷データに問題があるため、印刷できませんでした。 正しいプリンタドライバから印刷してください。 [ワーニングクリア] を実行すると表示は消えます。 ☞ 本書 158 ページ「ワーニングメッセージを消す」
解像度を落としました	メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、[ストップ] ボタンを押します。印刷後に操作パネル表示を消すには、[ワーニングクリア] を実行します。 ☞ 本書 158 ページ「ワーニングメッセージを消す」 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存 (圧縮) 形式を変更してデータ容量を減らす。 プリンタドライバで [印刷品質] を [標準] に設定する。 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。 メモリを増設する。
紙サイズを確認ください	給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。 <ul style="list-style-type: none"> [ワーニングクリア] を実行します。 ☞ 本書 158 ページ「ワーニングメッセージを消す」 操作パネルの [各種設定] ボタンを押し、[プリンタ設定] - [デバイス設定] の [用紙サイズフリー] を [On] に設定すると、「用紙サイズ確認」のメッセージは表示されなくなります。 ☞ 本書 187 ページ「プリンタ設定の項目一覧」 [プリンタ設定]

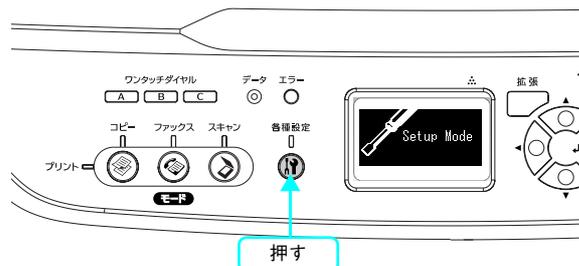
メッセージ	説明・処置
紙種を確認ください	印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。 <ul style="list-style-type: none"> • [ワーニングクリア] を実行すると表示は消えます。 📖 本書 158 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 各給紙装置にセットしている用紙のタイプと、操作パネルの [各種設定] ボタンを押し、[プリンタ設定] - [給紙装置設定] で設定した用紙タイプを確認してください。 📖 本書 187 ページ「プリンタ設定の項目一覧」 [給紙装置設定]
カラーマッチングが違います	カラーマッチングに問題があります。 最新のプリンタドライバまたはプリンタのファームウェアに変更してください。本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。
感光体ユニット交換間近	感光体ユニットを交換する時期が近付いています。 このままの状態でも印刷可能です。新しい感光体ユニットを用意してください。「感光体ユニット交換」のメッセージが表示されたら、新しい感光体ユニットと交換してください。 📖 本書 127 ページ「感光体ユニットを交換する」
感光体がエコ印刷モード	「感光体ユニットを交換してください」とエラーメッセージが表示されてエラーランプが点滅している場合に [カラー] または [モノクロ] ボタンを押すと一時的にエラーが解除され、このワーニングメッセージが表示されます。 この状態でも印刷できますが、画質は保証できません。品質を確認しながら使用してください。また、できるだけ速やかに感光体ユニットを交換してください（寿命が切れると印刷できなくなります）。 📖 本書 215 ページ「エコ印刷モードのご紹介」
清掃してください A	クリーニングテープの交換時期です。 良好な印刷品質を保つために、A カバーを開けてクリーニングテープを取り外してください。さらに、[プリンタリセット] メニューから [全ワーニングクリア] を実行して清掃時期を管理するカウンタをリセットしてください。 📖 本書 141 ページ「クリーニングテープを取り外す」 📖 本書 158 ページ「ワーニングメッセージを消す」
清掃してください D	帯電ワイヤを清掃してください。 良好な印刷品質を保つために、D カバーを開けてクリーニングノブ A で帯電ワイヤの清掃をしてください。清掃後、D カバーを閉じるとワーニング状態が解除されます。ただし、清掃中は [トナーカートリッジの交換] ボタンを押さないでください（清掃時期を管理するカウンタがリセットされません）。 📖 本書 139 ページ「帯電ワイヤを清掃する（筋状に印刷が抜けたり、線が印刷される時）」
定着ユニット交換間近	定着ユニットを交換する時期が近付いています。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに定着ユニットを交換してください。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。交換しないまま使い続けると、故障につながります。
トナーがエコ印刷モード	「トナーを交換してください」とエラーメッセージが表示されてエラーランプが点滅しているときに [カラー] または [モノクロ] ボタンを押すと、一時的にエラーを解除され、このワーニングメッセージが表示されます。 この状態でも印刷できますが、画質は保証できません。品質を確認しながら使用してください。また、できるだけ速やかにトナーカートリッジを交換してください。 📖 本書 215 ページ「エコ印刷モードのご紹介」

メッセージ	説明・処置
****トナー交換間近	<p>「****」に表示される色のトナーカートリッジのトナー残量が少なくなりました。</p> <p>このままの状態でも印刷可能です。新しいトナーカートリッジを用意してください。「*トナーを交換してください」のメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。</p> <p>☞本書 122 ページ「トナーカートリッジを交換する」</p>
転写ユニット交換間近	<p>転写ベルトの寿命が近づきました。</p> <p>このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、本機を購入した販売店または保守サービス実施店へご連絡ください。</p>
廃トナーボックス交換間近	<p>廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このままの状態でも印刷可能です。新しい廃トナーボックスを用意してください。 • 「廃トナーボックスを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しい廃トナーボックスと交換してください。 <p>☞本書 129 ページ「廃トナーボックスとフィルタの交換」</p>
非純正品トナーカートリッジ	<p>非純正品のトナーカートリッジが取り付けられています。</p> <p>このまま使用すると、純正品とは異なる印刷品質やトナー残量表示となる場合があります。純正トナーカートリッジとの交換をお勧めします。</p>

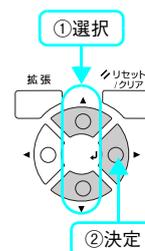
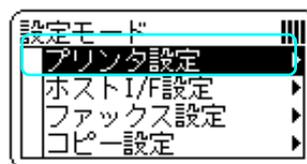
ワーニングメッセージを消す

設定項目	説明
[ワーニングクリア]	「FAX 印刷紙サイズ確認」と消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。
[全ワーニングクリア]	「FAX 印刷紙サイズ確認」を除くすべてのワーニングメッセージを消します。

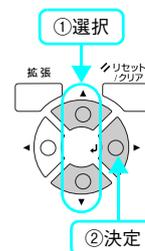
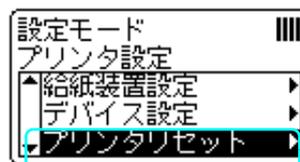
- 1** [各種設定] ボタンを押します。
[各種設定] ランプが点灯して、設定モードになります。



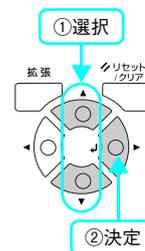
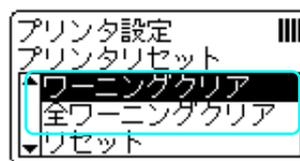
- 2** [プリンタ設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [プリンタ設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



- 3** [プリンタリセット] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [プリンタリセット] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



- 4** [ワーニングクリア] または [全ワーニングクリア] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して選択してから、[▶] ボタンを押します。

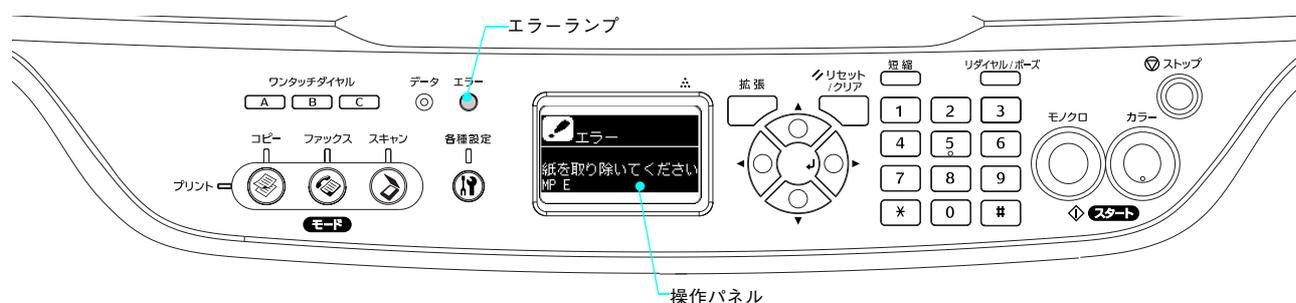


ワーニングメッセージがクリアされると、操作パネルは [プリントモード] になります。

用紙が詰まったときは

紙詰まりが発生したときは、操作パネルエラーランプが点灯してお知らせします。操作パネルには、「紙を取り除いてください XXXX」のようなメッセージが表示されます。「XXXX」には、紙詰まりが発生した箇所が表示されます。

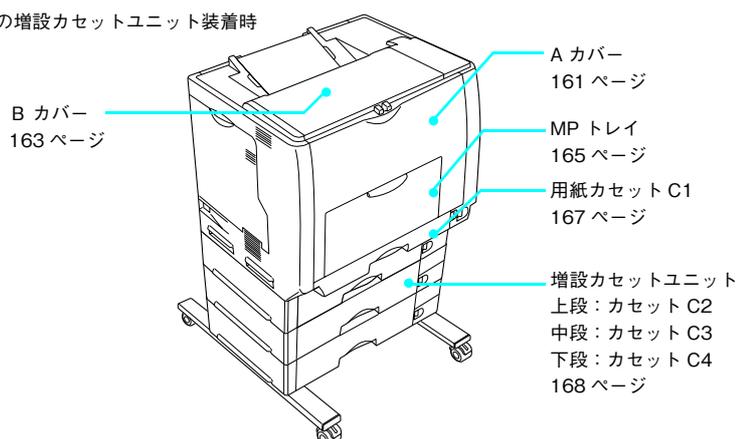
本書の手順に従って用紙を取り除いてください。



次のいずれかの箇所から詰まった用紙を取り除きます。

詰まった用紙を取り除く箇所は、操作パネルの表示で確認できます。

オプションの増設カセットユニット装着時



紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、次の点を確認してください。印刷できない用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 14 ページ「印刷できない用紙」

- 本機が水平に設置されていない
- 用紙ガイドが正しい位置にセットされていない
- MP トレイまたは用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている

☞ 本書 137 ページ「給紙ローラを清掃する（正常に給紙できないとき）」

！注意

- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に用紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 紙詰まりが頻繁に発生する場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷を行ってください。

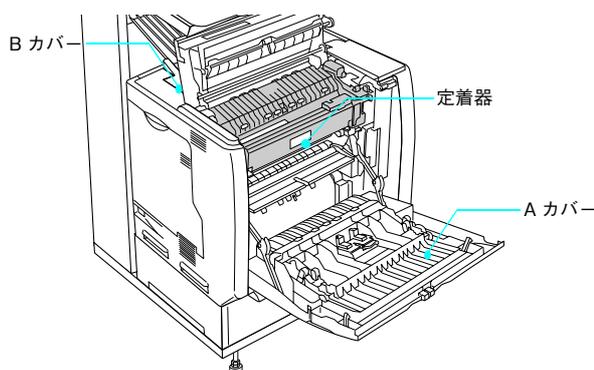
用紙取り出し時の注意

詰まった用紙を取り出すときは、次の点に注意してください。

- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除くと、用紙がやぶれて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

⚠注意

- プリンタ正面の A カバーや B カバーを開けたときは定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約 200 度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。



- 本機内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

！注意

破れた用紙が取り除けない場合や、以降の説明箇所以外の場所に用紙が詰まって取り除けない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはエプソン修理窓口へご相談ください。

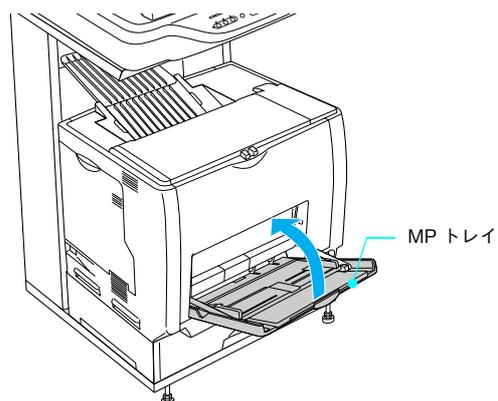
プリンタ内部(A カバー)で用紙が詰まった場合は

プリンタ内部で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

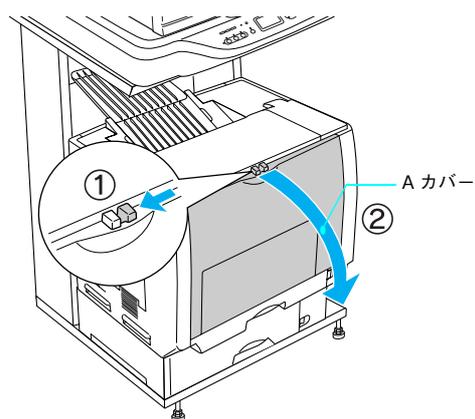
表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください A

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

- 1 MPトレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MPトレイを閉じます。

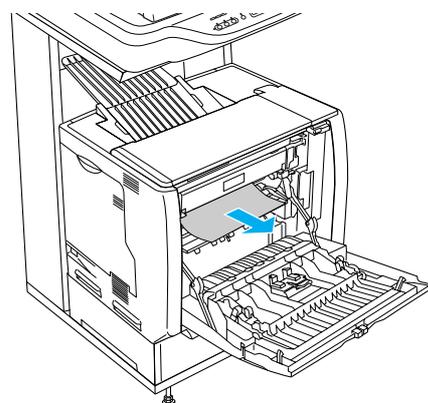


- 2 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

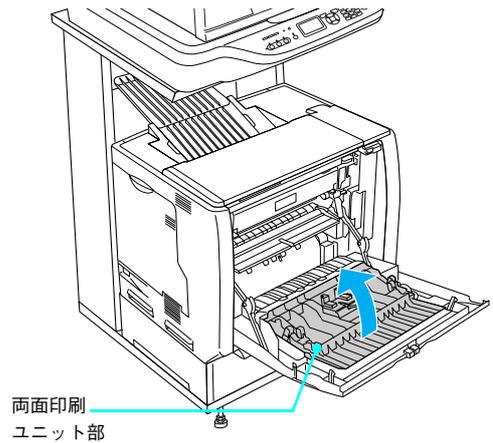


- 3 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

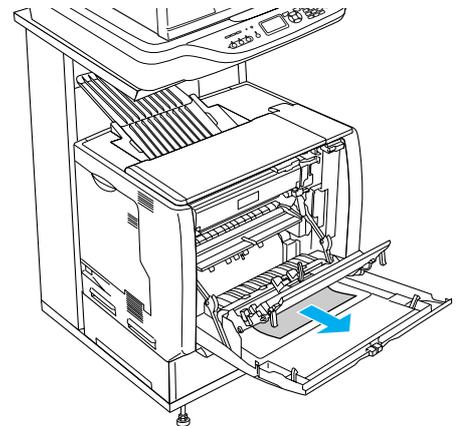
この段階で用紙が取り除けたら、⑥へ進みます。



4 Aカバーの両面印刷ユニット部を持ち上げます。



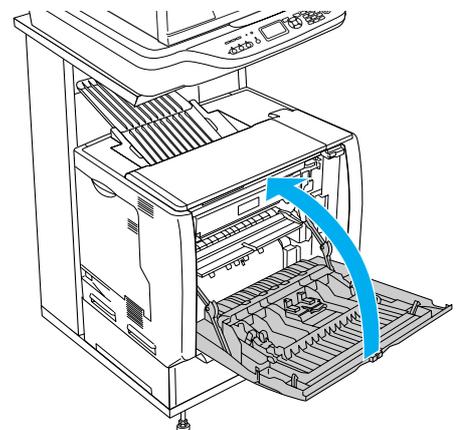
5 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。



6 Aカバーを閉じます。

Aカバーを閉じると両面印刷ユニット部も元の位置に戻ります。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、Aカバーを閉じることで解除されます。



7 MPトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直します。

詰まった用紙が完全にに取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

！注意

- MPトレイの用紙ガイドが用紙の端に合っているか確認してください。
☞ 本書 15 ページ「MPトレイに用紙をセットする」
- Aカバーをしっかりと閉じていないと、操作パネルに「Aカバーを閉じてください」と表示されます。
Aカバーをしっかりと閉じてください。

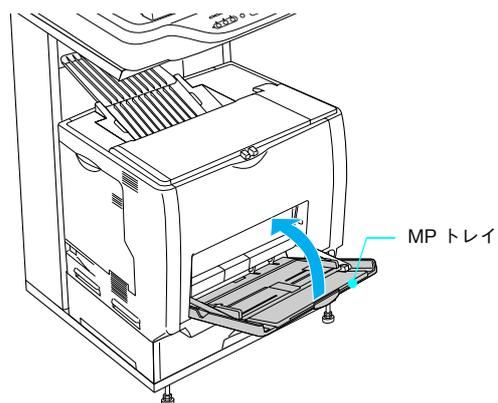
排紙口(Bカバー)で用紙が詰まった場合は

本機の排紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

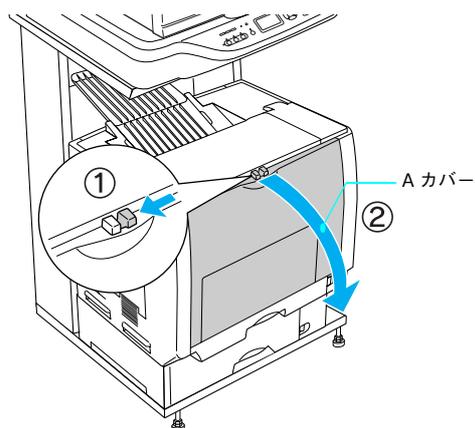
表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください B

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

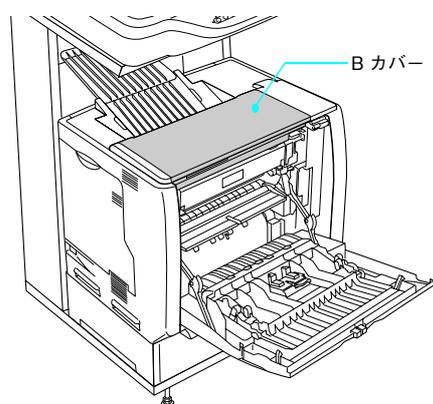
- 1 MPトレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MPトレイを閉じます。



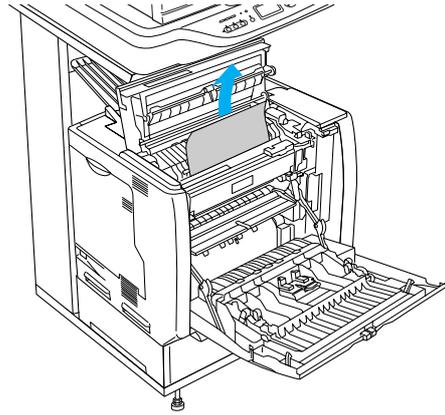
- 2 ①ロックを解除して、② Aカバーを開けます。



- 3 Bカバーを開けます。

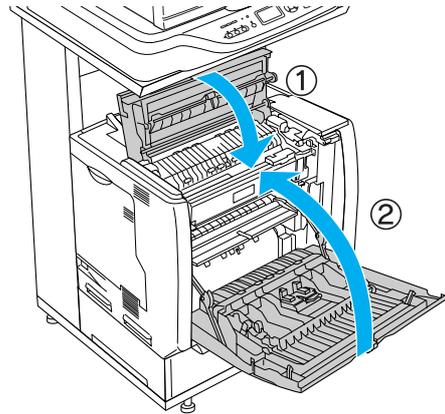


- 4** 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。



- 5** ① B カバーを閉じてから、② A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A/B カバーを閉じることで解除されます。



- 6** MPトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直します。

詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

！注意

A/B カバーをしっかりと閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A/B カバーをしっかりと閉じてください。

給紙口で用紙が詰まった場合は

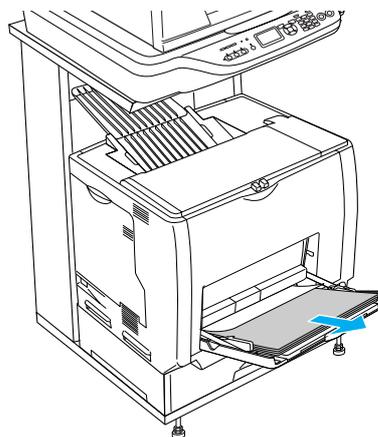
本機の給紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください C1 C2 C3 C4 紙を取り除いてください MP

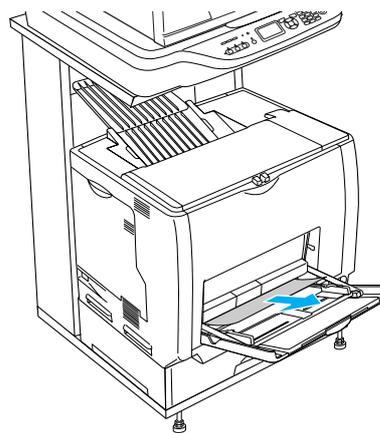
- 「紙を取り除いてください C1」の場合は、標準用紙カセット 1 から用紙を取り除いてください。
☞ 本書 167 ページ「用紙カセット（標準カセット C1）の確認」
- 増設カセットユニット（オプション）を装着して「カミツマリ C2～C4」の場合は、用紙カセットを確認します。
☞ 本書 168 ページ「用紙カセット（オプション C2～C4）の確認」
- 「紙を取り除いてください MP」の場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

MP トレイの確認

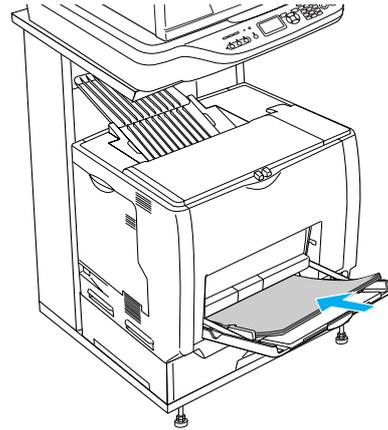
- 1 MP トレイにセットしてある用紙を取り外します。



- 2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

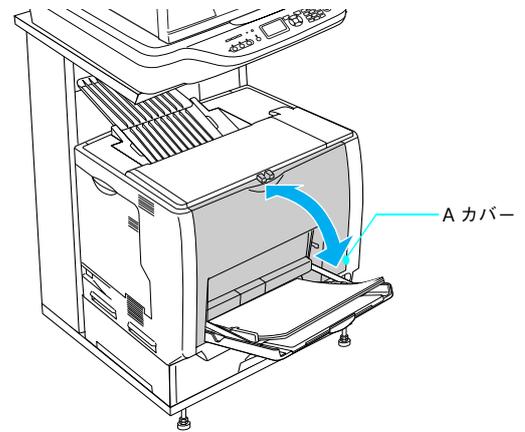


3 用紙を正しくセットし直します。



4 Aカバーを開閉します。

- 詰まった用紙が完全に取り除かれていると、Aカバーを開閉することで詰まったページから印刷を再開します。
- 用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部を確認します。
📖 本書 169 ページ「プリンタ内部の確認」

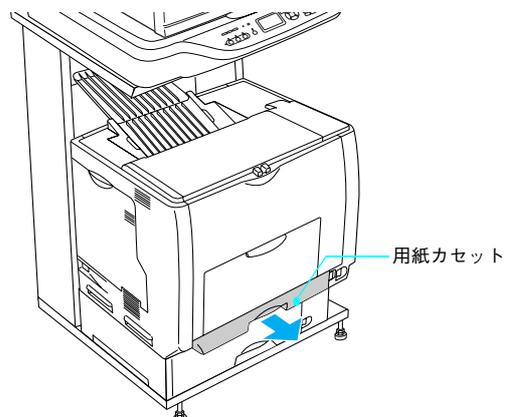


！注意

Aカバーを開閉する際、MPトレイから用紙が落ちないように、Aカバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

■ 用紙カセット(標準カセット C1)の確認

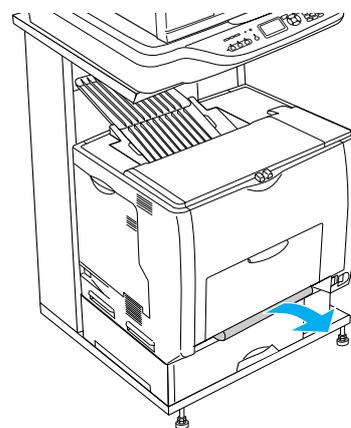
1 用紙カセットを引き抜きます。



2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

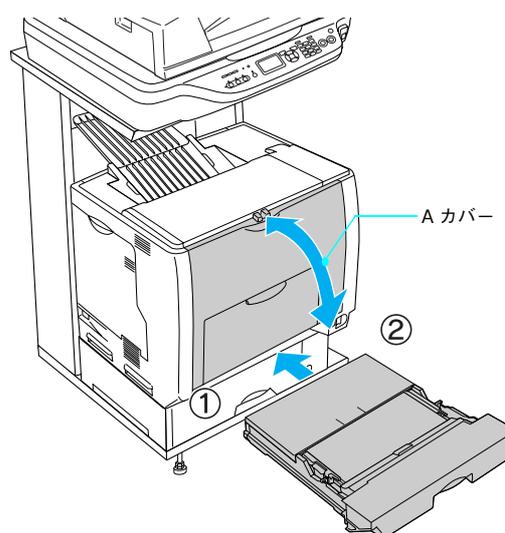
！注意

エラー状態が解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。



3 ①用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをセットし、② A カバーを開閉します。

- 詰まった用紙が完全にに取り除かれていると、A カバーを開閉することで詰まったページから印刷を再開します。
- 用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部を確認します。
📖 本書 169 ページ「プリンタ内部の確認」

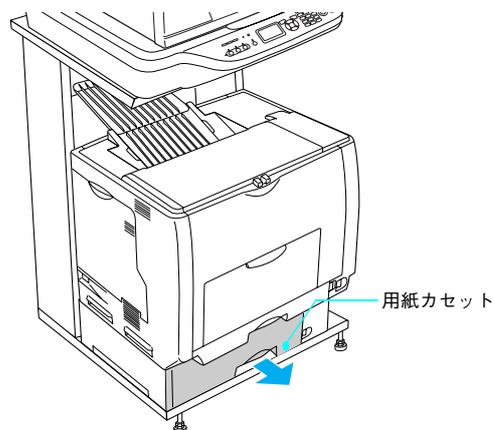


！注意

MP トレイに用紙をセットしている場合は、A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

■ 用紙カセット(オプション C2 ~ C4)の確認

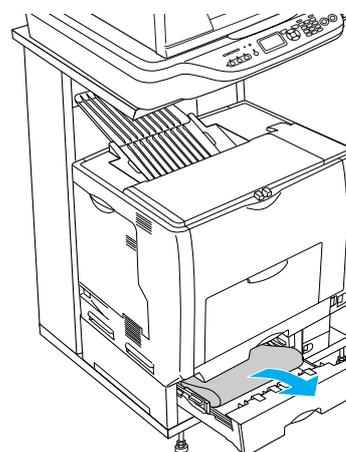
- 1 増設カセットユニットから用紙カセットを引き抜きます。



- 2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

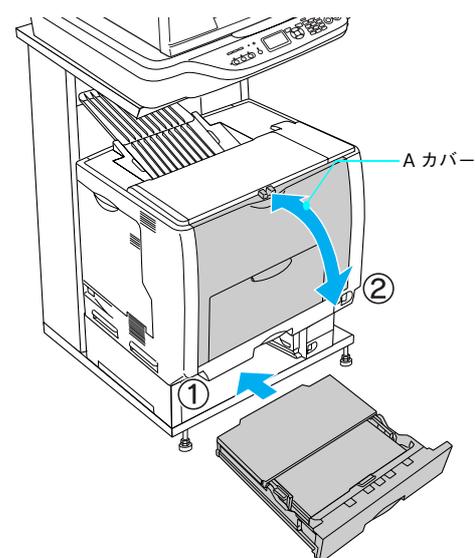
！注意

エラー状態が解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。



- 3 ①用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをセットし、② A カバーを開閉します。

- 詰まった用紙が完全に取り除かれていると、A カバーを開閉することで詰まったページから印刷を再開します。
- 用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部を確認します。
↳ 本書 169 ページ「プリンタ内部の確認」



！注意

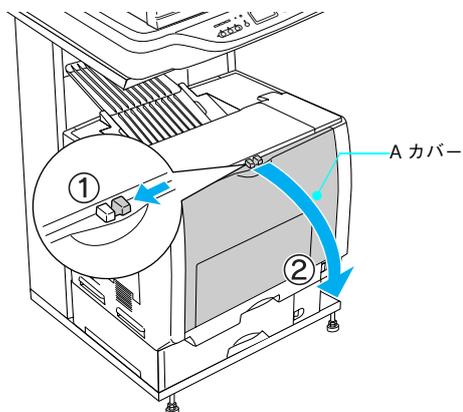
MP トレイに用紙をセットしている場合は、A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

■ プリンタ内部の確認

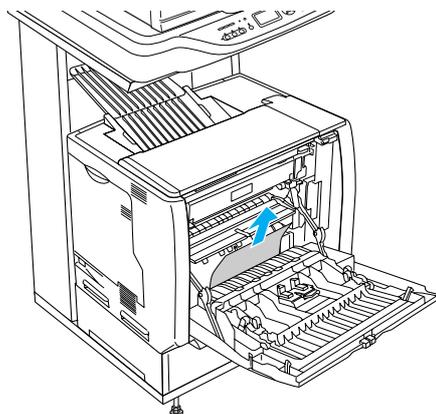
！注意

MP トレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いて MP トレイを閉めてから A カバーを開けてください。

1 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

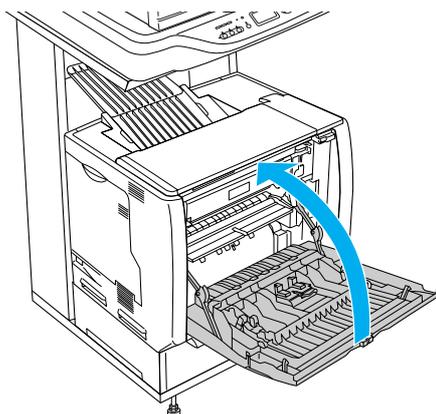


2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。



3 A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。



！注意

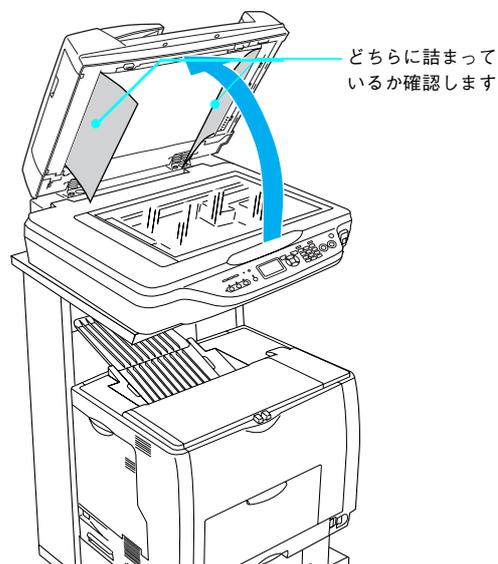
- 用紙カセットをしっかりとセットしていないと、操作パネルに「用紙カセット 1～4 をセットしてください」と表示されます。
- A カバーをしっかりと閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は

オートドキュメントフィーダで原稿が詰まったときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

1 原稿カバーを開け、原稿が詰まっている場所を確認します。

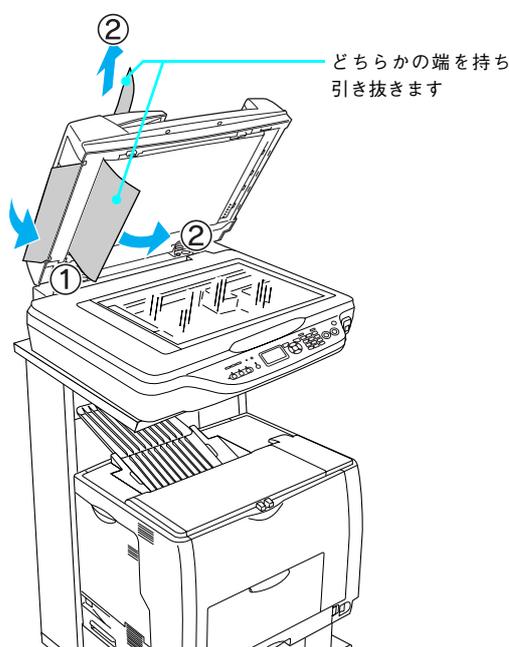
- 給紙口（左側）用紙が詰まっている場合は、本ページの手順 2 へ進みます。
- 排紙口（右側）用紙が詰まっている場合は、次ページの手順 2 へ進みます。



給紙口(左側)で詰まった場合

2 ①左側のカバーを開け、②原稿のどちらかの端を持ちゆっくりと引き抜きます。

- カバーは必ず開けてください。原稿を押さえていたローラが解除されるため原稿を引き抜き易くなります。
- 原稿はゆっくり引き抜いてください。原稿が破れるおそれがあります。



3 左側のカバーを閉じ、原稿カバーを閉じます。

4 [カラー] ボタンまたは [モノクロ] ボタンを押します。

以上で給紙口の用紙詰まりの除去は終了です。

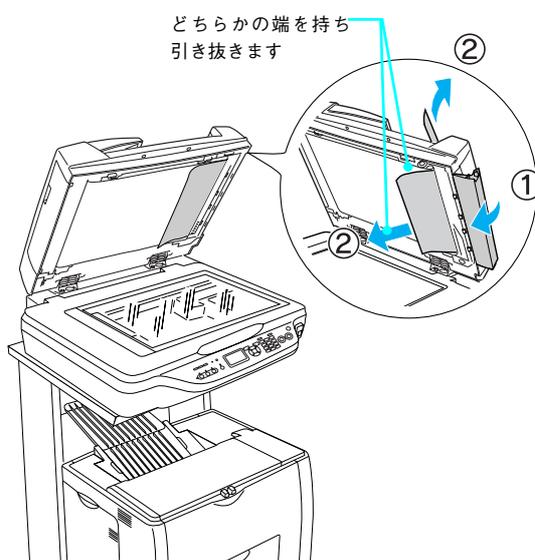
■ 排紙口(右側)で詰まった場合

- 2** ①右側のカバーを開け、②原稿のどちらかの端を持ちゆっくりと引き抜きます。

原稿が破れて取れなくなった場合は、手順 **3** へ進みます。

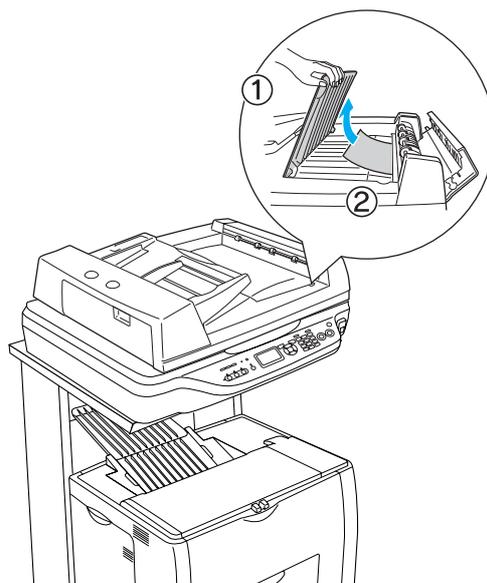
参考

- カバーは必ず開けてください。原稿を押さえていたローラが解除されるため原稿を引き抜き易くなります。
- 原稿はゆっくり引き抜いてください。原稿が破れるおそれがあります。



- 3** 右側のカバーを閉じ、原稿カバーを閉じます。

- 4** ①上面のカバーを開けて②原稿をゆっくり引き抜きます。



- 5** 上面のカバーを閉じます。

- 6** [カラー] ボタンまたは [モノクロ] ボタンを押します。

以上で排紙口の用紙詰まりの除去は終了です。

印刷 / コピーのトラブル



ここでは、コンピュータから本機を使用する際のトラブルも一部説明していますが、詳細は、『ソフトウェア機能ガイド』（PDF マニュアル）をご覧ください。

印刷 / コピーできない

トラブル状態	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">✔ 電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？ 電源コードを本機とコンセントに、確実に差し込んでください。✔ コンセントに電源は来ていますか？ コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。✔ 正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？ コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。 コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。



以上3点を確認の上で [電源] スイッチをオン（1）にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

トラブル状態	対処方法
ブレーカが動作してしまう	<ul style="list-style-type: none">✔ ブレーカの定格は十分ですか？ ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機に専用配線を用意してください。
本機がエラー状態になっている	<ul style="list-style-type: none">✔ 操作パネルにワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？ ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていたら、以下のページを参照して適切な処置をしてください。 ☞ 本書 155 ページ「ワーニングメッセージ」 ☞ 本書 147 ページ「エラーメッセージ一覧」

トラブル状態	対処方法
印刷できない	<p> インターフェイスケーブルが外れていませんか？ 本機側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。</p> <p> インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？ インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類や仕様に合ったケーブルか確認します。 ☞本書 98 ページ「オプションと消耗品の紹介」</p> <p> ネットワーク上の設定は正しいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、本機またはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。 • 同梱の『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を参照して、ネットワークの設定を確認してください。
メモリ関連のエラーが発生する	<p> 本機のメモリ容量は十分ですか？ 本機のメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。以下のいずれかの方法でエラーを回避して印刷できる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カラー印刷では、データの保存（圧縮）形式を変える（例：JPEG 形式のような非可逆圧縮を使用し、データ容量を減らす）。 • 使用していないインターフェイスを [使わない] に設定する。 ☞本書 191 ページ「ファックス設定の項目一覧」[ネットワーク設定] <p>上記の方法でメモリエラーを回避できない場合は、プリンタへのメモリの増設をお勧めします。メモリエラーを回避できる場合があります。</p>

トラブル状態	対処方法
給排紙されない	<p> 本機の底面より小さな台の上に設置していませんか？ 本機の底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。本機の設置場所を確認してください。</p> <p> 本機は水平な場所に設置されていますか？ 本機の下にはさまれている物はありませんか？ 設置場所が水平でなかったり、本機の下に異物をはさまれていると正常に排紙されない場合があります。本機の設置場所の環境を再確認してください。</p> <p> 本機で印刷可能な用紙を使用していますか？ 印刷可能な用紙を使用してください。 ☞本書 225 ページ「用紙関係」</p> <p> セットする前に用紙をさばきましたか？ 複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。</p> <p> 用紙カセットが本機に正しくセットされていますか？ 用紙カセットを正しくセットしてください。 ☞本書 17 ページ「用紙カセット（標準カセット 1）に用紙をセットする」</p> <p> 給紙ローラが汚れていませんか？ 給紙ローラを拭いてください。 ☞本書 137 ページ「給紙ローラを清掃する（正常に給紙できないとき）」</p> <p> ハガキ、封筒、厚紙の先端が下向きに反っていませんか？ 先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。</p>
紙を取り除いてくださいエラーが解除されない	<p> 詰まった用紙をすべて取り除きましたか？ カバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。</p>
用紙を二重送りしてしまう	<p> 用紙どうしがくっついていませんか？ 用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1枚ずつセットしてください。</p> <p> ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？ 先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。</p> <p> 本機に合った用紙を使用していますか？ 用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。 ☞本書 225 ページ「用紙関係」</p>

トラブル状態	対処方法
用紙がカールする	<p> 正しい印刷面へ印刷していますか？</p> <p>特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。</p>
定着部での用紙詰まりが連続して発生する	<p> 定着ローラが汚れている可能性があります。</p> <p>以下の手順で定着ローラを清掃します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①詰まった用紙があれば、詰まった用紙を取り除きます。 ②[ストップ] ボタンを押して、印刷データをキャンセルします。 ③A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。 用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。 ④本機に A4 サイズの印刷用紙を 5 枚以上セットします。 ⑤プリンタドライバの設定を以下のようにします。 用紙種類：[厚紙] を選択 用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択 部単位印刷：[5] を指定 ⑥③で作成したデータを印刷します。 <p>上記の作業を行ってもまだ汚れが残る場合は、同じ作業を繰り返し行ってください。</p>

思い通りにコピーできない

トラブル状態	対処方法
メモリ不足のエラーが出る	<p> オートドキュメントフィーダから連続カラーコピーしていませんか？</p> <p>オートドキュメントフィーダからの連続コピーで、かつ高精細の場合はエラーが表示（メモリ不足）され、止まります。</p> <p>カラーコピーを数回に分けるか「カラー原稿タイプ」項目を変更する、または本機にメモリを増設してメモリ容量の合計が256MB以上になるようにしてください。</p>
原稿とコピー結果が異なる 読み取り範囲が異なる	<p> セットできる原稿サイズを確認しましたか？</p> <p>本機でコピーできる原稿のサイズは、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • B5 < 182 × 257mm > • A4 < 210 × 297mm > • B4 < 257 × 364mm > • A3 < 297 × 420mm > <p> 印刷用紙サイズと印刷保証領域を確認しましたか？</p> <p>用紙全面に印刷されている原稿では、印刷用紙の各端面 5mm はコピーされない場合があります。ただし、[全面コピー] 機能を使用することで、全面をコピーできるように縮小して印刷します。</p> <p>詳細については、以下のページを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 本書 30 ページ「印刷保証領域」 ☞ 本書 34 ページ「全面コピー」 <p> [原稿タイプ] を選択しましたか？</p> <p>取り込む原稿のタイプを選択することによって、最適な設定でコピーすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 本書 46 ページ「原稿に合わせてコピーの品質を変更する」
色合いが異なる	<p> 原稿が薄い色で印刷されていませんか？</p> <p>薄い色の原稿や、文字や写真がかすれていたりする場合、きれいに取り込めない場合があります。</p> <p>[濃度] の設定を変更することで、きれいに取り込める場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 本書 46 ページ「原稿に合わせてコピーの品質を変更する」 <p> コピーの色合い設定を調整しましたか？</p> <p>コントラストと RGB カラーバランスを設定することによって、コピーの色合いを調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 本書 46 ページ「原稿に合わせてコピーの品質を変更する」 <p> コピーで使用できる印刷用紙を使用しましたか？</p> <p>コピーで使用できる印刷用紙は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 普通紙（コピー用紙、再生紙） • 上質紙 <p>上記以外の用紙（厚紙やコート紙など）には、コピーできません。</p>

きれいにコピーできない

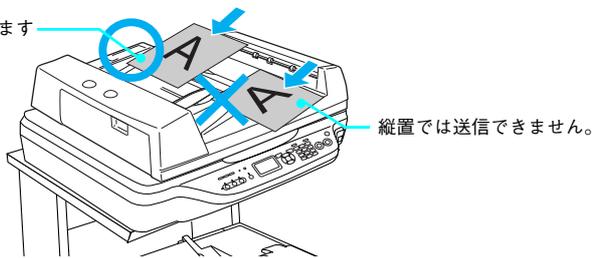
トラブル状態	対処方法
原稿とコピー結果が異なる	<p> セットできる原稿サイズを確認しましたか？ 本機でコピーできる原稿のサイズは、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">• B5 < 182 × 257mm >• A4 < 210 × 297mm >• B4 < 257 × 364mm >• A3 < 297 × 420mm > <p> 印刷用紙サイズと印刷保証領域を確認しましたか？ 用紙全面に印刷されている原稿では、印刷用紙の各端面 5mm はコピーされない場合があります。ただし、[全面コピー] 機能を使用することで、全面をコピーできるように縮小して印刷します。 詳細については、以下のページを参照してください。 ☞本書 30 ページ「印刷保証領域」 ☞本書 34 ページ「全面コピー」</p> <p> [原稿タイプ] を選択しましたか？ 取り込む原稿のタイプを選択することによって、最適な設定でコピーすることができます。 ☞本書 46 ページ「原稿に合わせてコピーの品質を変更する」</p> <p> コピーで使用できる印刷用紙を使用しましたか？ コピーで使用できる印刷用紙は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">• 普通紙（コピー用紙、再生紙）• 上質紙 <p>上記以外の用紙（厚紙やコート紙など）には、コピーできません。</p>

ファックスのトラブル

日付時刻の表示がおかしい / 発信元情報が印字されない

トラブル状態	対処方法
送信したファックスなどの日付時刻表示が設定した数値と違った表示になる	<p>✔ 長時間（10 日程度）電源を切った状態にしておくと、日付時刻の設定がリセットされます。 この場合は、下記を参照して正しい日付と時刻を設定し直してください。 ☞ 本書 187 ページ「プリンタ設定の項目一覧」 - 「デバイス設定」 - 「日付時刻設定」</p>
送信したファックスなどに発信元の情報が印字されない	<p>✔ 発信元印字機能がオンになっていますか？ 操作パネル [各種設定] ボタン - [ファックス設定] - [送信設定] - [発信元印字] を [On] に設定してください。 ☞ 本書 191 ページ「ファックス設定の項目一覧」 - [送信設定] - [発信元印字]</p> <p>✔ 発信元名を登録しましたか？ 発信元名を表示させる場合は、EPSON Speed Dial Utility から発信元名を登録する必要があります。 ☞ 本書 69 ページ「発信元名の登録方法」</p>

原稿通りにファックスが送信できない

トラブル状態	対処方法
原稿の下半分が切れる	<p>✔ A4、B5 サイズの原稿を縦に置いて送信していませんか？ A4、B5 サイズの原稿も A3、B4 同様に横置きにする必要があります。</p> <p>横置にセットします </p>
思い通りに取り込めない	<p>✔ 原稿の取り込み設定をしていますか？ 送付する際の濃度との画質を指定します。文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。また、原稿に合わせて画質を設定してください。 ☞ 本書 52 ページ「ファックス番号を入力して送信する」手順 5</p>
ゴミのようなものが入る	<p>✔ 原稿台が汚れていませんか？ 原稿台を清掃してください。 ☞ 本書 134 ページ「外装をきれいにする」</p>

ファックスが受信できない

トラブル状態	対処方法
受信できない	<p> 【回線種別】を設定してありますか？ お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）[ファックス機能の初期設定]</p> <p> 【ダイヤル種別】を設定してありますか？ お使いの電話回線に合わせて「トーン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）[ファックス機能の初期設定]</p> <p> 【受信モード】を確認しましたか？ 外付電話機を指定回数の呼び出し、本機が応答してファックスデータを受信する〔自動切替〕と、外付電話機の呼び出しを行わず、本機が自動的に応答してファックスデータを受信する〔FAX 専用〕と、外付電話機の呼び出し音を鳴らし続ける〔電話専用〕の着信モードがあります。 〔TAM〕は、留守番電話の応答中にファックス信号を検出した場合、ファックス受信に切り替えるモードです。 ☞本書 62 ページ「受信モードについて」</p>
印刷用紙が 2 枚に分割される、縮小される	<p> 印刷用紙サイズより大きいファックスデータを受信していませんか？ 印刷用紙サイズより大きいファックスデータを受信した場合、本機は 2 枚の印刷用紙に分割、または縮小して 1 枚の用紙に収まるように調整します。 ☞本書 63 ページ「受信できる原稿サイズ」</p>

ファックスが送信できない

トラブル状態	対処方法
ダイヤルできない	<p> 【回線種別】を設定してありますか？ お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）[ファックス機能の初期設定]</p> <p> 【ダイヤル種別】を設定してありますか？ お使いの電話回線に合わせて「トーン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。 ☞『セットアップガイド』（紙マニュアル）[ファックス機能の初期設定]</p>

EPSON Speed Dial Utility から宛先が登録できない

トラブル状態	対処方法
EPSON Speed Dial Utility (宛先登録ツール) が起動できない	<p> EPSON Speed Dial Utility とプリンタドライバがインストールされていますか？ 登録には、EPSON Speed Dial Utility 以外にもプリンタドライバが必要です。</p>
USB 接続で宛先登録ができない	<p> USB ケーブルは正しく接続されていますか？ 本機とコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。</p> <p> EPSON Speed Dial Utility の [設定] 項目で [通信経路設定] は、「USB」になっていますか？ EPSON Speed Dial Utility の [設定] 項目の [通信経路設定] が「USB」になっていることを確認してください。</p> <p> 印刷中ではないですか？ 本機が印刷中の場合、宛先の登録はできません。印刷が終了してから宛先を登録してください。</p>
ネットワーク接続で宛先登録ができない	<p> ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？ 本機とコンピュータに、それぞれネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。</p> <p> EPSON Speed Dial Utility の [設定] 項目で [通信経路設定] は、「Network」になっていますか？ EPSON Speed Dial Utility の [設定] 項目の [通信経路設定] が「Network」になっていること、本機の IP アドレスが正しく設定されているかを確認してください。 ☞ 本書 68 ページ「設定の確認」</p> <p> 本機のネットワークインターフェイスが正しく設定されていますか？ 本機のネットワークインターフェイスが正しく設定されていることを確認してください。 ☞ 『ネットワーク設定ガイド』 (PDF)</p>

スキヤンのトラブル

操作パネルでスキヤンできない

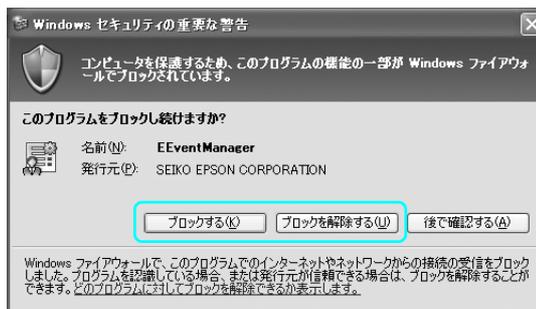
トラブル状態	対処方法
保存先のコンピュータが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> 保存先のコンピュータは起動していますか？ 保存先のコンピュータが起動していることを確認してください。 保存先のコンピュータがネットワーク環境の場合、ネットワークにログオンしていますか？ 保存先のコンピュータがネットワークにログオンしていることを確認してください。 本機に接続されているコンピュータに、EPSON Scan（スキャナドライバ）と、アプリケーションソフトの「EPSON Creativity Suite」と「PageManager For EPSON」（Windowsのみ）をインストールしてありますか？ 本機の操作パネルで操作してスキヤンしたデータを直接保存するには、本機に接続されているコンピュータに、スキャナドライバのEPSON Scanと、専用のアプリケーションソフトウェア「EPSON Creativity Suite」と「PageManager For EPSON」（Windowsのみ）をインストールする必要があります。 ☞本書 82 ページ「操作パネルでスキヤンするために」 「PageManager For EPSON」（Windowsのみ）のライセンスシリアル番号の入力は済んでいますか？ 「PageManager For EPSON」は、インストール後、ライセンスシリアル番号の入力をしないと起動しません。 以下の手順で「License Manager」を起動して、シリアル番号を入力してください。 ① [スタート] - [プログラム (または [すべてのプログラム])] - [Page Manager For EPSON] - [License Manager] をクリックします。 ②シリアル番号を入力して、[OK] をクリックします。 「PageManager For EPSON」（Windowsのみ）の同一ライセンスシリアル番号を複数のコンピュータで使用していませんか？ 「PageManager For EPSON」のライセンスシリアル番号は、1 ユーザまでです。複数のコンピュータで同一のライセンスシリアル番号を使用することはできません。 ご利用の環境に複数のネットワークが存在していませんか？ ネットワーク環境が複数存在すると、操作パネルにコンピュータの名称が表示されないことがあります。不要なネットワークを [無効] に設定してください。

保存先のコンピュータが
見つからない



**Windows XP の Service Pack2 をご使用の場合で、
[EEvent Manager] を Windows ファイアウォールでブ
ロックしていませんか？**

Windows XP の Service Pack2 をお使いの場合、スキャンに必要なア
プリケーションをインストールして再起動した際に表示される以下の画面
で、[ブロックする] をクリックするとそのコンピュータは本機の操作パ
ネルに表示されません。



その場合は、[コントロールパネル] - [Windows ファイアウォール] の
[例外] タブで [EEventManager] にチェックを付けてください。



[カラー]または[モノクロ]ボタンを押してもスキャンが始まらない

トラブル状態	対処方法
<p>スキャンが始まらない</p>	<p> 「PageManager For EPSON」(Windows のみ) を使用し ていませんか？ 保存先のコンピュータで、すでに「PageManager For EPSON」を使用し ている場合、操作パネルの [スタート] ボタンを押してもスキャンが始まら ないことがあります。保存先のコンピュータの状態を確認してください。</p> <p> 保存先のコンピュータでEPSON Scanを使用していませんか？ 保存先のコンピュータで、すでに EPSON Scan を使用している場合、操 作パネルの [スタート] ボタンを押してもスキャンが始まらないことがあ ります。保存先のコンピュータの状態を確認してください。</p>

スキャンしたデータを保存できない

トラブル状態	対処方法
保存先のコンピュータのハードディスクに保存できない	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="584 394 1455 517"> 保存先コンピュータのハードディスクの空き容量は十分ですか？ 保存先コンピュータのハードディスクの空き容量を確認してください。<li data-bbox="584 551 1455 734"> 保存先のコンピュータがスリープモード、または電源がオフになっていませんか？ スキャンデータを保存先のコンピュータに送信するまでに、コンピュータがスリープモード、または電源がオフになった可能性があります。保存先のコンピュータを確認してください。

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まず本機の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。



操作パネルでステータスシートの印刷とコピーができますか？

📄『セットアップガイド』 - [動作確認]

できる

できない



エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は本書の巻末に記載されています。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号などをご確認のうえ、ご連絡ください。



故障している可能性があります。

- 保守契約をされている場合は、保守契約店にご相談ください。
- 保守契約をされていない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理センターへ修理をご依頼ください。依頼先は、本書巻末に記載されています。保守サービスのご案内は、『活用ガイド』-「保守サービスのご案内」をご覧ください。



参考

本機の製造番号は以下を参照してご確認ください。

📄 本書 223 ページ「製造番号の表示位置」

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、次のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス： <http://www.i-love-epson.co.jp>

8 付録

操作パネルでの設定一覧やサービス・サポート、仕様を説明します。

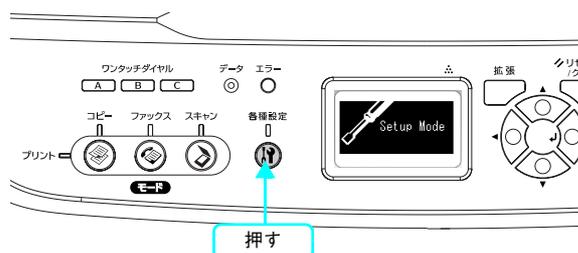
操作パネルによる設定 / 確認	186
IP アドレスを操作パネルから設定.....	194
本機の状態や設定値を印刷するには	197
設定のリセット方法	202
電子マニュアルの見方	205
エコ印刷モードのご紹介	215
サービス・サポートのご案内	217
仕様	220
操作パネル設定項目一覧	233

操作パネルによる設定 / 確認

ここでは、操作パネルでの設定変更方法 / 確認方法と設定項目と設定値について説明します。

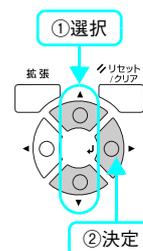
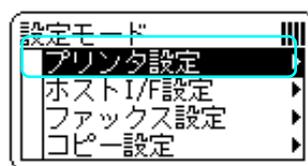
設定を変更する

- 1 電源をオン（I）にします。
- 2 [各種設定] ボタンを押します。
各種設定ランプが点灯して、設定モードになります。



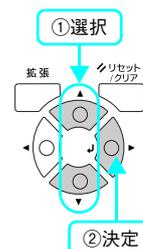
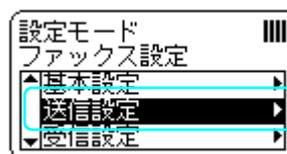
- 3 設定を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して設定を選択してから、[▶] ボタンを押します。

設定	説明
プリンタ設定	プリンタに関する設定を行います。
ホスト I/F 設定	本機のインターフェイスに関する設定を行います。
ファックス設定	ファックスに関する設定を行います。
コピー設定	コピーに関する設定を行います。



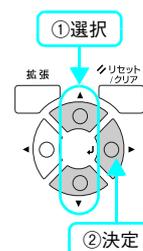
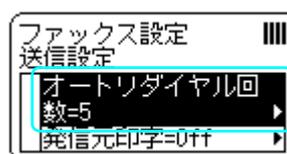
- 4 [▲] または [▼] ボタンで変更する設定分類を選択してから、[▶] ボタンで決定します。

<例>送信設定



- 5 [▲] または [▼] ボタンで項目を選択してから、[▶] ボタンで決定します。
[◀] ボタンを押すと前画面に戻ります。

<例>オートリダイヤル回数



以上で設定変更の手順は終了です。

プリンタ設定の項目一覧

(__ : 初期値)

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
プリンタ情報	ステータスシート印刷	—
		現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
	画像確認シート印刷	—
		エコ印刷モード中に、カートリッジ内のトナーが無くなってかすれが発生していないか、感光体の寿命ですじが発生していないか、などの確認ができます。
	ネットワーク情報印刷	—
		標準のネットワークインターフェイスに関する情報を印刷します。
	C トナー残量	E □□□□□□ F ~ E * * * * * F C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）それぞれのトナーカートリッジ内のトナーの残量または感光体ユニット残量を 7 段階で表示します。
	M トナー残量	
	Y トナー残量	
	K トナー残量	
	感光体ライフ	
	延べ印刷枚数	
カラー印刷枚数		
B/W 印刷枚数		
給紙装置設定	MPトレイサイズ	A3、A4、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、洋形0号、長形3号
		MPトレイにセットした用紙サイズを設定します。
	カセット1サイズ	A3、A4、B4、B5、LT、LGL、B
		標準の用紙カセット1の[用紙サイズ設定]ダイヤルで設定した用紙サイズを表示します。
	カセット2～4サイズ	A3、A4、B4、B5、LT、LGL、B
		オプションの増設カセットユニット（型番：LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2）装着時のみ表示され、[用紙サイズ設定]ダイヤルで設定した用紙サイズを表示します。
	MPトレイタイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、OHPシート、ラベル
MPトレイにセットした用紙タイプを設定します。同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。		
カセット1タイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	
	標準の用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。コンピュータからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。	

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
給紙装置設定 (続き)	カセット 2 ~ 4 タイプ	普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき
		オプションの増設カセットユニット (型番: LPA3CZ1CU2/LPA3CZ1CT2/LPA3CZ1CC2) 装着時のみ表示され、オプションの用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。コンピュータからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
デバイス設定	表示言語	日本語、English
		液晶ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
	節電時間	5 分、15 分、30 分、 <u>60</u> 分、120 分、180 分
		印刷待機時の消費電力を節約できます。最後の動作が終了してから、設定した時間が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、ウォーミングアップを行ってから、動作を開始します。
	MP トレイ優先	する、 <u>しない</u>
		[給紙装置] の設定が [自動選択]、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、MP トレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。
	用紙サイズフリー	On、 <u>Off</u>
		[用紙を交換してください xxxxx yyyy] のエラーを表示するかしないかを設定します。
	自動エラー解除	する、 <u>しない</u>
		[オーバーランエラー]、[用紙を交換してください xxxxx yyyy]、[メモリ不足で印刷できません]、[指定された用紙は両面印刷できません]、[メモリ不足で両面印刷できませんでした]、[指定と違うサイズの用紙に印刷しました] のエラーが発生した場合、自動的にエラーを解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
LCD コントラスト	0 ~ <u>2</u> ~ 15 (1 刻み)	
	液晶ディスプレイに表示される文字の濃度を設定します。	
日付時刻設定 (LP-M5500F のみ)	YYYY/MM/DD HH:MM (YYYY: 西暦、MM: 月、DD: 日、HH: 時、MM: 分)	
	現在の時刻を設定します。	
日付表示フォーマット (LP-M5500F のみ)	<u>YY/MM/DD</u> 、DD/MM/YY、MM/DD/YY (YY: 西暦、MM: 月、DD: 日)	
	日時の表示フォーマットを選択します。	

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
プリンタリセット	ワーニングクリア	—
		操作パネルの液晶ディスプレイに表示されているすべてのワーニングメッセージ（「FAX 印刷紙サイズ確認」と消耗品など交換部品に関するもの以外）を消します。
	全ワーニングクリア	—
		操作パネルの液晶ディスプレイに表示されている「FAX 印刷紙サイズ確認」を除くすべてのワーニングメッセージを消します。
	リセット	—
		プリンタをリセットします。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄します。
リセット オール	—	
	プリンタをリセットオールします。電源をオンにした直後の状態までプリンタを初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します	
設定初期化	—	
	プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定は除く）をすべて初期化します（工場出荷時の設定に戻します）	

ホスト I/F 設定

分類	設定項目	設定範囲
USB I/F 設定	USB I/F	<u>使う</u> 、使わない
		USB インターフェイスを使用するかしないかを選択します。
	USB SPEED	<u>HS</u> 、FS
		USB インターフェイスの動作モードを選択します。お使いの機器に対応したモードを選択してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

分類	設定項目	設定範囲
ネットワーク設定	ネットワーク I/F	<u>使う</u> 、使わない
		ネットワークインターフェイスを使用するかしないかを選択します。
	ネットワーク設定	<u>しない</u> 、する
		ネットワークインターフェイスの設定を、操作パネルで行うか行わないかを選択します。
	IP アドレス設定	<u>パネル</u> 、自動、PING
		TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。[ネットワーク設定] を [する] に設定した場合に設定できます。
	IP	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 (192.168.192.168)
		TCP/IP の IP アドレスを設定します。[ネットワーク設定] を [する] に設定した場合に設定できます。
	SM	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 (255.255.255.0)
		TCP/IP の Subnet Mask を設定します。[ネットワーク設定] を [する] に設定した場合に設定できます。
	GW	0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 (255.255.255.255)
		TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。[ネットワーク設定] を [する] に設定した場合に設定できます。
	AppleTalk	<u>On</u> 、Off
		ネットワーク接続時に AppleTalk 接続を有効にするかどうかを選択します。[ネットワーク設定] を [する] に設定した場合に設定できます。
MS Network	<u>On</u> 、Off	
	ネットワーク接続時に MS Network 接続を有効にするかどうかを選択します。[ネットワーク設定] を [する] に設定した場合に設定できます。	
Rendezvous	On、 <u>Off</u>	
	ネットワーク接続時に Rendezvous 接続を有効にするかどうかを選択します。[ネットワーク設定] を [する] に設定した場合に設定できます。	
Link Speed	<u>自動</u> 、100 Full、100 Half、10 Full、10 Half	
	データ転送速度 / 通信方式を設定します。[ネットワーク設定] を [する] に設定した場合に設定できます。	

ファックス設定の項目一覧

分類	設定項目	設定範囲
基本設定	回線種別	PSTN、PBX
		電話回線の種別を選択します。通常は [PSTN] を電話交換機などがある環境の場合に [PBX] を選択します。
	ダイヤル種別	トーン、10PPS、20PPS
		プッシュ回線かダイヤル回線か選択します。
	自局番号	名称 添付の EPSON Speed Dial Utility (アプリケーションソフト) を使用して、[名前] を 2 バイト文字で 16 文字 (1 バイト文字で 32 文字) を登録します。
		番号 < 20 桁 > テンキー (ダイヤルボタン) で自局番号を入力します。 [*] キーを押すと「+」、[#] キーを押すとスペースを入力できます。
スピーカ音量	OFF、1、2、3	
	電話回線使用時の音量を調整することができます。	
FAX レポート印刷設定	日本語、English	
	FAX レポートを印刷する際の言語を選択することができます。 本書 199 ページ「ファックスのレポート機能を設定する」	
送信設定	オートリダイヤル回数	0 ~ 5 ~ 99
		送付先の機器が通話中などで接続できない場合、指定時間待った後、再びダイヤルする回数を設定します。
	発信元印字	On、Off
	送付データの上部に、年月日 / 曜日 / 時間 / 発信元名 / 自局番号 / ページ数 (分数表示) を入れます。	
優先原稿サイズ	なし、A4、A3、B4、B5	
	ファックスの送信時、原稿サイズを [自動] に設定した状態で、本機が検知できないサイズ of 原稿が給紙されたときに、[優先原稿サイズ] のサイズを適用して送信します。[なし] を選択した場合は、エラーが発生します。	

分類	設定項目	設定範囲
受信設定	給紙口	自動、MPトレイ、カセット1～4
		出力用紙をどの給紙装置から給紙するか選択します。[自動]に設定すると受信した原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
	両面印刷	Off、On
		FAXを受信する際、両面/片面印刷を選びます。
	受信モード	[自動切替]: 指定した時間、外付電話機を呼び出してから、本機が応答してファックスデータを受信します。
		[FAX専用]: 外付電話の呼び出し音が1～2回鳴ってから、自動的にファックス受信を開始します。
		[電話専用]: 外付電話機を呼び出し続けます。ファックス受信は行いません。
		[TAM]: 留守番電話の応答中にファックス信号を検出した場合、ファックス受信に切り替わる機能です。
	外付電話呼出時間	1～10～99秒
		[受信モード]で[自動切替]を選択した場合に、本機に接続されている電話機の呼び出し秒数を設定します。呼び出し秒数を過ぎると、本機が自動的に応答してファックスデータを受信できる状態にします。
自動縮小	する、しない	
	[する]を選択すると、受信したファックスデータが印刷範囲を超えていた場合に自動的にデータを縮小して印刷範囲内に収めます。 [しない]を選択すると、受信したファックスデータは元サイズのまま印刷されます。この場合、受信ファックスデータが切れて印刷されることがあります。	
短縮ダイヤル設定	個別短縮ダイヤル	—
		短縮ダイヤルの登録/変更/削除を行います。
	ワンタッチダイヤル	—
		ワンタッチダイヤルの登録/変更/削除を行います。
	短縮ダイヤルオールクリア	はい、いいえ
		全短縮ダイヤル情報を一括クリアします。

分類	設定項目	設定範囲
通信管理設定	通信管理レポート	Off、On
		通信管理レポートを印刷します。[On] にすると、送受信の合計が 50 件になった時点でレポートを印刷します。
	送信レポート	常時、 <u>エラー時のみ</u> 、なし
		送信結果のレポートを印刷します。[常時] にすると送信が完了するごとにレポートを印刷します。[エラー時のみ] にすると、送信できないときにのみレポートを印刷します。 ただし、グループ送信結果はレポートとして印刷されません。
		同報レポート
	ファックス動作設定	標準値設定
現在の設定値を標準値（本機を立ち上げた際に表示される初期設定値）として登録します。		
FAX 工場出荷時設定	工場出荷時設定	—
		ファックス設定を工場出荷時の設定に戻します。

コピー設定

分類	設定項目	設定範囲
コピー動作設定	標準値設定	—
		現在の設定値を初期値（本機の電源をオンにしたときに表示される初期設定値）として登録します。
コピー工場出荷時設定	工場出荷時設定	—
		コピー設定を工場出荷時の設定に戻します。

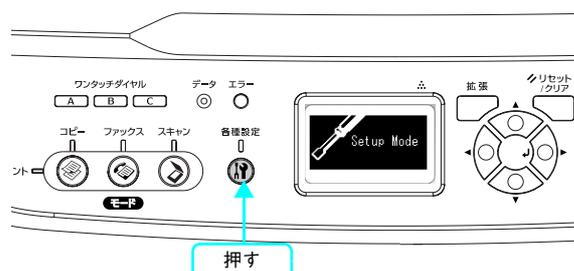
IP アドレスを操作パネルから設定

本機をネットワークで使用する際の IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスを、操作パネルから設定する方法を説明します。

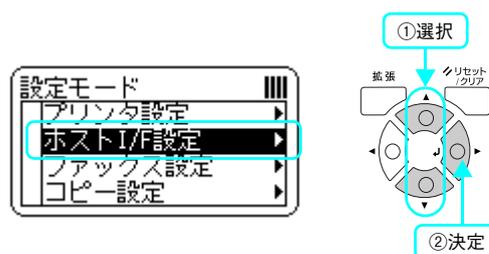
標準ネットワークインターフェイスを設定する

本機の標準ネットワークインターフェイスの設定は以下の手順に従ってください。

- 1 **〔各種設定〕 ボタンを押します。**
〔各種設定〕 ランプが点灯して、設定モードになります。



- 2 **〔ホスト I/F 設定〕 を選択します。**
〔▲〕 または〔▼〕 ボタンを押して〔ホスト I/F 設定〕 を選択してから、〔▶〕 ボタンを押します。



- 3 **〔ネットワーク設定〕 を選択します。**
〔▲〕 または〔▼〕 ボタンを押して〔ネットワーク設定〕 を選択してから、〔▶〕 ボタンを押します。



- 4 **〔ネットワーク I/F=使わない〕 を選択します。**
〔▲〕 または〔▼〕 ボタンを押して〔ネットワーク I/F=使わない〕 を選択してから、〔▶〕 ボタンを押します。

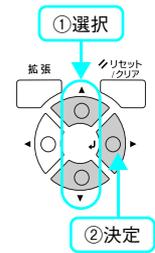
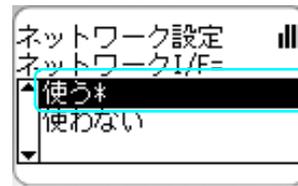


〔ネットワーク I/F=使う〕 に設定されている場合は、6 へ進みます。

5

「使う」を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して「使う」を選択してから、[▶] ボタンを押します。

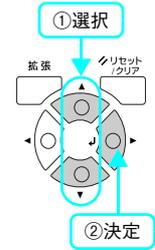
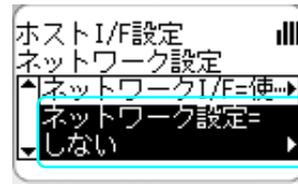


6

「ネットワーク設定 = しなし」を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して「ネットワーク設定 = しなし」を選択してから、[▶] ボタンを押します。

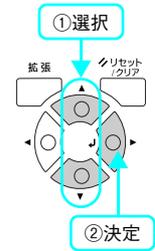
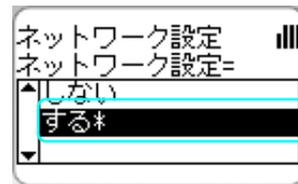
[ネットワーク設定 = する] に設定されている場合は、8へ進みます。



7

「する」を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して「する」を選択してから、[▶] ボタンを押して[*] マークを付けます。

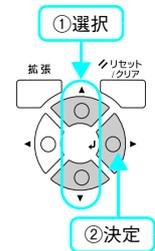
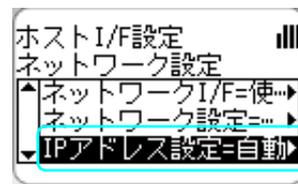


8

「IPアドレス設定 = xx」を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して「IPアドレス設定 = xx」(xxは「自動」または「PING」)を選択してから、[▶] ボタンを押します。

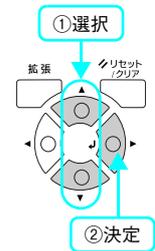
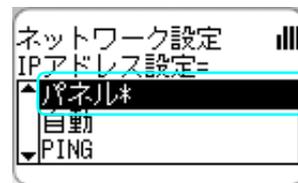
[IPアドレス設定 = パネル] に設定されている場合は、10へ進みます。



9

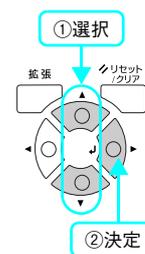
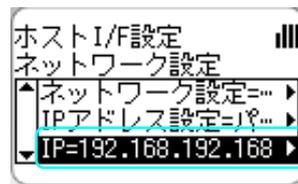
「パネル」を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して「パネル」を選択してから、[▶] ボタンを押します。

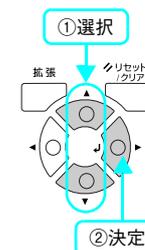


- 10** [IP] / [SM] / [GW] を選択します。
 [▲] または [▼] ボタンを押して [IP] / [SM] / [GW] からいずれかを選択してから、[▶] ボタンを押します。

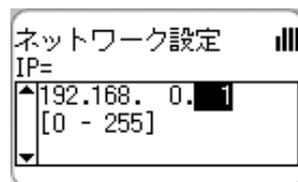
設定項目	意味
IP	IP アドレスを設定します。 (初期設定 : 192.168.192.168)
SM	サブネットマスクを設定します。 (初期設定 : 255.255.255.0)
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。 (初期設定 : 255.255.255.255)



- 11** [▲] または [▼] ボタンでアドレス番号を設定してから、[▶] ボタンで次の設定に移ります。
 アドレス番号は、テンキー（ダイヤルボタン）を使って設定することもできます。



<例> 192.168.0.1 の場合



- 12** [各種設定] ボタンを押します。

以上で操作パネルでの IP アドレス設定は終了です。

本機の状態や設定値を印刷するには

本機の現在の状態や設定値を印刷したものをステータスシートといいます。また、本機のファックスの状況を印刷するレポート機能があります。

ステータスシートを印刷すると、本機の現在の状態を確認できます。次の場合に、ステータスシートを印刷してください。

- 本機の動作に異常がないかを確認する場合
- 本機の現在の設定を確認したい場合
- 本機にオプションを取り付けた場合（取り付けたオプションが正しく認識されると、ステータスシートの印刷内容にそのオプションが追加されます）

ファックスのレポート機能では、以下のレポート・リストを印刷します。

- 送信レポート
- 同報レポート
- 通信管理レポート
- 短縮ダイヤルリスト
- FAX 設定リスト
- メモリジョブ情報

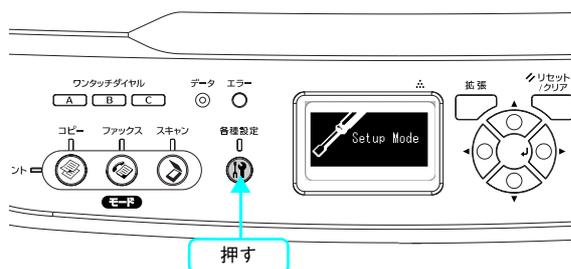
参考

ステータスシートには、モノクロ印刷されるカタカナ表記の簡易ステータスシートとカラー印刷される日本語表記の標準ステータスシートの 2 種類があります。操作パネルからは簡易ステータスシートが印刷できます。

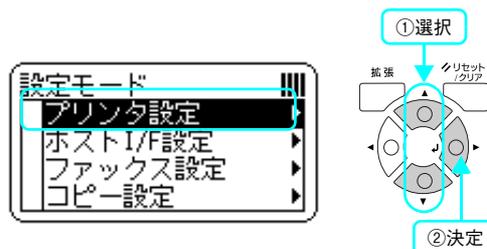
ステータスシート(簡易版)の印刷

1 電源がオン (I) になっていることを確認します。

2 操作パネルの [各種設定] ボタンを押します。
[各種設定] ランプが点灯して、設定モードになります。



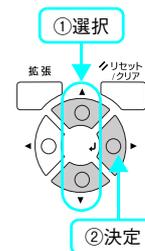
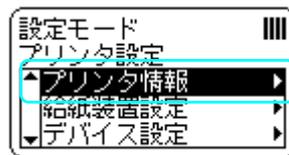
3 [プリンタ設定] を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して [プリンタ設定] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



4

[プリンタ情報] を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [プリンタ情報] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

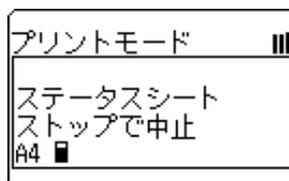
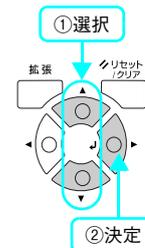
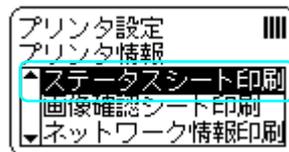


5

[ステータスシート印刷] を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [ステータスシート印刷] を選択してから、[▶] ボタンを押します。

- データランプが点滅して、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が [プリントモード] に戻り、[印刷できます] と表示されます。



6

ステータスシートが印刷されたか確認します。

ステータスシート（簡易版）

```

*** EPSON LP-M5500 ステータスシート ***
2005/5/18 11:54
Printer Model          ***** F          Part Numbers
Country               ***** F          LPCA8ETC4C/LPCA8ETC5C
Manufacturer          ***** F          LPCA8ETC4M/LPCA8ETC5M
Model                 ***** F          LPCA8ETC4Y/LPCA8ETC5Y
Serial                ***** F          LPCA8ETC5N/LPCA8ETC5P
LCD Language         ***** F          LPCA8KUT5
                          ***** F          LPCA8HTB3
Paper Size            1414
                          1153
Media Weight          261
Media Type            A4
                          A4
                          フラッシュ
                          フラッシュ
Printer Menu         A4
                          A4
                          フラッシュ
                          フラッシュ
Printer Menu         60Min
MPM/ICOPY            7分
MPM/ICOPY            0分
MPM/ICOPY            7分
LCD Contrast         7
USB I/F              フラッシュ
USB I/F              HS
USB Speed            フラッシュ
Network I/F          フラッシュ
Network I/F          HS
Network I/F          フラッシュ
IP Address            192.168.1.1
IP                   192.168.1.1
SM                   255.255.255.0
GW                   *****
AppleTalk            On
MS Network           On
Bendevous            Off
Link Speed           3Mbps
Network I/F          フラッシュ
Network I/F          *****
Network I/F          128MB
Network I/F          USB, ネットワーク
LAN HW Address       *****
LAN HW Revision     1
LAN FW Revision     02.30
Media Weight         MP104, MP101, リボン/インキ
  
```

以上でステータスシート（簡易版）の確認は終了です。

ファックスのレポート機能を設定する

ここでは、ファックスのレポート機能について説明します。

■ パワーオフレポート

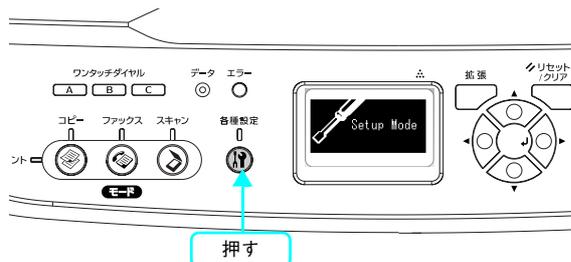
本機の電源をオフにした際、メモリ上に未処理の蓄積データがあった場合、次回電源投入時に消失した情報のレポートを出力します。

■ 通信管理レポート、送信レポート、同報レポートの設定

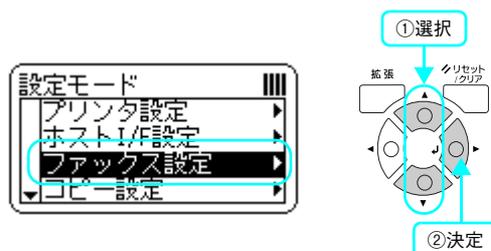
ファックスのレポート機能を設定します。

レポート名	説明
通信管理レポート	送受信結果を 50 件ごと印刷します。
送信レポート	送信結果を自動で毎回、またはエラー時に印刷します。
同報レポート	同報送信結果を自動で毎回、またはエラー時に印刷します。

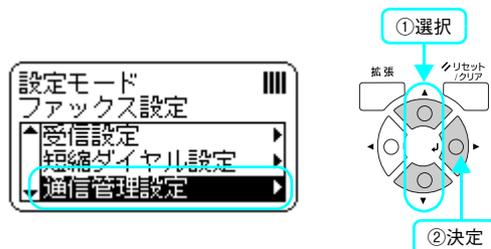
- 1 操作パネルの **〔各種設定〕** ボタンを押します。
〔各種設定〕ランプが点灯して、設定モードになります。



- 2 **〔ファックス設定〕** を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して **〔ファックス設定〕** を選択してから、[▶] ボタンを押します。



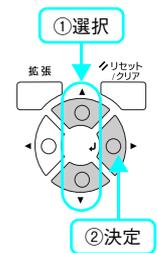
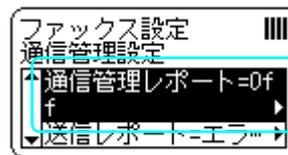
- 3 **〔通信管理設定〕** を選択します。
[▲] または [▼] ボタンを押して **〔通信管理設定〕** を選択してから、[▶] ボタンを押します。



4 設定する項目を選択します。

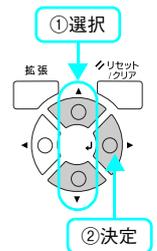
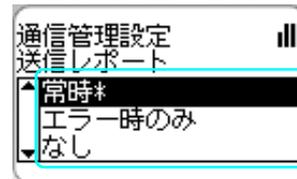
[▲] または [▼] ボタンを押して項目を選択してから、[▶] ボタンを押します。

[送信レポート] 選択時



5 設定値を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して [パネル] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



項目名	設定値
通信管理レポート	通信管理レポートを印刷します。[On] にすると、送受信の合計が 50 件になった時点でレポートを印刷します。
	Off、On
送信レポート	送信結果のレポートを印刷します。[常時] にすると送信が完了するごとにレポートを出力します。「エラー時のみ」にすると、送信できないときにのみレポートを出力します。
	常時、エラー時のみ、なし
同報レポート	同報送信の結果のレポートを印刷します。[常時] にすると送信が完了するごとにレポートを出力します。「エラー時のみ」にすると、送信できないときにのみレポートを出力します。
	常時、エラー時のみ、なし

以上で通信管理レポート、送信レポート、同報レポートの設定は終了です。

■ 各種ファックスレポートを印刷する

次のレポートを印刷することができます。

- 通信管理レポート
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループ登録リスト
- FAX 設定リスト
- メモリジョブ情報

1 [ファックス] ボタンを押します。

ファックスランプが点灯して、ファックスモードになります。



2 [拡張] ボタンを押してから、[FAX 情報] を選択します。

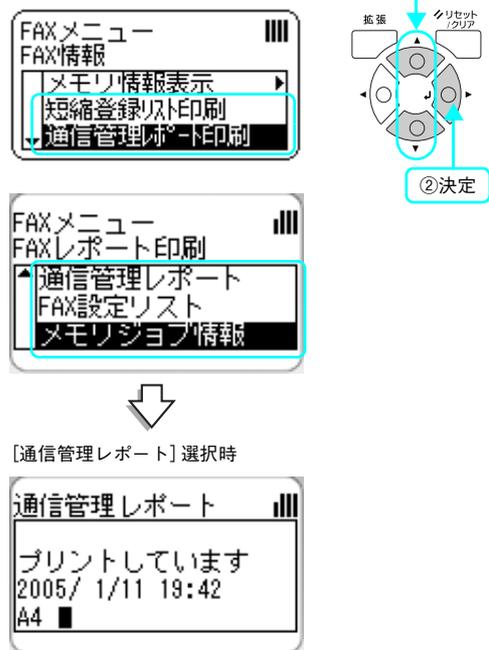
[▲] または [▼] ボタンを押して [FAX 情報] を選択してから、[▶] ボタンを押します。



3 印刷したいリストの項目を選択します。

[▲] または [▼] ボタンを押して選択してから、[▶] ボタンを押します。

データランプが点滅して、レポートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。



以上で各種ファックスレポートの印刷は終了です。

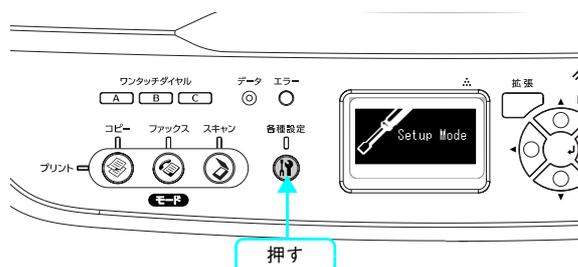
設定のリセット方法

本機の操作パネルで設定した各設定（プリンタ設定 / ファックス設定 / コピー設定）を、工場出荷時の設定に戻すことができます。

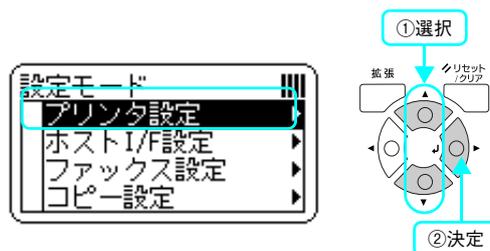
プリンタ設定をリセットする

ここでは、プリンタ設定のリセット方法について説明します。

- 1 操作パネルの【各種設定】ボタンを押します。
【各種設定】ランプが点灯して、設定モードになります。



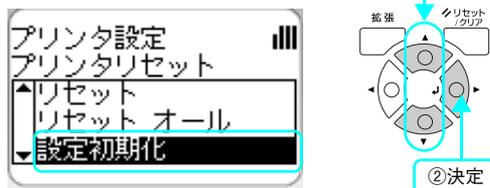
- 2 【プリンタ設定】を選択します。
【▲】または【▼】ボタンを押して【プリンタ設定】を選択してから、【▶】ボタンを押します。



- 3 【プリンタリセット】を選択します。
【▲】または【▼】ボタンを押して【プリンタリセット】を選択してから、【▶】ボタンを押します。



- 4 【設定初期化】を選択します。
【▲】または【▼】ボタンを押して【設定初期化】を選択してから、【▶】ボタンを押します。



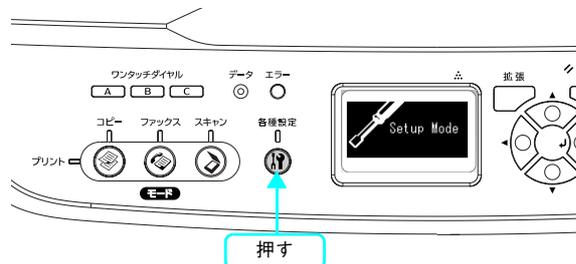
操作パネルの表示が【プリントモード】に戻り、【印刷できます】と表示されます。

以上でプリンタ設定のリセットは終了です。

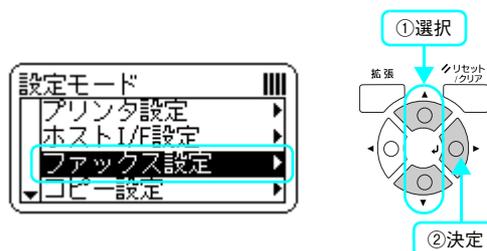
ファックス設定をリセットする

ここでは、ファックス設定のリセット方法について説明します。

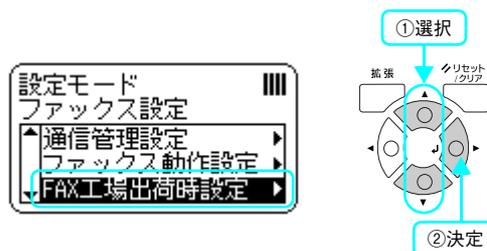
- 1 操作パネルの **〔各種設定〕** ボタンを押します。
〔各種設定〕ランプが点灯して、設定モードになります。



- 2 **〔ファックス設定〕** を選択します。
〔▲〕または〔▼〕ボタンを押して〔ファックス設定〕を選択してから、〔▶〕ボタンを押します。



- 3 **〔FAX工場出荷時設定〕** を選択します。
〔▲〕または〔▼〕ボタンを押して〔FAX工場出荷時設定〕を選択してから、〔▶〕ボタンを押します。



- 4 **〔工場出荷時設定〕** を実行します。
〔工場出荷時設定〕を確認してから、〔▶〕ボタンを押します。

操作パネルの表示が **〔プリントモード〕** に戻り、**〔印刷できます〕** と表示されます。

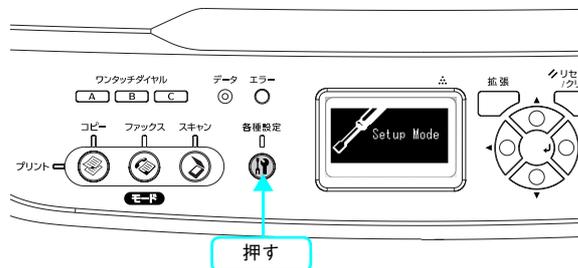


以上で FAX 設定のリセットは終了です。

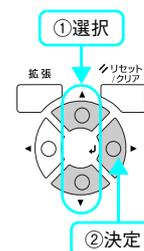
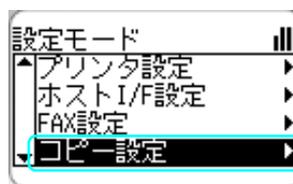
コピー設定をリセットする

ここでは、コピー設定のリセット方法について説明します。

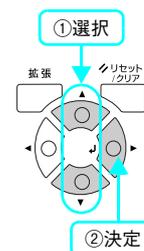
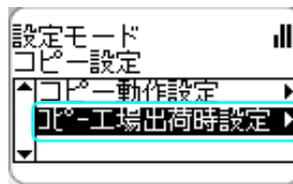
- 1 操作パネルの**〔各種設定〕** ボタンを押します。
〔各種設定〕ランプが点灯して、設定モードになります。



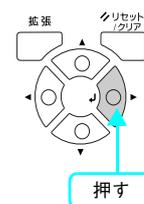
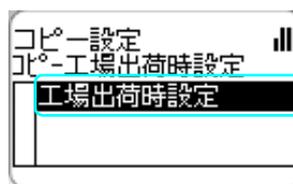
- 2 **〔コピー設定〕** を選択します。
〔▲〕または〔▼〕ボタンを押して〔コピー設定〕を選択してから、〔▶〕ボタンを押します。



- 3 **〔コピー工場出荷時設定〕** を選択します。
〔▲〕または〔▼〕ボタンを押して〔コピー工場出荷時設定〕を選択してから、〔▶〕ボタンを押します。



- 4 **〔工場出荷時設定〕** を実行します。
〔工場出荷時設定〕を確認してから、〔▶〕ボタンを押します。



操作パネルの表示が「プリントモード」に戻り、「印刷できます」と表示されます。

以上でコピー設定のリセットは終了です。

電子マニュアルの見方

本製品に添付されている EPSON ソフトウェア CD-ROM には、電子マニュアル『ソフトウェア機能ガイド for Windows』/『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』 および『ネットワーク設定ガイド』が収録されています。

- 『ソフトウェア機能ガイド for Windows』 / 『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』 (PDF) には、コンピュータと接続して、印刷、スキャンする方法、プリンタドライバやスキャナドライバの詳細な機能説明や困ったときのさまざまな事例とその対応など、本機をご使用いただくために必要な情報が掲載されています。『ソフトウェア機能ガイド for Windows』 / 『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』 (PDF) に掲載されている情報 (もくじ) については以下のページを参照してください。

☞ 本書 212 ページ「ソフトウェア機能ガイド for Windows のもくじ」

☞ 本書 213 ページ「ソフトウェア機能ガイド for Mac OS のもくじ」



- 『ネットワーク設定ガイド』 (PDF) は、ネットワーク経由の印刷に関する詳細な機能説明やユーティリティの使い方、困ったときのさまざまな事例とその対応などが掲載されています。『ネットワーク設定ガイド』 (PDF) に掲載されている情報 (もくじ) については以下のページを参照してください。

☞ 本書 214 ページ「『ネットワーク設定ガイド』のもくじ」



電子マニュアルは、PDF (Portable Document Format) ファイルとして収録されております。この PDF ファイルを開くには「Adobe® Acrobat® Reader®」や「Adobe® Reader®」などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。

☞ 本書 206 ページ「Windows での電子マニュアルの見方」

☞ 本書 210 ページ「Mac OS 9 での電子マニュアルの見方」

☞ 本書 208 ページ「Mac OS X 10.2 以降での電子マニュアルの見方」

参考

- Mac OS X の「プレビュー」アプリケーションでもご覧いただけます。
- 電子マニュアルの文書形式は PDF 1.3 です。これらの PDF マニュアルをご覧いただくには、Acrobat Reader 4.0 以上または Adobe Reader が必要です。本製品に添付されている EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM には、Windows 版の Adobe Reader が添付されています。それ以外の Acrobat Reader または Adobe Reader が必要な場合には、アドビシステムズ株式会社のホームページの情報をご覧ください。
- PDF ファイルを開くと、画面左側に [しおり] があります。[しおり] の各タイトルをクリックすると、該当ページを直接開くことができます。また、調べたい語句を検索して、直接その掲載箇所へ移動することもできます。画面表示が小さい場合は、表示を拡大してご覧ください。また、すべてのページを印刷したり、必要なページだけを印刷したりしておくと、いつでもすぐに調べることができるので便利です。操作方法について詳しくは、PDF 閲覧ソフトウェアの [ヘルプ] をご覧ください。

Windows での電子マニュアルの見方

電子マニュアルの『ソフトウェア機能ガイド for Windows』（PDF）と『ネットワーク設定ガイド』（PDF）はプリンタソフトウェアなどとともにコンピュータにインストールされます。ローカル接続の場合は、Windows の [スタート] メニューから [プログラム] - [EPSON] - [EPSON ソフトウェア機能ガイド] または [EPSON ネットワーク設定ガイド] をクリックしてご覧ください。ネットワーク接続の場合や、ネットワーク上の共有プリンタをお使いの場合は、サーバ上にインストールされますので管理者の方にお尋ねください。

ソフトウェアのインストール時に電子マニュアルをインストールされなかった場合は、次の手順に従ってご覧ください。

参考

- Acrobat Reader や Adobe Reader をお持ちでない場合は、5 で [プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする] をクリックし、- [選択画面] の順にクリックしてから [AdobeReader] だけを選択してインストールしてください。
- 電子マニュアルはページ数が多いので、画面でご覧いただくだけでなく、印刷してご覧いただくこともできます。ここでは、印刷の仕方についても説明します。

1 『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。

2 しばらくして右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

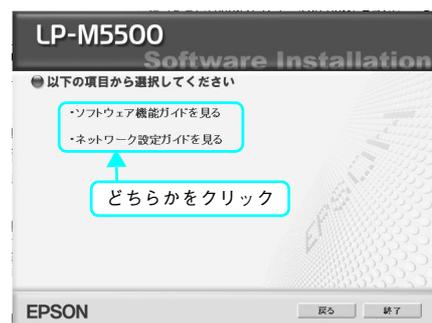
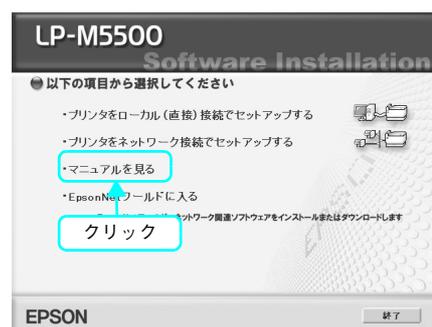
参考

右の画面が表示されないときは [マイコンピュータ] 内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

3 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、[同意する] をクリックします。

4 [マニュアルを見る] をクリックします。

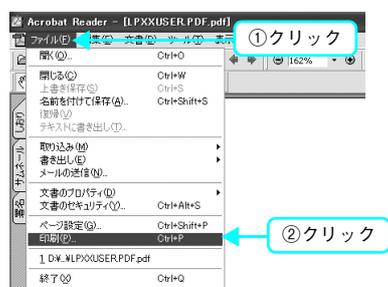
5 [ソフトウェア機能ガイドを見る] または [ネットワーク設定ガイドを見る] をクリックします。『ソフトウェア機能ガイド for Windows』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）が表示されます。



電子マニュアルの印刷方法

『ソフトウェア機能ガイド for Windows』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を開いたら、以下の手順に従って印刷できます。

- 1 本機に A4 サイズの印刷用紙をセットします。
- 2 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。



- 3 [用紙サイズに合わせてページを縮小]（または [用紙サイズに合わせる]）がチェックされていることを確認して、[プロパティ] をクリックします。

画面の内容や項目の名称、設定方法は、お手持ちの Acrobat 製品のバージョンにより異なります。



- 4 [基本設定] タブの [割り付け] にチェックを付けます。

『ソフトウェア機能ガイド for Windows』（PDF）や『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を A4 サイズの用紙に 2 ページ分を割り付けると、見やすいサイズで印刷することができます。



- 5 [OK] をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で印刷の手順は終了です。

Mac OS X 10.2 以降での電子マニュアルの見方

電子マニュアルの『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）と『ネットワーク設定ガイド』（PDF）はプリンタソフトウェアなどとともに Mac OS にインストールされます。デスクトップ上の以下のアイコンをダブルクリックしてください。

- [EPSON ソフトウェア機能ガイド for Mac OS]
- [EPSON ネットワーク設定ガイド]

ソフトウェアのインストール時に電子マニュアルをインストールされなかった場合は、次の手順に従ってご覧ください。



電子マニュアルはページ数が多いので、画面でご覧いただくだけでなく、印刷してご覧いただくこともできます。ここでは、印刷の仕方についても説明します。

- 1 『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。
- 2 デスクトップ上の [EPSON] CD-ROM アイコンをダブルクリックして開きます。
- 3 [Mac OS X 用] インストーラをダブルクリックします。

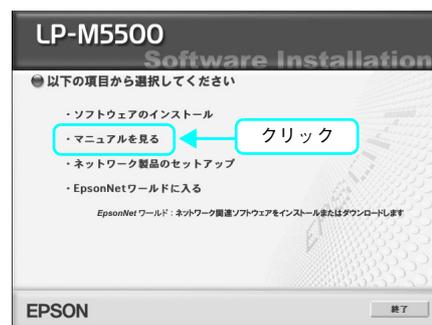


- 4 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。



- 5 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、[同意する] をクリックします。

- 6 右の画面が表示されたら [マニュアルを見る] をクリックします。



- 7** [ソフトウェア機能ガイドを見る] または [ネットワーク設定ガイドを見る] をクリックします。
『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）が表示されます。

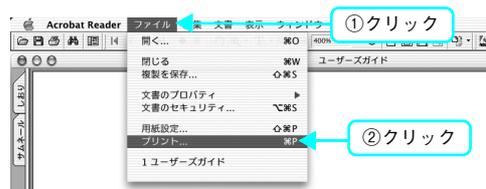


電子マニュアルの印刷方法

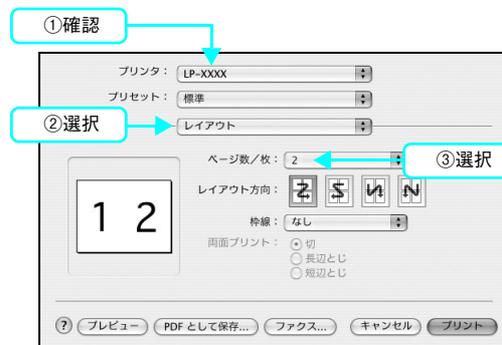
『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を開いたら、次の手順に従って印刷できます。

参考 印刷できない場合は、[プリンタ設定ユーティリティ] または [プリントセンター] にお使いのプリンタ（LP-M5500）が追加されているか確認してください。

- 1** 本機に A4 サイズの印刷用紙をセットします。
- 2** [ファイル] メニューの [プリント] をクリックします。

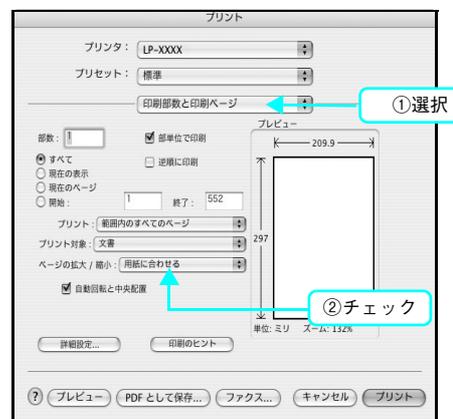


- 3** [プリンタ] にお使いのプリンタ（LP-M5500）が選択されていることを確認し、[レイアウト] を選択して、[ページ数/枚] を [2] に設定します。
- [プリンタ] に [LP-M5500] が選択されていないときは、[LP-M5500] を選択します。
 - 『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）や『ネットワーク設定ガイド』（PDF）は、A4 サイズの用紙に 2 ページ分を割り付けると、見やすいサイズで印刷することができます。



- 4** [印刷部数と印刷ページ] を選択し、[ページの拡大 / 縮小] リストで [用紙に合わせる] を一覧から選択します。

画面は、Acrobat Reader を使用した場合です。Adobe Acrobat 製品をご使用でない場合は、**5** へ進みます。



- 5** [プリント] をクリックして印刷を実行します。

以上で印刷の手順は終了です。

Mac OS 9 での電子マニュアルの見方

電子マニュアルの『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）と『ネットワーク設定ガイド』（PDF）はプリンタソフトウェアなどとともに Mac OS にインストールされます。デスクトップ上の以下のアイコンをダブルクリックしてご覧ください。

- [EPSON ソフトウェア機能ガイド for Mac OS]
- [EPSON ネットワーク設定ガイド]

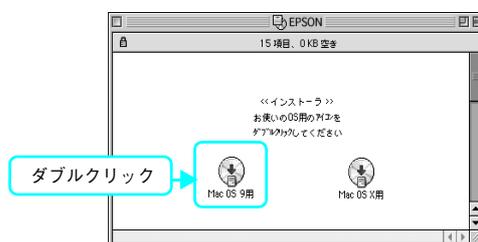
ソフトウェアのインストール時に電子マニュアルをインストールされなかった場合は、次の手順に従ってご覧ください。



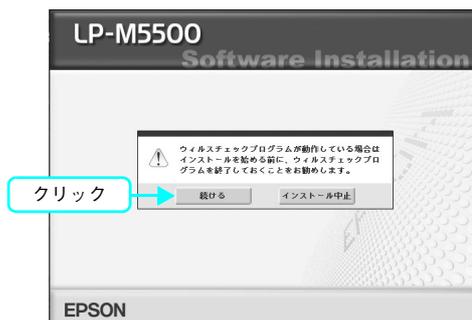
電子マニュアルはページ数が多いので、画面でご覧いただくだけでなく、印刷してご覧いただくこともできます。ここでは、印刷の仕方についても説明します。

1 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。

2 インストーラ（Mac OS 9 用）を起動します。
右の画面が表示されない場合は、デスクトップ上の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

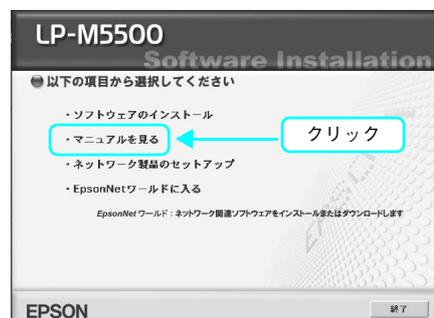


3 右の画面が表示されたら、画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

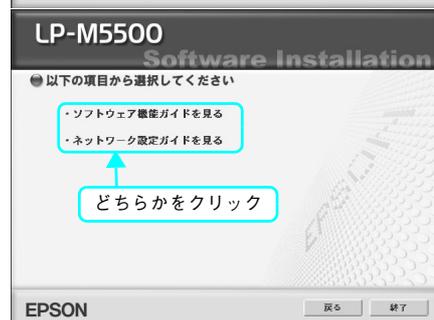


4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、[同意する] をクリックします。

5 右の画面が表示されたら [マニュアルを見る] をクリックします。



6 [ソフトウェア機能ガイドを見る] または [ネットワーク設定ガイドを見る] をクリックします。
『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）が表示されます。

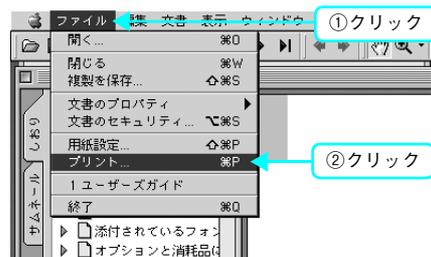


電子マニュアルの印刷方法

『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）または『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を開いたら、次の手順に従って印刷できます。

参考 印刷できない場合は、Apple メニューの [セレクト] でお使いのプリンタ（LP-M5500）が選択されているか確認してください。

- 1 本機に A4 サイズの印刷用紙をセットします。
- 2 [ファイル] メニューの [プリント] をクリックします。



- 3 [用紙サイズに合わせてページを縮小]（または [用紙サイズに合わせて縮小]）がチェックされていることを確認して、[レイアウト] アイコンをクリックします。



- 4 [割り付け] チェックボックスにチェックを付けて [OK] をクリックします。
『ソフトウェア機能ガイド for Mac OS』（PDF）や『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を、A4 サイズの用紙に 2 ページ分を割り付けると、見やすいサイズで印刷することができます。



- 5 [印刷] をクリックして印刷を実行します。

以上で印刷の手順は終了です。

電子マニュアルのもくじ

■ ソフトウェア機能ガイド for Windows のもくじ

印刷の基本操作

印刷を始める前に
印刷の手順
印刷の中止方法

便利な機能

用紙を節約（割り付け印刷）
用紙を節約（両面印刷）
印刷サイズを拡大／縮小
定形サイズ以外の用紙に印刷
「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷
本機の状態をコンピュータ上で確認

プリンタドライバ情報

画面の表示方法
[基本設定] ダイアログ
[応用設定] ダイアログ
[環境設定] ダイアログ
[ユーティリティ] ダイアログ
EPSON ステータスマニタ
ソフトウェアのバージョンアップ
プリンタソフトウェアの削除方法
ソフトウェアの再インストール方法
システム条件

使用可能な印刷用紙とセット方法

印刷用紙
給紙装置と用紙のセット方法
特殊紙への印刷
両面印刷について
用紙タイプ選択機能

困ったときは

印刷実行時のトラブル
用紙が詰まったときは
カラー印刷に関するトラブル
印刷品質に関するトラブル
画面表示と印刷結果が異なる
USB 接続時のトラブル
その他のトラブル
どうしても解決しないときは

付録

EPSON バーコードフォントの使い方
TrueType フォントの使い方
印刷機能の共有方法

接続先の変更方法
カラー印刷のポイント

スキャンの基本操作

スキャンを始める前に
原稿のセット方法
スキャンの基本手順

便利な機能

モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）
ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）
色あせた写真の色を復元する（退色復元）
色を鮮やかにする（彩度調整）
色合いを変える（カラーバランス調整）
色かぶりを取り除く（グレーバランス調整）
明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）
明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）
明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）
必要な部分だけを切り取ってスキャンお好みのサイズで
スキャン（[出力サイズ] 設定）
複数の写真をまとめてスキャン（LP-M5500 のみ）
原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ

EPSON Scan 情報

EPSON Scan とは？
起動方法とモードの切替方法
プロフェッショナルモードの設定を保存
サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500 のみ）
各画面の説明（ヘルプの表示方法）
システム条件
ソフトウェアのバージョンアップ
ソフトウェアの削除方法
ソフトウェアの再インストール方法

困ったときは

スキャン品質が悪い
正常にスキャンされない（画像が切れる／隣の画像の一部
がスキャンされるなど）
テキストデータに変換するときの認識率が悪い
スキャナが動かない／スキャンできない
オートドキュメントフィーダでのトラブル
その他のトラブル

付録

解像度
解像度を上げるときれいになる？
拡大／縮小と解像度の関係
色
画像ファイル形式
USB ケーブル

■ ソフトウェア機能ガイド for Mac OS のもくじ

印刷の基本操作

印刷を始める前に
印刷の手順
印刷の中止方法

便利な機能

用紙を節約（割り付け印刷）
用紙を節約（両面印刷）
印刷サイズを拡大／縮小
定形サイズ以外の用紙に印刷
[仮]などのスタンプマークを重ねて印刷
本機の状態をコンピュータ上で確認
原画とディスプレイ表示と印刷結果の色を合わせたい
(ColorSync)
Mac OS 9 で印刷中も別の作業をしたい

プリンタドライバ情報

[ページ設定] ダイアログ (Mac OS X)
[プリント] ダイアログ (Mac OS X)
[用紙設定] ダイアログ (Mac OS 9)
[プリント] ダイアログ (Mac OS 9)
[プリンタセットアップ] ダイアログ (Mac OS 9)
EPSON ステータスマニタ
EPSON リモートパネル! (Mac OS X)
ソフトウェアのバージョンアップ
プリンタソフトウェアの削除方法
ソフトウェアの再インストール方法
システム条件

使用可能な印刷用紙とセット方法

印刷用紙
給紙装置と用紙のセット方法
特殊紙への印刷
両面印刷について
用紙タイプ選択機能

困ったときは

印刷実行時のトラブル
用紙が詰まったときは
カラー印刷に関するトラブル
印刷品質に関するトラブル
画面表示と印刷結果が異なる
USB 接続時のトラブル
その他のトラブル
どうしても解決しないときは

付録

TrueType フォントの使い方 (Mac OS 9)

印刷機能の共有方法
カラー印刷のポイント

スキャンの基本操作

スキャンを始める前に
原稿のセット方法
スキャンの基本手順

便利な機能

モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）
ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）
色あせた写真の色を復元する（退色復元）
色を鮮やかにする（彩度調整）
色合いを変える（カラーバランス調整）
色かぶりを取り除く（グレーバランス調整）
明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）
明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）
明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）
必要な部分だけを切り取ってスキャン
お好みのサイズでスキャン（[出力サイズ] 設定）
複数の写真をまとめてスキャン（LP-M5500 のみ）
原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ

EPSON Scan 情報

EPSON Scan とは？
起動方法とモードの切替方法
プロフェッショナルモードの設定を保存
サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500 のみ）
各画面の説明（ヘルプの表示方法）
システム条件
ソフトウェアのバージョンアップ
ソフトウェアの削除方法
ソフトウェアの再インストール方法

困ったときは

スキャン品質が悪い
正常にスキャンされない
（画像が切れる／隣の画像の一部がスキャンされるなど）
テキストデータに変換するときの認識率が悪い
スキャナが動かない／スキャンできない
オートドキュメントフィーダでのトラブル
その他のトラブル

付録

解像度
解像度を上げるときれいになる？
拡大／縮小と解像度の関係
色
画像ファイル形式
USB ケーブル

■ 『ネットワーク設定ガイド』 のもくじ

ご使用の前に

動作環境
各部の名称と働き
EpsonNet ソフトウェアのご案内

設定の前に

ネットワークプリンタ導入作業の流れ
印刷方法を決めます
各印刷方法の概要と特長 (Windows のみ)

コンピュータのネットワーク設定

Windows 98/Me の場合
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合
Mac OS の場合

ネットワークインターフェイスの設定

設定方法の概要
動作環境
EpsonNet Config のインストールと起動
ネットワークインターフェイス設定

ダイヤルアップルータ使用時の注意

DHCP 機能使用時の注意
Web ブラウザの設定に関する注意

プリンタドライバのインストール

Windows 98/Me
Windows 2000/XP/Server 2003
Mac OS 9.1 以降
Mac OS X v10.2-v10.3

EpsonNet Print の使い方

EpsonNet Print の概要
セットアップの流れ
動作環境
EpsonNet Print のインストール
プリンタの接続と設定
その他の機能

EpsonNet Config (Web) の使い方

EpsonNet Config (Web) の概要
動作環境
ネットワークインターフェイス設定
各項目の説明

困ったときは

全 OS 共通
Windows
Mac OS

ソフトウェアその他の便利な機能の紹介

プリンタドライバの自動インストール
ネットワークプリンタの状態確認
ネットワーク管理ツールのご案内

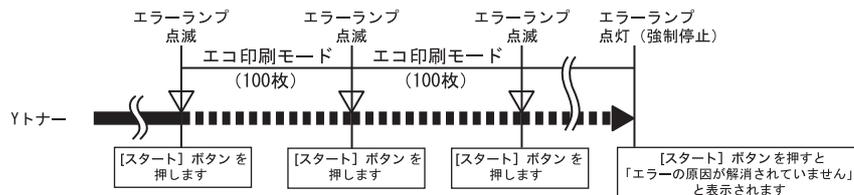
付録

ネットワークステータスシート
ネットワークインターフェイスの工場出荷時設定への戻し方
ユーティリティの削除方法
ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能
Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法
ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識
用語集

エコ印刷モードのご紹介

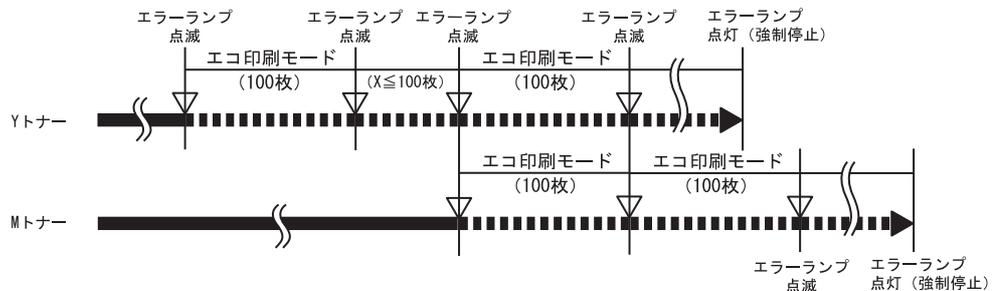
エコ印刷モードとは、消耗品の寿命を通知するメッセージが表示されたときに、その交換時期を先送りして印刷を継続することで、よりいっそう経済的にプリンタを運用することができるモードです。エコ印刷モードは以下のようなイメージで運用されます。

<例>Yトナーカートリッジの場合



カラーモードで複数のトナーカートリッジの残量が少なくなった場合は、トナーカートリッジ交換のエラーメッセージ(エラーランプ点減)が表示されて[カラー]または[モノクロ] ボタンを押したところから印刷ページのカウントを始めます。

<例>Y・Mトナーカートリッジの場合



エコ印刷モードでの印刷にはお客様のご理解が必要です

エコ印刷モードは、消耗品の寿命を通知するエラーメッセージ表示時に設定することが可能です。ただし、以下の使用上の制限があり、お客様自身が印刷結果から消耗品の交換時期を判断することになりますので、この点を十分にご理解いただいた上で、消耗品の適切な交換を行ってください。

- エコ印刷モードで印刷を行うと、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、何も印刷されないなど印刷品質が悪化することがあります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。
- エコ印刷モードは、消耗品の交換時期を延長することが可能ですが、過度に延長することで製品が故障に至ることがないよう、印刷途中であっても強制的に停止することがあります。その場合は、消耗品を交換してください。

エコ印刷モードで運用するときは、必ず新しい消耗品を準備した上で進めてください。

エコ印刷モードの使用方法

消耗品のエラーメッセージが表示されたときにエコ印刷モードへ移行できます。

1 エラーメッセージの表示（エラーランプ点滅）

***トナーを交換してください	最良の印刷品質が提供できなくなったときに、消耗品を交換していただくためのメッセージです。
感光体ユニットを交換してください	「***」にはトナーの色 Y/M/C/K が表示されます。

2 エコ印刷モードへの移行

エコ印刷モードに移行する場合	 [カラー] ボタンを押してください（エコ印刷モードに入ります）。
エコ印刷モードに移行しない場合	 最良の印刷品質を継続するために、消耗品を交換してください。

3 エコ印刷モードで利用中

エコ印刷モードに移行するとパネル表示が変わります（ワーニングメッセージになります）。

***トナーが交換時期（エコ印刷モード）	最良の印刷品質が提供できなくなる前に、新しい消耗品を準備していただくためのメッセージです。
感光体ユニットが交換時期（エコ印刷モード）	「***」にはトナーの色 Y/M/C/K が表示されます。

「***トナーを交換してください」の状態からエコ印刷モードに移行したときは、続けて 100 ページ印刷できます（ただし、100 ページ分の印刷品質は保証できません）。

4 エコ印刷モードの継続

累計で 100 ページ分の印刷が終了すると、再び 1 の状態（エラーランプが点滅して「***トナーを交換してください」のメッセージが表示される）になって、プリンタが停止します。

エコ印刷モードでの印刷を継続する場合	 [カラー] ボタンを押してください（エコ印刷モードを継続します）。
エコ印刷モードでの印刷を継続しない場合	 交換指示が出されている消耗品を交換してください。

5 プリンタの強制停止

- 製品の機能が満足できなくなる段階になると、印刷中でもプリンタは強制的に停止します。
- パネルには「***トナーを交換してください」または「感光体ユニットを交換してください」と表示され、エラーランプが点灯し続けます（エコ印刷モードに移行が可能な状態では「点滅」しています）。この状態になると [カラー] または [モノクロ] ボタンを押しても「エラーの原因が解消されていません」というメッセージを表示し、印刷を継続することができなくなります。この場合は、必ず消耗品の交換を行ってください。

！注意

感光体ユニットの交換時に、使用済み感光体ユニットの再装着はしないでください。感光体ライフ（寿命）のカウントが正しくできなくなります。

参考

- エコ印刷モードによる印刷を途中で止めたいときは、[カラー] または [モノクロ] ボタンを押してから [ストップ] ボタンを押してください。
- エコ印刷モードは本機の電源をオフにすると解除されます。次に電源をオンにしたときには消耗品交換のエラーメッセージが表示されますので、エコ印刷モードの使用方法の手順に従ってください。
- カラーモードの場合、エコ印刷モード中に画像確認シートを印刷することで、トナーカートリッジの印刷品質への影響状態を判断することができます。印刷された画像確認シートをご覧ください、感光体ユニットの交換、または印刷品質が悪化している色のトナー カートリッジを交換することをお勧めします。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
------	---

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設*してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』から [ユーザー登録「MyEPSON」アシスタント] をインストールし、起動することで簡単にご登録いただけます。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	「活用ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	「活用ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。(東京・大阪)

受付時間	「活用ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	「活用ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。

コンピュータスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようお手伝いします。詳細はエプソンのホームページにてご確認ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
------	---

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万が一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお問い合わせください。

保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

■ 保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お問い合わせいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

■ 補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

■ 保守サービスの受け付け窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（本書の裏表紙をご覧ください）
受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
受付時間：9：00～17：30

■ 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 修理のつど発生する修理代・部品代*は無償になるため予算化ができて便利です。 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 消耗品（トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出張し、現地で修理を行います。 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料+技術料+部品代 修理完了後 そのつどお支払いください

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外をとわず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。（年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。）
- 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
------	---

仕様

総合仕様

環境基本仕様

消費電力	最大	1190W
	電源オフ時	0W
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。	
回収リサイクル体制	使用済みトナーカートリッジの回収 資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。	
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下のページを参照してください。 ☞本書 218 ページ「保守サービスのご案内」	
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年	
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年	

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	13A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	1190W
	カラー	平均 396W (原稿台にセットしての連続コピー)
	モノクロ	平均 726W (原稿台にセットしての連続コピー)
	待機時	平均 124W (LP-M5500F) 平均 115W (LP-M5500)
	低電力モード時	平均 26W (LP-M5500F) 平均 23W (LP-M5500)

環境使用条件

動作時	温度	: 10 ~ 35 度
	湿度	: 20 ~ 80% (ただし結露しないこと)
	気圧 (高度)	: 76kPa 以上 (2500m 以下)
	水平度	: プリンタ部: 傾き度 1 度以下 スキャナ部: 傾き度 5 度以下
	照度	: 3000lx 以下 (ただし直射日光を照射させないこと)
	周囲スペース	: 設置面より上方 300mm、左側方 650mm、右側方 200mm、前方 830mm、 後方 220mm
保存・輸送時	温度	: 0 ~ 35 度
	湿度	: 15 ~ 85% (ただし結露しないこと)

コントローラ基本仕様

RAM	標準	: 128MB
	オプション増設時	: 最大 576MB (2 ソケット)
インターフェイス	標準	: USB2.0、USB1.1 10Base-T/100Base-TX

外形寸法 / 質量

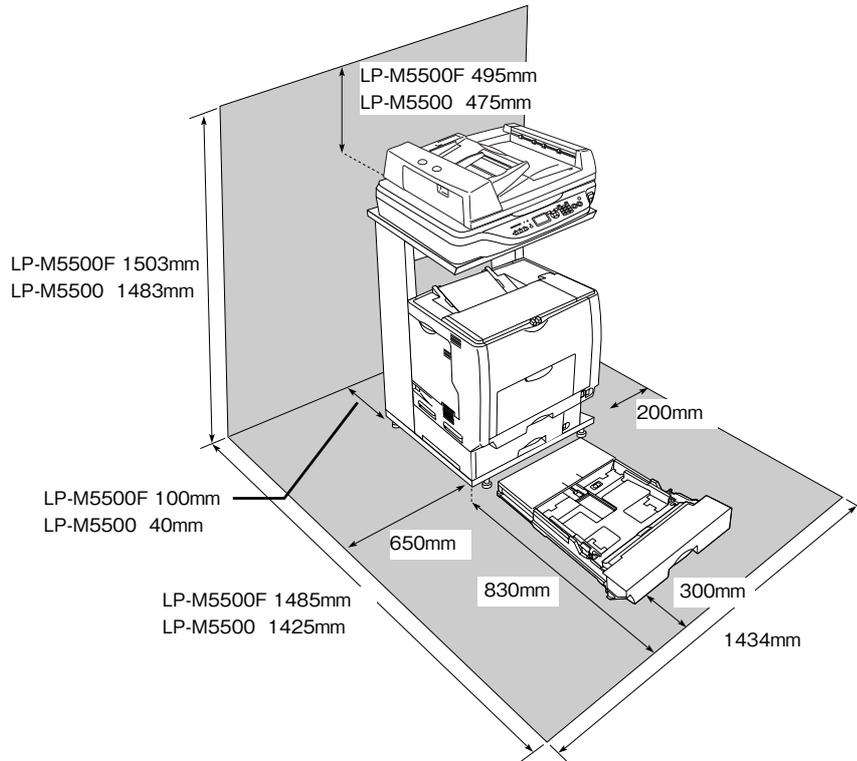
	LP-M5500	LP-M5500F
プリンタ部外形寸法	幅 584mm × 奥行き 475mm × 高さ 467mm (小数点以下四捨五入)	
質量	約 45.2kg (消耗品を含まない)	
スキャナ部外形寸法	幅 656mm × 奥行き 528mm × 高さ 171mm (小数点以下四捨五入)	幅 656mm × 奥行き 563mm × 高さ 278mm (小数点以下四捨五入)
質量	約 14.5kg	約 26.3kg

オプションの増設カセットユニット外形寸法 / 質量

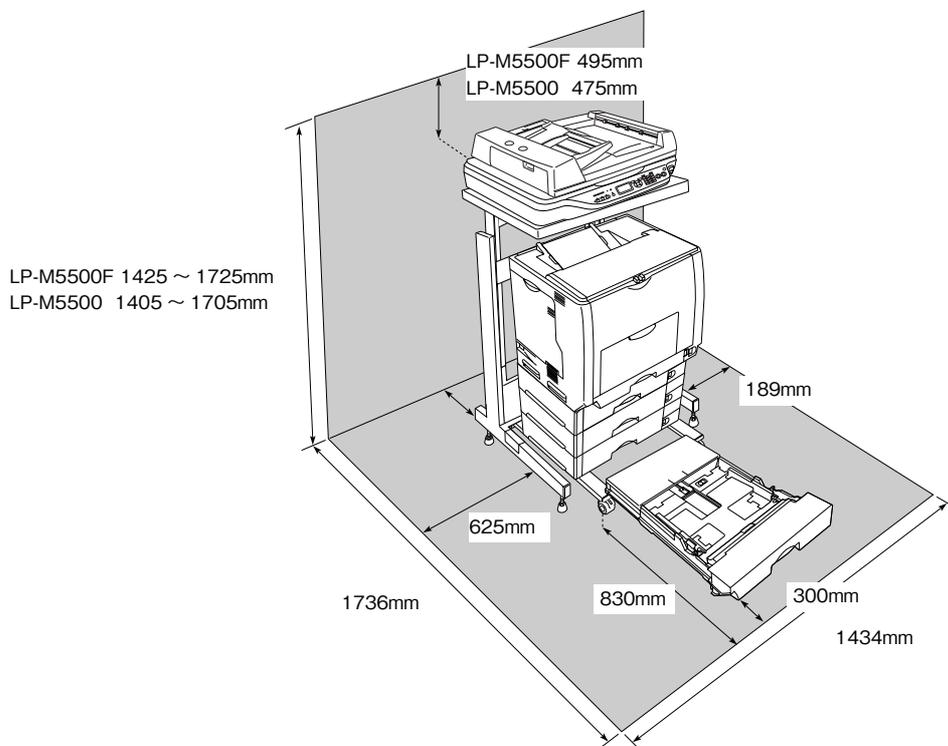
外形寸法 (小数点以下 四捨五入)	LPA3CZ1CU2: 幅 569mm × 奥行き 378mm × 高さ 129mm LPA3CZ1CT2*1: 幅 569mm × 奥行き 466mm × 高さ 142mm LPA3CZ1CC2*: 幅 569mm × 奥行き 578mm × 高さ 219mm
質量	LPA3CZ1CU2: 約 6kg LPA3CZ1CT2*1: 約 7kg LPA3CZ1CC2*2: 約 11kg

設置スペース

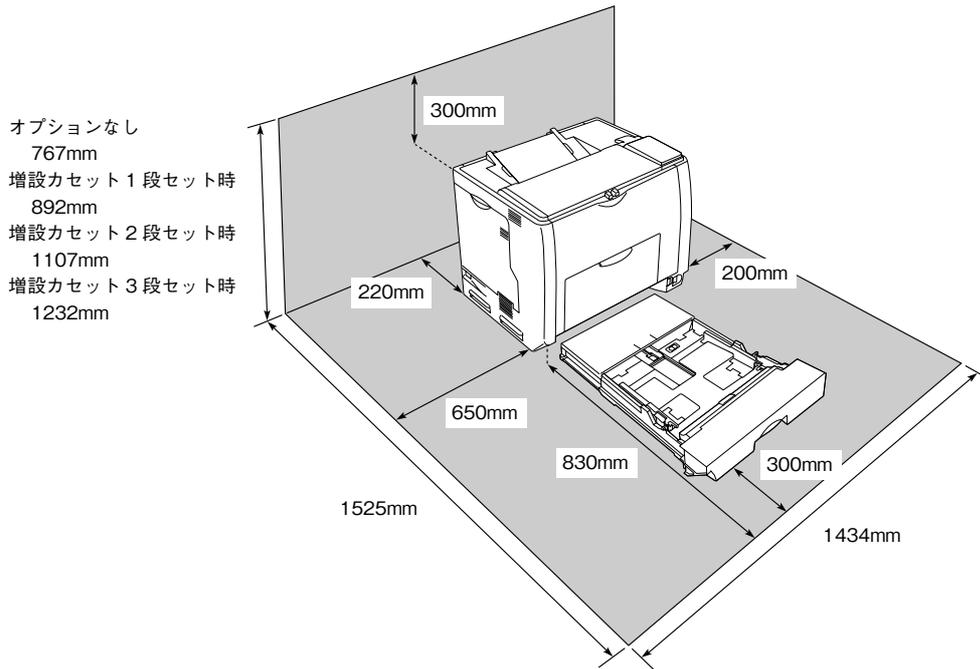
専用スタンド(LPMRACK1)を使用する場合



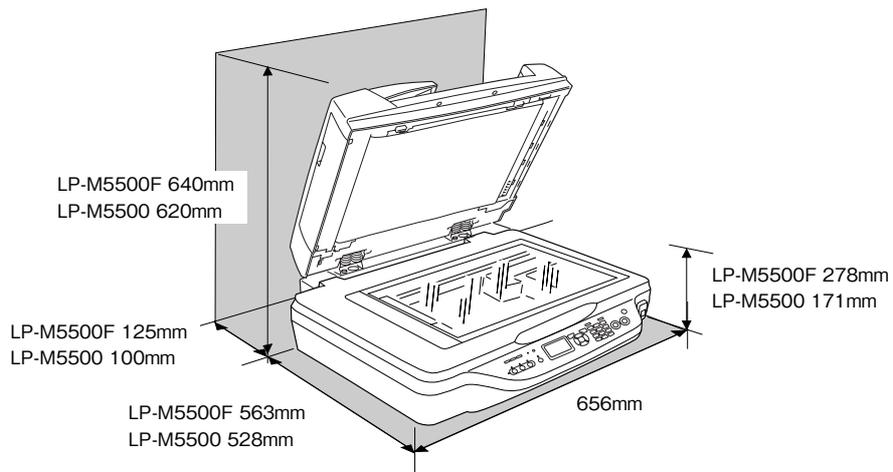
専用スタンド(CSCBN8A)を使用する場合



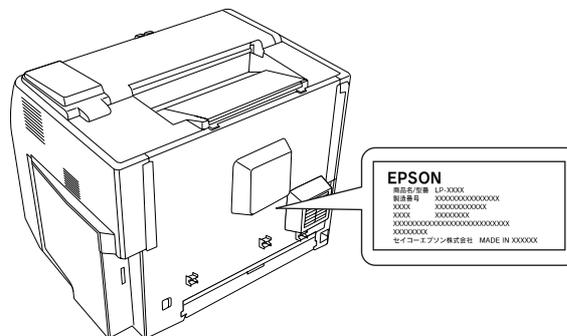
プリンタ部を自由に配置する場合



スキャナ部を自由に配置する場合



製造番号の表示位置



プリンタ仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査+乾式1成分トナー電子写真方式
解像度	600dpi*1
プリント速度	600dpi : 40.0枚/分 (A4、モノクロ片面印刷時)*2 10.0枚/分 (A4、カラー片面印刷時)*2
ウォームアップ時間	90秒 (温度22度、湿度55%、定格電圧にて)
ファーストプリント	モノクロ片面印刷 : 13.3秒 (A4) / 14.3秒 (A3) モノクロ両面印刷 : 17.8秒 (A4) / 20.3秒 (A3) カラー片面印刷 : 19.3秒 (A4) / 20.3秒 (A3) カラー両面印刷 : 31.3秒 (A4) / 32.3秒 (A3)
稼働音 (本体のみ)	待機時 : 約39dB
	稼働時 : 約56dB (モノクロ連続コピー時)

*1 dpi : 25.4mm {1インチ} あたりのドット数 (Dots Per Inch)

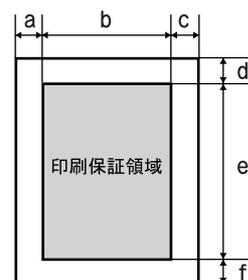
*2 印刷中に、良好な画質を得るための画像調整 (calibration) を自動的に行うことがあり、そのために上記の印刷速度が出ない場合があります。また、用紙サイズによっては、定着器の安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

排紙容量	最大250枚 (EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 82g/m ²)
用紙の種類	普通紙 64 ~ 90g/m ² 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、色つき、レターヘッド 特殊紙 ラベル紙、郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、封筒、OHPシート、厚紙 (91 ~ 163g/m ²)、不定形紙

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。

用紙の各端面から5mmを除く領域の印刷を保証します。



用紙関係

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

給紙方法		用紙種類	用紙サイズ () 内は操作パネルの操作パネルでの表記	紙厚	容量 *1	
標準 装 備 の 給 紙 装 置	MPトレイ	普通紙、 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A3、A4、A5、B4、B5、Letter (LT)、 Half-Letter (HLT)、Legal (LGL)、 Government Letter (GLT)、 Government Legal (GLG)、Ledger (B)、Executive (EXE)、F4	64 ~ 90g/m ²	150 枚 *2	
		特殊 紙	郵便ハガキ	100 × 148mm (ハガキ)	190g/m ²	50 枚 *2
			往復郵便ハガキ	148 × 200mm (W ハガキ)		
		封筒 *3	洋形 0 号、長形 3 号	75 ~ 90g/m ²	15 枚 *2	
		ラベル紙	A4	91 ~ 163g/m ²	50 枚 *2	
		厚紙	A3、A4、A5、B4、B5、Letter (LT)、 Half-Letter (HLT)、Legal (LGL)、 Government Letter (GLT)、 Government Legal (GLG)、Ledger (B)、Executive (EXE)、F4	91 ~ 163g/m ²	75 枚 *2	
		不定形紙	幅：98.5 ~ 297.0mm 長さ：148.0 ~ 431.9mm	64 ~ 90g/m ²	150 枚 *2	
	91 ~ 163g/m ²			75 枚 *2		
EPSON カラーレーザー プリンタ用 OHP シート	A4	100g/m ²	60 枚 *2			
用紙カセット	普通紙、 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A3、A4、B4、B5、Letter (LT)、 Legal (LGL)、Ledger (B)	64 ~ 90g/m ²	250 枚 *4		
オプション 増設ユニット (LPA3CZ1CU2/ LPA3CZ1CT2/ LPA3CZ1CC2)	普通紙、 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A3、A4、B4、B5、Letter (LT)、 Legal (LGL)、Ledger (B)	64 ~ 90g/m ²	500 枚 *5		

*1 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大セット枚数表示までです。最大セット枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*2 セットできる枚数は、使用環境によって異なります。総厚 17mm までセット可能です。

*3 ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

*4 セットできる枚数は、使用環境によって異なります。総厚 27mm までセット可能です。

*5 セットできる枚数は、使用環境によって異なります。総厚 53mm までセット可能です。

排紙容量	最大 250 枚 (EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 64g/m ²)
-------------	--

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ		MPトレイ (標準)	用紙 カセット 1 (標準)	用紙 カセット *1 (オプション)	両面印刷	用紙の セット方向
A3	297.0 × 420.0mm	○	○	○	○	縦長
A4	210.0 × 297.0mm	○	○	○	○	横長
A5	148.0 × 210.0mm	○	×	×	×	縦長
B4	257.0 × 364.0mm	○	○	○	○	縦長
B5	182.0 × 257.0mm	○	○	○	○	横長
Letter (LT)	8.5 × 11.0 インチ (215.9 × 279.4mm)	○	○	○	○	横長
Half-Letter (HLT)	5.5 × 8.5 インチ (139.7 × 215.9mm)	○	×	×	×	縦長
Legal (LGL)	8.5 × 14.0 インチ (215.9 × 355.6mm)	○	○	○	○	縦長
Executive (EXE)	7.3 × 10.5 インチ (184.2 × 266.7mm)	○	×	×	○	横長
Government Legal (GLG)	8.5 × 13.0 インチ (215.9 × 330.2mm)	○	×	×	○	縦長
Ledger (B)	11.0 × 17.0 インチ (297.4 × 431.8mm)	○	○	○	○	縦長
Government Letter (GLT)	8.0 × 10.5 インチ (203.2 × 266.7mm)	○	×	×	○	横長
F4	210.0 × 330.0mm	○	×	×	○	縦長
不定形紙	用紙幅98.5～297.0mm 用紙長148.0～431.9mm	○ *2	×	×	×	登録した用 紙サイズの 向き *3
郵便ハガキ	100.0 × 148.0mm	○	×	×	×	縦長
往復郵便ハガキ	148.0 × 200.0mm	○	×	×	×	縦長
OHP シート	A4: 210.0 × 297.0mm	○	×	×	×	横長
ラベル紙	A4: 210.0 × 297.0mm	○	×	×	×	横長
封筒 *4	洋形 0号	○	×	×	×	横長
	長形 3号	○	×	×	×	縦長

○：使用可能 ×：使用不可能

*1 オプションの増設カセットユニットに装着する用紙カセットから給紙できる用紙サイズを表します。

*2 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

*3 不定形紙の用紙のセット方向は、登録した用紙サイズ（用紙長／幅）によって異なります。

*4 ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

スキャナ仕様

型式	フラットベッド型カラーイメージスキャナ
走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
センサ	カラー CCD 4-line CCD (RGB_BW)
最大有効領域	297 × 432mm (11.7 × 17.0 インチ)
最大有効画素	7020 × 10200 画素 (600dpi)
最大原稿サイズ	A3、B (Ledger)
階調	各画素各色 16bit (入力)、1bit/8bit (出力)
読み取り速度	モノクロ : 0.32msec/line (300dpi 時) カラー : 0.72msec/line (300dpi 時)

オートドキュメントフィーダ仕様

方法	ページ送り AFF
最大原稿サイズ	A3、B (Ledger)
最大セット可能原稿枚数	A4 (80g/m ²) : 100 枚<総厚 8mm 以下>
原稿紙質量	50 ~ 127g/m ²
原稿紙種	レーザープリンタ用紙、インクジェット用紙、普通紙、再生紙など
原稿スタック	フェイスアップ
原稿合わせ	原稿片側合わせ (読み取り原点側)
原稿サイズ検知	B5 縦 / 横、A4 縦 / 横、B4、A3

コピー仕様

		カラー (A4/300dpi)	モノクロ (A4/300dpi)
ファーストコピー		25 秒	12 秒
コピー速度	マルチコピー (1 枚の原稿を複数枚コピー)	10 枚 / 分	40 枚 / 分
	連続コピー (オートドキュメントフィーダ使用時)	9 枚 / 分	16 枚 / 分

ファックス仕様(LP-M5500F のみ)

Model	EU-96	
対応回線	PSTN (加入電話回線)、PBX (自営構内回線)	
通信速度	33600 / 31200 / 28800 / 26400 / 24000 / 21600 / 19200 / 16800 / 14400 / 12000 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 bps (自動フォールバック)	
プロトコル	G3、G3ECM	
送受信モード	カラー	RGB 各 8 ビット送受信
	モノクロ	モノクロ 1 ビット送受信
画像圧縮方法	カラー	JPEG
	モノクロ	MH、MR、MMR
送受信走査線密度	カラー	200 × 200 [dpi]
	モノクロ	8x15.4、8x7.7、8x3.85 [dot/mm]
原稿サイズ	カラー	B5、A4、B4、A3
	モノクロ	
印刷用紙サイズ	カラー	B5、A4、B4、A3
	モノクロ	
設計認証	  A04-0646001	

索引

A

AC インレット	6
ADF 両面	90, 96
A カバー	6

B

B カバー	6
-------------	---

D

D カバー	6
-------------	---

E

EPSON Creativity Suite.....	83
EPSON Speed Dial Utility.....	66
EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	100
EPSON カラーレーザープリンタ用 上質普通紙.....	13, 100
ET カートリッジ.....	101, 120
E カバー	7

F

FAX 工場出荷時設定	193
FAX 設定.....	50, 186
FAX 専用.....	62
FAX レポート印刷設定	191

I

IP アドレス設定	194
-----------------	-----

M

MP トレイ	15, 6
--------------	-------

P

PageManager For EPSON	87
-----------------------------	----

R

RGB バランス	48
----------------	----

T

TAM.....	62
----------	----

U

USB インターフェイスコネクタ	8
------------------------	---

あ

宛先登録.....	66
宛先の削除	78

い

移動.....	143
印刷保証領域.....	12, 224
インストール (EPSON Speed Dial Utility)	66

う

ウォームアップ時間.....	224
運搬.....	143

え

液晶ディスプレイ	9
エコ印刷モード	215
エラーランプ	9

お

オートドキュメントフィーダ	8, 26
オートドキュメントフィーダカバー	8
オートリダイヤル回数.....	191
オプション	221
オプションコネクタ	8

か

海外送信モード	53
外形寸法.....	221
回線種別.....	50, 191
解像度.....	96, 224
各種設定ボタン	9
各種設定ランプ	9
拡大・縮小コピー	33
拡張ボタン	9
影消しコピー	40

稼働音	224
紙厚	225
紙センサの清掃	135
紙詰まり	159
紙を取り除いてください	
C1 C2 C3 C4	165
紙を取り除いてください MP	165
感光体ユニット	7, 101
感光体ユニットの廃棄	126
感光体ロックレバー	7

き

基本設定	191
キャリッジ	8
給紙用紙カセット	192
給紙ローラの清掃	137

く

クリーニングテープ	7
クリーニングテープの取り外し	141
クリーニングノブ A	128, 139, 7
クリーニングノブ B	140, 7
グループダイヤル	57

け

原稿カバー	8
原稿サイズ	51, 53, 90, 96
原稿台	8, 24
原稿タイプ	47, 96
原稿のセット	24
原稿のセット (オートドキュメントフィーダ)	26
原稿のセット (原稿台)	24

こ

交換ボタン	7
固定倍率	33
コピー	30
コピー設定	186
コピー品質の変更	46
コピー用紙	13
個別短縮ダイヤル	192
個別短縮ダイヤル登録	70
コントラスト	47

さ

サービス・サポート	217
再生紙	13

し

自局番号	50, 191
自動切替	62
重量	221
受信ジョブの削除	65
受信設定	192
受信データ原稿サイズ	63
受信データのサイズ	63
受信モード	62, 192
仕様	220, 224
上下左右ボタン	9
上質紙	13
上質普通紙	13

す

スタートボタン	9
ステータスシート	116
ステータスシート (簡易版)	197
ストップボタン	9
スピーカ音量	191

せ

製造番号	223
接続コネクタ	6, 8
設置スペース	222
センサの清掃	140
全面コピー	34
専用紙	100

そ

操作パネル	8, 9
送信設定	191
送信中止	60
送信の中止	60
送信レポート	193, 199
増設 1 段カセットユニット (転倒防止付 /2 段目用)	99
増設カセットユニット	99
増設カセットユニット	
キャスター付き	99
増設カセットユニットの取り付け	108
増設メモリ	98
外付電話呼出時間	192
ソフトウェア	10
ソフトウェア機能ガイド for Windows	205

た

帯電ワイヤの清掃	139
ダイヤル種別	50, 191
短縮ボタン	9
短縮ダイヤル	54

短縮ダイヤル設定	192
短縮ダイヤルオールクリア	192

つ

通信管理設定	193
通信管理レポート	193, 199
通信販売	104
使い方 (EPSON Speed Dial Utility)	69

て

定着器	7
データランプ	9
テンキー	9
電源スイッチ	6
電子マニュアル	205
転写ベルトユニット	7
電話機コード接続端子	8
電話専用	62

と

同報レポート	193, 199
とじしろコピー	42
トナーカートリッジ	7, 101
トナーカートリッジカバー	7
トナーカートリッジの回収	103, 121
トナーカートリッジの交換	122

に

任意倍率	33
------------	----

ね

ネットワーク PC	90
ネットワークインターフェイスコネクタ	7, 8
ネットワークスキャン	89
ネットワーク設定ガイド	205

の

濃度	46, 53, 96
----------	------------

は

排紙サポート	6
排紙トレイ	6
排紙容量	224, 225
廃トナーボックス	101, 102, 129
廃トナーボックスの交換	131
廃トナーボックスの廃棄	130

背面カバー	8
廃トナーボックス	7
発信元印字	191
発信元情報	50
パワーオフレポート	199

ふ

ファーストプリント	224
ファイル形式	90
FAX ジョブの削除	61
フィルタ	101, 102, 129, 7
フィルタの交換	131
フィルタの廃棄	130
封筒レバー	7
普通紙 (EPSON 製)	13
普通紙 (一般)	13
フラッシュメモリコネクタ	8
プリンタ設定	186
プリンタ表面の清掃	134
プリント速度	224
プリント方式	224

へ

ページ連写	44
ベルマーク運動	103

ほ

ポーリング受信	53, 64
ホスト I/F 設定	186

め

メモリ	98
-----------	----

も

モードボタン	9
モードランプ	9
持ち運び用ハンドル	6
モノクロ画質	53

ゆ

輸送	144
輸送用固定レバー	8

よ

用紙	225
用紙 (EPSON 製)	13

用紙 (一般).....	13
用紙カセット.....	6
用紙カセット (オプション).....	99
用紙サイズ.....	225
用紙サイズ設定ダイヤル.....	6
用紙サイズと給紙方法.....	226
用紙サイズの設定 (MP トレイ).....	23
用紙種類.....	224, 225
用紙の種類.....	13
用紙のセット (MP トレイ).....	15
用紙のセット (オプションカセット).....	20
用紙のセット (標準カセット).....	17
用紙容量.....	225

リ

リセット.....	202
リセットボタン.....	9
リダイヤル.....	59
リダイヤル / ポーズ.....	9
両面印刷ユニット.....	7
両面コピー.....	36

ろ

ローカルスキャン.....	92
露光窓の清掃.....	140

わ

割り付けコピー.....	38
ワンタッチダイヤル.....	9, 56, 192
ワンタッチダイヤル登録.....	72

操作パネル設定項目一覧

コピーモード

<基本コピーメニュー>



項目	設定値
部数	1~99
倍率	100%、A3>A4 B4>B5、B4>A4、A4>A3 B5>B4、A4>B4、A3>B4 A4>B5、B4>A3 B5>A4 25%~400%
用紙	自動、カセット1xx ^{*1} 、カセット2xx ^{*1} 、カセット3xx ^{*1} 、カセット4xx ^{*1} 、MPトレイA4、MPトレイA3、MPトレイB4、MPトレイB5
両面	片面>片面、片面>両面、両面>片面、両面>両面、片面>両面上、両面上>片面
濃度	-3~0~3

^{*1} オプションの増設カセットユニット装着時に表示されます。

<拡張コピーメニュー>^{*2}



^{*2} [拡張] ボタンを押すと表示されます。

項目	設定値
モノクロ原稿	文・字、文字、写真、高詳細
カラー原稿	文・字、文字、写真、高詳細
読取領域	横長、縦長
全面コピー	Off、On
割り付け	しない、する
原稿順番	A4縦、A4、A3、B4、B5縦、B5
偶数回転	1>2ページ、2>1ページ
偶数回転	Off、On
ページ連写	しない、する
原稿順番	A3、B4、A4、B5
ページ連写	左>右ページ、右>左ページ
とじしる方向幅	する、しない 左、右、上、下 0mm~10mm~30mm
影消し中央枠	する、しない 0mm~20mm~40mm 0mm~20mm~40mm
コントラスト	-3~0~3
Rバランス	-3~0~3
Gバランス	-3~0~3
Bバランス	-3~0~3

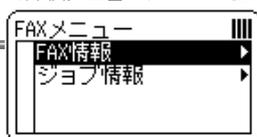
ファックスモード

<基本メニュー>

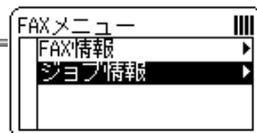


項目	設定値
画質	標準、詳細、高詳細、写真
濃度	-3~0~3
原稿サイズ	自動、A4、A3、B4、B5
ADF両面	片面、両面
ポーリング受信	Off、On
海外受信モード	Off、On

<FAXメニュー>^{*1} ^{*1} [拡張] ボタンを押すと表示されます。

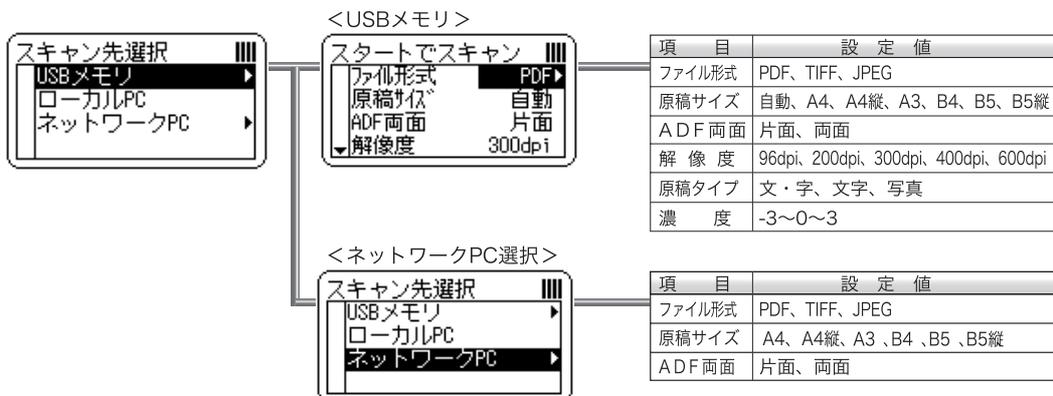


表示一覧
メモリ情報表示
短縮登録リスト印刷
通信管理レポート印刷
FAX設定リスト印刷
メモリジョブ情報印刷

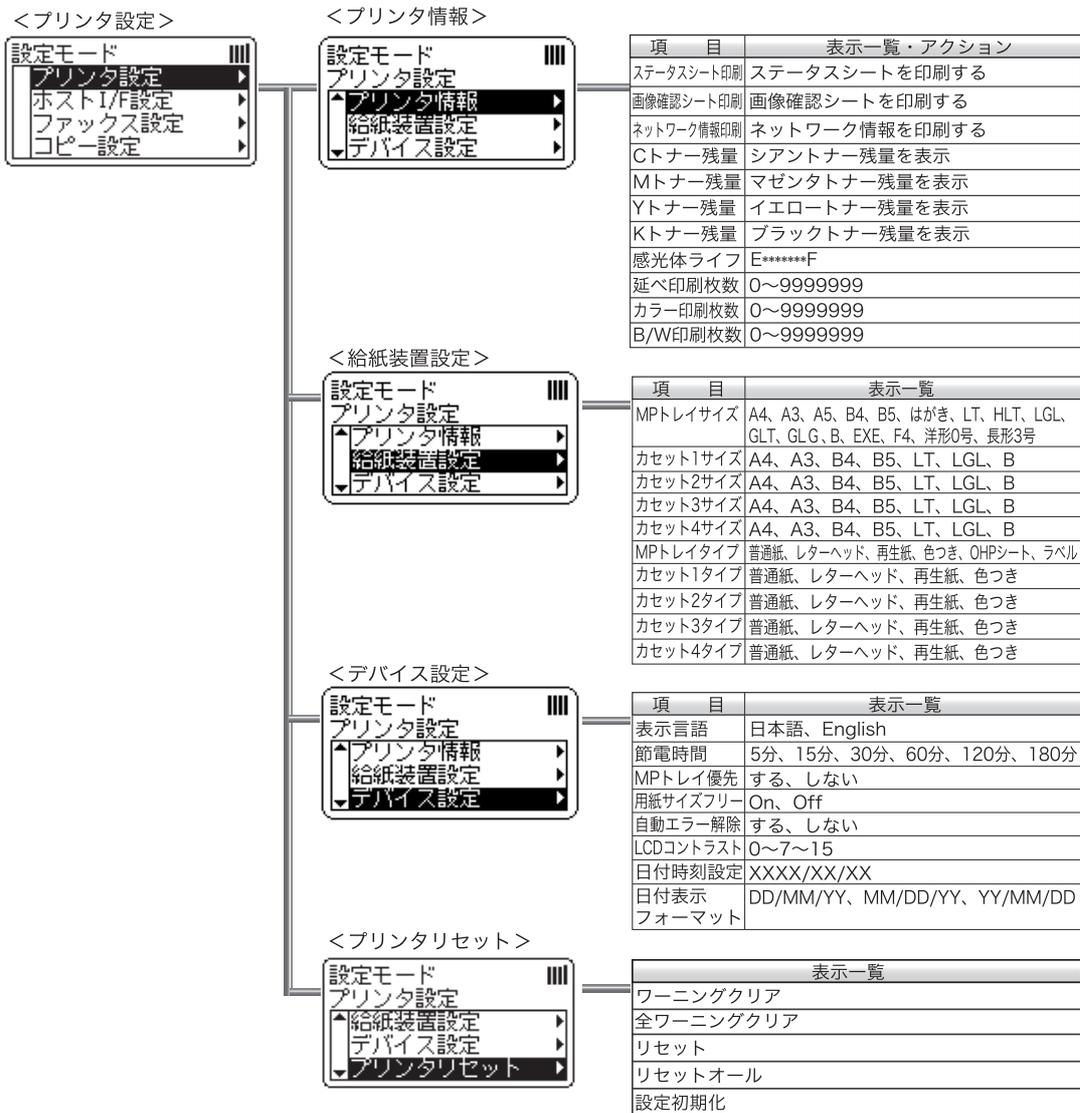


表示一覧
送信ジョブ情報
受信ジョブ情報

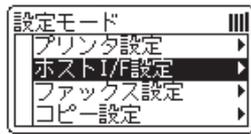
スキャンモード



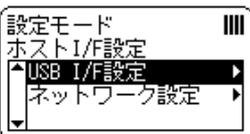
設定モード



<ホストI/F設定>

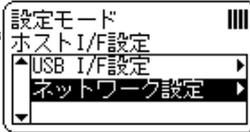


<USB I/F設定>



項目	表示一覧
USB I/F	使う、使わない
USB SPEED	HS、FS

<ネットワーク設定>

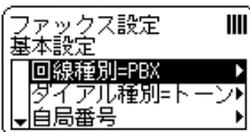


項目	表示一覧
ネットワークI/F	使う、使わない
ネットワーク設定	する、しない
IPアドレス設定	パネル、自動、PING
IP	0.0.0.0~255.255.255.255
SM	0.0.0.0~255.255.255.255
GW	0.0.0.0~255.255.255.255
Apple Talk	On、Off
MS Network	On、Off
Rendezvous	On、Off
Link Speed	自動、100Full、100Half、10Full、10Half

<ファックス設定>

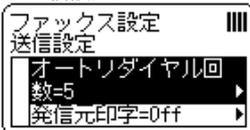


<基本設定>



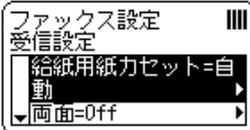
項目	表示一覧
回線種別	PSTN、PBX
ダイヤル種別	トーン、10PPS、20PPS
自局番号	名称XXXX、番号YYYY
スピーカー音量	OFF、1,2,3
FAXレポート印刷設定	日本語、English

<送信設定>



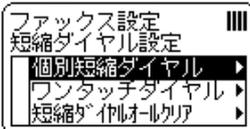
項目	表示一覧
オートダイヤル回数	0~5~99
発信元印字	On、Off
優先原稿サイズ	なし、A3、A4、B4、B5

<受信設定>



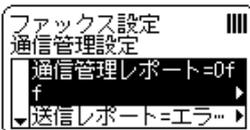
項目	表示一覧
給紙口	自動、MPトレイ、カセットX
両面印刷	On、Off
受信モード	自動切換、FAX専用、電話専用、TAM
外付電話呼出時間	1~10~99
自動縮小	する、しない

<短縮ダイヤル設定>



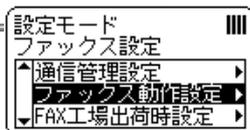
項目	表示一覧
個別短縮ダイヤル	01~60：名称XXXX、番号YYYY
ワンタッチダイヤル	A~C：名称XXXX、番号YYYY
短縮ダイヤルホールド	はい、いいえ

<通信管理設定>



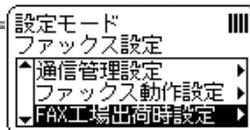
項目	表示一覧
通信管理レポート	On、Off
送信レポート	常時、エラー時、なし
同報レポート	常時、エラー時、なし

<ファックス動作設定>

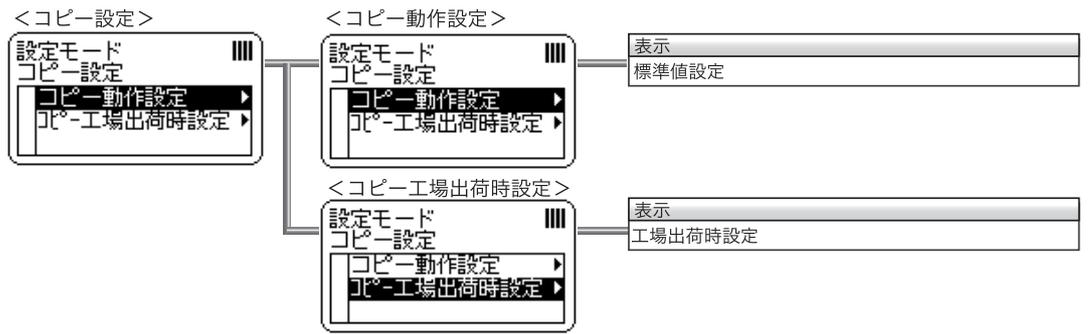


項目	表示
標準値設定	

<FAX工場出荷時設定>



項目	表示
工場出荷時設定	



商標およびご注意

EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

-Lib TIFF 3.6.1- <<http://www.libtiff.org/>> Copyright © 1988-1997

Sam Leffler Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条 など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について - 注意 -

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

レーザー製品の表示について

本プリンタは、レーザーの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザ製品です。識別のため、「クラス 1 レーザ製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザーは内部にありお客様が被爆することはありません。



クラス1レーザー製品

オゾンについて

レーザープリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（0.1ppm、0.2mg/m³）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境使用条件外での使用
- 狭い部屋での複数レーザープリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス **KDDIダイレクト** を利用しています。
 なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
 ＊一部のPHSからおかけいただく場合
 ＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
 (ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。)
 上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、(042)511-2949におかけくださいますようお願いいたします。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービスホームページでご確認ください。
 お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)
 ＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
 ＊修理について詳しくは、エプソンサービスホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービスホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りに伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **0570-090-090** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)
 ＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式会社の電話サービスの名称です。
 ＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
 ＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く) ＊松本修理センターは365日受付可。
 ＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービスホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土日祝日10:00～17:00(1月1日、弊社指定休日を除く)

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス **KDDIダイレクト** を利用しています。
 なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
 ＊一部のPHSからおかけいただく場合
 ＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
 (ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。)
 上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、下記番号におかけくださいますようお願いいたします。
 インフォメーションセンター:042-585-8580
 購入ガイドインフォメーション:042-585-8444

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.i-love-epson.co.jp/square/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
 【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)
 エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
 【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! <http://myepson.jp/> ▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ(ホームページアドレス <http://epson-supply.jp>)
 またはフリーコール 0120-251528)でお買い求めください。

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2005.7(B)

